THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

九月號

内容目録記入済

EAST ASIATIC ECON
INVESTIGATION BUR
OCT 2 1928
SOUTH MANCHURIA RAILW
LIMITED

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　河原田稼吉

評議員（以下イロハ順）

石黒英彦　石坂莊作　生駒高常　伊藤兼吉　池田季苗　西川利藤太　（醫學博士）堀内次雄　豐田勝藏　富田松彦　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧

太田吾一　大竹勝一郎　（農學博士）大島金太郎　大久保留次郎　小野時雄　簡朗山　片山三郎　河村徹　楊吉臣　（醫學博士）高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田丸直之　高山仰　武田英一　鼓包美

常吉德壽　津田毅一　妻木栗造　佐賀龍夫　永山止米郎　永田儀三郎　中村秀太郎　中田秀造　内田隆　宇野庄吉　草鹿砥祐吉　（醫學博士）倉岡彦助　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　増永吉次郎　藤野幹　小松吉久　小寺新一　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　遠藤所六

鄭神寶　後宮信太郎　近江時五郎　赤司初太郎　赤石定藏　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤玄吉郎　櫟瀬軍之佐　皿谷庶次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　三好德三郎　水越幸一　三好一八　三澤糾　白勢黎吉　幣原坦　島田茂　徐杰夫　平山寅次郎　久宗董　鈴木重臣

編纂委員

猪股松之助　岩滿重　色部米作

服部武彦　原口竹次郎　本間善庫

常務員

本田忠男　大澤清高　大竹勇　渡邊廣　和田一次　和田博　鎌田正威　川村直岡　横光吉規　角田廣次　中瀬拙夫

中田榮次郎　能澤外茂吉　野口敏治　深川繁治　淺野安吉　赤堀鐵吉　坂口主税　酒井雪介　白井泉藏　樋口要司　須田一二三

編輯係

土井卓三　鈴木重男　伊藤憐之助

昭和三年九月十三日印刷（毎月一回）
昭和三年九月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵税共金三十五錢）
（廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八八九番

編輯兼發行人　伊藤憐之助　臺北市東門町一五八番地
印刷者　加藤盟吉　臺北市榮町二丁目十二番地
印刷所　小塚本店印刷工場　臺北市京町一丁目四十三番地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社臺灣銀行（臺北）

支店所在地

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店所在地

支那

上海　福州　廈門　汕頭

香港　廣東　新嘉坡　スラバヤ

其他

スマラン　バタビヤ　孟買　カルカツタ

倫敦　紐育

內地

神戶　大阪　橫濱　東京

A6E1 D/93

臺灣時報 昭和三年九月號 目次

口繪 新任臺灣軍司令官菱刈中將 來臺せるゾルフ獨逸大使

時言

昭和三年上半期臺灣貿易概況……税關長 大竹勇……一

時報

川村總督初巡視、ゾルフ大使來臺、河原田長官蒞任、軍司令官更迭、第六回低資貸付決定、外米輸入制限期延長、保安課事務移管、本島畜産現勢、南部豪雨新記錄、柑橘打合會議、不合格米移出、北海道上海臺灣三角航路、病害蟲講習會、過剩糖協定と糖價、本島内地鐵道統計比較、上半期全國人口調、上半期本島茶況、昨年度本島水産狀況、昨年果實類産額、上半期諸統計調、一段落の郵貯現高……一七―三五

寄書

護謨市價暴落と將來の南洋栽培企業……南洋協會新嘉坡商品陳列所主事 增淵佐平……三六

自由通商の提唱……大阪商船專務 村田省藏……四三

臺灣の産業……前殖産局長 高橋親吉……五〇

講演

印度の自然と人生……森下薫……五八

B123 B106 B200 F46

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

內臺航路船に對する私見……工學博士　鹽田泰介……六七
博物館の記念日と所感……移川帝大教授……七四

說苑

臺俗百話　蓬萊物語（七）……西岡塘翠……八二

調査研究

最近に於ける支那實業の發展……小林一馬譯……八七
馬來半島の現在……前川昇……九八
獨乙實果家ヘルフイリツヒ氏の印度經濟觀……山岸祐一譯……一〇六
臺灣蔬菜園藝講話（七）……臺北帝大農林專門部教授　芹澤立……一一〇

島情

臺灣貿易統計……總督府稅關……一一八
臺灣金融統計……財務局金融課……一二五

文苑　漢詩　俳句……一三一
臺灣日誌　人事消息　任命……一三四
支那及南洋情報……總督官房調査課……一—五九
支那及南洋其他重要記事索引……總督官房調査課……一—一九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千貳百貳拾萬圓

各地支店

堺、東京、京橋（東京）、名古屋、京都、西陣（京都）、烏丸（京都）、七條（京都）
神戸、灘道（神戸）、兵庫（神戸）、尼崎、大物（尼崎）、伊丹、西宮、姫路、廣島、
徳島、阿波池田、高知、奈良、臺南、高雄、
（大阪市内）船場、本町、今橋、玉造、天滿、堂島、雑喉場、川口、新町、
堀江、日本橋、難波、島之内、九條、朝日橋、傳法、高津、北野、築港、

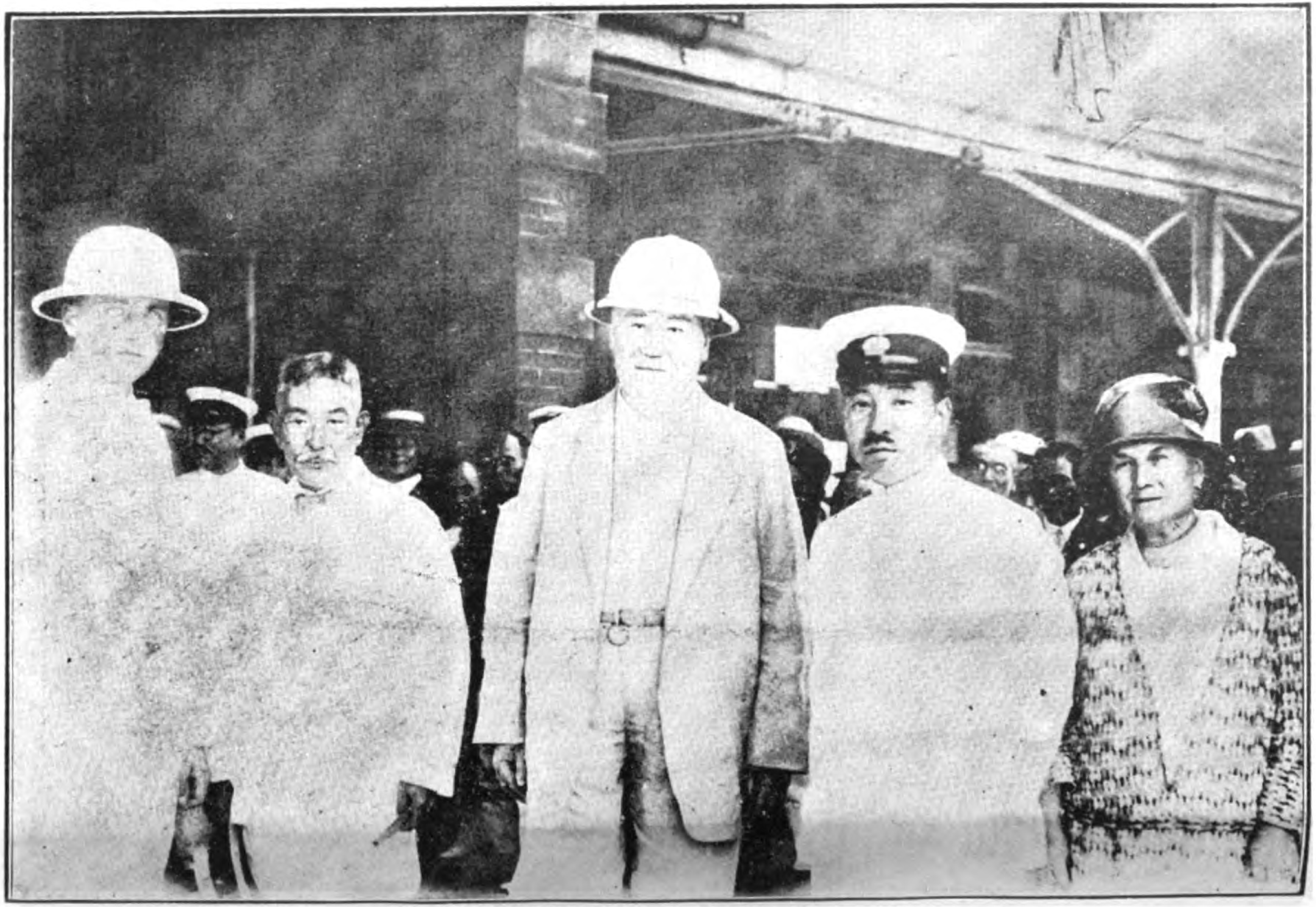
本行之特色

銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託業務を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として又横濱正金銀行海外各支店と取引あり
最も便宜に御取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
（電話三四、五六、二一九五、三三五四）

新任臺灣軍司令官菱刈中將閣下

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



來臺せるゾルフ獨逸大使

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九月號

昭和三年上半期臺灣貿易概況

稅關長　大竹　勇

一、總說

本期に於ける本島貿易は、前年同期に比し輸移出入共増加せる爲め、總貿易額に於て五百七十一萬五千圓（一二分四厘）を進展せり。即ち左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸移出入品價額前年對照表（單位圓）

	三年上半期	二年上半期	增△減
輸移出	一五四、三三三、四〇七	一四八、九六九、六二八	五、三六三、七七九
輸移入	九二、八三五、五九五	九二、四八四、三三三	三五一、二六二
計	二四七、一六九、〇〇二	二四一、四五三、九六一	五、七一五、〇四一
出超	六一、四九七、八一二	五六、四八五、二九五	五、〇一二、五一七

前年春期に於ける財界未曾有の混亂以來、內地經濟界の不況一層濃厚を加へ、各般の事業は萎靡不振を極め、資金は偏在して變態的緩慢を續けしが、爾來政府の措置時宜に適し、當業者の努力と相俟て、各方面の整理略就けり、對外爲替も先づ安定の域に達したり。然りと雖、尙一轉好況を呈するに至らず、外國貿易も減退し、依然消極的平穩裡に本期を了れり。

次に隣邦支那の政爭動亂は愈々擴大せられ、殊に我山東出兵に關聯せる彼の排日貨運動は頗る熾烈を極め、彼我の交易を阻碍すること大なるものあり。更に南洋方面は、砂糖、護謨等主產品の不況あり、歐洲方面も、漸次好況を呈しつゝありと雖、未だ全く財界恢復を見ず、獨り米國は依然として好況を持せり。されば本島も直接間接に是等四圍の影響を受けたるは勿論、內に在りては金融界の整理も一段落を告げ、前年同期に比し面目を一新せるものあり。從て農工產業の隆盛と相俟て、本島貿易は比較的順調なる發達を遂げたり。卽ち輸移出に於て、輸出綿布、樟腦の數品を除きては、石炭、海產物、砂糖其の他大部分が不況に了りしも、移出に於て、砂糖の激增は米の著減を補ひ且つ輸出の不況を扶けて進境を示し、輸移入に於ては、輸入米及砂糖の非勢甚しきに反し、移入絹綿布、鐵材其他大多數が頗る好調を辿りしを以て、玆に輸移入の進展

を示現したれは結局本期貿易を増進せり。

二、外國貿易

本期に於ける外國貿易は、前年同期に比し出入共減退せるため、合計に於て千百五十九萬七千圓(一割)を衰縮せり。即ち左の如し。

輸出入品價額前年對照表 (單位圓)

	三年上半期	二年上半期	增△減
輸出額	一六、二〇四、九六三	二〇、〇九六、三五八	△三、八九一、三九五
輸入額	二九、一〇〇、八五五	三六、八〇六、九〇六	△七、七〇六、〇五一
計	四五、三〇五、八一八	五六、九〇三、二六四	△一一、五九七、四四六
入超額	一二、八九五、八九二	一六、七一〇、五四八	△三、八一四、六五六

以下重要品の前年對照表を掲げ順次之を概説すべし。

輸出重要品前年對照表

品名	數量單位	三年上半期 數量	三年上半期 價額	二年上半期 數量	二年上半期 價額	增△減 數量	增△減 價額
包種茶	斤	二、七一三、六三二	二、七九〇、四八三	二、五三五、四一九	二、六三〇、九四二	一七八、二一三	一五九、五四一

石炭	噸	二二二,五二一	二,三七四,七六七	三二一,八七九	三,五八五,三五九	△九九,三五八	△一,二一〇,五九二
烏龍茶	斤	四八一,一二四	二七八,一三二	九四〇,九九二	五六〇,七三六	△四五九,八六八	△二八二,六〇四
鹹魚及乾魚	斤	二,八九八,〇七三	五四七,五三三	一六,四九〇,〇六五	一,七八七,一〇七	△一三,五九一,九九二	△一,二三九,五七四
綿織物	碼	七,八八六,六五九	一,七九一,一四三	六,八六〇,六九一	一,四〇四,七五五	一,〇二五,九六八	三八六,三八八
砂糖	斤	二,九〇〇,〇〇一	一,一二一,九八〇	一四,四〇三,一九八	一,九五一,五八四	△一一,五〇三,一九七	△八二九,六〇四
鍋	斤	六八七,二六八	二八二,九三三	二,〇〇六,七〇七	八一〇,六〇三	△一,三一九,四三九	△五二七,六七〇
樟腦	斤	一,四八五,二〇七	一,四七七,七九二	六〇八,八〇〇	七九八,八六七	八七六,四〇七	六七八,九二五
酒精	升	三,九二五,二五五	一,〇五〇,八九〇	三,三〇九,八四七	一,〇五二,〇五五	六一五,四〇八	△一,一六五
セメント	斤	二〇,〇六六,二二五	三七八,〇〇〇	三三,九九一,〇七〇	六四六,二一七	△一三,九二四,八四五	△二六八,二一七
其他諸品		—	四,一二一,三二〇	—	四,八六八,二二三	—	△七四六,九〇三
計		—	一六,二〇四,九六三	—	二〇,〇九六,三五八	—	△三,八九一,三九五

包種茶　は春茶が天候關係にて稍減産を免れざりしも、品質優良にして且つ前年同期の財界混亂に比し金融圓滑なると相俟て、出廻輸送共に順調を告げ、更に期央後、南洋一部に於ける排日貨運動懸念に送荷を急ぎたるとは、一層之を促進増加せり。

石炭　は當初製糖作業の好況其の他島内需要の旺盛に制せられ、輸出餘力に乏しく、特に優良炭に於て拂底を告げたるが、一方上海、香港、廣東等主要地に於ては、開平、撫順又は濠洲炭の出廻愈增加せるあり。次で島内需要の漸減に炭繰緩和せられたりと雖、恰も五月以降に於ける熾烈なる排貨運動に阻止され、當業者は多大の貯炭を擁して商談に苦み結局著減せり。

烏龍茶　は包種茶の高値を反映して、南方需要期の最盛期を迎へたると、更に夏茶が當初天候に累せられ出廻遲延せる

一方、米國市場は紅茶崩落の影響を受けて、前年に比し三、四仙方の安値を唱へたれば、採算不利にして、輸出當業者は傍觀的態度を持し、買進まず、自然取引の延引となり減退せり。

鹹魚及乾魚　は鰆、鰤、鯖等を主とせるが、鰆の前年期漁が例年の三分の一と稱せらるゝ凶漁なりしを以て、自然相場昂騰、移入激減し、惹て之が仲繼輸出が、前年の千三百萬斤に對し僅々二十五萬斤に過ぎざりしと、更に五月以降に於ける排貨運動に災せられ、著減せり。

綿織物　は前年同期が排英復活直後にて、本邦品の出荷を制せられたるに、南支市場が前年下半期に於ける排日貨の爲め在荷減少せる折柄、動亂の小康を得て、反動的需要を促進し、一面上海方面不況を反映して、本島仲繼に依る南支仕向の増加と相俟て増進せり。

砂糖　は世界的増産に伴ひ、相場順月崩落せると、前年鈴木商店の破綻、糖價の不安に依る原料糖の買付減、並に當業者の合同整理に基く再製工場の減少に因由し、前期來再製事業の衰退となり、且つ末期上海市場の悪化に累せられ、著減せり。

鯣　は前年秋期漁が、當初の豫想に反し漁況豐ならず、自然相場昂騰せるを以て、移入を抑制し、更に排貨運動に累せられ、輸出著減せり。

樟腦　は近年の不況に鑑み、當局は前年來生産費の低減、販賣制度の改善等鋭意之が挽回に努力せる結果、前年下半期より漸次曙光を認むるに至り、本期に入り運賃の低下、爲替の安定と相俟て、益々好轉出増せり。

酒精　は原料糖蜜の増産に伴ひ、本年十七萬石の生産を豫想せられ、内地移出協定七萬石弱を除きては、之を海外に振向けられつゝあり。中北支方面に於ける軍需工業、又は南支に於ける南洋輸送向として需要を促進し、旁々處分的出荷

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を進めたれば自然相場低落し、數量の増加に反し價額に減少せり。

セメント　は全部淺野セメント高雄工場の生産に係り、島内土木事業の進捗と共に需要旺盛にして、輸出餘力を減殺しつゝある折柄、偶々本期央約一箇月に亘り同工場職工の罷業勃發し、其の生産激減せると、且つ排貨運動に遮られ著減せり。

輸入重要品前年對照表

品名	數量單位	三年上半期 數量	三年上半期 價額	二年上半期 數量	二年上半期 價額	增△減 數量	增△減 價額
米	斤	三三、六四九、〇六六	三、二三三、六九四	一六三、九七三、八一四	一三、六八三、六〇二	△一三〇、三二四、七四八	△一〇、四四九、九〇八
大豆油糟	斤	一六七、〇七三、二四五	七、六六八、七四五	一四八、〇五〇、六六二	六、六三九、六八八	一九、〇二二、五八三	一、〇二九、〇五七
硫酸アンモニウム	斤	五二、一九五、八七七	三、九四七、四四九	三四、二四六、一一六	二、六三九、五一〇	一七、九四九、七六一	一、三〇七、九三九
砂糖	斤	一三、六六〇、五〇四	一、三五一、七四九	二九、九五九、四九七	二、七九四、二一〇	△一六、二九八、九九三	△一、四四二、四六一
木材	立方尺	二、一一七、四三三	一、四四六、九六九	二、〇九七、七四九	一、四三一、〇六八	一九、六八四	一五、九〇一
大豆	斤	三〇、一〇一、六七一	一、八二一、五六六	二一、七九七、四七六	一、二七七、〇四六	八、三〇四、一九五	五四四、五二〇
ガンニー嚢	箇	二、三三六、九〇三	一、一九一、五〇四	一、九八六、〇八九	九六九、九一二	三五〇、八一四	二二一、五九二
燈油	ガロン	一、三二五、八一〇	五九二、八三七	一、五二七、七六九	六八四、七五七	△二〇一、九五九	△九一、九二〇
紙	斤	一六、〇四一、三二四	五九三、四四九	一六、八三〇、四五八	六四三、三九八	△七八九、二四四	△四九、九四九
小麥	斤	八、七九七、八九一	五九三、九六三	一〇、〇二二、八八四	六八六、〇八六	△一、三二四、九九三	△九二、一二三
葉煙草	斤	四三八、七二二	二七八、二一四	一、六四三、〇五八	六二一、六七五	△一、二〇四、三三六	△三四三、四六一
阿片	斤	一八、一四四	三四〇、三〇〇	一二、五〇〇	二一七、〇〇〇	五、六四四	一二三、三〇〇
鐵	斤	四、六九一、三五四	四〇三、八八一	三、五五四、四三五	三三六、六二〇	一、一三六、九一九	六七、二六一

包蓆	枚	二、八〇九、〇五〇	二五五、五四八	二、三〇〇、七四〇	二八〇、七六八	五〇八、三一〇	△二五、二二〇
原油及重油	ガロン	三、七二〇、九八四	四九四、八五〇	八三四、三一四	一六七、八三四	二、八八六、六七〇	三二七、〇一六
鹹魚	斤	三、四七九、三七四	二三三、二八五	一、二七五、七三五	九二、九五五	二、二〇三、六三九	一四〇、三三〇
其他諸品		—	六、〇七三、九六二	—	四、九八〇、七七八	—	一、〇九三、一八四
計		—	一九、一〇〇、八五五	—	二六、八〇六、九〇八	—	△七、七〇九、〇五一

米 は關貢、西貢、暹羅及支那米に屬し本島米の移出旺盛に連れ之が消費補充として輸入せらるゝ處なるが、前年本島米が六百九萬石てふ未曾有の豐收を告げたると、内地移出が別に述ぶるが如き事情にて頗る不振を極め、從て島内在荷相當豐富にして、外米輸入の餘地に乏しかりしと、更に三月以降に於ける制限令の影響と相俟て激減せり。

大豆油糟 は原料大豆の歐洲輸出益々旺盛にして生產減退し、加ふるに時局關係にて相場頗月昂騰を演ぜるも、島内需要方面は、近來の米價安、豆糟相場の前途不安に買進まず、徒に時機を失し商談不活潑なりしが、二期作植付增加、之が手當の切迫と、調合肥料の島内製造隆盛に誘はれ、末期に入り入荷殺到著增せり。尙最近に於ける養豚事業の盛況に連れ之が飼料としての需要增加も亦見遁すべからざる一因なりとす。

硫酸アムモニウム は農民施肥觀念の向上に從ひ、甘蔗作は固より稻作其の他にも推奬せられ、特に本期は豆糟高の反映として採算有利なりし關係上、益々其の需要範圍を擴大し、一方獨逸硫安が增產を背景として活躍自覺しきものあり。結局本期の入增を齎せり。

砂糖 は全部爪哇原料糖にして、輸出の項に於て述べたる如く、前年に於て糖價の前途不安、輸入商の破綻、並に島内當業者の合同に關聯せる再製工場の減少等に因由して之が買付減退せると、更に本期島内產糖は九百五十萬擔てふ未曾有の增產を示し、内外糖價は崩落相亞き、當業者は之が對策に腐心せる狀況なりしを以て、再製輸出の不振と相俟て入

貨著減せり。

木材 は福州杉材の主とせるは例年と異らず、近來人口の増殖に伴ふ家屋の増設改築、又は各種土木工事の繁盛に連れ之が需要益々増加を示し、内地移入材の増加、銀價の不利にも不拘、動亂小康を得て出材圓滑なりしと相俟て入増せり。

大豆 は産地滿洲の前年作柄が當初の豫想に反し平年作に了りたるにも不拘、本品の歐洲輸出益々旺盛を告げ、相場逐月昂進せり。然るに一方島内需要は、藤田豆粕會社が前年基隆より高雄に移轉して工場の擴張を圖り鋭意增産に努めつゝあると、一般食料原料としての需要又增進し、先高見越に依る思惑輸入と相俟て入增せるが、尙前年同期は財界動搖の影響に依る不振甚しかりしに對し一層差增を大にせり。

ガンニー嚢 は原料黄麻の影響を受けて相場强調を辿りしが、本期移出米の不振に米袋の入荷減退せりと雖、砂糖が未曾有の増産を告げたると、更に前年仕入時期を失して本期に繰越入荷せるもの多かりしと相俟て增加せり。

燈油 は内外産油の販路爭奪愈々激甚にして、特に前年下半期に於けるボルネオ油の活躍顯著なるものありしが、本期に入り市價の引締りと共に反動的減退を示し、且つ米國産油の限産、島内出油の增加も之が副因を爲し衰退せり。

麩 は養豚其の他飼畜事業の隆興と共に需要を促進しつゝあるが、本年島米移出不振の結果、糠の出廻增加せしと、中南部方面に於ては豆粕又は甘蔗葉を混用するもの增加せる等に主因し入減せり。

小麥 は主として海南製粉會社の製粉原料に屬し、米國市場が作柄不良を傳へられ暴騰せる一方、滿洲内地が孰れも豐收割安なりしと、且つ金融關係、便船關係等有利なるものありて、同方面に買進みたる爲め輸入に減退せり。

葉煙草 は支那葉を主とし米葉を從とせるの現狀なるが、當局が近年環境の情勢に鑑み、常に支那葉の在庫增加を圖れるも、本期より再び實需買の方針に變更せるため支那葉に著減し、米葉は兩切煙草の好況に惹かれ增加せるも、結局

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上記の事情にて退嬰せり。

阿片 は最近常に輸入手控へつゝありて、在庫薄の折柄恰も波斯阿片が豐收安値を示したるを以て、當局の補充買付稍大なりし爲め增加を招致せり。

鐵 は塊及錠並薬鐵を主とし、前者は鐵道部製糖會社、及島内製鐵工場に於ける各種鑄造事業の進展に因り、後者は酒精の增産、鳳梨罐詰事業の盛況に伴ひ、之が包裝材料として其の需要を促進入增せり。

包蓆 は烏龍茶及砂糖の包裝に充てつゝあるが、本期前者の不況に依り之が入荷減少せりと雖、後者の增産に伴ひ數量に增加せり。然りと雖相場が前年末來引續き漸落せるを以て價額は却て萎縮せり。

原油及重油 は殆んど全部重油にして、南部に於ける二、三製糖會社が、石炭に比し採算有利なる爲め動力裝置を變更使用せるもの多量を算せると、近海漁業の發達に伴ふ大型發動機船の增加に依り、益々之が需要を促進し、内外油の賣込競爭と相俟て著增せり。

鹹魚 は鰊を以て主とせるが、前年産地加奈陀の漁況順調にして、本期に亘り東洋方面への出貨增加せるに、内地本島共鰊の不漁を反映して市場强調なるに乘し、豐富なる上海在荷の轉輸入を促進したると、更にカムチヤツカ鰊の入津、支那太刀魚の進出に依り輸入を增額せり。

三、内地貿易

本期に於ける内地貿易は、前年同期に比し移出入共增加せる爲め、合計に於て千七百三十一萬二千圓(九分)を進展せり。即ち左の如し。

移出入品價額前年對照表

（單位圓）

	三年上半期	二年上半期	增△減
移出額	一三八、一二八、四四四	一二八、八七三、二七〇	九、二五五、一七四
移入額	六三、七三四、七四〇	五五、六七七、四二七	八、〇五七、三一三
計	二〇一、八六三、一八四	一八四、五五〇、六九七	一七、三一二、四八七
出超額	七四、三九三、七〇四	七三、一九五、八四三	一、一九七、八六一

左に移出入重要品の前年對照表を掲け順次之を概説すべし。

移出重要品前年對照表

品名	數量單位	三年上半期 數量	三年上半期 價額	二年上半期 數量	二年上半期 價額	增△減 數量	增△減 價額
砂糖	斤	八三〇、七八五、四八〇	一〇四、五三二、四一六	六三五、四八七、三一一	八八、五七九、七一一	一九五、二九八、一六九	一五、九五二、七〇五
米	斤	一四八、七七六、七五〇	一五、一四四、三七三	二〇五、三九九、九九七	二一、〇六二、二三四	△五六、六二三、二四七	△五、九一七、八六一
芭蕉實	斤	八六、七六三、七六〇	五、一五九、七一七	八四、八九八、四一九	五、〇九七、四七一	一、八六五、三四一	六二、二四六
酒精	升	三、六八四、三七〇	一、八〇一、六四〇	三、六三五、八五〇	一、九一二、〇六九	四八、五二〇	△一一〇、四二九
鳳梨罐詰	打	二〇一、五五二	六二〇、四七一	三四六、四八六	一、三五二、六三六	△一四四、九三四	△七三二、一六五
木材	立方尺	四八四、四七二	一、〇九八、五三三	六四三、二七六	一、四三三、三九八	△一五八、八〇四	△三三四、八六五
切乾藷	斤	一六、四九三、八三〇	五七七、三八六	二〇、二五六、一五〇	八二八、五四三	△三、七六二、三二〇	△二五一、一五七
樟腦油	斤	二、八九五、六九六	八五六、九二六	二、五七六、九五九	九七八、二二〇	三一八、七三七	△一二一、二九四

鰹節	斤	八四六、一〇〇	五〇七、三三一	四三三、六六四	三七一、五六八	四一二、四三六	一三五、七六三
鑛	斤	五三、七〇六、三九〇	八八一、三九八	五〇、四〇二、八八四	七二三、二九三	三、三〇三、五〇六	一五八、一〇五
石炭	噸	四九、六五七	六〇二、六二七	六七、四四九	七一六、八二七	△一七、七九二	△一一四、二〇〇
模造パナマ帽子	箇	一五、〇二一、八二〇	七三七、三六一	一一、一三一、二二〇	五〇一、二九〇	三、八九〇、六〇〇	二三六、〇七一
樟腦	斤	六三三、六九四	七六三、〇六五	三三七、八四二	五一四、六〇二	二九五、八五二	二四八、四六三
食鹽	斤	三七、〇二一、八七〇	三五〇、九九八	三九、九三三、〇七〇	三七〇、五五五	△二、九一一、二〇〇	△一九、五五七
其他諸品		—	四、四八五、三一二	—	四、四三〇、八五三	—	五四、四五九
計		—	一三八、一二八、四四四	—	一二八、八七三、二七〇	—	九、二五五、一七四

砂糖 は前年期產額が七百三十萬擔に過ぎざりしに、本年期は植付增加、品種の改善竝に天候の適順と相俟て前年に比し二百二十萬擔を增加し、九百五十萬擔と改隸以來の記錄を示したれば、糖價の不振にも不拘增產を背景として移出激增せり。

米 は前年來本島產米は六百九萬石てふ未曾有の豐收を告げ、移出力豐富なるものありと雖、内地が前年の豐作況を受け、更に外米、鮮米の輸移入增加市場を壓せるを以て、遂に政府は輸入制限令を施行せるの狀態なると、更に前年末に於ける不渡問題に基因して内地商の警戒頗る嚴重を極め、商況閑散を告げたる爲め、移出米も之を島内消費に充て、惹て輸入を控制せるの狀勢にして、前年同期は外米の更に朝鮮に移出せるもの多かりし事情に對比し一層著減を示せり。

芭蕉實 は前年夏季に於ける南部地方暴風の影響を以て、本期臺南、高雄兩州下の生產減退、且つ出廻遲延せる結果多少品質相場共に低下せるも、中部方面の好績と内地市場の順調なりしとに基き出增せり。

酒精 は原料糖蜜の增產に伴ひ、本年其の生產は十六萬九千石を豫想せられ、同業者間に於ける移出協定が六萬八千石に限定せられ居る結果、單に之が製造出廻の如何に依り多少の增減を示すに止まり、本期は其の量に稍增加せるも市價

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

崩落の爲め價額に減退せり。

鳳梨罐詰 は春物原料不足にて二、三製造家は操業中止せるものありたると、前年末に於ける在庫品の移出頗る旺盛を告げたる反動的に本期に於ける在荷拂底を告げ、更に檢査實施後に於ける不合格品の排除等移出力を減殺退嬰せり。

木材 は檜材を主とせるが内地市場が、前年來關稅引上見越に依る外材の輸入激增し、之が壓迫を受けて市況頗る鈍重を呈せると、山方出材が稍順調ならざるものあり、旁々移出鈍化せり。

切乾藷 は前年の安値累せられ本年期植付減少せるため、生産は前年に比し約三分の一減を豫想せられ、從て相場年初來漸昻を示せるも、尙高粱又は包米に比し割安なりしを以て商談活潑なりしが、六月に入り降雨に妨げられ出廻一時に激減せる爲め結局減縮せり。

樟腦油 は其の生産增加せると共に、内地需要が前年同期の財界變動の際に比し頗る好轉せるとに基き、其の量に增進せるが、價額は製品値下の結果減少せり。

鰹節 は本期漁況順調にして特に東海岸方面に於ける惣田鰹の頗る豐漁を告げ、從て製品出廻旺盛なりしと、更に前年の在庫品が、相場關係上本期に繰越移出せるもの多かりしと相俟て著增せり。

鑛 は臺北州下金瓜石鑛山の産出に係る金銅鑛にして、同鑛山が佐賀關久原鑛業所との賣約に基き出鑛に應じ移送するに止まり、本期の增加も單に採鑛並に船繰の順調に基けり。

石炭 は前に述べたる如く炭繰不良にして、粗惡炭の如きは本期二十萬噸の滯貨を算せる狀態にも不拘、優良炭が製糖、電力其他島内需要の增加に制せられ空しく退嬰せり。而して本品中本島仲繼に依る鴻基炭一萬八千噸（前年同期四千六百噸）を包含せるを以て眞の移出は殆んど半減するに至れり。

模造パナマ帽子 は殆んど全部神戸經由歐米に輸出せられ、從來紙帽を主とせるが、本年マニラ麻帽の大量注文あり、更にヴイスコース帽の需要復活し紙帽は之に押され商況稍々不振なるも、結局前二者の好調に主因出增せり。

樟腦 は其の大部は精製樟腦にして、神戸經由海外輸出に充てられつゝあり。近年人造樟腦の壓迫に依り商況不振を辿りしも、前年七月値下斷行以來再び好轉するに至り、當地工場の製品增加を背景として移出を促進せるが、尚本期再製樟腦約十二萬斤が內地市場在荷薄に依る應急手當として移出せられたると相俟て一層進展を示せり。

食鹽 は近年內地及朝鮮の豐收と、青島鹽又は關東州鹽の輸入增加に關聯して、內地移出協定が未だ決定に至らざると、更に對鮮協定も前年に比し五百萬斤を減ぜるの狀態に在りて、新規移出皆無なりしに基き減額せり。

移入重要品前年對照表

品名	數量單位	三年上半期 數量	三年上半期 價額	二年上半期 數量	二年上半期 價額	增△減 數量	增△減 價額
綿及絹織物		—	七,四〇九,八九〇	—	六,八〇四,五二八	—	六〇五,三六二
鐵	斤	四七,九七三,二二〇	四,六五二,三六四	三八,八三七,七五九	三,八七八,二四三	九,一三五,四六一	七七四,一二一
鹹乾魚	斤	一五,八四三,三四四	二,三七四,五八四	二七,四四四,七九五	三,一八二,七九五	△一一,六〇一,四五一	△九〇八,二一一
肥料	斤	五四,九二八,四〇六	二,二七〇,二五八	三八,五〇七,一四八	一,七七八,三七〇	一六,四二一,二五八	四九一,八八八
木材	立方尺	二,〇九八,〇九〇	二,二四〇,三五六	一,五二九,〇五三	一,七七三,二二四	五六九,〇三七	四六七,一三二
紙		—	一,六四五,五四六	—	一,四五九,九八〇	—	一八五,五六六
小麥粉	斤	一五,五二〇,五三三	一,七二一,九三五	一三,四一九,三二四	一,五五〇,三九五	二,一〇一,二〇九	一七一,五四〇
麥酒	打	四一七,五〇〇	二,〇八四,九四六	三二〇,一八六	一,六三一,八七三	九七,三一四	四五三,〇七三
紙卷煙草	千箇	四七〇,四六〇	一,〇九四,五七八	三九〇,〇六〇	九〇二,五六八	八〇,四〇〇	一九二,〇一〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鍋	斤	一、九〇七、四八七	八三六、一二〇	二、二四七、一八九	八八四、五五九	△三三九、七〇二	△四八、四三九
絲類		—	八二三、八八八	—	八二〇、一九四	—	三、六九四
清酒	打	七八、二六三	七四八、四〇三	七〇、八六九	六四八、一九〇	七、三九四	一〇〇、二一三
ガンニー袋	箇	一、三三六、一二〇	四六三、四六三	一、一五九、六五〇	四七八、八〇一	七六、四七〇	△一五、三三八
燐寸	哥	一、一三〇、三二〇	八一九、四九一	七八八、五七五	五七二、四七六	三四一、六四五	二四七、〇一五
麥	石	一六、三五八	二九七、五七四	一四、九五三	二九七、六八五	一、四〇五	△一一一
其他諸品		—	三四、三六〇、三三四	—	二九、〇二三、五四六	—	五、三三六、七八八
計		—	六三、七三四、七四〇	—	五五、六七七、四二七	—	八、〇五七、三一三

綿及絹織物 は內地生產元が、前年同期の財界混亂當時に比し生產順調波瀾に乏しく、從て取引圓滑なりしと、前年下半期移入不振に依る島內在荷薄、竝に對支仲繼輸出の好調に依り移入を促進し、殊に最近優美割安なる高級人絹布の需要增加著しきものあり、一層其の移入額を大にせり。

鐵材 は條、竿、レール板及筒管を主とし、下淡水溪、松山火力發電所、臺北、臺東其の他の水道工事、鐵道客車の改造復線工事の進捗、竝に石油、豆粕、製紙業の發展擴張に伴ひ需要增進せると、支那動亂竝に印度製鐵會社の罷業等先高見越に依る思惑を加へ移入激增せり。

鹹乾魚 は鯖、鰮、煎子、鰊を主とし、鯖の前年漁が非常の凶漁にして、本期移入は前年同期の千七百萬斤に對し僅に七十萬斤に過ぎざりしが、鰊及煎子が豐漁にして約四百萬斤を增加し、其の他概して好勢を示せるにも不拘、結局前者の非勢に牽かれ減縮せり。

肥料 は過燐酸、硫安、調合肥料を主とし米蔗作の增加、其の他施肥の合理化等、專ら之が向上指導の結果歲々之が

需要を增進しつゝあり。本期過燐酸は單肥又は調合肥料原料として、硫安は豆粕高を反映して、孰れも增進し、獨り調合肥料が島内製造の隆盛に押され衰退せりと雖、前二者の盛況に依り著增せり。

木材　は杉材及板を主とし、内地に於ては前年末來關稅引上見越に依る米材の思惑輸入益々旺盛にして市場の不況を誘引し、相場は前年同期に比し一割方の下値を辿れる一方、本島が家屋建設其の他土木事業の比較的好況なると、福州材との値開僅少なる等需要を促進し、半ば處分的入荷と相俟て增加せり。

紙　は印刷料紙、模造紙を主とし、内地に於ては内外市場の好勢に鑑み鋭意增産を圖りつゝあり、本島は諸學校の增設各種宣傳の流行、其の他文化の向上に伴ふて需要は增加止まらざるの狀況なれば、相場の割安を以て競爭的に移入を進め增加せり。

小麥粉　は米價安並に支那動亂に伴ふて内地市場大體不味に終始し、殊に五月生産協定の破棄に依り相場崩落せると、一方島内製品の出廻薄に乘し補充品の入荷、並に内地思惑筋が特に本島向製品を以て新に販路を開拓せるものありたるに因由著增せり。

麥酒　は内地の生産增加に連れ、之が販賣競爭逐日激甚を加へ、各種の方法を講じて之が賣込に努め、相場の割安と本島人方面嗜好の向上に主因增加せりと雖、尚本期二、三會社が特に早期移入を圖りたるも亦一要因たり。

紙卷煙草　は島民嗜好の向上に依り、刻煙草の需要衰退に反し、本品の賣行漸增の趨勢に鑑み、當局の本年度移入協定額引上られたる結果自然入增せり。

鯣　は輸出に於て述べたる如く、内地前年秋漁が當初の豫想に反し漁況不良にして、相場二月以降急騰を演じ、前年に比し五六圓方高値なりしは自然移入を抑制著縮せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

絲類　は紡績絲、毛絲、麻絲、人造絹絲等に属し、紡績絲が財界不況に依る島内機業の衰微に伴ひ減退せるも、毛絲及人造絹絲が家庭工業又は小機械業の發達に連れ割安なる關係と共に、需要を促進少増せり。

清酒　は前年同期恰も諒闇に際會し賣行不振、且つ一昨年持越の豊富に押され入荷手控へたるも、本期は諒闇明と天候關係にて賣行良好を示し、當局の購入契約高の引上に因り入増せり。

ガンニー嚢　は新、故に區分せられ前者は主として米袋に属し移出米の不振に伴ふて減退せるも、後者が原料糖並に乾薯の包装に愛用せられ、殊に砂糖の出増に因由し入増せるが、故物が新物に對し約二倍の多数を占めたる結果其の價額は却て減退せり。

燐寸　は前年九月内地に於て同業者の合同に依り其の九割を獨占することゝなり、爾來相場昂騰の一途を示したれば、群小製造家は此の機に乘し割安雜牌の賣込に狂奔し、金融關係と相俟て多大の入荷を遂げたり。

麥　は小麥を主とし、海南製粉會社が近來操業其の他の事情より原料を内地及滿洲方面に仰ぐもの増加せる爲め、之が原料の入増と、更に島内醬油製造業の發展と相俟て其の量を増加せり然りと、雖價額は豊作を反映減退せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

川村總督初巡視

川村總督は八月一日午後九時二十八分臺北驛發夜行列車により二日午前七時四十五分高雄著、州廳、中學、高女を巡視、同地發九時二十八分にて屏東著、郡役所、阿緱神社、臺糖工場、飛行聯隊を視察し、高雄に引返し港内を巡視、高雄鳳梨罐詰工場を訪れ、同夜は官民合同招待會に臨んだ。

三日午前九時十分高雄發、臺南著十時十五分。臺南神社に參拜し、州廳、法院、高商を經、安平城趾を訪れ、歸途養殖試驗場に立寄り、赤崁樓を遠望し、孔子廟に赴き、第一高女を經開山神社に參拜し、臺南師範、第二聯隊、第二中學盲啞學校を視察した。

四日は午前九時十三分發にて、同十時五分番子田驛著、同三十五分烏山頭著。展望所に赴き、大圳事業を熱心に研究し、午後二時十五分著の臨時列車にて嘉義に到著、嘉義神社に正式參拜し、郡役所に小憩の後營林所製材工場、林業農事試驗場を視察し、ホテルに入つた。

五日午前七時五十五分發雨中を阿里山に向ひ、十字路に蕃人を引見し午後三時十分俱樂部に入つた。

六日は午前中眠月方面に於て營林所の諸事業を視察したが第六十四號隧道故障、其他橋梁危險なる爲め、下山を中止し、七日午前九時五十分發五十五號トンネル東側にて轎により徒步連絡をなし、十字路より、再び車上の人となり午後四時四十五分北門驛著無事嘉義ホテル入つた。

八日午前六時五十四分嘉義發、日月潭に向ひ、午後一時涵碧樓の高臺の見はらしのよい所にて工事概況を聽取し、二水發午後六時十分、臺中著七時四十五分にて知事官邸に入つた。

九日午前七時五分臺中神社に參拜、州廳、高女、法院、師範、專賣局支局、臺中芭蕉檢査所、臺中農業倉庫、第一中學を巡視し、公會堂に茶話會を開き、午前十一時十六分同驛發、午後二時四十五分新竹驛著、神社に正式參拜し、州廳に至り、公園を一周し中學及女學校を遠望して、公會堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の茶話會に臨み、四時三十三分發にて歸府した。

ゾルフ大使來臺

駐日獨逸大使ゾルフ大使は八月九日來臺、十日は臺北郊外を視察、十一日角板山、十二日臺中著、十三日臺中市内を巡視し、臺南を訪れ、十四日は同地發前安平を視察し、高雄著後港内市内を巡視し、十五日は嘉義にて製材工場其他を視察、十六日阿里山に登り、十七日下山、急行にて十八日午前六時半臺北著、市内を巡視し、十九日北投草山方面に遊び二十日離臺した。

河原田長官蒞任

新總務長官河原田稼吉氏は七月二十六日蒞任した。

長官挨拶

私は此度命を拜して總務長官に就任致しましたが偶々國際勞働會議に列席の爲ジュネーブに出張して居ましたので漸く昨日著任した次第であります。本日諸君と一堂に相見ゆるを得ますのは私の最も欣快とする所であります。

私は本年二月内務省の用務を帶びて本島に參り約一週間滯在して一部を視察しました外本島に關する知識を多く持つて居ませんので是れより努めて研究したいと思つて居ます。諸君の調査研究の結果や經驗御意見等を御伺ひする積りで有ります。總督輔佐の責任を有する私は川村總督閣下の蒞任當初の御訓示に擧げられたる施政の大綱に據り之を組織的に又部分的に過誤なく且つ迅速に其實現に努め之が成果を收むることに專念したいと思つて居ます。特に諸君の忠誠なる御盡力と御援助とを希望致します。申す迄もありませんが公務を執掌するに當りましては事の大小輕重地位の高下を論せず常に公人たるの重責を自覺し德操を根抵に置き公明正大嚴正なると共に親切を旨とすべきものと思ひます。又克く秩序と規律とを重し而かも其の間藹々たる和氣を以て各機關竝に官民間の連絡を圓滑迅速ならしめ以て能率の增進を圖るのが執務上の第一義と信じます。

諸君と共に此精神を以て一層努力したいと思ひます。顧みれば本島改隷以來三十有餘年諸般の施設著々として整ひ文化向上にも亦產業上にも全く其の面目を一新したのであります。乍然總督閣下の訓示にも有ります通り未開發の資源尚頗る多く又時勢の進運に伴ひ改善新設を要するものも尠くないのであります。私は諸君と共に總督の訓示の精神に鑑み日新の研究と不斷の努力とを以て有終の美を濟さし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

め度いと思ひます。將來何卒宜敷御援助あらんことを御願ひ致します。

＝七月二十七日於總督府＝

高木氏の歡迎辭

河原田長官閣下は本年帝國政府代表としてジュネヴに於ける萬國勞働會議に列席せられ出張中臺灣總督府總務長官に簡拔せられ行李匆々歸朝長途の勞を醫する遑なく昨日を以て本島に蒞任せられ本日茲に官民相集りて歡迎會を催すに當り閣下の賁臨を辱ふしたるは吾人の最も欣幸とする所なり。

閣下は明治四十二年東京帝國大學を卒業し或は福島縣事務官、福岡縣理事官に或は熊本、長崎各縣警察部長に或は内務省書記官に歷任し川村總督が警保局長時代に同局警務課長として敏腕を振ひ頗る令名あり。社會局の創設せらるゝに及び入りて同局第一部長となり更に官制改正に依り勞働部長となり多年本邦に於て社會政策及勞働問題の樞機に關與せられ世界の大勢に精通し特に勞働者の生活改善に最も理解ある我國勞働立法上の權威者として夙に中外に認識する所なり。而してジュネヴに於ける國際勞働會議の日本政府代表として大正八年及大正十三年同地に特派せられ更に本年の同會議に列席し以て國家重要の一大任務を果されたり。又本年ジュネヴに出發前本島の産業及勞働問題等を親しく視察せられたるのみならず各方面に好印象を遺されたるは吾人の記憶に新なる所なり。

今や昭和の新聖代に方り聲望輝々たる新總督を迎へ本島の文物頓に生彩を加へ將新興の機運躍動せんとするに際し更に理智明敏なる總務長官閣下を迎へ得たるは本島住民一同の慶福とする所にして吾人の欣快何物にか之にしかんや。節恰も盛暑冀くは加養自重總督を補佐して本島統治の上に一新生面を開き益々風化を敦厚ならしめ島民の福祉を增進せしめ國家の進運に獻替せられんこと切望の至に堪へず。官民一同を代表して蕪辭を陳べ謹て歡迎の意を表す。

長官の挨拶

閣下竝諸君私は此の度總務長官たるの命を拜し總督を補佐することゝ爲りましたのでジュネヴの出張先から歸朝早々東京を離れ昨日着任致しました所全島官民竝領事團の方々は早速斯くも盛なる歡迎會を催し下さいますことは身に取りまして分外の光榮で實に感謝の至で御座います。又到着の際は暑中態々停車場まで御足勞を辱うし有り難く存じ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ます。此の席に御出の御方が大部分であつたらうと察しますので序ながら厚く御禮を申上げます。

私は臺灣に關して是と申す程の豫備知識を有しませんので今後漸次諸君の御指導を受け又自身にも充分研究致し任務を全うしたいと思ひます。本島は多年の統治經營其宜しきを得ました爲列國の植民地に比較すると燦然たる異彩を放て居ります。是は日本の領土が三十餘年前南方に向て延長されたもので統治的精神が列强の植民地に對するものとは全然異り一視同仁の聖旨を奉戴して萬事に當りまする爲斯くも長足の進歩を遂げたに相違無いと信じます。由來文化事業就中産業の如きは何れの地に於きましても相當に向上發展せしめ得らるゝ餘地があります。特に天惠地利兩つながらの施設を待つもの多き本島に於ては猶爲すべき事が少からず遺されてあると存じます。私は總督を補佐しまして是等遺された事柄を調査研究し一面には敎育に頼て國民精神の涵養に勉め漸を逐て國利を興し民福を增すべく努力したいと思ひます。斯の目的を達するには一に官民の融和結合の力に俟たねばなりません。閣下並諸君何卒充分の御援助を賜はらんことを切望する次第で御座います。終に臨み更めて今日の御厚意を感謝し併せて御一同の御健康を禱ります。

＝七月二十七日官民合同歡迎會席上＝

軍司令官更迭

八月十日發令の陸軍定期大異動により左の如く臺灣軍司令官の更迭があつた。

臺灣軍司令官
陸軍中將　田中國重
任陸軍大將
補軍事參議官

第四師團長
陸軍中將　菱刈隆
補臺灣軍司令官

尚同時に澎湖島要塞司令官更迭を左の如く發表された。

澎湖島要塞司令官少將
荒城卓爾
待命被仰付

少將　作田德次
補澎湖島要塞司令官

第六回低資貸付決定

第六回低利資金として曩に二百萬圓を囘附されたるにつきその割當額決定に關し大藏省と種々協議を遂げた結果、內務局所管十二件七十二萬圓、文敎局所管十二件百十五萬五千

殖圓、産局所管六件九萬五千圓、財務局所管一件三萬圓と決し尙ほ之れが事業主體につき區分すれば左の如し。

建築資金　十二件金百十萬五千圓
公設質舖資金　一件金五萬圓
水利組合資金　八件金四十一萬圓
水道資金　五件金三十一萬圓
產業組合事業資金　六件金九萬圓
農會事業資金　一件金三萬五千圓

外米輸入制限期延長

外米輸入制限の期間延長に關する勅令案は八月一日の閣議に於て決定を見上奏御裁可を經たので四月付官報を以つて左の如く公布卽日施行さるゝことゝなつた。

昭和三年勅令第二十二號中米及び籾の輸入は昭和三年八月三十一日迄は內地に於ては農林大臣朝鮮に於ては朝鮮總督臺灣に於ては臺灣總督の許可を得るに非されは之を爲すことを得すとある八月三十一日を十二月三十一日に改む。

附則

本令は公布の日より之を施行す。

保安課事務移管

思想事務官が警務局保安課に增置され思想に關する事項が增加するので規定を改正し、從來同課所管の左記を警務課に移すことになり八月二十二日府報で公布された。

一、保甲に關する事項
一、戶口に關する事項
一、團體費用徵收及寄附募集に關する事項
一、犯罪卽決に關する事項
一、受刑者刑事被告人被疑者及留置人護送に關する事項
一、司法警察に關する事項
前各號の外他課の主管に屬せざる警察に關する事項

本島畜產現勢

本島における家畜の飼育は年々盛んとなり、世界有數の畜產國としての誇りを今尙ほ維持してゐるが、總督府當局の調査によれば、昭和二年末の家畜總數は、牛が三十八萬五千六百二十九頭で、前年に比し四千四百七十頭を增加し、豚は百六十四萬二千五百六十一頭で、前年より九萬九千七百三十二頭の增加であり、緬羊は四百七十一頭で、前年に比し三十四頭の增、山羊は八萬六千五百四十一頭で、前年より二千五百九十八頭の減少を示し、鹿は九百八頭で、前年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に比し三十八頭の增、馬は二百十六頭で、前年に比し八頭の減である。本年の家畜調査によつて最も注意すべきは、從來減少の一方を辿つてゐた牛が著しく增加したことである。殊に臺中州下の如きは減る一方で、他から購入してゐたので農耕上に重大な影響を及ぼしはしないかと憂慮されてゐたが、昨年は從來と全く異つた現象を現はし、一千頭からの大增產で、減るどころか却つて之が處分に困るといふ狀態である。又豚は經濟的飼育法として總督府がバークシャー種の奬勵をなしてゐる結果、バークシャー種が前年に比し一躍六千七十四頭を增加し、バークシャー種と在來種との雜種豚が前年よりも十五萬一千六百四十八頭の大繁殖をなし、之に反して、在來豚(本島豚)は五萬七千九百九十頭を減じてゐる。尙ほ之が內容を前年と比較すれば次の通りである。

種別	昭和二年	前年に比し增△(減)
水牛	二九二、八九八	三、九〇三
黃牛	八七、四三八	△ 二
印度牛	三八〇	△ 八七
洋牛	一三七	三六
雜種牛	四、七七六	五二〇
計	三八五、六二九	四、四七〇
本島豚	一、〇八一、七九九	△ 五七、九九〇
洋豚	一〇、八〇八	六、〇七四
雜種豚	五四九、九五四	一五一、六四八
計	一、六四二、五六一	九九、七三二
緬洋	四七一	三四
山羊	八六、五四一	△ 二、五九八
鹿	九〇八	三八
馬	二一六	△ 八

左のうち馬は全部民間のもので軍馬は一頭も含まれてゐない。

南部豪雨 新記錄

本島は本年に入り未だ一回も暴風の襲來がない代りに、近海には頻繁に小低氣壓發生し、之が爲め八月初以來全島一般に豪雨あり、殊に南部方面殊に雨量多く、去九日一旦歇みしも間もなく又降り出し、十六日に至つて漸く霽れ上つたが、十七日に至り又もや北部地方に強雨を齎らすに至つた。何分今回の豪雨は糖業の中心地たる南部卽臺南、高雄州下に稀有の雨量を齎らしたるのみならず、中部方面にあつても浸水久しきに亘り、二期作の青田に相當被害を與へその植替をやつてゐるところさへあり、さなきだに內地の天候續れで期米の步調頑健なるところへ、島內の天候亦不

良なる爲め、北部中部の籾摺業者其他の產地は殆んど總強氣となり、盛に正米市場を買進むので、米價は十七日に至つて更に一段の高値を演出するに至つた。試に南部方面の雨量を見るに臺南方面に於ては本月二日より八月迄に五百六十六粍、九日より十六日迄に四百四十五粍合計一千十一粍に達した。高雄州下の屏東東港等は臺南より尙幾分多い模樣である。臺南に於ける明治三十年以降の年平均雨量は一千六百七十八粍であるから、恰度半月の間に一年分の六割降つたわけである。之を一坪面に換算すると實に十八石五斗二升の巨量に上る。

臺南に於ける本年一月以降の雨量を平年と對照するに
（單位ミリメートル、一ミリメーリルは一升八合三勺二才）

	臺南本年の雨量	明治三十年以來の平均雨量
一月	一四・四	二三・四
二月	〇・二	三九・六
三月	三〇・三	四一・三
四月	一〇〇・六	六四・一
五月	九二・四	一八五・五
六月	六四〇・〇	三三九・九
七月	四四・九	三二六・七
八月（本年十六日迄）	一、〇一一・〇	四二一・五
小計	一、九三三・八	一、〇二〇・五
九月	—	一六五・九
十月	—	三六・八
十一月	—	一八・七
十二月	—	一四・八
總計	—	一、六七八・二

即ち本年は例年に比し、六月と八月の雨量が圖拔けて多く、五月と七月とは例年より遙に少かつた。而して八月十六日迄の雨量は一千九百三十三粍八にして、臺南の年平均雨量一千六百七十八粍二を越すこと二百五十五粍八に及んでゐる。臺南に於ける雨量の最多は大正九年の二千七百三十二粍七にして、之に次では明治三十六年の二千五百七十九粍一、大正十二年の二千二百十七粍、明治四十四年の二千〇七粍であるが、月量の最多は明治三十六年八月の一千二百二十五粍九を最高記錄とし、之に次では明治三十九年七月の九百三十六粍一、大正九年九月の八百三十粍一、同十一年八月の八百二十二粍七、大正元年六月の七百九十四粍七、明治四十四年八月の七百五十六粍一、大正四年八月の七百五十一粍八等の記錄がある。臺南に於て一年中最も雨量の多いのは八月で、測候所開設以來の平均四百二十一粍五となつて居るが、之は暴風の發生頻繁な月で暴風に伴ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豪雨や驟雨が多い爲めである。本年八月の雨量は十六日迄の累計ではまだ明治三十六年八月の最高記錄に達してゐないが、僅々半月にして一千粍を突破したことは、正に一大記錄を作つたものといふべく、甘蔗作及二期作を始め一般農作物には直接間接多少の被害を免れなからうと大に懸念されてゐる。

柑橘打合會議

殖産局では、澎湖廳を除く各州廳の勸業課長及び主任者を招集し、八月十日、十一日、十二日の三日間に亘り柑橘打合會議を開き、各州の奬勵方針を聽取した上之に基き奬勵金を交付する事となつたが其諮問事項は左の通りであつた。

（諮問事項）

一、各州廳下柑橘栽培の現況
二、柑橘類の奬勵品種
三、將來の適地面積
四、柑橘奬勵事業の現況並に將來の計畫
五、貯藏輸送販路擴張の現狀
六、柑苗養成狀況

尙ほ此外會中、新竹に對しては左記事項を聽取した。

一、最近三箇年間州下移出柑橘數量
二、州下の主なる移出柑橘取扱商人
三、其他柑橘移出檢査に關し參考となるべき資料

不合格米移出

本年第一期米は、久しきに亘る降雨で冷氣であつたところへ、恰も出穗期に當り、天候回復して強烈に照り附けたので蓬萊種在來種を通じて穗首稻熱病に罹つたもの多く、此結果、死米其他混入し、米の品質からすれば餘り良好な出來榮えではなかつた。ソレで移出米の檢査に當つては、不合格米續出し、當業者側では米穀檢査が餘りに嚴重過ぎるとの非難各地に起り、之が緩和を希望してゐるけれど、米穀檢査の立場から見るときは、檢査は何處までも嚴正公平でなければならぬので、檢査上の手加減などは行はるべきものでなく、總督府當局では、民間當業者の希望もあり、不合格米を其儘に放任すべきものでもないので、愼重審議の結果、不合格米の內地移出を許可することに決定し、既に總督の決裁を經て八月二日これを一般に告示したが、不合格米は甲乙の二種に分たれ、移出の許可期間は、八月末から十月末までの二箇月間とし、一昨年總督府が執つた政策と同樣にするもので、農林省をはじめ、內地の關係筋に對しても、二日不合格米の移出を許可した旨の電報を總督

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府から發表した。右の結果、不合格米がどの位移出されるかは全然未知數で、米價が現在若くは、現在より安くなれば、其移出も大したことはないが、米價がいくらか騰れば、當然不合格米の移出も相當多いものと觀測されてゐる。

北海道上海臺灣三角航路

川崎汽船では、大正十四年四月、臺灣産業關係、及び北海道各地の商業會議所等の熱烈なる期待と後援の下に、臺北に出張所を設け、高雄丸、吳淞丸（五千噸級）二隻を配船し、年十六航海の定期を踏み、往航は根室、釧路、室蘭、函館、上海、基隆、高雄に寄港し、復航は高雄、基隆、名古屋、橫濱、小樽に寄港して、極力兩地の物資を交換の使命に努力して來たが、昨年四月の財界大動搖の飛沫を受けたのと更に今回上海に於ける日貨排斥等の爲めに非常な影響を受け、二三航海中止するの止むなき事情となつてゐたが、今回之を復活して、八月から從前通り同航路を開始する事となつた。此間同社として受けた苦痛は一通りではなかつた。毎年相當數量の移出をして、蓬萊米の如きも、配船のない爲めに引合も無い狀態である、該航路は米青果のダンピングと鹽魚の移入に努力してゐる事は相當認められてゐる。

本島內地鐵道統計比較

昭和二年度末に於ける本島鐵道の營業統計要覽によると、本島鐵道と內地省線との比較を見るに、一平方里當り營業哩は〇、二三哩に對する〇、三二哩で、非常に少ないが、之が人口一人當り乘車回數を見るとき、五、〇九回に對して一二、三二回で、本島では內地の半分以下しか乘車しないことになつてゐる。更に一日一哩平均に於ける鐵道收入を見るに本島では九六、九一圓であるに對し、內地は一六七、四九圓で、僅に六分にしか當つてゐない。次に最も興味のあるのは各驛の收入であるが、客貨併せて基隆は何んと云つても本島の門戶であるだけに筆頭で一、八六八、八三一圓、之を內地に比するときは、兵庫、靜岡、金澤の所であり、高雄は本島南門であるだけに第二位を占め一、六七八、二三五圓で濱松、岐阜、久留米所で、島都の臺北は第三位で一、五〇三、四〇〇圓で、旭川、熊本、熱田、第四位は臺中の一、〇五六、九八二圓で、橫須賀、飯田町、佐世保、第五位の嘉義は八十萬圓臺で、高崎、福山、福島、第六位臺南は七十萬圓臺で、川端、能代、中野、第七位彰化は五十萬圓で、松江、八王子、和歌山、第八位は新竹四十萬圓臺で、浦和、米澤、倉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

數、第九位、屏東は三十萬圓臺で、八代、根室、岩國等と略同收入を示してゐる。更に之を客貨別に見るときは多少の相異が出てくるけれども基隆臺北等には變りなく、唯屏東の旅客が著しく增加してゐるのが目立つのみである。

上半期全國人口調

內閣統計局發表、昭和三年上半期に於ける人口自然增加は、三十七萬六千九百七人で、之を昨年同期の三十九萬三千二百四十二人に比し、一萬六千三百三十五人を減少した。之は出生の減少、死亡の增加に依るものであるが、就中出生の減少が特に著るしい。卽ち出生死亡は次の如し。

(出生) 昭和三年上半期出生は七十萬六千五百九十六で昨年同期の出生七十二萬二千百七十八に比し一萬四千五百八十二を減少した。

(死亡) 昭和三年上半期死亡は三十二萬九千六百八十九で昨年同期の死亡三十二萬七千九百三十六に比し千七百五十三を增加した。

上半期本島茶況

一、包種茶

本春の包種茶市場開始と同樣に四月下旬より製茶の出廻を見たるも、恰も雨天連續に當り氣溫冷卻の爲め發育不良を以て、一番茶は例年に比し約二割方に減收を來した。而して二番茶の摘採に際し天候の恢復に連れ製茶の品質頗る優秀となり、產量も著しき增收を告げ、殊に烏龍茶の不味を以て包種茶に製造替されたるもの亦た相當の數量に達し居つた爲め市場に於ける包種茶は常に輻輳の現象を呈するに至り、隨て昨年の暮より本春に亘り品薄を告げたる爪哇行の茶商は市場開始早々より粗製茶の買付に努め、茶商の大多數は昨年度より一割乃至二割の買入增加となつた。唯新嘉坡、「シャム」、安南行の茶商に日貨排斥の關係に因り多少其の手控ありたるも、取引當初は未だ日貨排斥の風潮澎湃せざるに因り各茶商は一齊買入進んだ結果、粗製茶の取引相場は昨年に比し約一割强の好値を約一箇月間持續したるも、其後日貨排斥の餘波を受け漸次低落の氣勢を辿り、殊に中等品以下は最も下押された。

因て本年度六月迄の包種茶の各仕向地に輸出したる數量を前年度と比較對照せば左の如し。

仕向地	本年六月迄	昨年六月迄
馬尼剌	三、六三六	三、二一〇
新嘉坡	五、二七九	一二、九〇六
盤谷	三一、一三二	二三、八四一
三寶壟	五五、五一六	二三、〇一七
井里汶	三一、〇三〇	二七、九九一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濠里末	四、五八二	四、七四一
加納巴	三、〇三五	三、八四一
厦門	—	一、四〇七
汕頭	—	—
香港	六五七	五二七
沖繩	六六九	五六九
其他	二二、二〇七	一八、三一七
合計	一五八、三九四	一五〇、二〇八

一、烏龍茶

本春は亞米利加及び英國市場に於ける紅茶の在貨停頓と、紅茶の原産地たる印度錫蘭の産茶額年々增加の趨勢にあるを以て、漸く世界的製茶の供給過剩を呈出せんとする秋に當り、臺灣烏龍茶も其の影響を受け、標準茶は最近に至り十六仙まで慘落して、是れが爲め輸出茶商は消費市場の現況に鑑み孰れも傍觀の態度を取り容易に買入を著手せず、市は常に沈靜勝にて僅かに一二洋館に於て多少の買付を試みた。從て本年の春茶は殆んど無爲に過して六月に入り、夏茶の出廻りと共に市場の景氣は幾分展開せんと期待さるゝも、是れ亦た從前の通り寂寞を繼續して其の前途頗る懸念され、玆に山方は臨機應變の處置を取り、夏茶の一部を包種茶に製造替して其の難局を彌縫して居る樣である。

昨年度本島水產業狀況

殖產局に於て調査せる本島水產界の消長を見るに、昭和二年中の總水產高一千七百二萬九千七百八圓、內漁獲高一千八十二萬二千百十九圓、製造高二百五十萬四千二百四十四圓養殖高三百七十萬三千三百四十五圓で、之を其の前年總高一千六百三十七萬四千六百八圓に比較すれば、六十五萬五千百圓の增加である、其の內譯の增減を見るに、漁獲高五十九萬六千四百二十七圓を增したるも、製造高に於て三十一萬八千三百七十四圓を減じ、養殖高は三十七萬七千四十七圓を增加した。而して昭和二年中の本島水產業者は左の如し。

漁業及採藻	一二七、二三六人	イ 四、九五三	ロ 四七四	
養殖及び養蠣	五〇、六九七	イ 六六	ロ 二八七	
水產物製造	四、六〇一	イ 六六六	ロ 一九八	ハ 四

「專業者兼業者を加算＝イ印は內地人＝ロ印は漁業、養殖、製造の一つ又は二つを兼ぬるもの」

にして、同年中の漁船は、機關船五百六十一隻、木造船四

千五十一隻、竹筏六千四百七十三隻で、昭和元年に比し機關船十六隻、木造船一百五十七隻を增加したけれど、竹筏は百九十二隻の減少を示してゐる。而して養殖場の面積は

	場數	面積
虱目魚	一、六六五	七、二八七・四四甲
牡蠣	一、六一四	三、三一二・二三
其他	八、二六八	一六、九九九・四七
計	一一、五四七	二七、五九九・一四

にして、之を其の前年に比較すれば、總場數に於て二百二十四箇所、面積に於て一千百二十四甲四分の何れも增加した。而して州廳別養殖高前年對照を示せば

州廳別	昭和元年	昭和二年
臺北	二二、七〇〇円	二三、八四八円
新竹	八四、四三九	八九、八九八
臺中	二二四、八五四	三四八、七八一
臺南	二、二三五、八九二	二、三九四、七八四
高雄	六五七、一一三	八四三、九六一
花蓮港	六八〇	一、四一〇
臺東	六二〇	六四〇
澎湖	—	二一
計	三、三二六、二九八	三、七〇三、三四五

漁獲高を州廳別に區分せば

	昭和二年	昭和元年
臺北	五、四五七、一〇〇円	五、二二六、九九二円
新竹	三五六、一六六	三三六、二七四
臺中	一七七、八六五	一六三、七七七
臺南	四五二、一八三	三九一、七九三
高雄	三、四九三、〇二〇	三、二六三、六八一
花蓮港	一五二、二五四	一七七、三一三
臺東	一六二、六三一	一四九、〇八四
澎湖	五六〇、九三〇	五一六、七三八
計	一〇、八二二、一一九	一〇、二二五、六九三

尚ほ水產製造高を州廳別に示せば左の如くである

	昭和二年	昭和元年
臺北	一、五三七、三〇八円	二、〇一六、九一四円
新竹	一八、五一七	二二、〇五〇
臺中	一五、二五八	二九、〇三五
臺南	七二、八二〇	五一、五三一
高雄	三七、二九〇	三一七、五九〇
花蓮港	一四四、六二四	一六五、四〇五
臺東	一九〇、六〇〇	八五、一八三
澎湖	一二九、八二七	一三四、九一〇
計	二、五〇四、二四四	二、八二二、六一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昨年果實類產額

本島における園藝植物の栽培は年を逐うて盛んとなり、其の果實の收穫高も從つて年々增産を示してゐるが、總督府當局の調査によれば、昭和二年中の果實類の收穫高及び價格は左の通りで、價格一千五十四萬四千三百六十二圓に達し昭和元年の九百九十九萬九千二百三十圓に比し、五十四萬五千百三十二圓の增加を示した。前年に比し價格の著しく增加したものは龍眼で、三十三萬四千七十八圓を增してゐるが、之は非常な豐年で、千六百四十六萬五千三百十九斤からの增産を示した結果である。次は鳳梨の十五萬九千八十二圓でこれも四百八十五萬九千六百二十六斤からの增産による。又青果物中最も大をなすバナナは前年に比して四萬八千六百三十圓の增加を示した。數量は前年よりも五千四百六萬八千二百四十一斤の減産を示したに拘らず、斯く價格の增加を示したのは、出荷制限により、前年の單價百斤當り二圓三十錢であつたものが、二年は二圓八十八錢に騰貴したのによるものである。

種別	數量	價格
雪柑	一、二四六、四六六斤	五二、五六六圓
椪柑	一一、七九八、三七五	九〇七、七七二
桶柑	九、六一五、〇五八	四三九、〇一七
文旦	一、五八八、四三九	九〇、五〇六
斗柚	三、一四六、三九一	一一、八〇六
白柚	三六六、五五九	一四、六四三
其の他	八四三、四二〇	四一、九〇五
計	二八、六〇四、七〇八	一、六五八、二一五
龍眼	二四、三四七、七二四	七六四、九八四
柿	二、四七〇、四五六	八三、五三二
檨仔	五、一三九、九二七	一五九、九〇五
李	七、九三九、七六一	一六九、〇四五
桃	八二四、二六八	四四、九一一
芎蕉	二二三、九〇二、四六〇	六、四四〇、四一一
鳳梨	二〇、九一二、〇八五	九四〇、五八〇
檳榔	五、三八八、八三九	二〇九、六八九
木瓜	二、六五七、六八七	七三、〇八九
計	二九三、五八三、二〇七	八、八八六、一四七
累計	三二二、一八七、九一五	一〇、五四四、三六二

病害蟲講習會

病害蟲驅除豫防に關しては、各州廳に害蟲事務主任及害蟲巡視員等を置いて之が驅除豫防を行つて居るが、之が事務統一の爲め講習會開催の必要を認め、八月二十日午前八時半から臺北市富田町農林專門部學校講堂に於て發會式を舉げた。殖産局から鈴木技師其他の係員澤田、一色、井芹の諸講師臨席

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、殖産局長代理として鈴木技師は左の訓示をなしたが、講習生は聽講生四十六人、傍聽生九人計四十五人で毎日午前八時から午後五時まで十日間開催さるゝ筈である。科目及講師左の如し。

一、柑橘其の他園藝作物に於ける害蟲驅除豫防事項
　一色技師　高橋技手
二、稻其他作物に於ける害蟲驅除豫防事項
　楚南技手
三、害蟲豫除劑の調製及昆蟲標本製作
　楚南技手　福田雁
四、甘蔗病害蟲驅除豫防事項
　三宅技師　森次技手
五、柑橘其の他園藝作物に於ける病害蟲驅除豫防事項
　黑澤技手
六、稻其の他作物に於ける病害蟲驅除豫防事項
　澤田技手
七、殺菌劑調製及病害標本製作
　澤田技手　黑澤技手
八、植物檢査に關する事項
　三宅技師　稻村技手
九、害蟲驅除豫防法取扱事項
　鈴木技師　井芹技師

農業上天惠を享有する本島は又病菌害蟲の跳梁を擅にし從つて其害を蒙ること甚大である。最近本島に於ける農産物の年産額は約三億圓にして假に現在其の一割五分は病菌害蟲の侵す所によつて失はるゝものとせば實に四千五百萬圓となる。今若し之が防除によりて其被害の半を償ひ得たりとせば新たに本島農産に二千二百餘萬圓の遺利を加ふるものである。由是觀之病菌害蟲の驅除豫防が農家の福利に將又本島の經濟に係はる所頗る大である。抑も病蟲害防除の徹底を期する方策種々ありと雖も農家自體の自覺を促すを以つて根本義とする。而して之がため農民の指導誘掖の衝に當るものの技術は頗る確實でなければならぬ。殊に人文低度の本島に於て其然るを痛感するのである。今回諸君を參集せしめ講習會を開催せし本府の意圖も即ち玆に存するのである。故に諸君は此機會に於て充分智識の向上、技術の習熟を圖り更に地方的の研究と調査を重ね諸般農産の改良増殖施設と相竝行して病害蟲防除の實績を擧ぐるに努めなければならぬ。常に諸君は夏期の炎熱に屈せず强烈なる季節風に堪へ朝夕田園の間を馳驅し未だ自覺乏しき農民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と接觸し其勞苦や實に察するに餘りあり。然りと雖も諸君の職務は本島産業增殖上極めて重要なる位置を占むるのみならず。本島經濟界の發展及び我國民の食糧問題等に至大の關係がある。宜しく其重責を自覺し研鑽よく務め益々國利民福を增進する上に努力あらんことを希望して已まぬ。

炭況

本島の炭界は、現在基隆に約十一萬噸の貯炭を擁し、各炭商はその處分に苦惱してゐるが、右は支那排日貨に禍され積出捗々しからず、一方島內消費は夏枯不需要期であるので、之また積取極めて不振にして、全く處分の途に窮してゐる現狀である。今本年上半期中に於ける積出と前年同期とを以て對照すると左の增減を示してゐる(單位噸)

上半期統計調

	本年上半期	前年同期との比較(△減)
島內消費	三五五、〇〇〇	△三三、〇〇〇
船舶焚料	二〇二、〇〇〇	△二九、〇〇〇
內地移出	三五、〇〇〇	△二八、〇〇〇
海外輸出	二二四、〇〇〇	△九八、〇〇〇
積出合計	八一六、〇〇〇	△一二六、〇〇〇

即ち島內消費に於て前年より三萬三千噸を增加したのみである之に反し輸出、移出、船舶焚料は何れも減少し結局前年の總積出に比して十二萬六千噸の減少を示してゐる。

輸出綿布

本年上半期中、本島よりの綿布輸出高は七百八十八萬六千六百五十九碼、金額百七十九萬一千百四十三圓で、前年に比し數量で百二萬五千九百六十八碼、金額で三十八萬六千三百八十八圓の各々增加を示してゐる。之は同期日支時局關係より屢々排貨騷ぎ行はれたるも、洛先排貨見越、仲繼輸出盛んなりしと、排日實行期に入つても排貨は表面で、殊に戎克貿易は殆んど公然と行はれ、輸出金額の增加せるは、一般に相場昨年に比し安からざると、又高級綿布として取扱はれる人絹交織物の對岸方面に於ける需要激增で、其のみの輸出は昨年の約三倍に達する見込と輸出商方面はみてゐる。

稅關收入

稅關調査に基く本年上半期分諸稅並びに雜收入は、臨時部收入の四百五十八圓を加へ二百六十四萬三千百二十三圓で、前年同期より十九萬三千二百六圓の減收を示してゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。この不振理由は、關稅噸に於て對支貿易不振、其他により、輸入貿易亦減退なりしと、內國稅雜收入に於ても、一般不況引取減退によるもので、減收の內容を示せば（單位圓）

	本年上半期	前年上半期
輸入稅	二、一六三、七九〇	二、二九四、七四五
噸稅	三三、〇八九	三七、五七〇
雜收入	二四、九四六	二一、六六六
計	二、二二〇、八二六	二、三五三、九八一
製茶稅	一〇二、九七四	一一〇、〇一八
砂糖消費稅	二八三、三三三	三二八、一五八
織物消費稅	三四、九四八	四三、一六七
骨牌稅	九六三	九五九
其他合計	四二二、二九七	四八二、三六九
通計	二、六四三、一二三	二、八三六、三四九

銀行整理

本年上半期の本島金融界は、昨年四月の財界大動搖當時から大整理案の確立と共に之が整理遂行に努力し、所謂本島財界安定立直し時代と云ふべき、最も意義深い內に推移し、島內各銀行共內容改善され、その基礎を磐石の上に置かれた事は、本島金融史に特筆すべきである。即ち臺灣銀行の融資一億八千五百萬圓に次いで、商工銀行は二月二十五日三百五十萬圓の融資を受け、翌三月十五日には華南銀行にも三百萬圓の融資實行を見た事は、本島として最も喜ぶべき事で、財界安定の基礎となつたのである。越へて六月二十日には臺銀、商工、華南三行の融資一億九千百十萬圓が損失補償決定し、法律の命ずる所によつて完全にこの巨萬の資金が棒引となつた事は本邦財界始まつて以來の大成功である。這は督府當局の大なる援助と各行當事者の努力の賜であるが、一つは中央政府當局の臺灣に對する理解があつた結果である。要するに今後の本島財界は安定確定を受けて眞の活躍期に入るのであるが、本年上半期中に於ける島內各行の預金貸出狀況を見るに、前年のそれと比較するに著しく好轉してゐる。尤も期末に於て前年より預金の減少を示してゐるも右は日銀預金の關係にして、一般預金としては好化してゐる、即ち（單位千圓）

預金	本年	前年
一月	一一五、六九三	九九、四八五
二月	一一一、八一七	一〇五、四六七
三月	一〇七、五九四	一〇一、六八六
四月	一〇八、四三五	一〇一、九五一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五　月	一〇八、〇八四	一一二、二四五
六　月	一〇八、九七三	一一四、一五八

次で貸出狀況を見ると、本年上期は前年に比して著しく好轉し、逐月貸出漸減して、本年一月末日現在の帳尻は二億四千七百餘萬圓であつたのが、六月末に於て二千六百餘萬圓の激減を示し、更に昨年上期の貸出最高二億六千四百餘圓に比して、四千三百六十餘萬圓の減少を示してゐる。即ち以てバランスの良化を充分に窺知することが出來る。各銀行の減資手持株式値下りの銷却、滯貸の銷却等極度に内容の整理に努めた結果である。いま月別に前年に比すると左の如くである(單位千圓)

貸出金

	本年	前年
一　月	二四七、七八三	二五四、二五三
二　月	二四五、七五六	二五九、一九九
三　月	二三五、八六四	二五五、〇二四
四　月	二三五、八六四	二六四、九一一
五　月	二三〇、二六五	二五六、七七三
六　月	二二一、三八六	二四二、二八三

重要物產放資

總督府金融課調査に係る、本年一月以降六月に至る本島重要物產放資額累計は二億四千三百六十二萬六千圓にして、前年同期に比し四千四百五十二萬五千圓の增加を示せるが、之が主なる原因としては、砂糖及昨年二期米增產に加ふるに臺銀の萬林糖貸出關係中、新に砂糖放資として計上されたものある等で、之を物產別に見るときは、砂糖に於て四千百四萬四千圓、石炭二百四十七萬一千圓、米百十二萬五千圓を增加し、樟腦及酒精は減少して居るが、銀行別に見れば、臺灣六千八百二十三萬一千圓を增加する外、商銀華銀各一千百萬圓の減少を示して居る。放資額を重要物產別に示せば右の如くである(單位千圓)

種類	本年六月迄累計	前年同期
砂糖	一六〇、四六五	一一九、四二〇
米	五八、二六一	五七、一三五
茶	四、一〇一	三二、一四八
樟腦	―	一、〇六六
金塊	二、八六三	二、一九六
酒精	一、一六八	一、七三七
石炭	一六、七六六	一四、二九五
合計	二四三、六二六	一九九、一〇一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に放資額を銀行別に示せば

銀行名	本年一月以降累計	前年同期
臺銀	二〇六、一九五	一三七、九六一
商銀	六、九〇六	一七、八六六
華銀	七、四八九	一九、一五〇
彰化	一〇、〇〇二	一一、一三八
三四銀	一三、〇三四	一二、九八三
合計	二四三、六二六	一九九、一〇一

一段落の郵貯現高

本島に於ける郵便貯金の現在高は八月七日現在に於て、預入人員四十七萬七千百五十八人、金額千二百六十萬千二百五十八圓で、昨年同日に比するときは、人員に於て約一萬五千人の減少であるけれども、金額に於ては約百五十萬圓の増加である。尚六七兩月末に於ける預入人員は何れも四十七萬六千餘人で、金額は六月末千二百五十萬圓七月末千二百六十三萬餘であるから、貯金額も此の邊で落附いた模樣である。

過剩糖協定と糖價

外糖安と供給過剩の爲漸落の一路を辿つてゐた內地糖價は八月二日直接消費糖八十萬擔の原料糖振替協定成立したので市況頓に好轉した。

昨年合同以來大製糖會社の反目久しく、利害の不一致といふよりも、單なる感情にて販賣戰に躍起となり、各社全體の不利を釀してゐたのであるが、新糖の十圓臺に流石に各社も色を失ふた形ちで、翻然自覺し、從來の行掛りを一擲して急遽協定を締めることになつたもので、要するに過剩糖の原糖振替も相場が解決したのだと云へる。此の振替數量は初め百二十萬擔の豫定であつたが、各社の割當數に難色ありて、其後百萬擔に減らすことになつてゐたが、臺灣製糖の割當不承諾から結局八十萬擔となつたのである。七月十五日現在全國主要市場の合計二百三十八萬一千二百五十二擔である。之に臺灣其他の積殘品約三十萬擔を加へて二百六十八萬擔となる。此內から八十萬擔を原料振替分として差引けば殘り、百八十八萬擔となる勘定であるが、一方消費如何とみるに、糖價安の爲確に需要増加の形跡あり、一箇月平均三十五萬擔の出荷として、七月十六日以後十二月末迄の五箇月半に百九十二萬五千擔を要するわけであるから、差引四萬五千擔の供給不足となる計算である。尤も此の調節の爲め糖價が昂騰すれば、爪哇糖の輸入を促し、後日却つて過剩となるであらうが、兎も角も此の過剩糖振替協定の成立は糖價安定せしむる效果の大なることを認め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得め得るのである。即ち

一、分蜜直費市場から八十萬擔が一時に消える結果として今後は會社の賣繋ぎ物が出なくなる即ち實彈の壓迫懸念が一掃される

二、今迄保險的に賣繋いでゐたものは原糖振替協定成立の爲め勢ひ買戻さなければならぬ（二日の暴騰は各社の買戻しも一因）

三、空賣りは今後に出るかも知れぬが、それは却つて踏上げの因となり相場の強調を助長する

併し茲に考慮しなければならぬのは爪哇糖との關係である。

臺灣分蜜中双は直費糖は別として、結晶粒が縮小された今日では現物市場に於ける爪哇中双との格開きは精々一圓位に過ぎないので、長期市場が上れば上るほど現物市場に爪哇中双が侵入し來つて需給を調節されることになるから、分蜜糖が供給不足を告ぐることは絶對にないものと見るべく、若しそれ外糖相場が今後尚低落するに於ては、分蜜糖は再び下押すものとみるべく、而して新糖相場は、明年度の需給協定が完全に成立しない限り、原料糖相場として爪哇中双の輸入採算點附近に彷徨するより外はないと觀測さる。

三新聞全休日設定

島内三新聞は協定の上内地大新聞の例に倣ひ左の通り年三回の全休日を設定して其の翌日は休刊することとした。

元　日

春季皇靈祭

秋季皇靈祭

基香線改善

大阪商船の基隆香港定期線は從來鳳山丸及び貴州丸によつて定期を蹈んでゐたが、來る十月から貴州丸に代つて、目下浦賀ドックに於て建造中の新造船を充つることゝなるべく、南支一帶の客貨船として右新造優秀船と鳳山丸とで南支航路に活躍する筈であると。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

護謨市價暴落と將來の南洋栽培企業（承前）

南洋協會新嘉坡商品陳列所主事　増淵佐平

以上優良園の成績を見るに何れも垂涎措く能はざるものゝみなり。殊に爪哇のシモ園の如き一九二六年度に於ける配當は資本金を皆濟して尚資本總額の六割に相當する積立金を積立つるに至れり。蓋し配當率大なるに於て南洋栽培會社中隨一と云ふを得べし。唯玆に疑問とするは英反當投資額僅に約六十弗なることにして其の內容を知るを得ざるを遺憾とするも、こは恐らく間作栽培に依り資金を減額せるものなるべし。

尚ほカリヂユルーツ、園及び馬來半島のカンボン・クアンタン園の投資額約百八十弗內外は弗會社平均額の半ばに達せず、カンボン・クアンタン園の生産費の如きは尚ほ弗會社平均生産費よりも遙に安く經營方法最も良しきを得たるものなり。スマトラのユナイテツド・セルダン園は投資額遙に高く、弗會社の平均數を超過せるは科學的栽培法に依れるならん。果して然りとせば今後の成績は尚ほ一層優良なるべき筈なり。又F・O・B生産費はカムボン・クアンタン園のオール・イン・コ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ストより高く利廻り薄き筈なるも本國は販賣法に於て成功を見斯く配當せるものなるべし。

以上は全く配當率を標準として、拔萃せるものなれば他に之以上の優良園あるやも保し難し。又磅會社以外の資本會社にして尙ほ優良園なしとせず。例へばスマトラのシアンタル町に近き Marihat Estate（マリハツ園）の如きは資本金三百萬マークにして現在護謨園六千英反、茶園三千英反、オイルパーム園五千七百英反、外に未開墾地三千ヘクターを有し、創立以來十八年、內十四年間無配當を續け、利益の總てを擴張費に投じたるも四年間は一割五分宛の配當を爲せり。現在その農園を評價せば千五百萬盾乃至二千萬盾の價値あらん。而も農園はスマトラ東海岸州の模範として一般より尊敬を受けつゝあり。要するに本園は常に間作を以て成功せりと云ふも誤り無かるべし。

既述の實例は何れも極端に過ぐる嫌あるも企業經營宜しきを得ば如何に有利なるかを知ると同時に他の一般農作物に比し不當なる超過利益を獲得するの誹を受くべし。

此の上栽培法を改良せば生產費は益々減じ、收入は著しく增すを以て、假令歷史は繰返し往年の六片四分三の市價を見るも敢て驚くことなきに至るべし。

投資額に關して米國商務省內外貿易局が往年調査發表せるものに從へば五十七磅より八十八磅の間を辿り詳細の豫算なる項に於て英反當六十磅乃至七十磅（星貨五百五弗乃至五百九十弗）を要すべしと斷定せり。現在の科學的栽培法に從へば或は適當なる費用とも云ふを得べし。

此の適當なる費用を投資額と假定し科學的栽培法に依り英反當平均六百封度乃至八百封度の生產量を得るものとし、生產費封度當十五仙乃至二十五仙を見込み市價を三十仙乃至四十仙とせば次の如き利益を得べし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

封度當市價	六〇〇封度 封度當生產費 二五仙	六〇〇封度 封度當生產費 二〇仙	六〇〇封度 封度當生產費 一五仙	七〇〇封度 封度當生產費 二五仙	七〇〇封度 封度當生產費 二〇仙	七〇〇封度 封度當生產費 一五仙	八〇〇封度 封度當生產費 二五仙	八〇〇封度 封度當生產費 二〇仙	八〇〇封度 封度當生產費 一五仙
三〇仙	五%	一一%	一六%	六%	一二%	一八%	七%	一四%	二一%
三二仙	七	一三	一八	八	一五	二一	一〇	一七	｜
三四仙	一〇	一五	二〇	一一	一七	二四	一三	二〇	二七
三六仙	一二	一七	二二	一四	二〇	二六	一六	二三	三〇
三八仙	一四	一九	二五	一六	二二	二九	一八	二六	三三
四〇仙	一六	二一	二七	一九	二五	三一	二一	二九	三六

若し投資額に於て前提磅會社A・B・C社の如く安からんか膨大なる利益を納め得べし。

支那人個人園は生產量少なしと雖も、生產費及投資額の安きが爲め本表に匹敵する利益を納めつゝあるものゝ如し。

元來利益の途に敏なる支那人企業栽培家の多くは、漫然護謨樹のみの栽培を爲さず間作を行ひ、以て投資價の減價償却に力むるを普通とす。殊に二三千弗內外の資金を以て栽培する個人園にありては地の利に依り異なれども、間作或は養豚、養鷄、野菜栽培等を營み採收期に達する時は投資額を全部償却しつゝあるものなり。

新嘉坡より馬來半島を旅行する時鐵道の沿線に見る多くの若き護謨樹林にパインアップル、コーヒー、タピオカ等を間作せるを目擊すべく而も是等の間作は全部支那人經營の護謨園なりと斷言して誤り無かるべし。

之に反し吾々は今を去る十五年前是等の栽培地を見て間作法は地力を減退せしめ主作物たる護謨樹の收液に損失を來たすべしと歐米人と共に笑ひこれを顧みるものなかりしが、今尙ほ之を行ふもの殆んど稀なり。然れども熟々これを考ふる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時に邦人として果して之を僞さざるを以て有利とするか頗る疑問とすべし。支那人は何故二十年來尙ほ繼續し居るか。彼等商人は日本より商品を引き殆んど原價にて之を他店に賣却し、爲替のサイトに於て金利の儲を見るほど算盤に巧みなる彼等人種の間作栽培法を有利ならずと論斷せる吾々は今回の護謨價暴落に直面し、その論斷の餘りに淺見なりしを恥感せり。

尙吾々ば常識的算盤に於て金利安き歐米人と肩を互してそのシステムに進むべきか、金利計算に敏なる支那人及獨逸人(マリハット園)のシステムに倣ふべきか、大局より論じ是等兩者の中間を歩むを以て邦人資本家の企業方針として誤りなきものとすべし。而して中間を歩むの方法とは卽ち間作法を行ふと共に科學的栽培法を行ふこと是なり。

間作法に於て成功せる獨逸人經營のマリハッ園重役は最近植付けんとしつゝある三千ヘクターの茶及油椰子の園地に對しコーヒーの間作をも行ふべしと云へり。コーヒーは主作物を植付くる一年半前に植栽し主作物が全く收護期に達せる時之れを堀起し除去するものにして、其の間コーヒーの全收穫量は一ヘクター當り五十擔單價五十盾として二千五百盾の收入を得べし。内生產費諸費用を五〇%乃至六〇%を見積ればその殘收益は茶及油椰子の開墾費を償却し得べく從つて主作物の投資額は極めて僅少なるに至るべしと云ふ。

支那人は間作主作物共に殆んど同時に植付けるを常とするも、同園の一年半前に植付くる方法は一段進步したる方法として推奬するに足る。然れども此の豫定が果して得らるゝやは同重役のみの知る處にして吾々無經驗者の容喙を許さゞる處なり。然れども大體論に於て間作にコーヒーを栽培するを最適なりとは斷言するを得ず、地味、地勢、勞働、市場等の關係を考慮し間作物を決定せざるべからず。間作物は地方により其の種類を異にすれど大凡タピオカ、コーヒー、ガンビヤ、パインアップル、パチョリー、シトロネラ、甘藷、カカオ、生姜、トバ、ローゼル麻、アロールート、玉蜀黍等多數あり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

是等の間作物に依つて地力の減退するは勿論なれども幾何の減退を見るか、極めて小規模の實地經驗家の說を藉れば二割內外減退すと云ひ或者は減退せずと云ひ更に或者は間作に依り反つて地力を增すと云ひ幾多異論もあり。

第一說に從ふとき投資額を間作法に依る時は百五十弗、單作法の場合は四百弗と假定せば二割の收穫減收は敢て痛痒を感ぜず、間作法を有利とするに至るべし。第二說及第三說勿論有利なるべきも唯第三說の由つて來る所以は有機質に乏しき、土壤に於て例へば甘藷を間作し、其の殘骸卽ち莖葉等を土中に埋沒することに依り或は雨水の滲透を良くし耕耘に依り土質を膨軟ならしめ地力を增すとの理由に依るなり。斯の如き特種の場合なしと云ふを得ざるも之と反對に管理及作物選定の失敗より甚だしく地方を減退し再び立つ能はざるの窮地に陷るものなしとせず。然れ共この問題は經營者の適否に關し間作法其ものゝ可否には關係なかるべし。

茲兩三年間邦人個人園及會社の一部に於て行はれつゝあるM園のパインアップル間作、J園の甘藷間作、某園のコーヒー間作等の例を聞くに地力減退の惧れなしと云ふ。

M園は支那人に土地を貸付けパインアップルを間作せるものにして採收期に達するまで投資額英反當二百弗內外、J園亦同樣の方法にて甘藷を間作せしめ投資額百五十弗位にて足るべしと云ふ。間作者はこれに依つて相當の利益を收めつゝあるものなれば地主、間作者の利益を合算せば大に有利なる方法と云ふを得べし。

尙MJ又兩園の例より一歩進みたるものに英反當百二十五弗位の投資額にて護謨園を有する邦人小資本家あり。その投資額の內容は土地拂下げ料二十五弗、開墾植付費八十弗、採液期迄に至る諸費二十弗、計百二十五弗にして、其の方法は開墾植付後五箇年間乃至六箇年間々作土地貸付を支那人に契約し貸借料として入念なる除草及手入を爲さしめたる外每年の地租をも代納せしむと聞く。かくして採液期に入りて三百封度を得るに難からすと云ふ。然れども此の特種方法は或地方に

特に限られたるものにして何れの地方にも行はれ得るものに非ざるなり。

或者は大面積の間作法は失敗に終ると云ふもこれ空論にして信ずるに足らず。マリハッ園の如き數千英反の間作を常に行ひつゝありしに鑑み充分之を信ずるに足るものあるを思はしむるなり。

尚ほ余の知れるルベル・クルツール・マーツカペー・アムステルダムのスンゲイシロー園にて樹齡約十年のコーヒー樹を掘起し護謨樹に植替をなせり。時を同じうして余も亦其の隣地に五百英反の護謨樹植付をなせり。兩者共地形地味殆んど異なることなく滿五年後の一九二六年に比較せるに殆んど同一の發育振りを示し前者は費用を多く要したるだけ寧ろ幾分の勝味あるを見たり。こは間作と趣を異にするも左程に重大なる影響なしとの參考説明に過ぎざるなり。但し科學的栽培法に依らざる場合に於ても然るやは保證し能はざるなり。

以上の外幾多の實例に鑑み我邦人資本家に對し今後の栽培企業は須らく間作法を行ひ併せて科學的栽培法に依り來るべき安定價に備へられんことを推奬するものなり。

間作栽培は大規模の園程爲し易きも小資本家にとりては支那人の如く恣に行ふを得ざるの缺點あり。

彼等支那人は夫々連絡を取れる工場或は販賣先(兼資本家)を有せるを以て生産品の販賣に行惱むが如きこと比較的少く又これに依つて資金の融通を仰ぎ得べし、即ち他人の護謨園内を借地して間作を行ひ生計を營む亦之に因す。

工場の手を要せざる生産品は自から市場に運び自己種族の大衆に贖くを得るの利便を有するなり。

從來吾が小資本の會社及小資本家の成績擧らざるは實に此の機關なければなり。若し是等の機關會社を創設し從來の小資本家を助成すると共に新たに小資本家を此の地に扶植するの方策を講ずれば將來益々邦人の發展を期し得べし。

然るに内地資本家は南米熱にのみ驅られ折角築き上げたる近き南洋を稍々ともすれば忘るゝの傾向にあることは誠に遺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

憾とする處なり。南米の事情之より有利なるべしと雖も南洋亦幾多有利の條件を有するものなり。偶々資本關係乃至經營方法の蹉跌より賣園或は閉園するものあるを見て投資を躊躇し或は南洋の事業は有利にあらずと速斷せらるゝが如きは謬見も甚しきものなり。

南洋の地は南米の如く多數の移民を許さゞるも千圓以上の資力を以て海外に出で農業を營まんとする勤勞家(小資本家)の企業地としては氣候、地味、交通、衞生其の他諸般の設備に於て南米に優る好適地と稱するも過言にはあらずと云ふを得べし。

土地拂下げは地方に依り多少の困難は免れざるも大面積を選ばず、交通の便なるに於ては點々各所に需むるとせば拂下げ容易なるべし。出願人の名義に於ても敢て一定なることなく勤勞者の名を以てするも可なるべし。栽培物は會社の方針に依り適宜選定し、これを植栽せしむることゝし開墾費用は會社と勤勞家間に適宜の契約を爲し、生産物は其の都度定めたる値段に依り會社に提供せしむるの方法を取り、或は生産物を抵當として資金の融を計ると同時に會社は工場を設け諸生産物の調製を爲し、これを販賣するの組織とせば支那人に優る好成績を擧げ得べく、斯くの如くして南洋に於ても彼のチエーン式栽培組織に依り邦人の健實なる發展を期し得べしと信ずるものなり。(完)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自由通商の提唱

大阪商船專務　村田省藏

日本の各方面に自由通商運動が相當根强く起つて來たことは首唱者の一人たる僕の口から言ふのは可笑しいが邦家の爲め實に欣ぶべき次第である。現に此の運動に從事して居る重なる人々には東京方面では前興業銀行總裁志立鐵次郎氏を始め上田貞次郎博士、石井徹諸氏あり、大阪では平尾釟三郎、高野岩三郎博士、京都では末廣徹博士、神戶では岡崎唯雄、名古屋では岡石、加藤等の有力なる諸氏がある。

以上の各地及び關門には既に自由通商協會なるものが設立され協會員數は、東京約四百、大阪約五百、京都名古屋を合して約五百、右各協會を通じて一千五百名を超えて居るが、東京と大阪とは昨年十一月から計畫を進め本年一月十四日を以て同日同時に協會の成立を見た。爾來幹部は各地に遊說して右の各協會は續出し、目下現に大連と福井にも組織中であり、高松、青森、高崎の各市に於ても計畫中だが、我々首唱者は更に全國各都市に洩れ無く該協會を設置すべく機會ある每に東奔西走して各地有力者と會見し趣旨の普及に努めつゝあるのだ。

然らば何の爲めに我々が斯る運動を起す必要ありやと云ふに、政友會とか民政會とかの政黨に對して之を說いても眼前の區々なる政爭に日も維れ足らざる政黨者流には大聲俚耳に入らず、一方勞働團體はマルクスとかエンゲルスとか云ふものに夢の如き憬がれを抱く丈けで眞實の日本の經濟財政問題の事には理解無く、我々の眞劍な運動も彼等に取つては馬の耳に念佛といふ果敢なさだ。卽ち既成政黨も既成勞働團體も共に談ずるに足らない有樣であるが、たま〳〵大阪に勞働問

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

題の權威者たる高野博士があつて消費者階級の立場から此の運動を最も必要なりとして協會に入つて居るのは大に力強きを感ずる。

斯くて我々は先づ全國各地に協會を設け聯盟の形を取つて其の中心を東京に置き、全國的の運動を起して以て政府を動かし、賴むに足らざる政黨政派を超越して國民輿論の力に依り目的の貫徹を期待して居るのだ。改めて言ふまでも無く國民今日の物價騰貴、政府現在の財政膨脹は我が帝國の最も憂ふべき疾苦である。此の問題に對しては民政黨と言ひ政友會と言ひ、全く無力無能を極め我々民衆は堪え難き不滿を抱いて居る。此の政黨派政の無力無能なる現代の日本に於ては民衆自身が起つて以て事を爲すに非ずんば百年河清を待つの恨みあるのみだ。是れ本運動の擡頭した所以である。

志立前興銀總裁、上田貞次郎博士の兩君が昨年五月瑞西ゼネバに於ける國際通商協會に日本代表委員として出席し、其の後更にストックホルムに開催された萬國商業會議所大會にも臨席したが、世界各國の學者、實業家、政治家等各方面の優秀なる代表的の集まつた右の兩會に於て、世界今日の窮乏、大戰から受けた創痍を恢復するには先づ國際間の通商の障碍を除去するといふことを措いては他に方法が無いとの結論に達し、日本代表の兩氏も此の結論の實行を使命として歸朝し自由通商協會の首腦者として活躍することゝなつたのだ。

曩きに上田博士は「社會と企業」なる雜誌を出し「新自由主義」といふ著述を出版して此の點を絕叫した。僕も上田君とは同窓の關係もあり其の所論を讀んで大いに共鳴し、寄り〳〵大阪で其の趣旨を實行しやうと試みて居た矢先きに、右の如く國際的決議が現はれた。而もゼネバ會議の決議に依り、世界の斯道權威者は夫れ〳〵自國に歸つて朝野識者の輿論を喚起すべく實行する責任を與へられた。此の意味に於て志立、上田の兩君は双肩に其の使命を負つて歸朝した所ろ、恰も關西方面には既に其の聲が揚つて居たので、期せずして日本自由通商協會の運動は昨年秋から蹶起したのであつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然らば我が自由通商協會の目的如何と云ふに、必ずしも何でも彼でも自由貿易として關稅の撤廢を主張するのでは無く只だ通商の障碍を撤廢せんとするのである。則ち一國の産業財政上必要止むを得ざる關稅は必ずしも之が撤廢を主張するに非ず、寧ろ産業財政の上に惡影響ある關稅の撤廢を要求するのである。今假りに國際的會議に於ける前述の如き決議無しとするも、日本の物價の何故斯くの如く高いかと云ふことは我々國民として最も眞劍に考へねばならぬ問題である。

一葦帶水の支那の物價と日本の夫れとは驚くべき開きがある。天津、上海の日用品は勿論、支那に於ける凡ゆる物價の日本に比して天地の相違あることは何人も知る處である。若し支那に於ける物價プラス運賃が日本の物價であるとすれば其の差異は極めて微小であるべき筈である。上海、天津から日本への運賃は一噸僅かに三、四圓である之を一斤、一升若くは一打に割當つれば殆ど有無關せざる程の小額である。故に食料品を始め生活必需品の如きは支那と日本とは略ぼ同一の物價で良いわけである。

然るに事實に於ては僅か數百哩を放れた隣國の人は極めて安價なものを生活の資料又は原料として使用し、日本の國民は同じものを非常に高價に使はねばならぬ。之は日本國民として無上の不幸であり國家として此の上無き悲哀である、須らく一國の政治を司る者乃至は人民を指導する者は深く考へ且つ責任を負ふべき最大至重の問題である。事の茲に至れる理由は種々あるべきも、其の最も至大なる關係を有するもの通商を阻害すべき稅金と云ふもの丶有ることを忘れてはならぬ。

日本の稅制を按ずるに明治初年には恰も今日の支那の如く關稅自主權を有せず、明治二十二年に至つて始めて之を得たが、而も確實に國定稅率を課することの出來たのは四十三年である。其の後約十七八年間は其のまゝに經過し、大正十五年に至つて漸く改正されたが、稅率表に載つて居る品目約一千六百種の内、無稅品に何程かと云ふに僅かに六分五厘に過ぎざる一百四種である。つまり輸入品の九割三分五厘といふ大部分に當る一千四百九十幾種は凡て稅金が掛る。夫れ丈け

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

物價の高くなる道理だ。

國內產業を保護する爲め國家としてドウしても輸入品に課稅せねばならぬものも有らう。併し仔細に之を觀れば一度課稅したけれど保護の目的を達し得ないことが明白になつたに拘はらず……卽ち課稅が失敗に終つたに關せず、國民が何等の注意を拂はざりしを奇貨として其のまゝ課稅を續けて居るものが非常に多い。而して財政上にも經濟上にも何等の目的を達せず、徒らに其の物の價格を釣り上げ、延いては夫れに關係する凡ての物價を高める結果となり、國民は不知不識の內に無意味なる失費をして居るのである。

抑も關稅なるものは政府保護金と異なり、國民に知らしめずに政府が收入を取り得るのであるが、其の國民生活上の影響は非常に大なるものである。保護金の如きは之を直接に民間特殊關係事業若くは特殊關係團體へ與へる爲め、直ちに國民の知る處となり、從つて議會の問題となり易いが、其の影響は比較的限定されたものである。然るに全般の國民生活に對し甚大なる脅威を及ぼす關稅は、未だ表面的の攻擊非難の的とならぬからとて、政府が恬然として搾取を續けて居る如きは許すべからざる罪惡である。

今少しく一例を擧ぐれば、國民生活の必需品たる米の如き、小麥の如き、大麥の如き、砂糖の如き、織物の如き、牛肉の如き、豚の如き、或はチユーズ、バター、鐵、木材の如きに至るまで、不當なる關稅を課し居る如きは國民生活を呪ふものに非ずして何ぞや？……日本の如く原料及び食料品の少ない海國でドウしても船舶に依つて之を搬入せねばならぬ事情に在り、加之輸入超過に依る正貨流出の幾分でも挽回すべく貿易外の收入を得る必要のある國に於ては、國際間の運輸に依る運賃を收入することが極めて重大なる問題である。其他命を負る船舶に對してまでも稅金を課して居ると云ふ矛盾極まる現象に對して國民は何と見る？。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

政友會は徒らに積極政策、保護政策の名の下に内地産業の繁榮といふ事のみを唱へ、民政黨は徒らに因循姑息、何等國民の經濟的發展に對して斯る問題を考へず、勞働黨は前述の如く此の種の事柄には無智識である。而も現政府が爲さんとする所は、大正十五年に時の政府が關税改正に就て聲明せる所ろ――即ち日本に産せざる原料に對しては出來る丈け關税の撤廢又は低減を行ふこと、幼稚産業にして將來國内需要を充たし更に輸出し得る産業の原料に對しては適當の時機に至るまで關税に依つて保護するが、其の時機に達したる場合は遞減すべく考慮すること、及び食料品生活必需品の如きは能ふ限り無税にすると云ふ政府の聲明ありしに拘はらず、現政府の爲さんとする所ろは寧ろ反對である。政友會の政策を見るに、關税に依り國内産業を保護すれば、内地に於て産業勃興の結果失業者を救濟し、從つて相當景氣が引立つことを主張して居る。併し之は誤れる國内經濟策にのみ捉はれたる謬見であつて、日本の如く何等の工業原料を有せず、之を外國から輸入して加工し、出來る限りの廉價を以て世界市場に供給し外國品と競爭せねばならぬ運命を負へる國でありながら、民衆の生活必需品に課税し或は工業原料品に課税するに於ては、如何に努力低廉であつても其の製品を外國に出ださんとせば、到底販路を發見する能はず、結局關税加重其の他の生産事業に對する所謂積極策は、國民を眩惑する欺瞞政策と見ねばならぬことを遺憾とする。

保護關税に依る生産事業は、國内に於ては無競爭の爲め販賣し得るかも知れぬが、其の結果は安かるべき品物を不當の高價で國民に押し付け、一歩國外に輸出せんとせば、外國品との競爭に堪へずして驅逐されて了ふ。乃ち保護關税は生産事業を退嬰せしめ、輸出の途を阻害し、且つ國民に高價品の需要を強要するの外何等の效果を發見することは出來ない。換言せば理由無き保護關税は國民をして生活難に陷らしむる恐るべき陷穽である。我々國民は既に此の陷穽に落ちて苦悶して居る。而も猶且つ國民は覺醒せずとならば、從來敏感の民族性を誇つた我が國民は此の問題に對してのみ痲痺して居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るのであらう乎？否々正直なる國民は積極政策の美名の爲め眩惑されて居るのである。

元來日本は國土狹少、人口過剩、而して天然資源に乏しいと云ふが、英國が今日まで貧弱なる國土を以てして克く數世紀に亘つて世界をリードすべき最大富强國となつて居るのは如何なる理由に依る乎？……成る程海外に擴大なる領土のある爲めだと云ふだらう。……併し英國は海外領土から原料を得て、而して之を加工し、及び世界市場に販出する事に依つて始めて富を得て居るのだ。領土的ドローバックはあるだらうが、搾取主義に依つて本國の富を增したのは今や纔かに過去の歷史たるに過ぎない。

今日の時代に在つては英國が自國領土から原料を得ることも、日本が英國領土から原料を得ることも、取引の實質に於て何等の相違はないのだ。譬へば新嘉坡の鐵、濠洲の羊毛、加奈陀の小麥、印度の棉花の如き原料を英國が買ふのと日本が買ふのと其の間に於て何等條件の異なるものがない。寧ろ距離の關係其の他の事情に於て、日本は英國より安く供給を受くる事實がある。而も之を製品として賣出す場合、支那市場に於て、南洋に於て、印度に於て、或は南米に於て、濠洲に於て日本は彼等に對して少しも不利益なる待遇を受けて居らぬ。

海國なる日本は海岸に大都市を有し、工場は水利の便豐かなる河又は海に面せる關係に依り、大陸諸國に比し運搬上非常な便利がある。支那の如き、印度の如き、或は米國の如きは、假令國内に原料を產し豐富なる資源を所有して居つても、產地と工場とは必ずしも同一地點に無く、若し數百哩を距つるとせば陸運に費す運賃と、日本の如く數千哩の海運に要すべき運賃とを比較するに水の陸に優ること萬々である。卽ち運賃の安價なる海運を利用し得ることに於て日本は甚だ惠まれたる工業國であると謂つて良い。

此の點に於て日本は英國と同じく大陸諸國に比して、原料の供給、商品の販賣に關しては非常に優越せる地位に在る。

之を利用して日本は益す國家的工業の發展に精進すべきであるに拘はらず、政府は徒らに關稅政策に汲々として物價を昂騰せしめ、自然の地形に於て享有する天恩地惠を毀損抹殺して居る如きは識者に俟つまでもなく國民全體の齊しく大聲疾呼ずべき事である。我が自由通商協會は此の點に就て十分なる研究を遂げ徐ろに國民を指導し滿天下の輿論として政府を動かし、日本が與へられたる所ろの天職に向つて進まんとするのである。

臺灣に於ても此の問題に關し大いに有識者と相談し度いと思ふが今回は來る二十七日の總會を控へ二十六日迄には歸阪せねばならぬので幸ひ貴紙臺灣新聞の同感を得紙上に呼號し以て闔島の有志に愬へる次第である。斯くて島内に在つて何等か圖る所あらんとする人あらば内地に於ける我々同志は特に來臺して打合せる事とし度い……最後に具體的問題として附言すべきは金輸解禁策にある金の輸出禁止は甚だしき通商障碍である金の輸出入は商品の輸出入と同様に解禁すべきは當然過ぎる程の當然である。

今日の貿易狀態、若くは今後の日本の國家的產業の前途を考察すれば金輸禁止の爲めに蒙る爲替の不安定の國家發展上少からざる不利益を及ほすものである。故に我々協會員は其の解禁進行を熱望し適當なる機關を設けて政府と交渉して居るのだ。斯くの如く實行問題に就ては相當の機關を特設して目的の貫徹全力を傾注することを怠らない。臺灣も國民生活の上から見れば内地と同様の境遇に在り、政府の秕政惡策の犧牲となること夥しいものあるは我等内地在住者と異ならない。……切に熟考を望む所以である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の產業

前殖產局長　高橋親吉

一

臺灣は改隷以後既に三十餘年を閲して居る。其の間に於ける本島文化の發展は驚くべきものがあるが、就中產業の發達は其の過程を振返るものにとつて眞に瞠目に價する。明治三十六年は生產總額七千八百萬圓で未だ一億圓に滿たなかつたのであるが、最近に到つては六億二千萬圓に達し約八倍弱の飛躍的增加を遂げた。固より熱と光が地味に天惠したことがこの驚嘆すべき發展を生んだ自然の母であるが、此地味を利用し開拓した人間の努力も亦一層偉大なるものであつて、吾々はどの產業、どの生產品を觀ても多少に拘らず改良、研究の跡を覗はれないものはない。例へば農業の如きは耕地面積も約八割の增加を見て居るが、之に對する農產物の增加は五十五割に垂とし、如何に單位收穫の上に加へられた改良が多いか推量出來る。手近かな所で、米の如きは在來一千三百餘種の多種多樣に亘つてゐたものが現在では四百餘種に淘汰された上に、內地種を移植した蓬萊米が新たに加つて、臺灣米產は之が爲め一層重要な價値を含んで來た如きである。此樣に例を擧ぐれば、重要な產業丈に就いても十指に餘る位あらう。特に砂糖や芭蕉の如き、或は茶の如きは夫々開發の跡を如實に見ることが出來、其結果、現在の如き順調なる發展を來たしたのであるが、各種の產業に就いて見れば必ずしも過去に於て多少の消長がないでもなかつたのである。一例を擧ぐれば砂糖の如きであるが、大正二年の大旱魃の爲めに其產額四分の一の激減を來したことがあり、又歐洲戰後の財界不況は本島の工業の折柄發展しやうとする出鼻に激しい打擊を及ぼし

たが、伸びんとする豐富なる生產の力は是等を直ちに乘り越えて了つた。又進んで、本島古來の產業が急進的發展をしたばかりでなく、從來臺灣になかつた處のもので新たに加つて來たものも數々ある。例へば鳳梨罐詰工業の如き、產繭の如き、或は、各種の織布業の如き、既に充分の成果を得たものもあつて、やがては固有の產業に比しても遜色なきに到るであらう。以下臺灣の產業について、從來餘り知る機會のなかつた人々の爲めに全般に亘つて概略說明をしてみやう。

二

昭和元年度に於ける臺灣の生產總額は六億二千五百萬圓に昇つてゐるのであるが、之を各種の產業に分けて其割合を見ると、農業が首位を占め四十七パーセント、次が工業の四十二パーセント、林業が五パーセント、水產、鑛山各三パーセントを示して居る。工業は甘蔗農作を基礎とする砂糖工業が其の半を占めてゐるのであるから、其割合から見て本島の產業は農業を主として居る譯であつて、事實本島の經濟狀態は農業中でも其三分の二を占める米と甘蔗の作柄で左右されると云つても過言でない位である。

米は砂糖と共に本島產業の大宗であつて、水利の便ある地方は到る處年二回の收穫があり、之を第一期作、二期作と稱して居る。主產地としては臺北州下の宜蘭地方、新竹州下の桃園、中壢地方、臺中州下は臺中、豐原、彰化、員林附近で、高雄州下は鳳山、屏東、潮州地方が知られて居る。

現在產米額は島內消費を充して餘あり、年々內地に移出しつゝあつて、昭和元年の產額は六百二十萬石、同年の內地への移出數量は二百四十萬石に達する、在來米種は、粳米、長糯米、丸糯米の三種に大別されて居たが、數年前より北部地方に內地種の產出を見るに到り、之を蓬萊米と稱し、短時間の間に非常に生產の增加を見、現在に於ては殆んど百三十萬石を產し、內地に移出して聲價を得て居るから、此種は將來益々增加するであらう。糯米の移出は主に丸糯米である。米

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の産額は時によつて消長があるが、年々增加の勢盛であつて、總督府に於ては之を一千萬石に達せしめ、益々母國食糧問題の緩和に資せん計劃で品種の改良に努めて居る。

甘蔗は臺南州、臺中州を主産地とする。本島の砂糖工業は、甘蔗農業を其基礎として産糖高の如きは殆んど甘蔗の生産額によつて左右せらるゝのである。領臺當時は粗放な耕作と劣惡なる蔗種、幼稚なる製糖法によつて年々漸く一甲當甘蔗收穫に於て四萬二千斤內外、生産總額に於て粗糖八九十萬擔を産出するに過ぎなかつたが、以來科學的研究法により甘蔗農業と製糖工業の兩方面に改良、奬勵に全力を用ひた結果逐年增加して現在に於ては、甘蔗の單位收穫量に於ては二倍强、生産額に於ては十倍に達する年産八百萬擔內外を出し、世界甘蔗國の第六位を占むるに到つた。

茶は烏龍茶と包種茶、それに最近少額ではあるが紅茶が出るに到つた。烏龍茶と包種茶は共に本島古來の茶であつて、臺北州、新竹州に産し茶葉は共に同じであるが、其製法、混合物によつて區別を生ずる。烏龍茶は本茶獨特の芳香を有し飲用に際して殆ど興奮作用を有しないのを特色とし、年産額は八百二十六萬斤、五百五十萬圓に達する。販路は主に米國で、概ね紅茶と混淆して飲まれるのである。最近內地方面の需要も漸次增加し、移出も年々殖えて來る。包種茶は烏龍茶に比して製法に醱酵の度の少いものであつて大部分は黃枝花(クチナシ)、秀英、茉莉花(マツリカ)等を混じ薰花する。販路は主として南洋方面に有し、同地方の華僑の飲料となる。年産額九百萬斤、七百萬圓である。

本島はまた特に果物類が豐富であつて、芭蕉、鳳梨、柑橘類、西瓜、木瓜等多種多量に生産し、共々に農家經濟を扶けつゝあること大である。之等の中、最もよく周知せられて居るものは芭蕉であつて、産額も亦一番多く二億八千萬斤、六百萬圓を算する。臺中州を其主産地とし、販路は內地移出之を主とし、何處に行くともバナヽの形をみない處はなくなり、其額一千百萬圓に達して居る。鳳梨は本島の氣候風土がよく其栽培に適して居る爲めに古來から栽培され、特に最近罐詰工

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業の勃興と共に益々生產が盛となつた。臺北州、高雄州を主產地とし年額一千六百萬個、百七十萬圓に及んで居る。其輸移出は九十萬打に達し、殊に最近内地の鳳梨罐詰に對する需要が著しく增加して來た。將來最も有望なるものゝ一つは柑橘である。中北部地方の風土に適し其風味の豐漿美味なることは推賞に値する。柑橘類の收穫總額は二千四百萬斤、百七十萬圓で、種類を擧ぐれば椪柑(ポンカン)桶柑(タンカン)雪柑(セツカン)文旦(ブンタン)斗柚(ザボン)等を數ふることが出來る。近年内地への移出高が著しく增加して來たが、運送に不便なので頗る高價なるに拘らず風味嶄然として内地品に勝るので喜ばれて居る。

三

本島に於ける工業は半農的工業の砂糖、茶其の外阿片、食鹽、樟腦、煙草、酒等總生產年額三千萬圓の專賣品を除けば年產一千萬圓を超ゆるものは稀で甚だ振はない。大正七、八年戰時好況の潮に乘じて本島でも工業會社發展の機運に際し、投資額、新設會社等が激增したが、戰後の反動的恐慌に影響を免れず出鼻を挫かれて再び萎微して了つた。本島の如く獨立した市場を有しないで島外市場の影響を受け易い孤島では工業の發達には幾多の困難が伴ふのであるが、農業の發展に伴ふ工業の勃興は自然の勢であつて、必ずや將來發展を見るであらう。昭和元年の生產總額は二億六千萬圓であつて、此の内一億圓以上砂糖の生產額が含んで居る。

セメント、肥料、麻織物其他二三の工業の外は大部分が家庭工業品であつて、年產額四百六萬圓に達して居るところの帽子を筆頭として竹細工品、籐細工品、藺席製品等は逐年盛大に赴き且其將來を囑目されて居る。

セメントは原料の石灰石が全島に普く豐富であつて、現在高雄で淺野セメント株式會社が之をセメントに加工し生產額約七十萬樽、三百五十萬圓、販路は主として島内で南支南洋方面にも輸出して居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

肥料の需要は農業の發達と共に年々增進の一途にあつて、四千萬圓を超える。販賣肥料は臺灣肥料株式會社其他二工場で過燐酸石灰、調合肥料、醋酸等を生產し一千三百六十萬貫、三百七十萬圓に及ぶ。又藤田豆粕會社では大豆油槽を產し、年產額八十七萬圓、工場は高雄にある。兩者とも原料は全部島外より仰ぐ。

麻織物類は本島中北部地方の特產たる苧麻、黃麻を原料とするものであつて、從來原料の過半を支那に輸出し織布として再び逆輸入するの狀態であつたが、數年前より二三の工場が設立され本島に於て麻絲を生產し內地に移出するに到つた許りでなく、漸次織布工業の勃興を見る樣になつた。麻織物類の年產額は二百萬圓である。

專賣品の中、樟腦は洽く世人に知らるゝ如く本島の特產品である許りでなく世界需要の過半を供給して居るのである。樟腦を原料とするセルロイドの發明以來頓に其需要を增加し、更に世界大戰の結果各種の原料として益々需要を喚起し、戰前にあつては內外の需要額九百萬斤であつたが、近年に於ては一千萬斤を突破するの盛況を呈した。之に對して本島よりの供給は時に消長があるが、從來平均六百萬斤を標準として生產して居る。販路は主に米國であつて、最近獨逸に人造樟腦が生產さるゝに到つてやゝ此打擊を受けた。

次に林業は總督府營林所で阿里山、八仙山、太平山に官行の斫伐事業を經營し著々と其成果を收め、現在年額百二十餘萬石に及ぶ。民有林は百十萬石を出し、之等の產出材の內最も有名なものは臺灣ヒノキで、東京、大阪方面の需要年と共に增加して臺灣扁柏の名稱は今やあまねく知らるゝに到つた。次にヒノキに似て耐久力も之に劣らぬが、香氣やゝ少く赤味を帶ぶるベニヒ(紅檜)があるが年產十萬石、移出は未だ少ない。其他烏心石(オウシンテフ)、櫚心木、毛柿の如きは本島南部地方の特產であつて、貴盆、杖の如きに加工せられ、優美なる土產品となつて居る。又內地に於ては近年漸く減產の聲を聞く竹材に到つては無限に豐富で其利用方面も非常に多い。種類は桂竹、莿竹、麻竹の三つに分けられる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

水產業は四隣海に圍れて居る本島としては未だ其產額は誇稱するに足らぬ。たゞ臺灣珊瑚として其名を廣く知らるゝに到つた珊瑚業に就いて記せば、大正十三年基隆沖で珊瑚礁を發見して以來、一時は百萬圓の產額を見るに到つたが其後減少し現在に於ては約三十萬圓を產し、原木を海外、內地に賣ると共に基隆に於て加工し博く聲價を獲得しつゝある。

又、鑛山業は昔時盛に宣傳された金、銅の鑛業が現在甚だ振はず、僅かに內地に少額の賣鑛をする許りであるが、其の中注目すべきは石炭と石油であつて、石炭は年額百八十萬噸に昇り、輸移出額七十萬噸、七百六十萬圓に達して居る。石油は現在新竹州下に二百五十石內外の日產を繼續しつゝある日本有數の良井を得、其發達を囑目されて居る。

四

臺灣の產業を觀るものにとつて第一に考へ浮ぶことは、農業は今や其滿開の域に達して居ることである。固より決して行詰つたと云ふ譯ではない。またぐ耕地面積の擴張と品種の改良、單位收穫の增加等によつて發展の餘地は充分にあり、生產額は益々巨額に達するであらう。然し既に壯年の域に達した如く思はれる農業には從來の樣な飛躍的發展は望めない。

第二には此農業の後を繼いで發展すべきは工業であるといふことである。卽ち「農業から工業へ」の時代に面してゐると云ふことである。前に述べた樣に本島の工業は砂糖、製茶工業及び三四の專賣業を除く外は未だいふに足る工業を有しない。諸雜工業の中、其筆頭であるセメントさえも年產額三百萬圓餘に過ぎない。本島に生產する工業原料の中ですらも、未だ島內に於て加工せらるゝに到らず空しく島外に資源を散逸せしめて居るものも尠からずあつて、黃麻、苧麻の如きは其の尤なるものである。之等の原料を工業化すると共に、一度眼を放てば吾等の手の屆く處に南支那、南洋方面の如き、原料の供給地ともなり無限の需用地たるべき土地を控えて居るのであるから、將來資本の投資當事者の努力の如何によつては工業

の發展は容易に促進されると思ふ。次に眼を囑すべきは水產業であつて、四圍水に接し近海深く天然の資源を無限に有して居るのである。其發達は現在漸く其緒に就いたといふ位で開發の施設を見たのが他の產業に比して比較的遲れてゐる。だが一度之が施行を見るや急激の發達をなし、大正元年に比べると昭和元年の生產額は約七倍の增加を示して居る。之を見ても如何に水產業は將來に於て有望であるかを知ることが出來る。林業の發展は斫伐に備ふるに造林の計劃の宜しきを得て之を望むべきであるが、總督府では遠大なる森林計劃を以て造林に努めんとしつゝあるから、臺灣ヒノキや其他の臺灣材の名聲は永久に內外の市場に喧傳されるであらう。

最後に鑛業であるが現在其の生產額の八、九割を占める石炭は殆んど需要に供給の伴はない位の盛況であつて、其埋藏量は四萬噸と稱せられる。其外特に其將來を注目せられて居るのは石油鑛業であつて、全島第三紀層中隨處に油田の徵候が覗はれ、既に新竹州下に日本有數の良井二つを有して居る。

數へ來たれば臺灣の產業は農業を除く外は皆青年期或は幼年期の域を脫しない、前途の未知數なるものばかりであつて、將來充分なる資本の投下と努力とに依つて益々日本の金庫と稱せらるゝ名を恥しめぬであらう。

五

最後に本島の對外貿易狀況如何を見るに、昭和元年度の本島輸移出入總額は四億三千五百萬圓であつて、內輸移出高は二億五千二百萬圓內、輸移入が一億八千三百萬圓であるから、差引き六千九百萬圓の輸移出超過となつて居る、けれども此輸移出超過額は移出超過のみから出て來た數字であつて、本島の輸出入貿易は輸出五千萬圓、輸入六千二百萬圓で、却つて輸入超過となつて居る。故に內地との貿易關係のみから云へば、移出が二億二百萬圓、移入が一億二千萬圓で、差引き八千百萬圓の出超といふことになる。斯樣に本島は對外國貿易に於ては微々として未だ語るに足らざるの狀態にある

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、內地に對しては食料其他工業原料の供給地であり、又內地生產品の相當重大な消費地として植民地たるの使命を充分に果しつゝあることが分るのである。移出は過去三箇年を見るに年々稍や減少の狀態であるが、之は主として砂糖の一時的收穫減少と樟腦の不況等による減退であつて、本年は砂糖が未曾有の增收であり、樟腦もやゝ立直つて來たから移出は漸次恢復して來るであらう。

對外國貿易に於ける輸入超過は織物類、禮拜紙等を除いて其の大部分が原料品又は原料的性質を有する物の輸入によつて生じてゐるのであるから、反對に輸出品が食料、樟腦等の非原料品によつて其多くを占められてゐるに比し、輸入超過必ずしも悲觀するに及ばざるの現狀にある。

次に重要移出品中、米、砂糖は日常の必要品であつて、砂糖は勿論、臺灣米は正月の糯米とか或は日常の食卓とかに內地國民の需要を充して居る。米は昨年の移出額が二百六十萬石で、砂糖の移出は六百九十萬擔に達し日本消費糖の六割を滿して居る。芭蕉とパインアップルの罐詰が殆んど本島から供給される事はこゝに說く迄もない。特に芭蕉の如きは津々浦々に到るまで果物屋の店頭に見ざることなき狀況である。臺灣獨特の茶である烏龍茶も最近盛に飲用さるゝやうになつた。其他防蟲劑としてなじみの深い樟腦の原料、それから酒精も亦多量に本島から移出される。

苧麻及黃麻原料、或は苧麻絲の如き本島の特產品も近年移出の增加を見つゝあつて、甘藷を切乾せる切干藷が燒酎、酒精の原料として年額二百萬圓に昇る移出を見つゝあると同樣、未だ一般にポピュラーではないが、將來益々增加を見るであらう。

前述の如く臺灣は內地への原料の一供給地たると共に內地生產品の重要なる消費地であつて、本島住民の生活の向上擴張と共に益々此關係は深くなるであらう。吾等は內地から同じく生活必需品たる一千四百萬圓以上の織物類を始めとし、小麥粉、醬油、酒類の如き食料品等の供給を受けて居る。夫れに加ふるに、看過出來ないのは內地より南支那方面へ輸出貿易の仲繼地たる役目を演じて居ることであつて、乾魚、鹹魚、綿織物の如き年額一千五百萬圓に及ぶのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度の自然と人間（下）

森下薫

「マラリヤ」は印度の悪い意義で世界に誇るべき一つであります。其の流行の猛烈なることは他の國に比較して御話にならぬ位であります。「マラリヤ」の如きは臺灣もさうでありますが、正確の統計を得ることは困難であります。自分が「マラリヤ」でないと云つても「マラリヤ」である者が澤山あります。熱が出れば必ずしも「マラリヤ」と申すかと云ふとさうでない。從つて何處の國でも統計をとることは困難であります。印度では「マラリヤ」に罹つて居る者は先づ八千萬人とされて居ます。我國の人口よりも多いのであります。それがどの位死んで行くかと云ふと年々百二十萬人を惜氣もなく「マラリヤの犧牲に供するのであります。全人口の二十%以上であります。流石に印度は規模が大きい、臺灣なら三年ばかりで一人も居なくなる。印度の病氣全體の四分の一は實に「マラリヤ」であります。御承知の通り「マラリヤ」は「アノフエレス」

と云ふ蚊に依つて傳播されるのでありますが、此の「アノフエレス」は臺灣では唯今で認められて居りますのは約十三、四種あります。印度には三十六種類位あります。印度の名物の「カラザール」と云ふ病氣は一種の原蟲「ライシユマニア・ドノヴアニ」と云ふ「マラリヤ」と同じやうに一種の原蟲に因つて起るのであります。これは「ベンゴール」州「アツサマ」州聯邦州及東海岸の「マドラス」まで蔓延して居ります。是は不整熱の持續と、進行性痩削及脾臟及肝臟の腫大を伴ふ病氣でありまして、特に子供に多い。死亡率出産率の影響は非常なものであります。只今のところでは未だ何に依つて傳播せられるかと云ふことは明瞭には判つて居りませぬが、病原體は特に「サンドフライ」と申す、吸血性昆蟲の一種、學名「フレボトームス」と云ふ小さな昆蟲に依つて傳播されるものであると大體決定して居ります、「フレボトームス」と云ふ昆蟲は沖積層の土地に發生し且つ印度の氣候、即ち「モンスーン」の季節が甚だ其の發育上好條件を提供するのであります。此の病氣のために千九百二十五年の調査では、「アツサム」州では六千三百六十五人死んで居ります、「ベンゴール」州では一萬六千七百六十六人死んで居ります。又再歸熱は一種の「スピロヘーター」に依つて起るのでありますが、印度の西の方に非常に多い病氣であります。「パンジヤツプ」州では千九百二十五年に二萬四千四百七十一名の患者中、二千二百五十八名の死亡者があり、又「ベンゴール」州では三千百六十一名の死亡者があつた。其の他「フランベジア」もあれば甲狀腺腫もあります。十二指腸蟲の蔓延も相當なものであります。日本にも御座いますが「フイラリア」も亦半島の東海岸を始め「ベンコール」州にも多いのである。殊に「カルカツタ」の如き大都會が流行地であります。又「ギネア」蟲と稱する非常に長いもので一米突位ある長絲のやうな蟲の寄生が少なくありません。それは體中を這ひ廻つて皮膚の壞瘍から出て來て引張ると幾らでも出る。能く箸で卷いて出すことがあります。其の病氣が半島から西部印度に蔓延して居ります。斯樣な病原性細菌や寄生蟲に依る疾病が多い。他に、自然界に思ふ儘に跋扈して居る猛獸毒蛇がどの位人間生活を脅かして居るか分りませ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぬ。毒蛇は約其の種類二十六七種もありませうか、臺灣と同じやうに青竹絲、阿里山ハブ、雨傘節も居ます。最も猛烈なのは「コブラ」「ラワセルスバイバー」の二種であつて、主に草叢の中に居ります。印度では「サボテン」の草叢が毒蛇の屈強の住居であります。「サボテン」は道路に非常に良いと云ふので道の兩側に植へて居ります。此の二種の毒蛇の爲めに命を失ふ者は年々、約二萬人近くでありまして、昨年は一萬九千二百五十八名死んで居りますに不拘、印度人は此の毒蛇を見るに極めて寛大であつて、之を殺す所ではありませぬ、寧ろ神樣の一種として崇拜するのであります。尙ほ蛇と親密にするのも印度人の風習であります。大道で大きな錦蛇を擔いで居るのも珍らしくないのであります。英領になつてから政府は治療血清を製造して犧牲者の數を少なくすることに努めて居りますが、印度のやうな大きな國では中々成績が上らぬ。又野生の猛獸類に依る犧牲者を擧げると、千九百二十五年には虎の爲めに咬み付かれて死んだ者が九百七十四名、豹の爲めに百十八名、狼に殺された者が二百六十五名、熊の爲めに八十二名、象の爲めに七十八名、山豚のため七十三名、鰐の爲めに九十八名、其の他を合せて總計千九百六十名ばかりが死んで居ります。是に對して野獸はどの位なくなつて居るかと云ふと、一千九百二十五年に政府の命令で二萬千六百五頭ばかり捕獲されたのであります。內、虎が千六百九頭、豹が四千六百六十頭、熊が二千四百八十五頭、狼が二千三百六十一頭と云ふことになる。又各種傳染病、「マラリヤ」「カラザール」等に對しても英國は不斷の努力を以て撲滅を計つて居りますが、第一此の偉大なる自然に育くまれ、流行蔓延上非常なる好條件を具備して居る上に、印度人の因襲的の生活が容易に救ひ難きまでに非衞生的になつて居るから、之を相手にしての戰ひは一寸やそつとのことでは形勢を變へるところに參りませぬ。印度人としても固より總ての人が眠つて居るのでなく、中には文化の光明に觸れ勇敢に人間を打訶む大自然を相手に戰つて居る者もあることは事實である。併し私の見る所では大部分の人はさうでない。寧ろ羨ましいまでに自然に從順であり、謳讃的であり、自然の懷に抱かれて生まれ、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

死んで行く人達の樣である。此の自然禮讃の心理を分析して見ますと、恐らく次ぎのやうなものと考へます。其の自然が光と熱と土地とに惠まれて居ります結果として、一つは豐富なる生產物を與へられ、生あるもの、殊に人間の生存上の幸を痛感して居りますと共に、其の自然の有する恐しさをも痛感し、卽ち自然に對する感謝と恐怖、此の二つの觀念が、人として自然の前に屈服せしめ生氣ある自主的觀念を失はしめ、他力的な運命觀的なものたらしめ、極めて敬虔な自然禮讃者となつたのであるまいかと考へます。而して未だに極めて「ロマンチック」な、さうして幾多の謎と因襲とに富んだ、生活の樣式ま脫し得ないのである。體には印度の衣服なる「チャドル」を纏はずとも、內には依然として多分の因襲生活を藏して居る者は少なくない。

斯くの如く自然に對する觀念が人生の無常感と變じ、安心立命の地を求むる爲めに宗教を生み出すことは當然過ぎる位當然であります。果せるかな印度は印度教佛教の如き世界的の大宗教を生み出したのであります。但し目下の佛教は殆んどなく、唯印度教と、さうして外來の「マホメット」教が二大勢力を爭つて居る。印度人の生活を論ずるに當つて、宗教を度外視することは出來ない。印度人の生活は宗教其のものである。日常生活の指針は悉く宗教上の教に準據したものであります。彼等の生活は宗教上の儀式と習慣との聯絡したものに過ぎないと云つても過言でないと思ふ。宗教上の行爲に對しましては極めて勇敢で、忘我的で、獻身的であることは、印度の到る所に、壯大なる而して宗教的の觀念なしには如何なる權力を以つてしても金力或は時を以てしても成し能はさる大伽藍があり、又莫迦〱しい迄に狂者じみた勤行苦行を平氣でやつて居るのを見ても分る。其の中の二三の例に付て話を致しますと、「ヒンヅウ」教の宗教儀禮の第一歩は沐浴であります。一日に一遍は必ずやる。河のある所は河邊、河のない所は大きな池に這入る、其の池たるや排水路がない爲めに古い水が溜つて褐色や綠色の微生物が滿ち〱て居りますが、此の中で平氣であります。河の中で、入浴して最も靈驗のあら

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たかであると云つて居りますのは「ガンヂス」河と「ジュムナ」河「サラスワテー」「インダス」「ゴーダワリ」「ネルブタ」「カウヴエリ」等でありますが、殊に「ガンヂス」は最も欣仰する所で、何處の池でも「ガンヂス」から水が來て居るものとして身は「ガンヂス」の中にありとして沐浴儀式を行ふのであります。私の見ました「マドラス」附近の「コンジーベラム」に大伽藍が御座いました。其池の水は矢張り「ガンヂス」河から來て居ると云つて居りました。沐浴で殊に有名なのは「ガンヂス」の一支流に面する「ベナレス」と云ふ所で御座います。今日でも各地から無數の順禮者が集まつて參りまして沐浴するのでありま す。此の沐浴は印度人の潔癖を示すものでありませぬ。唯盲目的の宗教上の行爲を示すに過ぎない。流石に印度の宗教で、熱帶地では生活と水とは離るべからざるもので、人間と水と親しくすることは當然である。斯う云ふ儀式は西比利亞で起つた宗教が考へ出さうとも思はれない。又先程申しましたやうに、牛は「ヒンヅウ」教にとつては神の使として罪人は罪を犯しても牛の排出物を食ふと罪業は消滅すると云つて居ります。宗教のやうなものでも、其の土地の自然の影響を多分に受けて居るところを見れば、人間は全く其の環境に育くまれて行くものであると痛感せざるを得ないのであります。宗教上の話の序に葬儀の御話を申上げます。「ヒンヅウ」教に於ては大部分は火葬でありまして、其の火葬も極めて簡單でありま す。死人を布で覆つて「ガンヂス」のやうなあらたかな河岸で沐浴して居る傍で燒いて居ります。案内者があつて觀光客に此の沐浴する所を見物させるのですが、死體を燒いて居るところに船を止めて見て居る者も少なくない。同じ「ヒンヅウ」教でも土葬水葬があります、水葬は簡單でありまして河の中に放り込むだけですが時に其の死體を犬が引出すこともある樣です。面白い葬儀法の一つとして「パーシー」と云ふ人種の行ふ方法があります。此の「パーシー」は波斯から移住して參りました白人種に非常に似た人種で、富もあり智識のある上等の人種であります。所が其の葬儀の方法は頗る奇拔で、死んだ死體を鳥に喰はすのであります。「ボンベー」にある有名な沈默塔と云ふのは其の葬儀場で、其の塔は廣い圓筒形のもので五

箇あります。壁の周圍に禿鷹の一種で「ヴアルチユア」と稱する鳥が一ぱい留つて居ります。死人が塔の中に運ばれると此の鳥が先づ目玉を喰つてから二時間位で「ペロリ」と平げて仕舞ひます。塔の中は子供が百人婦人が百人、男が百人合計三百人這入る場所が出來て居ります。「マホメツト」敎は多く土葬であります。頭を北に向けて顏を右側に向けて埋めるのであります。

宗敎上の面白い因襲として色々御座いますが、昔「ヒンヅウ」敎の大罪とはどう云ふものであつたかと申しますと、第一に婆羅門又は牛を殺すこと、第二は故意に墮胎をやること、第三は椰子酒を飲むこと、第四、金を盜むこと、第五は師事する人の妻との姦通をすること、第六は以上の罪を犯した人と交際すること。是等は非常な罪に値したのであります。所が斯う云ふ風な罪業も「アシタヨガ」を修めれば免がれ得るのであります。是は一種の行でありまして、三日間斷食した後「シヴ」の靈地に參詣して神樣に祈禱を捧げ、さうして額の上に「テラカ」と云ふ點を描きまして、然る後其の地上を拂ひ清めて鯱立ちをするのである。而して其の形の儘右の鼻で息を入れ左の鼻から出し、祈禱をするのでありますが、甚だ六ヶ敷い話です。併し惡いことをしても鯱立をすれば罪業消滅すれば造作はない。是は昔の話である、今では惡いことをすると政府が取締つて呉れる。

「マホメツト」敎は「マホメツト」が昇天致しました紀元六百三十二年の後、間もなく印度に這入つたのであります。武力を以て「マホメツト」敎の勢力を廣めて參りましたのは十世紀の頃で、一時は殆んど全印度を席卷したのでありますが、現代では「マホメツト」敎を奉ずるものは六千六百萬人に過ぎない。これは在來の「ヒンヅウ」敎は極めて頑強なる社會制度を執つて居た爲でありまして、容易に他の「マホメツト」敎に屈伏しなかつたからであります。現今では「マホメツト」敎と「ヒンヅウ」敎と對立して居ります。色々習慣が違ふ爲めに二つの宗敎が常に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

闘爭をやつて居るのであります。是は心ある者は印度の癌であると考へて居るが、爭ひの原因は政治的意味に於てゞはなく、單に牛に關して居るなど甚だ愉快である。「ヒンヅウ」教は神樣の使ひとして牛を崇敬して之を食ふなどとは以ての他である。然るに「マホメット」教は御祭りには神樣の犠牲として之を食ふ。印度教徒は極度に憤慨し、之を救ふ爲めに血を賭して爭ふて居るのであります。今も矢張りあるさうであります。斯の如く大部分の印度人は宗教を中心として生活し、互ひに爭つて居ります、國家などゝ云ふ觀念を有つて居るものはどの位まで居るか疑はしいのであります、英國は之を何と見て居るでせうか。人道的見地から此の惡習を矯める爲めに努力して居るとも申しますか、或は北叟笑んで居るではないかと思ひます。

又印度教で最も厄介なる社會制度たる種姓制を造つてあつて、虐げられる者は極度に虐げられ、權勢を有する者は極度に專斷横行を恣にして居ります。此の種姓制度は極めて嚴格であります。一度生れた後は終生其の種姓間に屬して、之を脱けることは出來ない。今は餘程緩和されたやうでありますが、古い習慣と云ふものは中々脱することは出來ませぬ。

印度の婦人は恐らく世界中で最も憐れな婦人の一つでないかと考へる。閑居主義を強られ、自分獨りで戸外を歩いたり、夫以外の男子と漫りに口をきくことさへ許されない。而して女子は生まれながらにして厄介者視され、七八歳から十二三歳までに必ず配偶を見出さなければならぬ。若しそれ迄に嫁かないと家内の大恥辱となつて居るのである。私は實際十一歳の母を見た。全く其處で何等の人間意志を働かすことなく習慣の命ずるまゝにすることをして居るだけであります。又女性は結婚する時に必ず幾らかの持參金を必要とするのであります。親としても女子を好まない道理です。更に女子は一度嫁したならば、夫の死後は絶體に再婚を許さない。又誰が扶助するでもなく實に寡婦の境遇は慘憺たるものであります。夫の死後の生活は唯筋肉勞働が殘つて居るだけであります。印度を歩いて筋肉勞働に從事して居るものを見れば

れは寡婦と思つて良いと云ふことである。昔は夫の死亡と共に妻は殉死したさうでありますが、一面寡婦としての境遇の耐へ難いところからの進んで死に就いたのであると言はれて居ります。此の早婚と再婚禁止及び殉死の弊は印度政府に依つて禁制して居りますが、積年の弊風は中々改めない。斯の如く印度の人は頑迷なる習慣に縛られて居りますが何事も言はない。「ガンヂ」の如き人は、印度を此の悪習から救ひ出すべきことを絶叫して居りますが、大部分の人は黙々として宗教の奴隷となり、陋習の中に極めて無智な非衛生的の生活に甘んじて居ります。大自然に育くまれ、豊なる天恵に浴する一方に、其の自然から虐なまれ、此の依頼心と恐怖心とから、印度人は覇氣を奪はれ、何等自主的精神のない單なる生物として蠢いて居る様は實に涙ぐましい心持なしには見られないのであります。私は印度の自然と人間を見まして、悠久と云ふものに觸れたやうな感じであり、恰も千古の夢を見果てない様な重苦しさと悲哀とを感じたのであります。私の印度に對する見方は是であります。

大體印度と云ふ國は其の人種から云つても我國のやうな一箇の陶冶されたところの國民性を有する種族から成り立つて居るのではなく、印度とは宗教、血統、風俗、習慣の相異つた幾多の民族の雜然として組織して居るところの地名に過ぎない。それ等の人に關する研究も未だに完成して居りませぬ。大體どう云ふ人が居るかと申しますと、大古即ち印度「アーリア」人の移住して來ましたまでは、全印度に黒人種が居たと言はれて居ります。而して全印度は一度此の黒人種に依つて支配されたのでありまして、黒人の渡來したところは、北東の境から「コラリヤ」人と、北西の境から「ドラヴイダ」人とであつて、是等の黒人種が這入つて參りましたが、「ドラヴイダ」人の勢力が强かつたので征服して殆んど全印度は「ドラヴイダ」の勢力範圍になつたのであります。ところが紀元前千五百年乃至二千年頃中央亞細亞の根據地から、白皙長大な「アーリア」人がやつて參りました。一方は西方の波斯に、一方は印度の北西部に入り込んで來たのであります。此の人種は非常に丈が高く皮膚色が白くて、先住の黒人種に比べて優秀なるものであります。漸次之を征服して遂に全印度に勢威

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を振ふに至つたのであります。歐洲人種と先祖を同じくする此の「アーリア」人は爾來「ドラヴィタ」黑人の女と結婚を致した。爲めに今日の印度人の多くは此の雜種であります。印度人は大概皮膚の色が黑色であると考へられて居りますが、印度に參りまして私が感じましたのは、印度人は黑いと云ふ定義を訂正しなければならぬと云ふことです。場所に依つては黑い人も居るが我々よりも一つと白い人種が多い。歐羅巴人と全部祖先を同じくする比較的純系の者が今でも殘つて居ります。黑人との交雜の程度が比較的低いものが美姿の持主である。又北印度に於ては其の後「ダッタン」人「アフガニスタン」人及波斯人の浸入を受けまして人種の混血を生じ、又一方に蒙古人種が北「ヒマラヤ」の北東から入り込み、今でも印度の北東部「シッキン」「アッサム」「ブータン」等に其の子孫が繁榮して居ります。「ベンゴール」人と申しますと「ドラヴィダ」黑人と蒙古人種の混血種であります。其の後入り込んだものは海路に依つて這入り込んだもので、紀元一世紀には「ユダヤ」人十世紀には「アラビヤ」人が西海岸に入り又孟買の先程申しました「パーシー」は、八世紀頃本國なる波斯から宗教上の爭を避けて印度に這入つたものであります。十五世紀には「ヷスコ・ダ・ガマー」の印度の海岸に上陸して以來、今日の歐洲人が入り込み、印度人との間に生まれた半黑の「ユーレシアン」又は「アングロ・インディアン」と稱せられたる混血兒も少なくありませぬ。是は目鼻立ちが頗る良い人種であります。斯樣な多數の人種が混然として居りますので、言語の種類も頗る多く、或は七十種と言ひ、或人は百四十種と申して居ります。是等は山間避地の土人が使つて居るものを計算したのでありますが、約百萬人以上の人が使つて居ります言語の數は、二十三種類あると云ふことであります。印度統一の至難である原因の一つは此處にも存するのであります。斯う云ふ人種が、長い歷史に於て、殆んど著しく人間的向上なく、爭を事とし宗敎の奴隷として、只時の流れに身を委せて居る樣子は憐なる有樣であります。

「デリー」に七つの古城があります。其の古城を見ると壞れ掛つてある儘で總べて放り出してあります。それを見まして如何にも印度の歷史は破壞と建設を繰返し、其の間何等の進歩もないものと云ふことを痛感したのであります。永く御清聽を煩はしまして恐縮に存じます。（終り）

內臺航路船に對する私見

工學博士　鹽田泰介

私は鹽田であります。三菱造船の仕事に關係を致して居りますが、決して今加茂會長の仰せられたやうな事實はないのであります。茲で一寸內輪話を申上げることを御許を願ひたいと思ふのでございますが、此の度機械學會員が臺灣へ見學旅行講演會をせられるに當りまして、一番先きに出席を申込んだ所が、加茂會長から何か造船に關する話をして吳れと云ふ御話がありましたが、私は公衆の前で演說したことはないとお斷りしたのです。機械學會員の中でも、藤島君、宇津木君、山田君と云ふやうな造船の畑の人があります、まあ宜い連れが出來たと思つて居たのであります。機械學會の方から三人に別々に書面が參り、別に造船に關する話をして吳れと云ふことでありまして、御斷り申上げたいと思つたのでありますが、何れも老人でございまして、旅行に就ては會の幹部の方に御世話になることでありまして餘り我儘ばかり申すことは宜敷くないと存じまして、何かやらなければならねと考へて電話で打合せを致しました、結果題目にある樣なお話を申上げることになりました。卽ち我々は臺灣航路船が多くは古船を用ひて特に設計されたものはなく、甚だ遺憾と思ふて居ります。是れが三人共同感であるので、さう云ふことを理想的のものを考へて見やうと云ふことで、船の上で話合ふと云ふことに致しまして、神戶から乘船して吉野丸の船中で三人で作つたのですが、何れも相當の部下を有つて仕事をして居りますので、大した記錄を有つて居りません、探し出すに塵の中を探さなければならず、甚だ材料は貧弱であるのでありますが、さう間違ひはないと云ふ積りであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時渡本論に入る前に、臺灣航路に用ひた船の沿革を申上げて見ますと、明治二十八年には、臺灣が我が日本の領土に歸した後は、勇氣ある人は御用船に便乘を乞ふと云ふやうなことであつたが、間もなく陸軍の航路が開かれ、二十九年の四月に大阪商船會社に總督府から命令が下つて二千噸以上の船を三艘を以て定期航海をしたのであります。又九月に日本郵船會社にも同樣な命令が下つて大阪商船の船は神戶を基點として下關、長崎、沖繩、基隆として出て來る、日本郵船の方は宇品、下關、長崎、基隆、斯う云ふやうな次第でありまして商船會社の船は未だ其の時代は小さく臺南丸、臺中丸、臺北丸と云ふやうな御承知の通り、三千三百噸位の船であります。速力は十六「ノット」位は出し其の時代には至極適當の船であつたのであります。夫れが彼是八九年の間は滿足に使用されて居たのでありますが、偶々日露戰役の時に船の必要から、日本の有志者間に義勇艦隊を作ると云ふ趣旨で義捐金の募集が出來て初めて作つた船は櫻丸で、その計畫の前に私は神戶の方に參つて居て事情は知りませんが、作り初めの時分には臺灣航路に充てると云ふことではなかつたのであります。船は造り運輸を賴まなければならぬと云ふので義勇艦隊から商船會社に交渉して臺灣航路に充てたのではないと思ふのであります。所が櫻丸は多くは海軍の豫備の人の設計でありまして軍艦に近いやうなもので、商船とは隔れて居ります、商船會社で夫れを運用して見ると石炭が要る。速力は試運轉の時は二十一「ノット」出るのであります。そんなに出しては非常に石炭が要るのであるから速力を緩めると篠村さんの言はれた樣に算盤が執れない、四十二年の初めに總督府の方で郵船會社に命令して六千噸の船を二艘を神戶基隆間の運輸交通に充てることになりました、其の時分は交通が開けた必要から其の命令が下つたと思ひます、郵船會社の方では鎌倉丸、讃岐丸、後に信濃丸、備後丸と交代した船であります。商船會社の方は亞米利加丸、笠戶丸を以つて櫻丸を間に挾んでやつたのであります。先刻申上げました樣に櫻丸は營業上不利益であると云ふので義勇艦隊に返して、笠戶丸、亞米利加丸をやつて大正三年の九月に郵船と商船の船を三艘宛にすると云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ命令が下つた。さうして大正十三年に商船會社が蓬萊丸と扶桑丸を買つて亞米利加と香港を除いた更らに昨年の四月に瑞穗丸を此の方面に充てることになり、郵船會社では大正十四年の二月に獨逸から賠償に提供した船吉野丸を郵船會社が引受けて是れに充てたのである、郵船會社では何時頃か近海郵船と分立して居ります、近くは朝日と大和丸が伊太利から買はれたと云ふことであります、約九千噸と聞いて居ります、兩社が三艘宛揃つて今日は何の不足もないのであります。我々は豫てから日本の船は世界の三大海運國と言はれて居るが古船が非常に多い、是れをどうかしなければならぬと感じて居るのであります、今のどの船も明治三十一年に商船會社が臺南、臺中、臺北を造つた、櫻丸を一寸充てただけで後は皆古船で臺灣航路に充てたと云ふことは何かと申しまと櫻丸の時分には海が荒いのであつて小さい船では面白くない船は小さくてはいけないと云ふので六千噸と云ふ命令が下つたことゝ思ひます、大きな船でないと此の航路に入れないので段々船會社も適當な船を造つた、臺灣航路は虐待されて居るのは甚だ遺憾であります、外國人は臺灣を以て日本の寶庫であると言はれて居ります、臺灣に對し甚だ虐待して居ると云ふのは遺憾に思ふのであります。

又私の乘りました吉野丸は十四「ノット」四分の三と云ふ平均で航海して居りますが、日本の文明の進步の程度では臺灣の航路は十五「ノット」見當を以て航海されないのは聊か遺憾の樣に思ひます、今少し速力を早めることは日本として適當ではないか速力を早くすることが第一の問題であると考へて見たのであります、十八「ノット」にしやうと考へて見ましたが神戶から門司寄港臺灣に行くに今では神戶を十二時に出て翌朝六七時に門司に著く、門司で多少の荷役をして下關を十二時に出て翌々日の朝基隆に著くのであります、少し早くした所が夜中に著くも大變に不便になるので巧くいかない、是れを十八「ノット」に致しますと神戶を午後五時に出まして下の關に、二百四十海里を十四時間で七時に著く。下の關を十二時に出ると十八「ノット」で七百五十浬でありますから四十二時間はかりで、第三日目の朝六時に基隆に著くやうになる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どうも一晩泊りで下の關から基隆まで來ると、二十五「ノット」と云ふやうな速力を出さなければならぬので非常に困難で日本の經濟狀態で其所まで進步して走らするのは困難である、基隆に著きまして今日一日と明日一日と明後日の午後の四時に出帆する、三日の間に荷物を揚げ卸が出來るかと思ひます。吉野丸の船長の話では之は中々困難である、而も此方は氣候が惡い時は雨が降りまして辛いと云ふことであります、我々は荷物は餘計にはないから今の時間で出來なければならぬと思ひます、今度考へが實現し得るならば船は荷役を便利に阜頭の設備も改良されると船長のお話ですが、兎に角あゝ云ふ人は現狀に囚はれるのであります、我々は荷物のことは判かりませんが無理はあるか知れませんが無理でもさうしなければならぬ。さうしますと云ふと詰り一航海が十日に出來ます、今は月に二回して居ります、而して是れを三回にすることが出來るがこうなると今度は引合はないのであります、總督府なり日本政府が非常な金額を補助をしなければならぬ。三航海は算盤が改まつて宜いのであります、船長に聞きまして客がどの位あるとか我々の船で我々の算盤が執れるかと云ふ考へをしました、それが今偉い立派な演題になつたのであります、夫れが船の上で一時間が二時間の楽で甚だ恐れ入るのであります、夫れを申上げる前に速力の如何に貴いかと云ふ造船の話を申上げたいのであります。今の新らしい船は客なものであります、私は皆さんに現實に御役に立つと思ひます。

軍艦も商船も詰り計畫の基礎になるものは排水量でありまして之は船の水面以下の容積を計つて其の容積の水の目方が卽ち排水量であります、只今申上げました船は長さ四百八十尺幅六十一尺吃水が二十六尺斯う云ふ船であります。此の船が排水量は何噸あるかと申しますと之を乘けると長方形の立體になります、夫れに設計數を乘けますと四角なものになる、船は丸いものであるから眞四角に引かして實際の容積を云ふのであります、荷物船は七八と云ふやうな搬れたものであります、此頃では荷物船で七五と云ふやうなのもあり速力の速い船は巡洋艦に近い船で六一であります、是れが排水量

であります、米突法が施行されて居りますが私は古い者でありますから英尺で申上げます、之を三十五で割る、三十五と云ふのは排水の立方尺英二千二百二十封度、是れで排水量が出て居ります、皆さんは御承知の通り方程式を書きますと、米突法でありますと米突の一噸は、海水の一噸であります、三十五分の一と云ふものを乘けることが出來ないから三十六分の三十五で……斯う云ふ船が宜いかと思ひます、丁度今の航路の商船は四百五十尺位であります、同じやうになつたと云ふことは大體に今の運輸狀態を滿たすには四百五十尺位ではいけないことはないが船を短かくすると航海上「ピッチング」すると云ふことであります、現在の船より短かくするのは人氣が惡いと思ひます、矢張り今の古船のもので間に合ふやうであります、我々がやつても稍々今の船で宜いと思ひます、速力の足らない船はいけない、今度郵船會社で持つて來る船も大低似たものであります。總噸數とは計算の基礎を異にして居ります、此部屋なら、壁を除いた、中の容積を百で割つたものが總噸數で圖を書いて見ないと判からん、深さは三十六呎六吋、「センターデッキ」と云ふ形であります、「センターデッキ」は此場合は餘り荷物が餘計に積まれないのでありまして「センターデッキ」が宜いことにして居るのであります。船の形はどの船にするかと云ふと「クルサースタン」巡洋艦式の形を今までは使つたので、長さが速力を助けるに重要なものであります。此「クルサースタン」が長さにとられるのであります。構造の方の強さと重量の計算の基礎は長さが付いたのであります。船はどう云ふ船を作るかと申しますと、兎に角後から申しますが補助艦問題の如き、英米の早い商船の價値は非常に亞米利加の氣に掛つて居ると見えますが我國の方では皆無であります、上海丸が稍々是れに近い、關釜連絡船が入れるか入れないか、日本の如きは缺けて居ります、平生の運用に總督府が補助して居ります、議會が解散になつて確か六十四萬圓出して居ります、此船は若し一箇所乘り上げて破損して水は這入つても沈沒しない。機關室を二つにして機械は一つにして共に二つの前を十區劃に分けて戰爭の際一つ彈丸が來ても二箇所だけは沈まないと云ふやうにしてあ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります、大體申上げますが機械はどう云ふものを造つたら宜いかと申しますと、先刻笹村博士が熱效力の話がありましたが今日新らしく造る商船は半分以上 Diesel Engine を用つて居ります。我々は造船協會に於て郵船會社の造つて居るやうな優秀船は我々、其問題にならぬ前に研究したのであります。蒸氣の方で育つたものであります、夫れを排斥する譯ではありませんが外にも重油を考へて見ないことはないが、申殘しましたが此速力で走るにどの位馬力が要るかと申しますと、

此船は $480\times6\times26\times61\times\frac{1}{35}=13080$ 一萬三千八十噸であります、航海速力は十八「ノット」であります、夫れを維持する爲め相當餘力がなければならぬ其餘力が、巡洋艦の方に用ふ時にはもう少し速力が欲しい。それで二十一「ノット」の計畫であります、二十一「ノット」と云ふ馬力は一萬七千五百馬力であります。先刻申上げました樣に桑港重油船の總噸數は一萬六千五百噸、排水量二萬五千噸であります。小さい船に Diesel を入れると重量が大變に重くなるのでありますが、夫れで航海を長くする船では機械其のものは重くても燃料が節約せられまして結局に於て荷物を積みます分量が多いのであります。航海も永くない、全體で五十六時間でありまして、燃料の節約と云ふことは勿論重量に於て四分の一で宜いかと思ひます。

基隆附近は石炭の產出が多く、今の船も多くの石炭を積んで居りますから石炭が適當であると云ふことに歸著するのであります。夫れから機械はどう云ふ機械を用ひるかと申しますと機械は「二重原速裝置」の高壓の「タービン」を用ふ、罐はと云ふと、近頃斯う云ふ「タイプ」の船には太田「チューブボイラー」が多い、高壓力を用ふるのは太田式が多い、罐を造るのは困難である其「ボイラー」には石炭の「メカニカル」を使つたら宜いと思ふ、江崎君の話であります、夫れに罐に入れる水は循環裝置でありますが大分「ハイカラ」でありますか、斯う云ふやうなことをやつて居ります。我々の此計畫では三百五十間と云ふ餘り突飛にやつても色々のことで不便があるやうなら斯う云ふ船が宜い、先づ斯う云ふことになる。

客は一等が六十人、二等が百二十人、三等が六百人要求に依つて樂に出來ると思ふ是れでは詰り船體の重量が七千噸な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らば六千八百噸が積荷の量であります、もう少し増すことも出來ると思ひます、先づ今の有樣では此位の船が近き將來に於て造ることが最も適當ではないかと云ふ所の三人の議論が歸著したのであります、近頃近海郵船の方でも船を二艘買入れることになつて今持つて來やうと云ふ場合に斯う云ふことを我々が申上げるのは偉い宜くないやうでありますが一昨日基隆で承りますと云ふと基隆の輸出入は十年間に三倍して居ると云ふ話であります、斯う云ふことを理想として言ひ出しても一年やそこらでは實現しないのであります、鳥渡斯う云ふ船を考へて居る其中には今の六艘の間に斯う云ふ船を挾むやうな必要が起りはしないかと考へて御話を申上げた次第でありますので餘り無意味ではないことゝ思ひますので船の中で作つたことを申上げたのであります、詰らぬことを永く申上げまして恐縮に存じます。（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

博物館の記念日と所感

臺北大學教授　移川子之藏

博物館創立二十年記念の祝賀の催しがあると云ふことで、私が大學の方で土俗人種學の方の講座を擔任して居る關係から、やはり博物館にもさう言つた方面の土俗と云ふ様な物が澤山列ばつて居りますので、外の動物の方の方も、此處に御話になり鑛物の方を擔任して居られる早坂氏と共に、何か話せと云ふことで茲に出ました次第であります。

此の博物館は後藤さん兒玉さんの記念として此處へ建られたと云ふことで、是は非常に宜い思ひ附きであり、さうして非常に意義のあることゝ思ふのであります。誰でも内地から來るにしても、或は又外の國から來るにしても、兎に角臺北に一度來られましたら、臺北のステーションを下りると突き當つたところに斯う云ふ堂々たる博物館が建つてありますから、是が博物館であるかないかは知らないとしても、兎に角何時迄も此所に來た人の腦裡に殘つて居るに違ひないと思ひます。さう云ふ意味で臺北博物館と云ふのは、殆んど此所に來る人の全部來ないにしても八歩通り位は少なくも此處に來るだらうと思ひます。我々も海外に行つて隨分博物館の御世話になつて居るので、餘程の俗物でない限りは殆んど全部の人は歐米の博物館を觀て廻つたに違ひありませぬ。中には非常に御世話になつて歸つて來た人も非常に多いだらうと思ひます。一度羅馬の法王廳に屬した博物館がありますバテカンの博物館と云ひます。希臘や羅馬の古い物が澤山ある。其處に一人で私歩いて居たところが、ひよつこり日本人の來るのを見たのであります。誰かと見たところが倫敦の三井の支店長が、非常に忙しい人が手に案内書を持つて、一々古い希臘か羅馬の物を見ながら向ふからやつて來る。あゝ云ふ商賣に携

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて居る人でもわざ〳〵羅馬までやつて來るとは—其の時の御話にはミラノに用事があつて倫敦からやつて來たのであります—是は仲々感心な人と私は思つたことがあります。殆んどさう云つた多くの忙がしい方面に携つて居る様な人でもやはり向ふに行かれる人々は歐米の博物館に足を踏み入れるのであります。さう云ふ意味で臺北博物館は斯う云ふ場所の良い所に在ると云ふことは人を敎育する上に非常に良いことだと思ふのであります。非常に良い記念だと思つて居ります。

一體日本人と云ふのは非常に此の非博物館的の性格を有つて居る人が多い様であります。どうも博物館的でない、物をどうも隱して置く、物を死藏して置く様な傾向が多分に我々日本人の間にある様であります。例へば着物を作るにしても羽織を作るにしても一番良いところは人に見せない様にして居る。羽織の裏なども非常に良い物を附ける。家に行つても床の間の掛物なども澤山あつても一つしか掛けてない、無論時々別の物を掛け替へますけれども是は非常に歐米の人と違ふところなんであります。歐米の家庭によると大概有るだけは皆壁や或は違ひ棚の様なところに一杯飾られてある。少なくも倉などに仕舞つて置くなんと云ふことはありませぬ。何時か日本に永い間公使をして居た人に呼ばれましたので、行つて見ましたが、澤山蕃刀の様な物とか笠の様な物とか色々な物が壁に掛けられてあるので、私眺めて居たところが、大變に趣味が下等だもんだから洗ひ浚ひ出して居る。日本人の高尚な趣味とは違ひますと言つて居りました。併し向ふの人々は死藏して置くと云ふよりも、皆出して公開して人にも見せる、自分も見やうと言つた様なことをやります。日本の色々な立派な物が、非常な金滿家や古い家柄の家には澤山あるに違ひない。現に私の親戚に倉に一ぱいあるのを知つて居るけれども、私の物でないから一々其處へ參りまして見せて戴くだけのことであります。さう言つたのが澤山あるのです。あゝ云つた物を一つ處に集める、即ち寄附をして貰ふ、或は向ふから寄附する様にして皆に見せてやり度いと云ふ氣持には、日本人は餘りならないらしい。家を建るにしても日本人はぐるつと非常に高い塀を廻して中は見えない様にして居る。ど

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

うもさう云つた樣に、公開をしないで自分で樂しむ樣な氣味があります。併し斯う云つた例を擧げると未だ〳〵幾らでもある樣であります。例へば宿屋などでも其の一つであります。宿屋の組織が違ふかいでもありませうけれども、向ふでは—歐米では皆な寄り集つて煙草を喫だりピアノを彈いたりする娛樂室なども相當の宿屋にもあります。食堂は皆一緒で片方に立つて向ふを見ると泊り合せた人も或は泊り合はせない人も全部其處に顏を見る、さう云ふ風に皆外の部屋に泊つて居る人と顏を見合せ話をする機會などもありますが、日本の宿屋になりますと、戶は閉め切つて鑰は掛けませぬが隣りの部屋との襖は開けませぬから、まるで籠城して居る樣なものであります。さう云ふ風に一緒にならない。開いて外の人と倶にすると云つた樣なことは少し缺けて居る樣に思ふのであります。從つて、日本の博物館と云ふものは、歐米のものに比較しますと、非常に貧弱で、紐育の博物館なり、或は歐羅巴で云ふビーンの博物館であり、或は獨逸ビルデン、ハンブルヒ等の博物館クーコン、ルーブ、英國の大英博物館などは申すに及びませぬが、堂々たる建物で其の中に陳列してあります。得難い非常に大切な物ばかりで、世界中から集めた物を研究して居ります。さう云ふ點は日本の博物館に比較しますと非常に情ない樣な氣がします。是は無論金が掛つて居りませうが、曩に申上げました樣に金ばかりではありませぬ。金滿家や古い家柄の人々が持つて居る品物を皆出して貰へば、あれに劣らない遙に立派なものが出來るでありませう。建物を建てたり維持する金はどうにもなるだらうと思ひます。なぜかと申しますと、ハンブルヒの土俗人種學の博物館の係の人の話には、確か千九百十三年と云ひますから、恰度歐洲大戰爭の前の年に始めて、戰爭の爲めに暫く中絕して居りました。最近になつて悉皆出來上りまして非常に立派なものになりました。夫れは全部土俗人種學の方に使用して居るのであります。あゝ云ふ獨逸の樣な戰爭の爲めに困つて居る國にも不拘、戰爭が濟むと續いてあんな立派な物を建てまして、而かも土俗人種學の物ばかりであります。歐米人と云ふのはさう云つた博物館と云つた樣なもの丶仕事に金を惜まないし、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

頗る努力して居る樣に見えるのであります。是は最も英國の樣な或は佛蘭西の樣な或は其の他米國の樣な、植民地を有つて居る國、其の他にもベルヂュム、和蘭と云つた樣に澤山ありますが夫等の國々の自分の植民地に異民族が居ります。從つて色々の珍らしい物が澤山ある關係から、是等の物を集めて、さうして展覽をし、博物館を造る樣な計劃は當然やります。やらねばならぬことになつて居るのでありませうが、日本の樣な國で北には樺太、北海道あり、其所にはオロッコ、ギリヤーク、アイヌ、ツングー種が居り、南には委任統治でありますが南洋があつて、色々な土人が居ります。朝鮮或は臺灣と云ふ樣に日本の皇威に浴する領土があります。斯う云ふところの違ふ文化を有つて、さうして色々な違ふ人々の住つて居るところを有ちながら、日本には土俗人種學の博物館と云ふのは東京には一つもありませぬ。まして內地には北海道の札幌の植物園の中に一つありますが、小さな博物館で、色々な物を一緒に容れて居ります。兎に角一箇所あります。アイヌ、ギリヤークなどの文化があります。土俗博物館と若し言ふならば、夫れと、朝鮮の、是は未だ行つて居りませぬから何とも確かりしたことは申されませぬが、主として考古學の關係の物が容れてありまして內容に就いては考古學的に歷史的關係の物が多いと思ひます。臺灣と北海道と此の二つ限りないのでないかと思つて居ります、而も臺灣の方は殆んど此の建物の大部分が下は歷史であります。面積から言ふと土俗、歷史方面の博物館になつて居ります。是は是非非常に擴張つて宜いと思ふのであります。さう云ふ意味合に於て私は二十年創立の記念を此處に催すと云ふことは非常に意義が深いと思ふ。一體土俗人種と云ふのは一寸普通の人が見たならば可笑い樣な、つまらない樣な物ばかり列べてある處と考へられると思ふのであります。例へば石ころの樣な、或は中には色々なもつとつまらない樣な物が一ぱいに列ばつて居ります。夫れは一見してつまらない樣に見えるだけのことで、さう云ふ土俗人、卽ち野蠻人などが使ふ物などが、吾々の生活から全く關係のない物の樣に考へて、是はつまらぬと云ふて取り去ることは出來ない。古びた瀨戸かけであるとか、汚い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

著物であると云ふ考で、非常に淺はかに考へて居る。未だ能く辨へないからさう云ふことになるので、野蠻人の生活と云ふ樣なものは吾々文明人とは離すべからざる關係のあるものであります。吾々の今日の生活なり、吾々の今日の文化、精神的方面も含まれての話でありますが、吾々が突然に今日の樣な文化を造つたのではないのであります。永い〳〵道程を吾々の祖先は辿つて來たのであります。非常に苦心艱難をして築きつゝ、段々今日の樣なものになつて來たのであります。夫れで吾々は、是等の土俗人、卽ち野蠻人の使つた物などを見る時に、何時も吾々の祖先皆が永い道程を歩みながら今日まで進んで奮闘しつゝ來たのを見るのであります。謂はゞ其の永い道程、吾々の此處迄進んで來る途中で、中には進みきれずして途中で止まつたり、或は横に逸れた其の儘其處で行進を停止して其處に留つたものが今日の世になつて、吾々から見ると低級の文化を今猶ほ持つて居ると云ふ樣なことになつたのであるから、吾々の昔を遡り調べる場合に、何時も交渉を有つものはさう云つた野蠻人の生活なり、並に其の土人の使用した物なり、風習、そんなものが何時も非常に大切な部分になつて來るのであります。謂はゞ是が卽ち野蠻人と云ふものは吾々の今日の文化の産みの母であります。今日の文化は無から有が出て來たのでなく、卽ち彼等から出て來たのであります。從つて蠻人の今日の文化に對する貢獻と云ふものは非常に大きいものである。是等の蠻人などが作つた物などが堀出されるとするならば、夫等の物はどつちかと云ふと自分等の辛苦の油の塊である。さうして血痕の染と云ふ樣なもので、非常に尊い物である。墳墓、夫れは一本でも非常に尊い決してつまらないものではないのであります。夫れで例へば、此の邊に陳列してあります貝殼の一房であつても夫れは彼處に說明が附いてありますが、昔吾々の祖先などが物を買ふ場合に使用した一つの通貨であつたのである。今日生蕃の中には斯う云ふ物を使用して居るものがあります。通貨と云ふものは世界中色々な種類がある。例へば先き申上げました樣な貝殼であるとか、或は大きな車の樣な物—例へば夫れはヤップ島邊りで使つて居ります—石で出來て居る非常に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大きな車、さう云ふ物を使つて居ります。或は太平洋のサンタクロス邊りで使つて居る鸚鵡の赤い羽を使ふ、或は飛び毛の耳の裏の骨とか毛皮の片をば使つて居る。夫れから鹽の塊、さう云つた物を使つて居る。アフリカの土人の様な者も種々雜多の通貨を使つて居りまして茲に出て居る貝を使つて居ります。此に說明があります様に支那などでもずつと遡ると色々な物を使つて居た様であります。字にも現はれて居る。買ふとか賣ると云ふ字にしても買と云ふ字は何時でも字の中に附いて來る様に歷史と云ふものを遡つて考へる場合にあゝ云つたものを骨子にしたならば、ずつと前きの歷史は上の方は暗闇になつてしまふだらうと思ふのであります。棒一本の說明でも一册の本位にはなるのであります。瓦、土器の端片の一つでも民俗の動移、過去の文化の考證なり立證する上に於て非常に價値のあるものでありまして、さう云つた物を此處に揃へて、さうして之を絶えず觀覽に供して、吾々の昔の祖先が今迄やつて來たところの夫等を吾々が今猶ほさう云ふ物を使用して吾々の間に居ると云ふことを若し忘れて居れば忘れない様にすると云ふことは非常に大切なことであります。乃で是等の物を最も有效に使ふには色々の方法がありませう。さうして斯う云ふ博物館は既に二十年も過ぎて居るのでありますから、色々さう云つた方面の御經驗もあるでありませうし、無論是は經費などの伴ふものであるから自分で考へても仲々思つた通りに行かぬ場合が多いのであります。例へば陳列の方法にしても色々な方法があります。先程より話て來た通りに、進化の順序を第一、第二、第三、第四と云ふ様に進化の道程の示す様に列べるのも一つであります。例へば耳飾は耳飾ばかり列べるのも一つであります。特に進化した有様を列べるのも一つであります。さう云つた進化的陳列方法もあります。地理的に是は何處の地方の物と地理的の列べる方法もある。臺灣島なり亞細亞なら亞細亞と云つた風に地理的にする旁々の様に或る特種の關係、習俗なり、風俗なりを一緒にして斯う云ふ風に變つて來たものであると云ふことを示した其の地方の特色と云ふことは判らない。一方で宜いことがあれば他方で非常に缺點が出て來ます。さう云つた方法

が、或る一定の考へを以て、例へば地理的環境の人間の生活に影響して居るのである。特種のものを主眼として陳列する方法もありませう。色々のさう云つた方法があるのでありませう。但しさう云ふ陳列の仕方と云ふのは非常に色々な國々、色々な習俗、風俗或は人種間のさう云つた風俗に趣味を有つて居なければ出來ないことであります。夫れであるから臺灣の場合、小さな臺灣だけに限つた場合は少し無理の注文であります。併し夫れか非常に陳列の仕方に依つて、若し旨く陳列してあると、見る人に非常に深い印象と非常な教育になるのであります。一々説明を夫れに附けて置くことは無論のことであります。先つき申上げました貝殼の樣な場合色々な此處には斯う云つた種類の通貨がある。或は其處には斯う云つた物がある。此處に其の物が無かつたら圖示し或は寫眞でも置くと夫れはどう云ふ意味でどう云ふ關係になつて居るかと云ふことを示す上に於て非常に宜いと思ひます。夫れから吾々其の方に特別に興味を有つて居るから何とも思ひませぬが、內地から又外國から來た人にアミ族とかパイワンとか書いてあるよりも地圖を赤く此處だと云ふことを地方を示して呉れたら此處だと云ふことが解けはしないか、臺灣の人は解つて居るのでありますから何とも考へませぬが吾々內地から來た者、而も素人には一寸解り兼ねます。さう云ふ場合が或は多くありはしないか、斯う云ふことは細かいことでありますが、光線の工合、風の流通なんと云ふことは非常に能く考へる必要があると思ひます。博物館と云へば足が冷たくて何度も行くと風を引くとか又は暑くて永く居られないとか、眞暗で見えない。是は確か佛蘭西の土俗博物館が澤山ありますがどれも眞暗で何にも見えない。自分で電氣がランプを持つて行かなければならぬ。夫れに色々の説明の書いてあるのが裏返しになつて居るとかどうも始末にをへない博物館であります。和蘭のライデーには澤山の物はありますが建物が無いと云ふことが一つと夫れから經費もなかつたので乃で物を商賣屋の倉などに入れて奥に滅茶々々にある。夫れで家を二つも三つも廻つて見て全部を見た位になる。殆んどさう云ふことをして居りはしないかと思ひます。無論さう云ふことは經驗の

關係上なのであります。何故かと云ふと和蘭のアームスチユルダムの植物園の中の博物館は非常に大きなもので、是は世界の何處へ出しても辱しくない樣な非常に立派なもので、注文を申上げても經費と伴はないものでありますから何とも仕樣がありませぬが出來るものは成る可く少なくとも解りよく皆なが喜んだり樂しむのであると云ふ樣に考へて貰ふことは非常に大切なことゝ思ふのであります。誰も來ないのでは仕樣がありませぬから、臺北の此の博物館は非常に土俗人種學的に考へて非常に重大な使命と非常に意義を有つて居ると思ふのであります。此の臺灣は御存じの樣に支那大陸に非常に近く接近して居るし南或は東の方一體に色々島々があります。太平洋例へばプレニシヤ、ミクロニシヤ、濠洲、印度支那、あの方面の人種、是等の全部の土俗人種學などを研究する場合に、及東南亞細亞、支那其の他ビルマ、佛領印度支那、馬來等あの邊のことを明かにしやうと思ふならばどうしても臺灣と云ふものを通らなくてはどの國へも行かれないと思ひます。今日は色々なものが非常に都合良く殘つて居るのでありまして、之が一つの關門の樣な工合になつて居る樣でありま す。之まではつきり解ると南或は東の方の人種の移動なり、或は變動なりが、非常に能く解つて來やしないか、是は非常に大切なることで、歐米などに行つても此の吾々が此處へ來て言つたことは、主としてやりたいと思つて居る。是非歐米の文字で出して吳れると非常に宜いと云ふことを、絕へず向ふの人々が言ふて居ります。今日の臺灣と云ふものは、吾々の南の方から、東南亞細亞に發展する上に非常に大切なところだと思ふのであります。さう云ふ意味合に於ても、此の臺北の博物館と云ふものは非常に大切なものとなると思ふのであります。大切にしなければならぬと思ふのであります。

未だ申上げることは幾らもありますが又此の次ぎの方がお話があるのでありますからして甚だつまらないことを申し上げました。自分の感じたところを述べて失禮致します。（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺俗百話 蓬萊物語（七）

西岡塘琴

莊嚴な孔子典

官の司祭で官民合同祭祀を行つた臺灣の神の中で、城隍爺同樣、領臺後日本となつてから、これが廢されて僅かに民間有志者の手に依つて司祭される神に、孔子があり文廟祭とか釋典とか云つて居る。孔子は誰も知る、支那が生んだ千古不朽の教義を垂れた大聖で、今日云ふ儒教は孔子の說いた教義を孟子その他の弟子が奉じて、後世に傳へたものである。從つて支那民族の孔子を崇拜することは非常で、かの論語は彼等民族の奉ずる教義であるとして、實行錄のこの文書を、子々孫々傳へて教へる。孔子を祭祀するのは古先聖王を崇拜すると云ふよりも寧ろ宗教として儒教を奉じ、人類靈魂の崇拜に因るものである。儒教は古先聖王の教義で、孔孟の祖述に係り、この內容は宗教道德及び政治の三を兼ね、渾然融和して一大教系を形つくつたものを云ふので、宗教としては形式專ら祭祀の點にある。だから支那では歷朝これを以て治國の要道とし、祭祀を常に政務の一部とし、祭祀の禮を五禮の方に置き　皇帝自ら宗廟天地日月を祭り、又た大小の官吏をしてその祭祀を掌らしめた者である、されば孔孟の道を傳へ奉じた我が日本も支那も、今日に於ては社會道德を維持する上に大な勢力を持つて居ることは、兩國と共に論語その他孔孟の教を記述した書は廣く讀まれ、その教義も深く久しく人心を支配して居る、臺灣でも官吏の手に依つて祭祀されたのが、今は全く民間の有識者間に於て行はれ、而かも教義も亦斯う階級人以外は、その本義さへ解されず、論語などの單に書房等の漢學

塾の一教科書となつて用ひられるに過ぎぬ狀態で、孔子樣は聖人で賢明な人であつた位である、されば孔子を祭祀する釋典なども、多くの臺灣人は單に他の神や佛の祭祀と同樣に扱ひ心得て居るのであるから、道教を深く厚く奉信する者の多い割合に、儒教は餘り多く信奉する人はない、而かも信奉する者も多くは、道教臭味の迷信に支配されて、祈福邀利の具に供し、純然たる儒教に屬するものは、儒教と名づくる廟でも文廟と節孝祠と祖廟位で、文廟は流石に孔子を生んだ支那民族だけに、臺灣でも全島の都邑には必ず大小これが建立されて居るから、可なり數が多いし、領臺前清國時代には官の手で祭祀が年に春秋二回行はれたものであるけれども、領臺後は有識者間の手に祭祀が行はれるから、地方に依つて行はないものもあり、又た廟なども廢頽に任せるものも尠くない狀態である。

釋典は孔子公生と云ひ、孔子祭とも文廟祭とも云ふ。禮記の菜を釋き幣を奠きて先師を禮すと云ふことから出たもので、遂に孔子祭の一名となつたのである。而してこの孔子祭を日本ではおきまつりとも云つて居る。清國時代には支那では孔子を祀る廟を文廟と稱し、禁城を初めとして全土中苟くも直省府州縣城のある所には必らずこれを建立したものだから、臺灣の各都邑にもこれに倣つて、大小のこれら廟が建立されて居るのだ。而して祭祀は春秋の二季に於て、莊嚴な祭典が執行されて來たもので、今日でもその舊慣に依つて春秋二季に行はれる、而して清國時代では、宮中に於ては皇帝自ら親臨して祭典を擧げられ、各地方では皇帝の名代とあつて、地方長官が必ず臨場して、その式を擧げたもので、清國時代ではこの孔子祭は、實に所謂國家祀典の一つであつたものである。さればその祭典も儀式は頗る莊嚴を極めた盛大であつたことは、實に想像以上で到底他の神の祭祀などは及びも得ないほどであつた。日本でも文武天皇の太平元年二月丁巳に始めてこの釋典の祭儀が行はれたと、續日本記に載せられてある。爾來明治維新に至る迄、久しきが間に行はれたものであるが、時勢の變遷で何時しか衰微し、漸くこれが復興を有識者間に唱へられ實行されて居る、而して場所は東京のお茶の水の聖堂即ち孔子廟である。

臺灣でも今日こそ民間有識者の手で行はれるやうになつたが、清國時代では官の手で無論行はれ、而して同時代にはこの祭典は所謂國家の祀典とされ、國帑の力で建立された文廟なるものは、甚だ少くなかつたけれども、現存して居

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るのは康熙二十四年建立の臺南府文廟（臺南に在る）康熙二十三年の建立に係る安平縣文廟（安平に在り）同年建立の鳳山縣文廟（舊城に在り）乾隆十八年建立の嘉義縣文廟（嘉義に在る）光緒十五年建立の臺灣府文廟（臺中市に在る）雍正四年建立の彰化縣文廟（彰化街に在り）嘉慶二十二年建立の新竹縣文廟（新竹街に在り）光緒六年建立の臺北府文廟（臺北城内に在つた）等である。而して臺北の文廟は城内も今の總督府廳舍が建築された地點にあつたのが撤廢されて久しかつたが、最近臺北市大龍洞町に再築され工事中である。殊に臺南の文廟は一つに全臺首學の名がある。由來臺南は清國時代の首都であり、學者の淵叢地であつたから、文廟の建築も廣大なことは全島第一であつたのみならず、文廟の維持經費として多額の樂局租なる財産を有して居るからで、略式だが今も尙ほ舊例に則つて莊嚴な祭典が行はれて居るし、臺北でもこの祭典は行はれる、尤も今日儀式多少舊時とその觀を改めては居るが、大體は舊態の俗を傳承執行して居る。

文廟と云ふのは、文聖孔子之廟の略稱であるから、無論主として孔子を祀ることは明かだが、猶幾多の子弟、孟子や曾子等を配祀して居る。卽ち廟の中央正面には、至聖先師孔子神位と書した靈位を安置し、左側に宗聖曾子神位、亞聖孟子神位と記した二箇の靈位を安置し、右側には復聖顏子神位、述聖子思神位と書した二箇の神位を安置し、尙ほ左右兩側には所謂十哲七十二子等の先賢先儒を配祀し、後廟には孔子の父母の靈を配祀して居る。文廟の祭日は、清國時代には例年舊曆春秋の仲月、卽ち二月八月と云ふことだけを一定し、その日限は每年禮部でこれを確定し、官曆に記載して頒示し、全國地方官はこれに依つて一律に遵奉することになつて居た。然し領臺後は、清國の政令とは何等關係なく、祭日も定むるものがなくなり、從つて臺灣では各地の文廟で釋典事務所の、例の樂局の世話人たる董事が、これを定むることにされた、董事は春秋二季に祭祀することは、昔からの慣例とあつてこれを行ひ、その祭祀の月は舊曆の二月及び八月だから、新曆でまづ一月遲れの三月九月とに執行することにして、各地の文廟も同時祭に行ふのである。昔時は支那でも日本でも、大なる支障さへないと、二月と八月の上丁の日に執行するの慣例であつたから、今日も大概三月と九月との初めの丁日に執行することにして居る。而して祭典の日は、神前所狹きにまでに例の簠簋、籩豆、俎簋の類を列べ立て、以て種々の蔬菜牲醴幣帛香燭

を供するのである。これが釋奠の主たる目的であるから、その供物の數たるや夥しいものである。供物の陳列やその他の設備が出來ると、愈々爆竹を相圖に參拜の各官民及び舞樂佾人執事人等が著席するがこの釋奠が最も禮義を重ずるから、參列員は正裝禮裝で、漢人たる臺灣人は學者文人共に學位階級で、舊政府所定の禮服禮裝をする。尤も臺灣人は近時折半的略式になれるのも已むを得ない、諸員著席すると、最初に先づ迎神の式が奏樂と共に始まる。この奏樂が終ると、「維某年、歲次某干支、朔越某日干支、某攷昭告於至聖先師孔子之神、曰維師、道冠古今、德配天地、删述六經、垂憲萬世、今落仲春秋謹以帛醴粢、祇奉舊章、式陳明薦、以復聖顏子宗聖曾子、述聖思子、亞聖孟子、尚饗……。と云つた祭文が地方長官に依つて捧讀され、次いで諸員が禮拜するが、臺灣人は例の三跪九拜の禮を行ふ、此の間種々の奏樂があるが、舞樂は卽ち佾の舞である。この舞は六佾、八佾の二種あつて、八佾の舞は八人づゝ樂手八列、六十四人を要する、六佾は六人づゝの樂手で三十六人を要する、而して八佾は天子の神とされ、六佾は諸候の舞とされたものである。然るに孔子は大夫の位を以て文宣王に封ぜられた人だから、諸候の禮に從つて六佾の舞を用ゐる、けれども今はこの舞は餘り行はれない、元來釋奠は禮樂を重しとして居るので、この舞樂は嚴肅を旨として行はれるから、今の臺灣人は恁うした重い儀式は自ら避けて居る。それで若しこれを行ふとあれば、當日錯誤があつては一大事と、祭日前から樂子や紳紳先生等は一同明倫堂で稽古をしたもので、昔はこの稽古を地方長官は檢分し、且つ祭典の當日は糾儀官が臨場し、儀式舞樂の終るまでその誤りのなきやを糾察したものである。若し誤りがあると所罰されたと云ふから、これまでこの祭祀の莊嚴さが察せられる。但し今日ではこれがまづ見られないと云ひ得る。それで式の次第は、開祭、迎神、地方長官の拈香、讀祝文、正分獻行初獻禮、正分獻行亞獻禮、正分獻行終獻禮、徹饌、送神で獻禮には集奏無宜平之章とある、樂止望燎禮畢名官及樂舞佾執事人等退班、飲福受胙卽ち酒宴を開く、と云ふことになつて、今も大體この式で行はれる。

　昔清國時代には、兎に角釋典は實に國家の祀典の一つとされたが、祭典一切のことは樂局と云ふ事務所を置いて、董事が幾人任命されたものである。而かもその董事は慣習上、何れも累代相承その職を掌理したもので、而かもこの董事は必らず秀才以上の學位を有するものを以て、これに任

ずとあつた、それ故子孫中に秀才になり得ないものは、親に續いて董事たり得ないことになつて居た、けれども領臺後は、もう清國時代の學位は、何等資格を認められないので、今では何人でも董事たることが出來るが、然し彼等は舊慣を尊重して、秀才とか學人とか云ふ、清國時代の學位所有者を以て任じて居るが、その人員は漸次減少する傾向が見ゆるし、大抵五六人から七八人位である。而して文廟には尙ほ樂局業なるものが附いて居て、その收入を樂局租と稱し樂局事董の手で管理し、祭祀費や樂器の補修費、さては廟宇の小修繕費等に充當して居る、而かも地方に依つては樂局が現に存立せず、祭祀等は有志元の寄附に仰ぐのもあり、樂局租は官の手で管理支配されて居る所もあるし、祭祀の際はその收入の幾分を樂局に給與して、以てこれが費を支辨させて居るのもある、とは云へ、臺灣でも文廟祭は、なか〳〵盛大に各地方で行はれる、釋典はかくの如く春秋二季に行はれるが春秋何れも甲乙なく同一樣に莊嚴に行はれるのは、流石に支那民族だけあると思はれ、大聖の餘德がこの島を永久潤ふして居ると云つて可い、然しこれは一つに形式を尊重する支那民族性の然らしむる所でもある。孔子祭は臺灣で見る一種の莊嚴な、ゆかしい尊い、祭典で、他の祭典は全然趣を異にして居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近に於ける支那實業の發展

小林一馬譯

(二) 棉織工業

新工業の勃興　我が國に於ける各種實業上、發達の最も速にして且つ顯著なるものは、棉織工業に過ぐるものなし、惟ふに我が國に於ける織物は僅かに絹織物及び棉織物の二種類あるのみにして、歐米に於ては已に久しき以前より、發達せる毛織物あれども、我が國に在りては絕へて少しと謂ふべきなり。絹織物は重要なる製產品なりと雖而かも其の價格高きに過ぐるを以て、奢侈に近く、一般人の常服として用ふること能はざるなり。唯棉織物は、卽ち我が國人の普遍的に應用するところにして、夏季間麻織物を用ふるを除くの外、其の餘は均しく全部棉織物を以て衣服と爲せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八九〇年（光緒十六年）以前迄では、吾國の棉織業は、尚家庭工業制度の下に在り、習俗相沿ひ、婦女は均しく自ら棉を紡ぎ布を織り、一家の用に供したり。其方法は甚だ簡單にして、從事するものも薄弱なりしかば、其の製産品は甚だ微々たるものにして、僅かに自給するに止り、工業と謂ふべくもあらざりき、然るに當時、歐米各國は、紡棉機及び布織機の發明ありしを以て、紡織工場は、頗る發達せり。英國のマンチエスターの如きは、已に紡織業の中心地となり、幾んど全世界の市場を把握せり、我が國は人口甚だ多く、從ひて需要も甚大なるを以て、外國産棉布は、已に久しく大量の輸入を示せり。惟ふに一八七六年（光緒二年）の棉織物の輸入總計は、一千七百三十七萬餘兩なりしが、一八九〇年は、已に二千五百七十一萬餘兩に增加し、是れより以後、棉布の輸入は、益々逐年增加せるを以て、國内人士は、利權外溢し、資金の流出巨額に過ぐるを以て始めて、棉織工場の創設の必要を感じたり。

一八九〇年、李鴻章は機器（機械）織布局を上海に創設せしが、之れ我が國に棉織工場の設けられたる嚆矢なり。然れども惜むべきは、三年の後失火により全部燒失せり。其の時盛宣懷は即ち株式を募集し、其の翌年又重ねて新しく改組し、三新紗廠と爲せり。此の外之れに次ぎて起れるものは、即ち一八九四年（光緒二十年）張之洞氏の創設せる武昌織布局及び上海の裕源紗廠なり。

一八九五年（光緒二十一年）中日戰爭終を告げ、馬關條約の結果、日本商は自由に工場を上海に設け得ることゝなりたり。而して英・獨諸國は、亦其の後同等の利益を要求するに至りしを以て、我が國の棉織工業は、正に萌芽時代にありしも、之れが爲め一大打擊を受けたり。蓋し資本は既に英・日諸國の如く潤澤ならず、而かも經驗及び人材上も、亦復缺乏せるを以て、尚外人と抗衡し難きなり。一八九七年より一九〇五年に至る間は、南通の大生・上海の裕通・杭州の通益公・蘇州の蘇綸等の工場次第に設立せられしと雖、而かも繼續して營業し、久しく維持せるものは、實に寥々たるものなり。記載

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し得べき所は、即ち一九〇二年(光緒二十八年)上海紡績界に於て、已に上海紗業公所を組織し、其の後二年にして棉織業全體は、又上海紗業公所を組織せることにして、其の組織後、基礎は漸次鞏固となり、棉織工業は、始めて漸次發展の境に進めり。一九〇五年(光緒三十一年)日露戰爭終局を告げしが、此の時より清朝は、已に漸次維新政策に向ひ、國內の金融は、漸次活動を始め、交通も亦便利となりしを以て、棉絲工場の設立も亦著しく增加せしが、歐洲大戰時にて止まれり、棉織工業の進行は、尙平穩なりしを以て、此の時期を平穩時代と稱し得べし。然れども外國商棉絲工場の壓迫力甚大なりしを以て積極的發展は甚だ困難なりき。

棉織工業發展の急進時期は、一九一七年(民國六年)なり。而して此の猛進の動機は、外部は歐洲大戰にして、內部は即ち民國四年五月四日の日貨抵制なり。歐洲大戰當時、素より世界紡織業の牛耳を執れる英國は、戰爭の渦中に轉入せるを以て、中國に供給するの力無く、此に於て中國の棉織工場は、機に乘じて大いに增加するを得たり。日貨の抵制により、棉絲は亦大いに其の影響を受け、民國八年五月より六月に至る日本棉絲の輸入は、百分の六八・三に減少し、其の成績は至極顯著なり。民國五年より同十一年に至る五箇年間を總計すれば、我が國の棉織工業は、紡錘は七十餘萬錠より、增加して二百餘萬錠を突破し、棉絲工場の資產は、二三千萬兩より增加して一億萬兩を突破せしが、棉絲業の統計に據れば、一九二一年にて止まれり。即ち大戰の終局を告げたる後三年、全國の紡錘數は、已に三百二十六萬六千に達し、已に運轉せるものは百九十六萬六千に及び、其の中々國商は百三十四萬を占め、織機は一九二二年二月末現在にて、合計一萬六千臺あり、而して中國商は即ち一萬六百臺を占めたり。此の時期中の猛進情態を想像するに足るべし。此歐洲大戰時代は、亦棉絲業の最も有利時代と稱すべきなり。歐洲大戰以後、各國は已に漸次其の經濟地位を恢復し、我が國は前の機會已に過ぎたるを以て、日本人の經營に係る棉絲工場との競爭漸次大となれり。而して內國工業を阻礙する物は、尙未だ除去せられず、國內の戰爭は更らに紛糾を加へたるを以て、棉絲工場は又漸次停頓情態に向へり、故に之を停頓時代と云ふべし。之

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れを総括するに、現時我が國の棉織工業は、前途尚莫大なる發展希望ありと雖、未だ激烈なる競爭及び外國商の壓迫を脱離することと能はざるなり。

原棉の供給　紡績の原料は、即ち棉花なり。我が國の棉花は、其の歴史甚だ古く、品質及び産量は、米棉と頡頏することと能はずと雖然かも其の産量は極めて豐富なり。加ふるに我が國は土地廣濶に、氣候も適宜なれば、處々に發展し得べく、若し奬勵して方法を得なば、原料たる棉花は、缺乏するが如き感無かるべし。惟ふに我が國の産棉面積は、合計十一省に及び、玆に各省の植棉面積及び産額を表記すれば、左の如し。

省別	植棉地面積(畝)		棉産總額(擔)	
	民國八年より同十二年に至る平均數	民國十四年	民國八年より同十二年に至る平均數	民國十四年
直隷	四、六九六、〇八九	四、〇四二、〇〇〇	一、六四四、一二六	一、〇一五、〇〇〇
山東	二、六三八、三〇一	二、八六二、〇〇〇	七三八、二三一	七五一、〇〇〇
山西	七〇一、三五九	七一七、〇〇〇	二〇二、四五〇	一六〇、〇〇〇
河南	二、〇〇三、四六六	三、五〇〇、〇〇〇	四二七、五四八	七四〇、〇〇〇
陝西	一、七九九、六九四	二、五八七、〇〇〇	四〇三、四九八	七二〇、〇〇〇
江蘇	一二、二六七、二六七	七、一六四、〇〇〇	二、五二二、二四三	二、一〇四、〇〇〇
浙江	一、一八六、五二五	一、七一九、〇〇〇	二五〇、六〇五	三八五、〇〇〇
安徽	一、〇七一、三五二	一、二五五、〇〇〇	一九四、七八三	一七七、〇〇〇
江西	四二六、六七七	八〇七、〇〇〇	一〇五、九三二	一五〇、〇〇〇
湖南	—	二五三、〇〇〇	—	五五、〇〇〇
湖北	四、八一一、五六〇	六、六一一、〇〇〇	一、五〇四、八二二	一、一二一、〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又中國商紗廠聯合會の十四年度中國棉產合計に據れば左の如し。

民國十年	五、四二九、二二〇擔	同十三年	七、八一一、〇六二擔
同十一年	八、三一〇、三五五	同十四年	七、五七七、五七三
同十二年	七、一四四、六四二		

民國十四年度の棉收は、同十三年度に比較すれば、百分の九十七に當り、此の五箇年(民國十年より同十四年に至る)の平均棉收は卽ち七、八一三、九六五擔なり。更らに最近十二年間に於ける中國棉產の合計を、世界の產額と比較しなば、卽ち左の如し。尙便利なる見地より、單位は擔を改めて包と爲せり。(單位千包、一包は五百磅)

年次	中國棉產額	世界棉產額	百分比
一九一三—一四年(戰前)	一、九六三	二五、四三六	七・七一
一九一五—一六年	二、〇六八	二一、一七七	八・七六
一九一七—一八年	一、五八三	二〇、八八一	七・三六
一九一九—二〇年	一、六九〇	二二、三〇六	七・五七
一九二一—二二年	一、三四〇	一六、六七一	八・〇三
一九二三—二四年	一、七四一	二一、一四八	八・二六
一九二四—二五年	(概數) 二、〇〇〇	二六、四二九	七・五六

前表の數は、歷年の合計產額に係り、平均は常に世界產額の百分の八內外なり。然れども米國と比較すれば、卽ち遙かに少く、(一九二五年度の米國產は一五、六〇三、〇〇〇包にして、一九二四年度に比して百分の一八・六の增加なり)、又印度

埃及に比較すれば、一位程少し、(一九二五年度の印度產は六、八七一、〇〇〇包、埃及產は一、五五七、二四八包にして、一九二四年度に比して百分の一三より二三の增加なり)。唯我が國は土地廣大にして、用ひ得べき土地も從ひて多く、氣候に至りては時に種植に適せるを以て、其の發展は大いに刮目の價値あるべし。專門家の調査に據れば、我が國の土地一畝より棉花二十斤を產すべく、米國は二十五斤を產すべく、埃及は二十斤、印度は十二斤半を產すべしと云ふ。若し中國商紗廠聯合會の調査に據り、各省の平均計算を一畝に就き二十五斤產出すとすれば、若し民國十四年の植棉面積三千百餘萬畝を以て根據とすれば、每畝の產出二十五斤の計算なるを以て、七億七千五百萬斤を得べく、從ひて百九十三萬七千五百包(一包は四百斤)を合成し得るなり。若し畝數を一億五千萬畝に增加すれば、卽ち八百餘萬包を得べし。故に原料たる棉花は若し稍や獎勵を行ひなば、卽ち原料增加し、棉價は自然下落を來し、棉織工業は、大いに發展すべし。推廣して之れを言はゞ、此の世界に於ける棉花の消費多く、需要に對し其の供給の應じ得ざる時に際しては、卽ち其の產出する棉花を以て世界の棉花不足を救濟するも、亦始めより望みなきにあらざるなり。

以上は國內に於ける棉花の供給狀況なり。外來の棉花供給情態に至りては、歷年の棉花輸出入より之れを觀るべし。

年次	輸出擔數	輸入擔數	入超或出超	
民國二年	七三八、八一二	一三四、七三五	出超	六〇四、〇七七
同四年	七二五、九五五	三五七、八二一	同	三六八、一三四
同七年	一、二九二、〇九四	一九〇、一一〇	同	一、一〇一、九八四
同八年	五、〇七二、〇四〇	二三九、〇〇三	同	八三三、〇三七
同九年	三七六、二三〇	六七八、二九七	入超	三〇二、〇六七
同十年	六〇九、四八一	一、六八二、五二六	同	一、〇七三、〇四五
同十三年	一、〇八〇、〇一九	一、二四一、八八一	同	一六一、八六二
同十四年	八〇〇、八三二	一、八〇七、四五〇	同	一、〇〇六、六一八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上表より之れを觀れば、我が國に於ける原料の供給は、一面國內產に求め、一面は外人の供給を仰ぐことを知るべし。

綿絲の消費增加　我が國は人口甚だ多く、而して人民の衣服は、殆んど均しく棉布を主と爲せるを以て、綿絲の消費は逐年增加を示し、其の需要の巨額なることは、各國の遠く及ぶ所にあらざるなり。玆に民國元年より同十年に至る間於にける中國の綿絲の消費情態を記述すれば、左表の如し。（單位一千擔）

年次	中國產棉絲額	輸入棉絲額	需要總額
民國元年	八〇〇	二、三〇〇	三、一〇〇
同二年	一、二〇〇	二、七〇〇	三、九〇〇
同四年	一、六〇〇	二、六〇〇	四、二〇〇
同六年	二、六〇〇	二、〇〇〇	四、六〇〇
同八年	三、三〇〇	一、四〇〇	四、七〇〇
同十年	四、五〇〇	一、二〇〇	五、七〇〇

上表を根據となしなば、此の十年間の需要は、甚大なる增加たることを知るべし。惟ふに綿絲の輸入は、光緒以前迄では、何等言ふべきものなかりしが、光緒初年に至り、英國及び印度綿絲は、始めて棉布類と共に輸入せられたり。然れども其の數量に至りては、亦極めて少量（光緒二四年間、印度綿絲の輸入は、每年三萬餘包なり）、に過ぎざりき。光緒末年日本綿絲の輸入も、亦十數萬包に過ぎざりき。民國以來、外國產綿絲の輸入は、始めて大いに增加し、英印日の綿絲は、何れも大量に輸入せられたり。

外國產綿絲の多量に輸入せらるゝと共に、國內の綿絲工場も亦繼續して發展せるは、即ち我が國に於ける綿絲の需要の增加せる一の證據なり。更らに民國十四年度に於ける計算は、即ち左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中國商綿絲工場産出綿絲	四六七、五〇八（千磅）
日本商綿絲工場産出綿絲	二一七、四八七
英國商綿絲工場産出綿絲	三三、八二〇
全國の産出綿絲合計總額	七一八、八一五
民國十四年度輸出綿絲	八、七八一
民國十四年度輸入綿絲	八六、三八三
綿絲の需要總額	七九六、四一七

備考　民國十四年度輸入綿絲は六五、八五八擔にして、一擔は一三三又三分の一を以て計算し、上數は八、七八一、〇六六磅となる。

此の數は大體の綿絲消費量なれども、已に斯くの如き程度に達せり。若し人口上より比例して之れを推測すれば、即ち我が國の綿絲消費額は、尚相當の數に達せざるなり。惟ふに各國の人口と紡錘數との關係は、英國を一人に就き一、二の割合（一九二〇年の紡錘數は五千九百餘萬錠、人口は四千五百萬人）、米國は即ち二人に就き一、佛國は六人に就き一、日本は約十六人に就き一、印度は四十人に就き一、中國は約百二十人に就き一の割合なり。我が國の人口は、最近の推算に據れば、四四九、九二八、〇〇〇人あるを以て、即ち印度の四十人を標準として計算すれば、亦一千餘萬錠に達すべし。

綿絲工場の發展　綿絲の消費にして增加すれば、其の結果として綿絲工場は發展を來すべし。惟ふに我が國は歐洲大戰以後、綿絲工場の發展、極めて速かなりしなり。茲に歷年の中國商綿絲工場及び紡錘數を比較すれば、左表に示すが如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	棉絲工場數	紡錘數	織機數
光緒二十二年	七	二五九、〇〇〇	一、七五〇
民國四年	二二	五四四、〇一〇	二、二五四
同八年	二九	六五九、七二一	二、六五〇
同九年	三七	八五六、八九四	四、五四〇
同十年	五一	一、二三八、九〇二	六、六五〇
同十一年	六四	一、五九三、〇三四	九、八一七
同十二年	五四	一、九四三、六七二	八、五八一
同十三年	五八	一、六五〇、〇〇四	一〇、四六一
同十四年	六九	一、八八一、八二二	一六、三八一

各省に於ける綿絲工場の一九二五年度數左の如し。

省別	工場數	紡錘數（運轉中）	織機數	職工數
江蘇省	四一	一、一一四、二五〇	一二、四五四	六六、五一四
直隷省	九	二二八、二六八	一、四〇二	一六、七九六
湖北省	五	二五七、二三六	二、〇〇〇	一九、五七〇
河南省	四	九〇、〇〇〇	二〇〇	八、四七〇
浙江省	三	四六、一二〇	一二五	四、四三八

山東省	二	五八、八〇〇	—	五、四〇〇
湖南省	一	四〇、〇〇〇	—	二、三八〇
安徽省	一	一五、二〇〇	—	一、二〇〇
山西省	二	九、六〇〇	—	九一二
奉天省	一	二一、三六八	二〇〇	一、七一一
總計	六九	一、八八〇、八四二	一六、三八一	二二七、三九一

備考　以上は中國商紗廠聯合會の一九二五年度統計を根據となす。

上表は我が國に於ける綿絲工場年來の發展を表明するに足れり。更らに中國綿絲工場と中國に在る英・日綿絲工場とを比較すべし。（一九二五年度中國商紗廠聯合會の統計を根據となす。）

	工場數	百分比	紡錘數	百分比	織機數	百分比
中國棉絲工場	六九	五八・五	一、八八一、八二二	五五・〇	一六、三八一	六三・一九
英國棉絲工場	四	三・四	二〇五、三二〇	六・〇	二、三四八	二七・八一
日本棉絲工場	四五	三八・一	一、三二六、九二〇	三九・〇	七、二〇五	九・〇〇
合計	一一八	一〇〇・〇	三、四一四、〇六二	一〇〇・〇	一五、九三四	一〇〇・〇〇

此の種の情態は、我が國に於ける綿絲業の良好なる成績なり。新工業の起りし以來、發展の最も速かなるは、此の時に過ぐるものなし。然りと雖、吾人の大に注意すべきは、即ち綿絲工場の發展にして、之れを歐洲大戰以前に比較すれば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の時の紡織業は、全く英日勢力の下にありしもの固より大いに進歩ありと云ふべし。然れども精細に之れを觀察すれば工場數の内日本人は尙百分の三八・一を占め、紡錘數は百分の三九を占め、其の競爭激烈なれば、所々に在りて中國商は厭倒せらるべく、尙中國商綿絲工場に樂觀を與ふること能はざるなり。中國商綿絲工場の迅速に發達するに至れる其の理由は至極明瞭なり。(一)國産綿花既に多く、而して品質も亦頗る優良なり。(二)國內綿絲工場の製産品は、販路甚だ良好なり(三)原動力は、低廉に供給することを得。(四)職工の工賃極めて低廉なれば、生産費も至極低廉なり。唯惜しむべきは、現在尙不平等條約の取消を見ざることなり。此の種の優れたる點は、我が國の綿絲工場の享有する所なれども、英日の綿絲工場も共に享有す。

我が國に於ける綿織業發展の阻礙　我が國の綿絲業の狀況は、已に上述せるが如くにして、現在の地位は尙十分なりと云ふこと能はざるなり。惟ふに其の阻礙原因の最も大なるものは、外國綿絲の競爭に過ぐるは無く、外國綿絲の競爭の最も大なるものは、又日本品に過ぐるもの無し。前表より之れを觀れば、既に一一八の綿絲工場中外國商は即ち其の四十九を占め、而して日本人は又其の四十五を占むるを以て、我が國の綿織業の發展を妨礙することの至極大なることを知るべし。中國內に設立せられたる工場の經營は、姑く之れを論ぜざるも即ち民國十一年の綿絲業の大恐慌を來せる時の如き、我が國は綿花の輸出を禁止せんと欲せしが、日本人は即ち綿花原料中百分の八十九は、中國より來るものなりとなし、遂に條約を盾に取り、之れに反對せしかば、幸に實行すること能はざりき、又民國十三年の如き、綿織業の最も敗頽せる時、紡織工場の長期間作業を中止せるもの、十二三工場ありしが、其の中破産及び買收せられたるものは、大中華、寶成等の八工場に及び、即ち日本人は其の內二工場を買收せり。日本人の購入せる二工場は寶成の二工場にして、該工場は十一萬の紡錘を有し、三、四年の久しき間經營せられたるものなり。即ち日本人は該工場の買收により五百數十萬の紡錘を其の手に收むることゝなれり。凡そ斯くの如きは、均しく日本人の我か國の綿絲工場の發展を阻止する手段なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來半島の現在

前川昇

「馬來半島」とは、地理上より名付けられたる一の名稱で、決して之れが一國を指すものでも無く、大部分英吉利の保護國なりと雖も、其の區劃は甚だ漠然たるものであつた。然るに最近「マレーヤ」又は「ブリテイシユ・マレーヤ」なる呼稱の創造により、明瞭に行政上の範圍が行はるゝ樣に成つた。所謂「マレーヤ」は世界に於ける護謨の産地として第一位を占め、又護謨と共に二大宗品たる錫の大資源國として一般に認めらるゝに至つたのである。

今、是等の地方に關する、行政上、經濟上、將又氣候及び住民等に就いて少しく記述して見たいと思ふ。

第一　行政

「ブリテイシユ・マレーヤ」譯して英領馬來とは、行政上明確に區分された三者を指呼するもので、「海峽植民地」、「馬來聯邦州」、「馬來非聯邦州」と謂ふ各箇の名稱を辨へぬものには頗る複雜なる關係を潛めてゐるのである。一見したる所、右三區域共同一通貨を使用せる爲め、單なる旅行者にありては、之れ正しく總括したる一國なる如くに想像し得らるゝ。然れども、前三者の間には、根本的に相異の存在せる事は、以下述ぶる所によりて釋然たるであらう。

海峽植民地

海峽植民地は、新嘉坡、馬拉加、プロヴインス・ウエレズレー、デインデインス、ココス・キーリン、ラブアン及クリス

マスの諸島嶼より成立つて居る。是等は盡く英の屬領地であり、海峽植民地總督兼軍司令官（現總督はサー・ヒユー・クリフォード）によりて統治せられて居る。尙植民地の行政並に立法には、夫々行政會議、立法會議なる二種の機關がある。彼南島は、此の附近に於ける最古の英國植民地であり、嘗て東印度會社の一交易所であつた。其の後プロヴィンス・ウエルズレーに沿ふ領地としてケダー國王より獲得せるものである。海峽植民地中、最大重要地たる新嘉坡は、一八一九年サー・スタムフオード・ラツフルズが建設したるもの、始め蘭領に屬せるマラツカは西部スマトラに在る或る領土と引換へに和蘭より讓受けたるものである。又ディンディンス及び西海岸の沖合に在る數箇の島嶼は海賊征伐の根據地として英領に歸した。

馬來聯邦州

次に、ペラ、セランゴール、ネグリ・スムビラン及パハンの四州は馬來聯邦州を形成して居る。各州には各々馬來人土王存在するも、行政方面は實質上聯邦會議（議長は高等代理員たる海峽植民地總督）の權限に屬する。又州には土王と協力して行政に參與する英國理事官ありて、是等は皆總務長官に直屬してゐる。尙ほ聯邦會議以外に純然たる地方事務を處理する州會議あり、土王をば會議の議長に仰いで居る。斯くの如く、聯邦州の組織されたるは前世紀の末葉にして、英國の勢力は決して馬來人の信奉する宗教或は風俗習慣に對して干涉を爲さぬのである。

馬來非聯邦州

最後に、非聯邦州は前記聯邦州以外のジョホール、ケダー、ケランタン、パーリス、トウレンガヌ及ボルネオ島に在るブルネイを包括したるものにて、孰れも獨立王國なれども、土王の宮殿に英人顧問を置き、州會議は凡んど當該駐在官に委任された形狀である。各州の法律は、州顧問の援助の下に土王によりて作製せられ、實際上此の制度は好成績を擧げて

居る。

第二 住民

馬來半島は人種の展覽會場とも謂ひ、特に東洋人種の數は傑出して居る。年々人口は增加して行き、殊に最近では支那内地に於ける戰亂の結果支那人移民者は夥しき數を示してゐる。

一九二一年國勢調査當時に於ける人口總數は次の通りである。

海峽植民地	八八三、七六九人
馬來聯邦州	一、三二四、八九〇人
馬來非聯邦州	一、一四九、三九五人
合計	三、三五八、〇五四人

而して最近一九二六年度に於ける海峽植民地の推定人口は、一、〇二五、八三五人と稱せられて居る。前記國勢調査に據れば、其中馬來人一、六二七、一〇八の多數を占め、此の中非聯邦州には八六〇、九三四人、聯邦州には五一〇、八二一人を算してゐる。次に支那人は總數一、一七三、三五四、就中海峽植民地四九八、五四七、聯邦州四九四、五四八の如く、略々同數を示して居る。各種印度人は四七一、六二八人を計上するが、是等は殆んど聯邦州(三〇五、二一九人)に存在してゐる。次に歐州人は海峽植民地八、一四九、聯邦州五、六八六、非聯邦州一、〇八四總計一四、九一九人の少數に過ぎない。尙ほ國勢調査によれば、歐亞混血人は一二、六四四、此の中九、一三八は海峽植民地に居住して居る。此の他少數民族としては、日本人、爪哇人、マドウラ人、比律賓人、暹羅人、錫蘭人等原住種族と合して三二、九五〇人に達するも、一九五

八四人は非聯邦州に居住すると云ふ。右原住種族に關する正確なる數字は不明なれども、大抵山地に棲ふ遊牧の民である。
本領開發に絶大なる役目を演じたるは歐洲人及び支那人にして、今日英領馬來の繁榮が一に是等支・歐人の提供せる努力と資本に俟たざるべからざる事は贅言を要せぬ所である。

第三　氣候

馬來地方に於ける植物が繁茂たる理由は、一般に氣候が濕潤なる爲めである。年平均温度は華氏の約八十三度で、稀に九十五度以上に昇ることあれども、日陰では七十五度以下となることも尠くはない。夜は比較的に涼しく、通例氣温は七十度内外である。殆んど毎日の様に降雨あり、又馬來方面ならでは經驗すること能はざる風がある。風は通常微風を常とするが、強風の場合もある。一年の雨量は平均約一二〇吋であるが、各地によりて聊かの相異あれども、先づ一二〇吋と見て差支へ無い。五月乃至八月の間には時偶、數週間乾魃あるも、秋季には之れに相當する雨季があつて、例年よりも長く繼續する。斯くの如く、雨量と高温がよく調和する關係上、栽培物の如何に由らず、一般農作物の生育は常に好成績を擧げてゐる。かゝる氣候は全く有害とは云ひ得ないが、兎も角苦痛たるは決して免れられぬ。併し、現今熱帶諸國ではマヤリヤの暴威を挫かむが爲めに適當なる施設をなし、當地衞生官吏は目下有效なる防禦方法を試驗中である。從てマラリラは依然強烈にて、多數人命を墜し、保健を脅かす事甚大なれども、現在馬來半島は他の熱帶諸國に比較して衞生狀態は必ずしも悪からず、否却つて良好なのである。此の他、黑水病、デング熱又稀に流行性感冒も間歇的に發生して居るが、是等は餘り問題とする程でない。

第四　避暑地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來半島に避暑地設定の問題は長年月に亘る懸案にして、最近迄病後保養を爲すべき箇所存在せず、偶々二、三ありとも設備萬端不完全なるを免れなかつた。彼南には完備せる旅館を有する避暑地ありて、ジョージ・タウンとは電車及登山鐵道によりて連絡をして居る。近時フレザー・ヒル開かれて、聯邦州首都クアラ・ラムポーより僅か六〇哩の地點に位して居る。海拔四千呎の高度を維持し、官設のみならず私設の家屋が設けられてゐる。此の他、赤十字社のバンガロ！・ゴルフ・リンクがあり、便利なる給水の裝置がある。ペラ、パハン兩國境邊の海拔五千呎のキャメロン高地、パハン、ケランタン國境のタハン山（海拔七千二百呎）にも此の種の計劃が起されて居て、現に小規模の避暑地がタイピン、イポー近傍に存在してゐる。

第五　貿易及産業

概說　英領馬來の經濟界に一大飛躍の行はれたるは、歐洲大戰後、輸出入共に世界の商業場裡に始めて一歩進出したる時の事である。然るに其の後間もなく一財界の大不況となり二大重要輸出品たる護謨、錫業界は俄然大混亂に遭遇したのである。其の後經濟界の復舊に伴ひ、二大產業は再び擡頭し、既述の如く現在に於ては甚だ堅實性を帶同して來た、加ふるに、近年馬來半島に於て阿弗利加油椰子の科學的栽培が非常なる光明を發輝し、原產地たる阿弗利加西海岸の同產業に充分比肩し行く有樣を呈して居る。此の他、胡椒、檳榔子、丁香、肉桂、肉荳蔲、生薑等の各種香料、タピオカもよく栽培せられて居る。又ジャングルから、ガツタ・パーチヤ、籐や木材が盛んに產出利用され居ることは早くから知られてゐる。ガム及樹脂類、特に政府の保護を受けて輸出せらるゝ馬來產ダマール、ピナクは海岸地方のマングローヴ沼澤地に產する鞣皮材料の如く、經濟上重要なものである。以上の外纖維類は多數に產出し、最近新嘉坡鳳梨罐詰工業は新式製法を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

採用して益々隆盛に向つて居る。

海峽植民地 地理的立場より、新嘉坡は極東に於ける最も重要且つ殷盛なる港として東印度諸島の各種産物並に輸入品の交易所となつて居る。一九二五年に於ける出入船舶總噸数は二四、〇四二、三〇二噸、其の隻數五〇、三七五にて、前年度より遙かに四、〇〇〇隻を凌駕して居る。斯くの如く、新嘉坡は馬來半島の物産が積出され、又之れに反して外國より輸入せらるゝ商業上に於ける大中心地をなし、一九二五年の輸入額一五七、〇九三、六六四磅、輸出一四三、一三七、六六四磅に達する。然し乍ら、是等の數字は新嘉坡が仲繼貿易たるによりて實際同植民地の消費額或は産出高を表示するものではない。又聯邦州、非聯邦州に於ても輸出入の大半は、半島を圍繞する島嶼と共に海峽植民地の諸港を經由して行はるゝ。斯くして新嘉坡の國際的地位は海軍根據地の設置によりて更に一層重要性を加へ行くであらうと想像される。

馬來聯邦州 一九二六年聯邦州の輸入二〇、二八六、九〇一磅、輸出五一、九八六、六九〇磅、差引三一、六九九、七八九磅の出超を示せる好況である。同年中、資本金四、一七二、五二五磅の總額を算する五十六の新會社が登記せられた。該資本金額は一九二〇年に及ばざれども、會社数に於て大戰後以來のレコードを示し、新設會社の大部分は護謨、錫に關したものである。

(1) ペラ州 一九二六年に於ける同州錫の産出量は聯邦州總産量の凡そ六十七パセントを占め、價額に於て前年一九二五年に勝り、即ち八、六九二、六三八磅に達した。キンタ谷丈けでさへ聯邦州總産額の五十六パセントを出してゐる。勿論此の地方にも護謨は州内至る處に植付けられ、一九二六年植付面積五〇三、五七九英反、下ペラ地方には油椰子の植付面積五〇〇英反に達する。尙ほ又ペラ州水力電氣新設の計劃は著々進行しつゝあるが故に、完成の曉には各種産業に一大ブームを招來する事と思はれる。

(2) セランゴール州　一九二六年本州には護謨の植付面積四四九、六九九英反に上り、乾魃の結果米作面積は併て一九、七六一英反を示したるものが、一、五八六英反に激減をした。上セランゴールに油椰子の栽培に拂下げたる六、〇〇〇英反の中、三、〇〇〇英反は不適地と決定し護謨栽培に變更せられし模樣である。

(3) ネグリ・スムビラン　州本州には護謨の植付面積三一七、四三四英反あり、其の他ダマール・ピナク採集事業は非常なる進步を遂げ、又マングローヴ加工業にも一轉機來り、目下專門家の指導の下に盛んに作業を行つて居る。

(4) パハン州　一九二六年中ラウブ金坑は一二、九八一オンス、價額五〇、五一六磅の產出があつた。他に木材及び薪炭にも可なりの增産が行はれた。

馬來非聯邦州　既述の如く、馬來半島の南方、新嘉坡對岸にはジョホール王國ありて、此の州に於ける主要產業は護謨栽培業、錫鑛業、パイナツプル罐詰製造事業等である。

北部に位するケダー州は、米、椰子、檳榔子及護謨の栽培を主とし、最北端のパーリス州は輸出に供する錫鑛と米を產出するに過ぎない。肥沃平坦なケランタンの北部には、米、椰子、檳榔子が栽培せられ、他に家畜用の牧場が豐富に存在する。漁業は有利に經營せられ、紡績は婦人の家內工業として益々盛んである。ケランタンの南方には東海岸に沿ふて、トウレンガヌ州あり、本州には主產業として水產業、魚類の調製並に加工、絹織業、錫鑛業及び護謨栽培業を列擧することが出來る。又ボルネオ北西海岸、ブルネイ王國に於ける人民は專ら漁業、紡績、銀細工及銅器の製作等に從事をして居る。

依是觀之、非聯邦州は他の海峽植民地、聯邦州に比較して交通機關備はらず、種々產業の開發上不利益ある爲め、著しく遲れ居れども、今後資源利用の餘地充分あり、將來頗る有望である。殊に東海岸州に於ける交通は殆んど原始的に近き

有様と稱するも過言に非ず、其の中ジョホール州ケダー州は可なり好く開發せられてゐる。

以上は、馬來半島方面に關する簡單なる記述に過ぎざれども、英領馬來の現況一班を示して居る事と愚考する。

過去に於て聯邦州總務長官廢止の問題、最近には護謨生産制限廢止問題あり、今尚紛糾を續けて居るが、政府當局は隱忍自重よく政局を見究め、經濟の原理に從て善處せるを見る時、遉がに老功たる植民政策の始めて企て及ぶ所と察知せざるを得ない。

恐らく生産制限は本年末（即ち制限第六期）を期として撤廢せらるるであらう。其の後に於ける護謨の相場、成行に關しては、專門家以外の到底窺知するを許さぬ所である。されど、一般栽培業者が餘りに護謨栽培にのみ集注し、他に有望なる各種の企業を沒却視去ることは必ずしも當を得たる策とは考へられない。要は專門家の良き指導と資本家の提携により兩々相扶けて事業を目論見べきである。

馬來人の風俗習慣其の他各般の生活狀況に關し、述べたき事多々あれども、別項に讓り一先づ本稿を結了する次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸實業家ヘルフィリッヒ氏の印度經濟觀

——土民經濟と外國大資本企業との關係——

本文は、ストレーツ・ウンド・スンダシンヂケート社の社長としてよりも寧ろ蘭領印度經濟界の第一人者として其の名を知られて居るヘ氏が、過去三十年間の熱帶生活を打切り印度の地に永遠の訣別を告げて故國獨逸に出發するに際しアネタ通信員に語つた氏獨特の印度觀である。

土人の情態に對しての歐人の情態は、大資本企業の發達に因り以前とは其の趣を全く異にするに至つた。各種の經濟と國民經濟との仲介者たるに過ぎない貿易とは反對に、大資本企業は國民經濟の重要なる部分を構成して居る。貿易に於ける利益は、手數料竝に投機より生ずるものであつて國民經濟とは殆んど關係が無いが、企業より生ずる利益は實に其の大部分は國民の努力の結晶であり—農業及鑛業に關しては—且又土地よりの利得である。企業と國民の繁榮とは、相離るゝことの出來ない關係にあるものである。

大資本を擁する外國の企業が、蘭領印度に盛んに起されて以來、爪哇に於ける土人經濟情態が何等改善されず、寧ろ多方面に於て後退を示して居ることは奇異な現象ではあるが、蓋し如何なる施設と雖も本狀態を改善することが出來ない。爪哇の土人は永へに機械より安いのである。現代式の自動車が爪哇の立派な道路の上を疾驅して居る今日、數千の土人の男女子供が重い荷を負ふて歩行して居ると云ふことは實に極端な對照ではないか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土人は、彼等が今日如何なる狀態になるか又彼等が如何なることを爲す能力を持つて居るかと云ふことを充分に認識して居ない。彼等の農業は未だ原始的農業の域を脱して居らない。此の原始的農業に據つて爪哇土人の大部分が生活して居り同時に土人農業が低級であると云ふことが、目下蘭領印度に於て繁榮しつゝある外國の大資本企業の隆盛の基礎となつて居るのである。

外國の企業は、土人の勞働範圍を擴張し且つ其の收入を增加せしめて居ることは確實であるが、例外を除いては土人の繁榮を向上する上に何等貢献して居ない。

數年前政府の命令に依つて爲された調査が之れを良く證明して居る。調査復命書の中に土民の收入、生產能力、購買力、勞銀、負債及稅の負擔力等に關して報告されて居る數字は、之れを以て滿足樂觀するを許さないものである。が然し最低の生活が保證されて居ると云ふことを以て滿足せねばならない。

一九一三年以來爪哇に於ける土人一人當りの財產は少しも增加して居ない。反之同期間に於ける大資本企業の財產增加狀態を見るに、前者とは雲泥の差がある。一例を示せば、アムステルダム貿易會社の財產のみでも一九一三—一九二七年間に二七〇、〇〇〇、〇〇〇盾の增加を示して居り、此の額は、一九二四年末に於ける爪哇土人の公共負債額に殆んど等しいのである。

土人社會以外に於ても、印度に於ては資本は差程豐富ではない。貿易關係は著しい出超—一九二五年の出超は約十億盾—を示して居るにも拘らず、土人輸出物產にとつて異常に好景氣であつた年々を除いては、支拂殘高は殆んど見るべきものがないのである。蘭領印度が每年外國に支拂ふ貢稅は非常に重い。此の貢稅は、利子、株主配當金、利益分配、賞與金及恩給等である。其他年々メッカへ巡禮を爲す土人の支出及當地に於て成金となつた後故國へ歸還する歐人及支那人が持去る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金等もある。米國に於けるが如く、蘭領印度には私人の對外債務を漸次償却（株式及社債の買戻し）し得る可能性は、蘭領印度内に於ては資本を蒐集することが不可能であるから全く無い。

隆盛なる國は、國家の利益上斯くありたしと希望さるゝ如く彼の財政を整理する資金を持つて居ない。「豊かな國土貧しい國家」とは、實に其の事實を穿つた蘭領印度にふさはしい判決である。

國債は十億盾以上の額に達して居り又政府は每年均衡豫算を編成すべく努力して居るが、未だ其の目的を達して居ない。或者は支出が餘りに多過ぎると政府を非難して居るが、或者は收入が餘り尠な過ぎるではないか、政府は正當に請求し得し總ての國庫收入を受取つて居るのであらうかとの疑問を懷いて居る。土人から現在以上の高税を徴收することは不可能である。彼等自身の生産能力は制限されて居る。然し、蘭領印度に事業を經營して居る外國企業の收益に對する税金の大部分は、收益者が彼等の籍を蘭領印度以外の地に有して居り且つ彼等は彼等の收入に對しては單に蘭領印度外に於て所得税を支拂ふのであるから、國庫の手から離れて居るのである。斯る狀態の下に蘭領印度は一般利益殊に土民の向上に必要なる資金を得ることが出來るのであらうか。

資本を基礎として見積る時は、蘭領印度に於ける外國企業の納税義務ある收益は、一九二四年には四九〇、〇〇〇、〇〇〇盾、一九二五年には五三〇、〇〇〇、〇〇〇盾であつた。此の内蘭領印度は、株式會社に關しては―之れが一番の大物である―單に會社税プラス附加税即ち合計一二、五パーセント及蘭領印度に住居する者の賞與並に株主配當金に對する所得税を受取るのみである。而して株式及賞與受取人の大部分は蘭領印度外に於て所得税を拂つて居るが故に、收入の源が蘭領印度にあるとは云へ結局に於て外國を利して居るのである。蘭領印度が永久の債務國であると云ふ事實は、外國に於ける債權者の税金までも支拂ふ義務を負はす必要はない。現在の組織に於てはそれがさうなつて居るではないか。外國と云ふの

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、此處に於ては蘭領印度外の地を意味して居るのであつて、外國と云ふ中には、和蘭と蘭領印度とは財政が分離されて居るから和蘭も亦含まれて居るのである。

然し乍ら、斯の如き發達竝に其の結果を生じた狀態に關して、其の罪を外國の大資本企業に嫁すと云ふことは間違つて居る。外國の企業は、單に彼等が斯くせねばならないと云ふ所に從つて行動したのみである。

彼等は大資本と知識とエネルギーと及其他の總ての優越とを以て大なる、驚異に値する生産事業を築き上げた。蘭領印度の生産能力が著しく向上されこれに依つて一般利益が非常に增進されたと云ふことは、とりもなほさず外國の企業精神に負ふ所が非常に多いのである。又土人に其の罪を被せると云ふことも間違つて居る。斯くすることは、土人の本質及彼等の物質的向上を阻止する、例へば外國の大資本企業との競爭に於て既に最初から彼等を牽制して居た制動力の誤解に外ならない。本論の目的は、單に生産時代の進行につれて自然的に發生した、蘭領印度に於ける土人經濟の區々なる發達と歐人企業との關係を說明するにあるのである。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣蔬菜園藝講話（七）

臺北帝國大學農林專門部教授　芹澤　立

第四節　栽培法

一、種芋

種芋は、收穫の際に、豐滿健全にして大さ中庸なる子芋を選び、二、三日間陽に乾かして置く。それと同時に、幅三、四尺、高さ四、五寸位の地床を設け、之に腐熟堆肥を鋤込み、次で畦幅七、八寸、株間四、五寸位の距離に密植するのである。若し過乾の恐ある土地に於ては、床上一面に藁・籾殼類を敷きて、芋苗を養成するを良しとする。

その種芋量としては、反當二十貫匁乃至四十貫匁を要し、また苗床面積は、十坪乃至十五坪位で足る。

また別法として、收穫後子芋を乾砂中に貯へて置き、翌春適期に至りて、之を播植しても差支ないが、本島に於ては、前法の勝れるに如かぬのである。併し内地では、氣候的關係上、專ら後法に據つてゐる。

二、栽植

里芋は、本島では、殆んど周年栽培せられるが、一般には十二月乃至三、四月頃に栽植され、特に二月を以て、その適期となすのである。

畑地は豫めよく耕耘し、二、三尺の距離に、深さ三、四寸の作溝を設け、之に基肥を施し、少しく土を覆ひ、その溝中に一尺五寸乃至二尺の株間に、葉面を切去つた芋苗、又は種芋を斜め上向きとなして、栽植を行ふ。覆土の厚さは、土地の乾濕によりて異なるが、一寸五寸見當を適度となし、厚きに過ぎては不可ぬ。

三、施肥・管理

里芋は有機質を好むものであるから、多量の堆肥を施すが良い。さりとて窒素肥料のみ多きに過ぐれば、子芋細長となり、且つその品質を劣變せしむるが故に、之に燐酸・加里の適量を加用し、以て子芋の豐滿なる發達と、またその品質の向上とに資せねばならぬ。

その反當施肥量としては、大體左表に準じて良い。

里芋の反當施肥量

肥料名	總量	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	含有三成分 窒素	含有三成分 燐酸	含有三成分 加里
堆肥	四〇〇・〇〇〇貫匁	四〇〇・〇〇〇貫匁	—貫匁	—貫匁	二・三二〇貫匁	一・一〇〇貫匁	二・〇〇〇貫匁
大豆粕	八・〇〇〇	—	八・〇〇〇	—	〇・五六四	〇・一〇六	〇・一二六
過燐酸石灰	六・〇〇〇	六・〇〇〇	—	—	—	一・一四〇	—
藁灰	一五・〇〇〇	一五・〇〇〇	—	—	—	〇・三一五	〇・六七五
人糞尿	二〇〇・〇〇〇	—	一〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	一・一四〇	〇・三六〇	〇・五四〇
計					四・〇二四	三・〇二一	三・三四一

芋苗を栽植せしものは、一、二週間位にしてその葉柄の中央より新葉を發生し、また種芋を植付けたものは、一箇月內外で發芽を始むるであらう。その何れにせよ、栽植後一箇月半許り經つた頃を見計ひて、第一回の追肥を施し、同時に除草・中耕を行ふのである。

茲で注意すべきは、之等の作業は、是非共日中に於て行はねばならぬこと、それである。否らずして、早朝若しくは日沒後に於て作業することあらば、葉は脆軟なるが爲めに、よく損傷を來し易いからである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

またその後二箇月許りの中に、第二回の追肥を施し、除草・中耕を行ひ、且つ深く培土せねばならぬ。
この培土にして、若し淺きに過ぐれば、親芋より生じたる子芋も、亦發芽して第二の親芋となりて、その品質を劣變せしむるものである。
されば餘りに遲れて生ぜし葉は、之を摘去して、深く培土を行はねばならぬのである。
その生育中に、若し旱魃に遇はゞ、その莖葉萎凋して草勢衰へ、爲めに收量を減じ、且つその肉質硬化して食味を不良ならしめるものであるから、斯かる虞のある時は、豫め厚く敷草をなし置くか、又は水利の便ある所では、時々灌漑して、之に適度の水濕を與へねばならぬ。

第五節　收穫・貯藏

一、收穫

里芋は一般に栽植後五、六箇月を經ば、その收穫期に達する。卽ち通常七月乃至十月の候に於て收穫さる。特に九月を以て、その適期となすのである。
併共、芋の生長後は、隨時需要に應じて、早期に收穫するを得、また莖葉の枯死せし後は、一時に全部收穫せらる。但し、早期に收穫せしものは、その品質・收量・貯藏力共に劣るを免がれぬ。
芋の收量は、品種・栽培法等によりて異なるが、反當三、四百貫匁を普通となし、五百貫匁を上作とする。

二、貯藏

芋を貯藏せんとせば、高燥にして、水の湧出せざる山腹の傾斜地を選び、大さ適宜の横穴を穿ち、その底部には乾砂を敷き、次で無病無傷の良芋を五、六寸の厚さに並べ、更に乾砂を一寸位被ひ、層々如斯になして、成るべく冷涼に保つのである。
併し本島では、五、六の二箇月を除くの外、常に收穫するを得、また未だその產額も多くないから、餘り貯藏の必要を認めてならぬ。
また食用に供し得る葉柄は、剝皮して乾燥し置けば、久しく貯藏に耐へる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六節　軟化栽培

里芋の軟化促成品たる芽芋・根芋は、一般に「芋の萌し」と稱し、風味佳良高雅にして、よく一般世人に歡迎さる。またその方法も容易であつて、失敗の虞少なく、而も需要の途少なき筍芋、及び味不良なる品種の親芋を、利用し得るのである。されば新年用となし、又は蔬菜類の缺乏期に當り、之を栽培して市場に供給せば、その收益や、蓋し尠なくはないであらう。

等しく里芋の軟化促成品の中、親芋を用ひたるものを芽芋といひ、また子芋を用ひしものを根芋といはる。

一、芽芋の軟化

冬季乃至早春の候に當り、里芋の軟化促成を行はんとせば、先づ溫床若しくは土窖を設け、その中に約一尺の厚さに醱熱物――時季により、氣溫の高低によつて、その厚さを加減せねばならぬ。――を踏込み、その上に腐壤を二寸位入れ、以てその床溫を攝度二十五度位に保たしむるのである。

次で葉柄を六、七寸に切り、子芋を去り、根付のまゝ二十日間許り貯藏して置いた親芋を取り、互に接觸せね程度に密植し、その根を叮嚀に廣げてやる。如斯に植ふれば、一坪につき二百五、六十箇の種芋を要する。また芋の上には、更に腐壤を三、四寸の厚さに盛り、尚ほその上を、一尺五、六寸の厚さの籾殼で被ひ、また棧を渡して菰類を掛けて光線を遮り、雨水の浸入を防ぎ、以て保溫に注意すれば、程なく發芽を始め、一箇月內外にして、その葉柄は籾殼の上まで伸長するを見るであらう。

之を收穫するには、利刀で芋を少しく附けて抉り取るのである。

斯くして一回收穫を終へた芋からは、間もなく再び發芽を始む。されば順次に三回程收穫を續け得らる。

この軟化促成に際し、青莖種を用ふれば、その芽芋は黃色となり、また赤莖種を用ふれば、淡紅色を帶ぶ。

二、根芋の軟化

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前法の親芋に代ふるに大なる子芋を以てし、前同様の温床内に、三、四寸の距離に植付けて、日覆をなすのである。斯くして發芽を始めたならば、三、四寸の厚さに籾殼を被ふ。また常に適度の水濕を與ふれば、籾殼の内部の部分は長き根芋となり、また葉柄はその上部に、長く伸び、黄色を呈する。

また時により、處によりては、冬季乃至早春の候、白芋の促成栽培も行はる。その方法容易にして、略々芽芋の軟化促成に準じて差支なく、葉の半開のものを採收するを普通とする。

第七節　病蟲害

第一款　病害

里芋の恐ろしき病害としては、里芋疫病一種であるが、また時に、里芋田蟲病及びその他の被害を見る。

1, 里芋疫病（さといものえきびやう）

病原菌　Phytophtova Colocasiae, *Rac.*

被害部　葉・中肋・葉柄等。

病徵　葉に發病すれば、大なる褐色圓形の病斑を生じ、中肋・葉柄が侵さるれば倒伏させらる。また降雨續かば、葉の多くは破れ腐敗して、收量に惡影響を及ぼすものである。

發病時期　北部では、五月乃至十一月上旬頃。

防除法　(1) 被害葉は摘み採つて燒却し、直に二斗五升式石灰ボルドウ液又は六匁式銅石鹼液の撒布をなすが良い。

(2) 被害地には、連作を避けねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2, 里芋田蟲病

病原菌 *Cladosporium Colocasiae, Sawada.*

被害部 葉。

病徴 大小不定の病班を、葉の兩面に生ずるものであるが、特に表面にその發生多くして、淡黃褐色を呈し、圓形に擴がる。また病班部の組織は、枯死せしめらるゝことなきを以て、決して乾燥・腐敗せぬ。併し病班を多く生ぜし葉は、漸次衰弱黃變し、萎凋を早む。

發病時期 多く夏季に發生する。

その防除法は、前者に準じて行ふ。

右の外、時に里芋白絹病の發生を見る。本病は、蕃茄白絹病と同一病原菌の寄生によりて起るものである。その部參照。

第二款 害蟲

里芋には、**ハスモンヨトウ、ナカコガネ、イッポンセスヂスズメ、シタベニセスヂスズメ・サトイモトビウンカ**等の主要害蟲あり、何れもその被害大である。

1, ハスモンヨトウ

蘿蔔の部參照。

2, ナカコガネ

薯蕷の部參照。

3, イッポンセスヂスズメ

學名 Chaerocampa sillitensis, *Wlk.*

加害生態 幼蟲。

形態 幼蟲は暗褐色又は綠色を呈し、また體側に七箇の黑色蛇の目狀の紋あり、その體長は二寸六分に及ぶ。

被害部 葉。

加害狀態 幼蟲は葉を、その葉縁より稍々規則正しく咬食するを普通とするが、また時には、太い葉脈のみを殘して、葉身を悉く食盡すこともある。

防除法 (1) 幼時群棲せるものは、寄著せる莖葉と共に燒却するが良い。

(2) 幼蟲は大形なるを以て發見し易く、之を捕殺するに容易である。

4, シタベニセスヂスズメ

學名 Hippotion Celerio, *L.*

加害生態 幼蟲。

形態 幼蟲は體綠色を呈し、體側に七箇の蛇の目紋あり、紫褐色に色縁られ、その中の上半は淡紫褐色、下半は淡黃色である。體長は二寸五分許りに達する。

被害部 葉。

加害狀態 幼蟲は、葉を、その葉縁より咬食する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

その防除法は、**イッポンセスヂスズメ**に準ずる。

5, サトイモトビウンカ

學名 Delphax Colocasiae, *Mats.*

加害生態 幼蟲・成蟲。

形態 褐色を呈し、その體長一分五厘許りである。

被害部 葉。

加害狀態 主として葉裏にありて、その汁液を吸收して害する。

防除法 (1) その發生多き時は除蟲菊石鹼合劑又は石油乳劑を撒布して、之を驅除するが良い。

(2) 捕殺するに容易である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島　情

臺灣貿易統計（昭和三年七月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	三年七月	二年七月	三年累計	二年累計	增減（•）
輸出	二、四六八、五六七円	三、九〇七、七三二円	一八、六七三、五三〇円	二四、〇〇四、〇八九円	•五、三三〇、五五九円
輸入	四、〇九六、二八七	四、三五〇、二〇四	三三、一九七、一四二	四一、一五七、一一〇	•七、九五九、九六八
計	六、五六四、八五四	八、二五七、九三五	五一、八七〇、六七二	六五、一六一、一九九	•一三、二九〇、五二七
輸出（入）超過	（入）一、六二七、七二〇	（入）四四二、七四二	（入）一四、五二三、六一二	（入）一七、一五三、〇二一	—

（其ノ二）

內地貿易	三年七月	二年七月	三年累計	二年累計	增減（•）
移出	一三、〇九五、一六五円	一三、九三五、五〇九円	一五一、二二三、六〇九円	一四二、八〇八、七七九円	八、四一四、八三〇円
移入	一〇、一七七、一一一	九、二八九、八九〇	七三、九一一、八五一	六四、九六七、三一七	八、九四四、五三四
計	二三、二七二、二七六	二三、二二五、三九九	二二五、一三五、四六〇	二〇七、七七六、〇九六	一七、三五九、三六四
移出（入）超過	二、九一八、〇五四	四、六四五、六一九	七七、三一一、七五八	七七、八四一、四六二	—

◈輸出

品目		七月		三年累計		二年累計		増減（・）	
		数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
包種茶	斤	七〇七、〇二六	円 五三一、三三三	四、四二〇、六五九	円 三、三二一、八一六	四、四八〇、六六五	円 三、三三七、四四〇	・六〇、〇〇六	・一五、六二四 円
石炭	噸	三五、〇〇〇	四一七、八八四	二五七、五二一	二、七九二、六五一	三六四、三六七	四、〇五一、三五六	・一〇六、八四六	・一、二五八、七〇五
烏龍茶	斤	二七六、五〇五	三三六、四三七	七五七、六二九	五〇四、五六九	一、九九三、二六六	一、三一七、〇七五	・一、二三五、六三七	・八一二、五〇六
鹹魚及乾魚	同	七六一、二五九	一五六、六二五	三、六五九、三三二	七〇四、一五八	一八、六四六、八四四	二、二一三、六七二	・一四、九八七、五一二	・一、五〇九、五一四
綿織物	碼	三九九、八四三	八九、六九五	八、二八六、五〇二	一、八八〇、八三八	七、一七四、一六五	一、四七五、八一八	一、一一二、三三七	四〇五、〇二〇
砂糖	斤	九一、三五〇	九一、三五	二、九九一、三五一	一、二二一、一一五	一六、二二五、七一四	二、一五三、一三三	・四、二三四、三七三	・一、〇三二、〇一八
錫	同	五二、五一三	二二、七六九	七三九、八八一	三〇四、七〇二	二、八〇七、二二七	一、一三一、八二五	・二、〇六七、三四六	・八二七、一二三
樟脳	同	一八六、〇〇〇	一八五、〇七一	一、六七一、二〇七	一、六六二、八六三	六二二、三〇〇	八一五、三〇五	一、〇四八、九〇七	八四七、五五八
酒精	升	四二八、〇八〇	一〇三、〇九六	四、三五三、三三五	一、一五三、九八六	三、七〇六、五六〇	一、一七五、三三〇	六四六、七七五	・二一、三四四
セメント	斤	二、七〇〇、五九三	五〇、三六五	三二、七六六、八一八	四一八、三六五	三六、八六二、四四六	七一八、一四四	・四、〇九五、六二八	・二九九、七七九
絹及絹綿織物	碼	一三六、五四八	八六、〇九二	七五一、六〇〇	五二〇、〇四八	七四一、一七七	四五九、九五〇	一〇、四二三	六〇、〇九八
貝柱	斤	四二、一七八	四九、八九〇	一五七、七三七	一八二、六一八	三一〇、七九〇	三七八、六八四	・一五三、〇五三	・一九六、〇六六
苧麻	同	一五五、一一三	四八、五八四	六八九、七三九	二三四、五五四	一、〇六五、四七四	三七三、五五九	・三七五、七三五	・一三九、〇〇五
燐寸	哥	六二、六七一	四一、八七二	三七〇、二四二	二四二、七八七	四三二、八三六	二八二、九四五	・六二、五九四	・四〇、一五八
精糖	斤	五六五、一六八	六四六〇	一三、五三〇、〇四五	一五六、二七七	一八、五一七、二四二	二六四、六五〇	・四、九八七、一九七	・一〇八、三七三
其他諸品		—	四四四、二五九	—	三、四六〇、一八三	—	三、八五五、二一三	—	・三九五、〇三〇
計		—	二、四六八、五六七	—	一八、六七三、五三〇	—	二四、〇〇四、〇八九	—	・五、三三〇、五五九

◈輸入

品目		七月		三年累計		二年累計		増減(●)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
			円		円		円		円
米	斤	二、〇〇三、七八一	一三六、四八一	三四、六五一、八四七	二、三六九、一七五	一六五、二七四、八〇三	三、八六六、八三五	●一三〇、六二二、九五六	●一、四九七、六六〇
大豆油槽	同	二〇、五八一、九六四	九九二、五八五	一八七、六五五、二〇九	八、三六一、三三〇	一八五、八四九、八四六	八、〇〇二、二八〇	一、八〇五、三六三	三五九、〇五〇
硫酸アンモニヤム	同	一七、四三〇、三二八	一、三七〇、六五一	六八、六二六、一〇五	五、二〇八、一〇〇	三五、九六七、六二六	二、八六二、四六三	三二、六五八、四七九	二、三四五、六三七
砂糖	同	—	—	一三、六六〇、五〇四	一、二五一、七四九	二九、九九四、七〇三	二、七九七、三〇〇	●一七、三三四、一九九	●一、五四五、五五一
木材	立方尺	二〇三、八〇三	一三二、七〇八	二、三二〇、一八三	一、五七九、六七七	二、四〇四、六三四	一、六三二、七一〇	●八四、四五一	●五三、〇三三
大豆	斤	四、一八四、一七一	二六九、七一〇	三四、三八五、八四二	二、〇八一、二七六	二七、八二六、五三一	一、六四五、九九九	六、四五九、三一一	四三五、二七七
ガンニー嚢	箇	一三九、六三八	六四、八〇四	二、四七六、五三一	一、二五六、三〇八	二、四〇一、六八九	一、一六四、六七九	七四、八四二	九一、六二九
燈油	ガロン	—	—	一、三三五、八一〇	五九二、八二七	一、七四〇、九六九	七九〇、六八九	●四〇五、一五九	●一九七、八六二
葱	斤	三、九六〇、〇〇四	一五一、三三六	二〇、〇〇一、三二八	七四四、七八五	二一、五三六、三五八	八三〇、〇二二	●一、五三五、一四〇	●八五、二三七
小麥	同	九九八、二一〇	六七、一九九	九、七九六、一〇一	六六一、一六二	一〇、二七二、四九八	七〇四、六七一	●四七六、三九七	●四三、五〇九
葉煙草	同	三三、一三六	一三、九四一	四七一、九五八	二九二、一五五	一、八〇九、一二七	七五二、七七二	●一、三三七、一六九	●四六〇、六一七
阿片	同	—	—	一八、一四四	三四〇、二〇〇	一二、五〇〇	二一七、〇〇〇	五、六四四	一二三、二〇〇
鐵	同	五七六、六三三	四三、九三三	五、二六七、九七七	四四六、八一三	五、六四七、二九七	四九一、七三三	●三七九、三二〇	●四四、九二〇
包蓆	枚	一二九、〇四〇	九、八〇四	二、九二八、〇九〇	二六五、三五二	二、五九一、九〇二	三一四、二五一	三三六、一八八	●四八、八九九
原油及重油	ガロン	四一四、五五〇	六八、〇四二	四、一三五、五三四	五六二、八九二	九三〇、四〇四	一八六、五五八	三、二〇五、一三〇	三七六、三三四
石炭	噸	一、六九〇	二三、六六〇	二一、〇四二	三四四、九五二	一四、一九九	三〇六、三九一	六、八四三	三八、五六一
禮拝紙	斤	五二、七八六	一三、八一七	七四八、三一八	一八四、一七二	一、〇一七、九一二	二三六、二〇四	●二六九、五九四	●五二、〇七七
綫綿	同	九、五三五	五、一三三	一三一、八九一	六一、〇九四	二五〇、六四八	一〇三、五八一	●一一八、七五七	●四二、四八七
綿織物	方碼	三、八八六	二、五一六	四二九、六七四	二四五、二〇五	三五九、七七八	二四〇、二五六	六九、八九六	四、九四九
毛織物	同	四六二	五〇六	六三、五四八	七四、九一六	一四二、〇〇五	一六六、六三三	●七八、四五七	●九一、七一七
鹽	斤	一〇、八五五	一五、二〇一	一〇八、九五六	一六三、八一七	八四、四五九	一五〇、五四一	二四、四九七	一三、二七六
揮發油	ガロン	—	—	一五二、八七九	一二三、八八八	一二八、四一一	一一六、九二〇	二四、四六八	六、九六八
苧麻布	方碼	一五五、一七二	三二、五四二	九九五、五八四	二三四、二一五	七九七、四五八	一八三、七七〇	一九八、一二六	五〇、四四五

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

綠豆	斤	二五七、一〇〇	一九、〇二四	二、一二一、七四五	一五〇、四九七	二、〇六七、四四二	一三一、九九三	四四、三〇三	一七、五〇四
陶磁器		—	一三、三三八	—	一四〇、九五八	—	一二四、三六二	—	一六、五九六
唐紙	斤	一八四、七五七	一二、五七八	一、一五二、〇〇四	九二、五四八	一、一四二、二八八	九一、七三七	九、七一六	八一
胡麻子	同	五一、六三六	七、〇九二	八六八、一九六	一二五、四七七	四〇一、七〇五	七一、一九二	四六六、四九一	五四、二八五
豆素麵	同	一一、一〇四	三、〇八八	一三九、八八二	三五、三〇六	三二九、五四六	九〇、三三〇	•一八九、六六四	•五四、九二四
黃麻	同	一〇八、六八〇	三、九四六	三、三二一、三六七	三三五、二五六	三七五、七九九	五三、一二三	一、九三五、五六八	二八二、一三三
鹹魚	同	—	—	三、四七九、三七四	二三四、二八五	一、三一三、八四八	九八、五五八	二、一六五、五二六	一三五、七二七
其他諸品		—	七〇五、六七四	—	四、六三六、八〇〇	—	三、七三〇、六五七	—	九〇六、一四三
計		—	四、〇九六、二八七	—	三三、一九七、一四二	—	四一、一五七、一一〇	—	•七、九五九、九六八

◆移出

品目		七月 數量	七月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(-) 數量	增減(-) 價額
			円		円		円		円
砂糖	斤	二〇、一五一、一二五	二、四一三、五九五	八五〇、九三六、五九五	一〇六、九四五、〇二一	六四五、三九四、七一二	八九、九〇三、四三七	二〇五、六四一、八八四	一七、〇四二、五七四
米	同	六九、七八〇、九六五	六、〇九七、七二八	二二八、五五七、七一五	二二、三四二、一〇一	二八三、一三四、七三七	二九、三〇七、六八五	•六三、五七七、〇二二	•八、〇六五、五八四
芭蕉實	同	二四、六八一、九四〇	一、〇九〇、三二一	二一、四四五、七〇〇	六、二五〇、〇四八	一〇〇、五三三、六五九	六、〇八〇、六四一	一〇、九二二、〇四一	一六九、四〇七
酒精	升	六二八、五四〇	二七八、三四七	四、三二三、九一〇	二、〇七九、九八七	四、一四六、六五〇	二、一七六、三三五	一六六、二六〇	•九六、三四八
鳳梨罐詰	打	三三四、三八三	一、〇三六、九八〇	五三五、九一五	一、六六七、四五一	五二三、六一七	一、九九八、五五九	一二、三一八	•三三一、一〇八
木材	立方尺	七〇、一一三	一四一、七三九	五五四、五八五	一、二四〇、二七二	八七四、五九一	一、九五四、〇七一	•三二〇、〇〇六	•七一三、七九九
切乾薯	斤	九、九二七、六〇〇	三七七、二五四	二六、四二一、四三〇	九五四、五四〇	二七、三九五、三五〇	一、一二七、五九二	•九七三、九二〇	•一七三、〇五二
樟腦油	同	五三七、六七五	一四九、〇六九	三、四三三、三七一	一、〇〇五、九九五	三、〇六一、七〇一	一、一五八、五五五	三六一、六七〇	•一五二、五六〇
鰹節	同	三〇九、七一三	二九六、四〇二	一、一五五、八三三	八〇三、七一三	七四三、三六二	六四六、一八三	四一二、四六一	一五七、五四〇
鑛	同	六、一〇四、八一三	一一二、三六一	五九、八二一、二〇三	九九四、六八〇	五五、八七九、九八四	八〇一、〇四一	三、九四一、二一九	一九三、六一八
石炭	噸	四、二一〇	三九、〇五〇	五三、八六七	六四一、六七七	八〇、六四九	九三〇、八五二	•二六、七八二	•二七九、一七五

品目	單位	七月 數量	七月 價額（円）	三年累計 數量	三年累計 價額（円）	二年累計 數量	二年累計 價額（円）	增減（●） 數量	增減（●） 價額（円）
鮮魚介	斤	—	—	二、九二七、一五五	九〇二、七〇七	二、七三四、〇四五	八一〇、〇五〇	一九三、一一〇	九二、六五七
模造パナマ帽子	箇	四七六、〇〇〇	二〇五、二四〇	一、九七七、八三〇	九四二、六〇一	一、二九八、二三〇	五九四、五一〇	六七九、六〇〇	三四八、〇九一
樟腦	斤	五八、二二三	七五、二九五	六八一、九〇六	八三八、三六〇	三八〇、一七八	五七九、五〇二	三〇一、七二八	二五八、八五八
食鹽	同	三、二〇〇	一三一	三七、〇三五、〇七〇	三五一、一二九	五〇、七〇二、二九〇	四七三、四三二	●一三、六七七、二二〇	●一二二、三〇三
其他諸品		—	七八〇、七四二	—	四、三六三、三四七	—	四、二七七、三四三	—	八六、〇〇四
計		—	一三、〇九五、一六五	—	一五、一二三、六〇九	—	一四、二八〇八、七七九	—	八四一、八三〇

移入

品目	單位	七月 數量	七月 價額（円）	三年累計 數量	三年累計 價額（円）	二年累計 數量	二年累計 價額（円）	增減（●） 數量	增減（●） 價額（円）
絹及絹織物		—	六八〇、九九二	—	八、〇九〇、八〇二	—	七、七五三、六三一	—	三三七、二五一
鐵	斤	八、八五四、三一〇	七八二、一五二	五六、八二七、五三〇	五、四三四、五一六	四四、〇九七、一〇五	四、四四三、六四二	一二、七三〇、四二五	九九〇、八七四
鹹乾魚	同	二、三五八、一〇七	三五七、三八四	一八、二〇一、四五一	二、六三一、九六八	三〇、一四四、七一〇	三、六八九、一六一	●一一、九四三、二五九	●一、〇五七、一九三
肥料	同	一四、一五五、一二〇	六四二、三三六	六九、〇八三、五二六	二、九一二、五九四	四七、四四二、二六二	二、一四二、四二八	二一、六四一、二六四	七七〇、一六六
木材	立方尺	二八九、四二五	二八九、八五四	二、三八七、五一五	二、五三〇、二一〇	一、八三六、六一五	二、一一八、〇〇四	五五〇、九〇〇	四一二、二〇六
鐵製品		—	二六七、五七五	—	一、九三七、四七八	—	一、八〇八、八八二	—	一二八、五九六
紙		—	二三九、六〇五	—	一、八七五、一五一	—	一、六七六、五九三	—	一九八、五五八
小麥粉	斤	一、八二五、三九七	一九〇、二〇五	一七、三四五、九二九	一、九一二、一四〇	一四、六〇五、七三九	一、六八七、八九四	二、七四〇、一九〇	二二四、二四六
麥酒	打	六〇、五九四	二九四、〇五六	四七八、〇九四	二、三七九、〇〇二	三六七、五四六	一、八六六、九五八	一一〇、五四八	五一二、〇四四
紙卷煙草	千箇	一二四、二六〇	二六七、五〇一	五八四、七二〇	一、三六二、〇七九	四四五、二八〇	一、〇二九、三三八	一三九、四四〇	三三二、七四一
錫	斤	一五四、〇六〇	七三、六八三	二、〇六一、五四七	九一一、八一三	二、六四九、六三九	一、〇七〇、三一四	●五八八、〇九二	●一五八、五〇一
各種ノ罐詰		—	二〇六、六一三	—	一、一三一、六七七	—	一、一三八、六〇六	—	●六、九二九
メリヤス肌衣		—	二〇、六八九	—	二三一、一〇七	—	二九七、八五六	—	●六六、七四九
絲類		—	二六、〇七九	—	九三八、九六七	—	九四二、六二八	—	●三、六六一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

清酒	打	七、六一〇	七四、六八七	八五、七七三	八二三、〇九〇	七二、〇六九	六五七、六九四	一三、七〇四	一六五、三九六
自轉車同部分品及附屬品		—	一六四、八七八	—	一、二〇二、六五五	—	八二二、九三三	—	三七九、七二二
ガンニー嚢	箇	三〇二、〇五〇	一四八、四九五	一、五三八、一七〇	六二一、九五八	一、八三九、〇〇〇	八〇九、五七一	•三〇〇、八三〇	•一八七、六一三
燐寸	哥	一九四、八四〇	一二九、七六二	一、三三五、〇六〇	九四九、二五三	九七四、三〇二	七〇一、四五九	三六〇、七五八	二四七、七九四
参	石	八、二八〇	一四六、六三三	二四、六一八	四四四、一九七	二八、五八二	五六九、二四〇	•三、九六四	•一二五、〇四三
毛織物		—	五六、四三〇	—	四八九、六五二	—	三一一、〇五九	—	一七八、五九三
コンデンスドミルク	打	二六、七四八	一三七、九六三	一六二、三〇八	七八四、一七六	一〇四、九七五	五七二、〇五二	五七、三三三	二一二、一二四
陶磁器		—	七八、五八〇	—	七二〇、八七八	—	五三八、六一二	—	一八二、二六六
菓子類		—	六三、四三四	—	五七一、八六九	—	五〇七、五四二	—	六四、三二七
自動車同部分品及附屬品		—	二三六、四一〇	—	九一〇、六四〇	—	四九九、九九〇	—	四一〇、六五〇
砂糖	斤	七〇一、八三四	一三一、二二二	二、七〇七、七九六	四八九、三三〇	一、六七一、九五一	三九七、九三二	一、〇三五、八四五	九一、三九八
石鹸		—	七三、八二一	—	六六〇、九二五	—	四七一、八六五	—	一八九、〇六〇
醤油	石	一、二二五	七三、三〇四	七、七七六	四六六、二四二	六、八三二	四〇三、四二〇	九四四	六二、八二二
セメント	斤	二、〇八一、一三四	四〇、四三五	三〇、〇九三、二二九	五四八、五一五	二一、三七七、〇六五	四一四、七八七	八、七一六、一六四	一三三、七二八
揮油及輕油	ガロン	一四〇、二四五	六六、一五八	七九六、七〇八	三九二、一八三	八一八、六九五	三九三、七九六	•二一、九八七	•一、六一三
米	石	五六二	一八、九八二	一、九七二	三七五、一五三	一一、〇四七	三八〇、三〇一	八、八六四	•五、一四九
其他諸品		—	四、一〇九、三三三	—	二九、三〇一、五八二	—	二四、八五九、一四九	—	四、四四二、四三三
計		—	一〇、一七七、一一一	—	七三、九二一、八五一	—	六四、九六七、三二七	—	八、九五四、五二四

◆港別貿易額（其ノ一）

港別	輸出	輸入	計	三年累計	二年累計	増減（•）
基隆	一、三〇九、六〇七円	一、七九八、一〇〇円	三、一〇七、七〇七円	二五、一二五、九一四円	三八、〇六八、〇〇〇円	•一二、九四二、〇八六円

	移出	移入	計	三年累計	二年累計	增減(・)
臺北	八〇六、五四九	七三、〇七九	八七九、六二八	五、四八一、二一七	六、〇四四、〇九八	五六二、八八一
淡水	八八、三〇二	一〇八、四五九	一九六、七六一	二、二三〇、七一〇	二、三一三、七二〇	九三、〇一〇
安平	二九四	五九、六二三	五九、九一七	七五〇、〇一〇	一、〇四四、二八八	・二九四、二七八
高雄	一九〇、六六三	一、九九五、五七四	二、一八六、二三七	一七、五〇二、七四七	一六、八八五、九九八	六一六、七四九
其他諸港	七三、〇九二	六一、五一二	一三四、六〇四	七九〇、〇七四	八〇五、〇九五	・一五、〇二一
計	二、四六八、五六七	四、〇九六、二八七	六、五六四、八五四	五一、八七〇、六七二	六五、一六一、一九九	・一三、二九〇、五二七

（其ノ二）

港別	移出	移入	計	三年累計	二年累計	增減(・)
基隆	六、九〇〇、九九七円	六、九九〇、三八六円	一三、八九一、三八三円	九九、二七六、四四五円	九七、五九二、七九七円	一、六八三、六四八円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	一六、五〇〇	一六、五〇〇	四一、八五四	三、〇〇〇	三八、八五四
安平	五、四八〇	七一三、五八四	七一九、〇六四	六、一七五、五八四	六、一五二、〇七〇	二三、五一四
高雄	六、一八八、六八八	二、四〇三、七六九	八、五九二、四五七	一一八、九六四、七四六	一〇二、八九〇、〇四二	一六、六七四、六九四
其他諸港	—	五、八七二	五、八七二	六七六、八四一	一、一三七、一八七	・四六〇、三四六
計	一三、〇九五、一六五	一〇、一七七、一一二	二三、二七二、二七六	二二五、一三五、四六〇	二〇七、七七六、〇九六	一七、三五九、三六四

◈収入額

収入額	輸入税	製茶税	織物消費税	砂糖消費税	噸税	其他諸収入	計
七月	一八五、三九三円	二四、〇八八円	三、九八三円	八、九四八円	五、一三五円	一〇、一六四円	二三七、七二一円
三年累計	二、三四八、一八三	一二七、〇六二	三八、九三一	二九二、二八一	三八、二二五	三六、六〇九	二、八八一、二九一
二年累計	二、五二三、〇一五	一五八、七七二	四四、五九一	三六一、〇〇四	四三、六五四	二六、七九〇	三、一五七、八二六
增減(・)	・一七四、八三二	・三一、七一〇	・五、六六〇	・六八、七二三	・五、四二九	九、八一九	・二七六、五三五

金融統計

◇手形交換高表（昭和三年六月分）

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五,二三三枚	一,三六一,〇二五円	二七一,四九二円	二六〇円
臺北	二二,八七六	一三,八四三,七八二	五,七三五,四一九	六〇五
臺中	二,三二〇	三,二七九,八七四	一,七七八,二〇五	一,四一三
臺南	一二,五一三	二,九九四,二〇九	七七七,四一六	二三九
高雄	五,二二三枚	二,四二三,四四四円	一,〇一〇,七九一円	四六四円
計	四八,一四四	二三,九〇一,三三四	九,五六三,三二三	四九六
前月	五〇,二九六	二四,〇五四,三四九	九,一一五,五九九	四七八
前年同月	四六,五〇四	二五,七三九,九五八	一一,五三一,七五〇	五五三

◇重要物産別銀行放資殘高

重要物産	昭和三年六月末	前月末	增減（△減）
砂糖	五五,九六〇,九八五円	六〇,〇五四,四九〇円	△四,〇九三,五〇五円
米	一五,六〇六,五三三	一四,九九三,九八四	六一二,五四九
茶	一,九五一,一三一	一,三四一,〇二四	六一〇,一〇七
樟腦	—	二一一,二四四	△二一一,二四四
金塊	七五二,五〇九円	七二三,六四三円	二八,八六六円
酒精	一三三,三五七	四五八,六一九	△三二五,二六二
石炭	八,〇八三,一九二	八,二七九,八二四	△一九六,六三二
合計	八二,四七七,七〇八	八六,〇六一,八二八	△三,五八四,一二〇

◇重要物産別銀行放資額累計

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

重要物産	昭和三年六月迄累計	前年同月迄累計	增減（△減）
砂糖	一六〇、四六五、〇八二円	一一九、四二〇、九六五円	四一、〇四四、一一七円
米	五八、二六一、〇三九	五七、一二五、六九四	一、一三五、三四五
茶	四、一〇一、五二三	三、二四八、六六一	八五二、八六一
樟腦	—	一、〇六六、四三三	△一、〇六六、四三三

重要物産	昭和三年六月迄累計	前年同月迄累計	增減（△減）
金塊	二、八六三、六五〇円	二、一九六、六〇〇円	六六七、〇五〇円
酒精	一、一六八、三五四	一、七三七、五一九	△五六九、一六五
石炭	一六、七六六、八九八	一四、二九五、二一七	二、四七一、六八一
合計	二四三、六二六、五四五	一九九、一〇一、〇七八	四四、五二五、四六七

種類別島內各銀行預金殘高

種類別	昭和三年六月末	前月末	增△減	前年同月	增△減
當座預金	一三、四七〇千円	一四、一三〇千円	△六六〇千円	一三、二〇六千円	二六四千円
特別當座預金	四四、三九二	四四、九三六	△五四四	四二、七三四	一、六五八
通知預金	四、四〇二	三、七六〇	六四二	七六二	三、六四〇
定期預金	二四、一〇〇	二三、六〇六	四九四	二四、五五八	△四五八
別段預金	六、四七七	五、三〇一	一、一七六	三、七二四	二、七五三
貯蓄預金	六、七四五	六、六七六	六九	六、〇〇〇	七四五
小計	九九、五八六	九八、四〇九	一、一七七	九〇、九八四	八、六〇二
日本銀行預金	九、三八七	九、六五七	△二七〇	二三、一七〇	△一三、七八三
合計	一〇八、九七三	一〇八、〇六六	九〇七	一一四、一五四	△五、一八一

種類別島內各銀行貸出金殘高

種類別	昭和三年六月末	前月末	增△減	前年同月	增△減
證書貸付	一七、四八七千円	一五、九七四千円	一、五一三千円	二五、六三二千円	△八、一四五千円
手形貸付	三六、九二五	四一、一五〇	△四、二二五	四三、九九九	△七、〇六四

當座貸越	三,五五九	三,四九六	六三	三,六四〇	△ 八一
割引手形	九九,〇二四	一〇二,三三九	△ 三,三一五	一〇三,二一六	△ 四,二五二
荷付爲替手形	一一,四五四	一五,〇四九	△ 三,五九五	一六,六三〇	△ 五,一七六
利付買入外國爲替	一,二五六	六八六	五七〇	六〇七	六四九
貯蓄銀行貸付	一,四五七	一,六六二	△ 二〇五	一,〇七四	三八三
小計	一七一,七一二	一八〇,三五六	△ 九,一八四	一九四,八五八	△ 二三,六八六
勸業銀行貸付	五〇,二二四	四九,八九六	三二八	四七,四二一	二,七九三
合計	二二一,三三六	二三〇,二五二	△ 八,八六六	二四二,二七九	△ 二〇,八九三

◆市街地信用組合事業一覽表（昭和三年六月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	資産：貸付金	資産：土地建物什器	資産：有價證券	資産：預ケ金	資産：假拂金	資産：手形割引	資産：其他	資産：現金	資産：計
臺北	九	六,五五三	四六,五二三	六〇,六五七円	五,七〇七,九七四円	一四九,二八三円	九二一,八三三円	一,四〇二,七六八円	一三,〇四三円	一七四,七七九円	二一四,六一一円	四三,七二五円	八,五八七,六六六円
新竹	二	一,三三三	一〇,三四九	四,九六二	一,〇二三,三六四	三〇,五八二	五〇	三七一,六七九	五〇八	—	一二〇	六,七七五	一,四七七,七九一
臺中	二	一,二二五	四,八三八	三,五八二	八四四,二〇八	二一,一〇六	二六,三三六	三三六,八〇〇	五〇一	—	—	三,七六一	一,二四五,二八六
臺南	六	三,五七二	二六,八八六	一二三,一六七	二,六〇六,六八一	七七,四三四	一四二,四一三	八〇八,一五七	五,二五七	五二九,四二七	三二,七八五	二三,七五五	四,三三九,〇八〇
高雄	一	三九九	二,四六八	六九〇	三五三,三〇八	二七,七三三	一四,五六一	八五,七〇一	—	—	—	九八八	四八二,九八二
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九一	四,三九〇	—	二七四,七七三	四,一九一	二,四一五	一九,八二五	一,四四九	四一,一四八	—	二,〇六五	三四六,八五七
合計	二一	一三,二五三	九五,四五三	一九三,〇〇九	一〇,八一〇,三一〇	三一〇,〇九九	一,一〇七,五九八	三,〇二四,九五一	一九,七五九	七四六,三五五	一四七,五一七	八一,〇七一	一六,四三九,六七四
前月末合計	二一	一三,一八〇	九五,二二四	一九五,三九二	一〇,六九五,九二七	三〇三,一一七	一,〇五七,九三三	三,一二五,四二二	二〇,六五六	六九八,一九四	一二一,七四九	六九,六三五	一六,二八八,〇二〇
△は減	—	七三	二二九	△ 二,三八三	一一四,三八三	六,九八二	四九,六六五	△ 一〇〇,四七一	△ 八九六	四八,一六一	二五,七六七	一一,四四五	一五一,六五四

（其ノ二）

州廳別＼種別	貸：出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借：借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一、五〇〇、〇四〇円	五、九九二、九五〇円	六二五、一八一円	一九五、八九六円	八、六五三円	二四、四九三円	三三、三五六円	四五、四九二円	一七二、六三三円	八、五八七、六九六円
新竹	二〇八、一七五	九六五、八五四	一三一、五四一	八九、一二七	一、四四五	一三、〇〇〇	二、九七九	—	二六、六六八	一、四二七、七九一
臺中	二四一、九〇〇	七三二、五八四	一三一、五七七	八二、五四二	二、九八五	—	一〇、四七五	四、八〇〇	三八、四二〇	一、一四五、一一八
臺南	八八九、九四〇	二、九二一、七五四	二七八、二五九	六四、二四〇	四、八五八	一八、二七七	五、三五一	三六、八七五	一三九、五二四	四、三三九、〇八〇
高雄	六一、七〇〇	四一五、九四八	二二四	—	—	—	—	—	五、〇九九	四八二、九八二
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八一、六八〇	一七四、七〇五	五三、三三〇	一九、六四一	—	一二、〇〇〇	八五七	—	五、七二三	三四六、八三七
合計	二、九八三、四三五	一一、一九六、七九八	一、三一〇、〇一三	四五一、四四七	一七、九四二	六五、七七〇	五二、〇一九	八七、一六八	三七八、〇七九	一六、四三九、六七四
前月末合計	二、九八六、三三〇	一一、〇二七、三八〇	一、三一一、四一九	四四四、五五〇	一九、三〇三	六三、七七三	三一、一八四	九九、九一七	四〇四、一六一	一六、二八八、〇二〇
△は減	△二、八九五	一六六、四一七	△一、四〇六	六、八九七	△一、三六〇	一、九九六	二〇、八三四	△一二、七四八	△二六、〇八一	一五一、六五四

（其ノ三）

州廳別＼種別	貯金内譯：組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	計	貸付金利率：最高	普通	最低	貯金利率：最高	普通	最低	借入金利率：最高	普通	最低	預ケ金利率：最高	普通	最低	手形割引歩合：最高	普通	最低
臺北	一、九二二、七四六円	二、二二二、二六一円	一、八四七、九四三円	五、九九二、九五〇円	三七厘	三五厘	二五厘	二八厘	一五厘	六厘	二六厘	二三厘	一八厘	二〇厘	三厘	五厘	三四厘	三四厘	三三厘
新竹	三五八、一〇七	四四〇、八九二	一六六、八五四	九六五、八五四	三五	三三	二九	二〇	一五	八	一六	一六	一六	一六	三	二	—	—	—
臺中	一八九、三六五	四七四、〇九一	六九、一二七	七三二、五八四	三五	三〇	二八	一二	一三	七	—	—	—	一七	三	六	—	—	—
臺南	一、三七四、二〇六	一、一一八、九二五	四二八、六二三	二、九二一、七五四	四三	三五	二八	二五	一六	一〇	二二	二二	二二	一九	三	六	三四	三二	三〇
高雄	二五〇、三五八	一一二、一四七	五三、四四三	四一五、九四八	四二	四二	三〇	一二	一六	一六	—	—	—	一六	三	六	—	—	—

澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	七〇、二八〇	四七、七六四	五六、六六〇	一七四、七〇五	三六	三六	三三	二一	一六	一六	二四	二四	三	一五	三	三	三六	三六	三六
合計	四、一六五、〇六四	四、四一六、〇七二	二、六二二、六六〇	一一、一九三、七九八	四三	三〇	二五	三〇	一六	六	二六	三三	一六	二〇	三	五	三六	三四	三〇
前月末合計	四、一三九、五八七	四、三三四、四一二	二、五六三、三八〇	一一、〇三七、三八〇	四三	三五	二五	三〇	一六	六	二六	三三	一八	二〇	三	五	三六	三四	三〇
△は減	二五、四七七	九一、六五九	四九、二八〇	一六六、四一七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

◆臺北物價指數表（昭和三年七月中）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(−)	二〇〇・四三	二〇五・〇九	二五〇・八三
玄米	(−)	一五七・〇一	一五九・六四	一五七・八九
清酒		三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒		一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒		三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬	(+)	二五九・二五	二二二・二二	二四〇・七四
小麥粉	(−)	一四五・七六	一五三・三三	一六一・二四
砂糖	(−)	一三三・七五	一三四・〇四	一四五・一一
鰹節	(−)	一九二・四八	一九八・三三	二〇二・三六
味噌		一三三・〇七	一三三・〇七	一三三・八四
醬油		一五四・九一	一五四・九一	一五四・九一
鷄卵		一七七・一四	一七七・一四	二〇〇・〇〇
落花生油	(−)	一四一・〇三	一四九・七四	一三〇・七六
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(−)	一二五・七〇	一二三・八三	一二三・九四

品目		本月	前月	前年同月
綿布		三二一・三九	三二一・三九	二六・〇六
洋紙		一五六・五二	一五六・五二	一六九・五六
日本紙		二五三・五九	二五三・五九	二五八・六八
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一六二・五〇	一六二・五〇	一七五・〇〇
洋鐵		一五〇・一一	一五〇・一一	一七一・九三
鉛	(−)	一〇六・三五	一〇九・三七	一三七・五〇
銅		一三三・四四	一三三・四四	一三八・五七
煉瓦		二二三・八三	二二三・八三	二二〇・三一
內地瓦		一〇六・二五	一〇六・二五	一〇六・二五
板硝子		一〇六・二五	一〇六・二五	一二三・五〇
セメント		一八二・三五	一八二・三五	一七三・五二
燐寸		二一二・三四	二一二・三四	二一二・三四
石油		一五二・〇四	一五二・〇四	一五〇・〇〇
石炭		二一〇・七八	二一〇・七八	二二二・四二
木炭		二三二・三三	二三二・三三	二五三・四〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

包種茶	一四三・三	一四三・三	一四一・七
白木綿	一三四・九二	一三四・九二	一三八・八八
新	二一四・二八	二一四・二八	二六四・二八
平均(一)	一七三・八八	一七三・九九	一八一・二八

備考　本表は大正三年七月戰前の物價を一〇〇として計算せり(＋)印は騰貴(一)印は低落を示す

◈臺北物價平均指數五箇年對照表

月次	昭和三年	二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年
一月	一七六・三四	一八三・〇八	一九〇・七九	二〇三・一三	一九一・八一
二月	一七五・四一	一八三・三五	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四
三月	一七四・八九	一八二・六八	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三
四月	一七四・二九	一八一・二八	一八八・二五	二〇〇・三三	一九一・五九
五月	一七四・二七	一八一・四八	一八六・〇三	一九二・五〇	一九四・一六
六月	一七三・九九	一八二・〇八	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六
七月	一七三・六八	一八一・三八	一八五・一一	一八五・一〇	一九一・六一
八月	―	一七九・七七	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二
九月	―	一八〇・三六	一八三・二五	一九五・六三	一九八・二〇
十月	―	一八〇・〇〇	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一
十一月	―	一七八・三五	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三
十二月	―	一七七・〇八	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三

◈各年月ヲ一〇〇トシタル本月平均指數

基準年月	三年六月	二年七月	十五年七月	十四年七月	十三年七月
本月平均	九九・九三	九五・八六	九三・九二	九二・九三	九〇・七四

漢詩

戊辰六月致仕書感　　上山蕉庵

節旄兩載駐南瀛。解組今朝覺體輕。雨潤上林千樹鬱。雲披富嶽一峰明。青山堪絕紫朱念。白首仍存葵藿誠。老境優遊天所錫。文章報國送餘生。

敬次上山蕉先生致仕書感瑤韻　　猪口鳳庵

衡命年前度大瀛。一身已比一毛輕。效忠夙誓虔臣職。引責何辭謝聖明。歸臥家園知守模。寄來篇什只推誠。離魂空逐南薰去。祿々深居愧此生。

同題　　魏潤庵

覃敷德敎化東瀛。治道惟期法令輕。衆庶情懷皆悅服。老臣心跡本光明。乞將骸骨歸囘日。尙抱文章報國誠。巖穴不勝知己感。敢因私謁愧平生。

同題　　小松天籟

晉京不復返蓬瀛。賦遂初篇蕉褐輕。鬢雪映來燈石亮。岳蓮照徹玉壺明。三年政績遵公道。畢生心期在至誠。囘憶春風東閣夕。酒邊笑對老書生。

同題　　劉篁村

甘棠兩載蔭南瀛。愛物愛民判重輕。寵辱自來無恐怖。行藏有主決分明。問風微服期資治。重譯菲才慮失誠。聖代昭和歌擊壤。閒雲野鶴樂長生。

同題　　尾崎吉村

無端一別隔滄瀛。却羨掛冠身迹輕。禍福觀來何得失。行藏畢竟自分明。詩中境地惟神韻。醉裡乾坤亦至誠。借問林泉高臥月。人間極樂作麼生。

同題　　謝雪漁

持節東西鎮兩瀛。丰神瀟洒帶裘輕。交融水乳團民族。鞏固屏藩翼聖明。施政自能無粉飾。憂時猶抱有深誠。乘公此日知鞭借。鯤島人多感唄生。

同題　　林嵩壽

述職翩然赴北瀛。急流勇退一身輕。文翁布化通全蜀。賀監休官臥四明。蓬徑揮毫留韻事。菁莪作士見眞誠。辭榮買得青山住。依舊頭銜魯二生。

同題　　辜敖盧

忍拋官海臥滄瀛。簪紱何如草服輕。往事南樓希庾亮。間情栗里悟淵明。長乘政績東寧史。乞許林泉北面誠。從此掛冠神武去。茅山雲鶴話平生。

同題　　莊怡華

釀成甘雨沛全瀛。施逐閒雲入岫輕。官海風波鞭控馭。臣心水鏡本空明。使君自樂初衣賦。父老爭輸臥轍誠。去々東山弄絲竹。可無一念到蒼生。

同題　林石厓

平地風波到海瀛。九重命重一身輕。青山白首烟霞喜。臣節官箴心事明。別吏有辭詳表白。詩民無處不公誠。去思尤感眞情語。效力臺灣慰畢生。

同題　倪希昶

重寄雄藩駐北瀛。乘時解組兩肩輕。相關痛痒和民志。特布慈仁體聖明。復活金融籌策妙。起衰文運注心誠。去恩一片東寧石。好範長留示後生。

同題　鄭逃公

黃梅時節離東瀛。好是清風雨袖輕。桃李滿園今太白。菊松三徑古淵明。宴張高閣詩開會。主竭隆情士寫誠。無限甘棠遺蔭在。惜難借冠慰民生。

同題　許梓桑

偶爾歸田離北瀛。清風雨袖覺身輕。阜財解慍勞心盡。大學開科感聖明。善政有聲傳載道。攀轅無計表愚誠。甘棠遺蔭千秋在。棨戟重臨慰吾生。

同題　劉振傳

尙存德政治東瀛。島治從來繫重輕。水乳交融欣向化。去留自在發通明。作高學府培才急。數大財源愛衆誠。共願先生康且壽。林泉嘯傲樂平生。

同題　林子惠

二年當軸總鯤瀛。琴鶴清旋一舸輕。政洽衆心稱父母。治崇大體仰神明。來時開我敦詩切。去後思公感德誠。他日陰陽資變理。致君更足澤蒼生。

同題　盧磐石

掛冠歸去臥滄瀛。萬古雲霄一羽輕。勿剪甘棠思召泊。猶存松菊樂淵明。牛朋李黨皆超越。皓月青天鑑毛誠。大德從來能得壽。心香私自祝長生。

同題　林篁堂

南薰習々水瀛々。林下逍遙百慮輕。稱桔高風追玉局。餐英勁節仰淵明。存留施設皆經濟。處決行藏一至誠。爲語口碑眞載道。天南日百萬民生。

同題　山口東軒

已辭闕寄去南瀛。勅選議場身未輕。獨樂方看今司馬。消憂誰比古淵明。三臺治敎留遺愛。一節行藏出至誠。洛下名流相與詠。新詩時示老餘生。

同題　伊藤壺溪

持節來臨鎭大瀛。一朝何料賦歸輕。治臺三載勛名著。對鏡二毛霜雪明。東閣公孫延俊士。南邦諸葛致精誠。無如引義乞骸骨。四百萬人慈恩生。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

秋の句抄（臺灣俳句集より）

蕃人の刺青濃さよ今朝の秋　専人
秋の夜や胡弓彈き居る泊り船　如月
長き夜やまつくらがりのかゝり船　在吾
爽かに色變りたる樹海かな　青原
ゴムの芽のまだ伸びつゞく殘暑かな　きよし
朝寒や蕃人の着る鹿の皮　梅白
臺車橋落ちて夜寒の渡舟かな　天樞
行秋や蕃地勤めの老巡査　綠泉
クロトンの色とりどりに秋日かな　古秋
樟の實を啄む鳥や秋晴るゝ　靜雪
兵役のなき島人や月の秋　伽峰
明月や線香たてゝ土人街　兆田
流星や燈さで過ぐる大戎克　素山
秋風や檳榔嚙んで女たち　一我
露寒く老蕃一人薯茎掘る　雅橋
霧の中に日當りながら散る葉かな　夜牛
榛榔の實の眞黄なる山の秋　榮坊

父と居て淋しがる兒や秋の雨　坡牛
秋川や引き上げてある空ラ生簀　不二居
ばさばさと芭蕉籠編む秋燈　抱石
新米や蓬萊米と銘うつて　一黎
鳴子引けば驚き出づる子連れ豚　石舟
落し水やがて衰へそめにけり　きゆう
秋耕や斧ひかる廣東女　洋々
水牛の角に又來し蜻蛉かな　合浦
蚯蚓鳴く夜の草深き垣根かな　我川
コスモスや土人を妻に宣教師　三梧樓
こぼれ萩季節風吹きそめにけり　海雪
茸干すや山の奥なる駐在所　惜字塔
蔦紅葉からむ文廟武廟かな　牛欣
藝閣につゞく金旗や秋祭　零々
秋の海高うねりして暮れにけり　塘翠
潮につれ鳴く海鳥や夜の長き　刻積
月の戸や聞えて遠き支那芝居　みさく
家鴨の子泥によごれて秋暑し　孕江

□「秋の句」募集　用紙葉書、時報俳句と明記のこと、投句先、臺北市錦町一五五、ゆうかり社宛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自七月二十五日
至八月二十四日

七月

▲二十五日
・成毛拓殖局長官中南部視察より歸北

▲二十六日
・河原田新總務長官著任朝日丸處女航海
・新竹騷擾事件判決あり七十二名有罪八名無罪

▲二十七日
・官民合同長官歡迎會開催

▲二十九日
・臺中市民館落成式擧行

▲三十日
・商工銀行株主總會紛料す

▲三十一日
・臺中城隍廟祭始まる

八月

▲一日
・議會初運動發程
・代表選手日本一周の壯途に上る

▲二日
・總督高雄を巡視す
・農民組合中壢支部業佃令に壓迫されて解散

▲三日
・總督臺南を初巡視

▲四日
・大和丸處女航海して基隆入港
・總督大圳、嘉義視察

▲五日
・總督阿里山登山

▲六日
・基隆市協議會開催
・阿里山鐵道故障にて總督留る

▲七日
・臺灣博無期延期内田殖産局長より聲明
・す總督無事嘉義著

▲八日
・總督日月潭を視察す

▲十日
・田中軍司令官軍事參議官に補せらる
・菱刈陸軍中將臺灣軍司令官に補せらる
・南部地方洪水に苦しむ

▲十一日
・臺灣民報筆禍事件擴大

▲十二日
・全島水泳大會臺中市營プールに開催
・全島女子中等學校庭球大會に臺南高女優勝
・臺灣貯蓄銀行員貯金橫領事件發表さる

▲十三日
・基隆市に於て向二週間漁業者の爲天測講習會開催

▲十五日
・臺北工業全國中等學校爭覇戰に十二月對七を以て前橋中學に快捷

▲十六日
・臺北工業四對三にて北海中學に斜敗す
・愛國婦人會夏期講習會開催

▲十七日
・總務長官臺北市内學校を巡視す

▲十九日
・救世軍臺北に小隊を開設
・全島男子中等學校庭球爭覇戰臺南師範優勝

▲二十日
・臺北州主催教育講習會終了

▲二十二日
・保安課事務警務課に移動さる

▲二十三日
・新竹通草會社問題圓滿合併に決す

▲二十四日
・全島水泳大會臺北旭町に開催

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人事消息

河原田總務長官　七月二十六日着任
中村海軍武官　七月二十六日上海經由內地へ
木下信氏　七月三十日離臺
宇賀四郞氏　同右
本山文平氏　同右
大久保警務局長　七月三十日着任
常吉專賣局長　同右
生駒臺中州知事　同右
佐藤續氏　八月一日離臺
三浦銕郞氏　同右
成毛拓殖局長　八月一日八重山へ
中辻喜次郞氏　八月八日內地へ
ゾルフ獨逸大使　八月九日來臺
星一氏　八月九日來臺
梅本技師　八月九日歸臺
川村總督　八月十三日上京
平島秘書官　同右
三宅秘書官　同右
豐田內務局長　八月十三日上京
富田財務局長　八月十五日上京
一戸二郞氏　八月十五日上京
石川主計課長　同右
田中軍司令官　八月十三日離臺
菱村事務官　八月十五日上京
荒木臺銀理事　八月十三日內地へ
素木博士　八月十六日歸臺
菱刈新軍司令官　八月十八日着臺
牧野參謀　八月十八日歸臺
二藤帝大教授　同右
山本帝大教授　同右
白鳥帝大教授　八月二十日着臺
小林前保安課長　八月二十二日離臺
大島博士　八月二十二日內地へ
片山治三氏　同右
平坂帝大教授　八月二十三日歸臺
松本帝大教授　八月二十三日離臺
小寺新一氏　八月二十五日着臺
二宮大佐　八月二十五日歸臺
中村大佐　同右
石橋檢察官長　同右
近藤大學教授　同右
石原臺日取締　同右
山中電力理事　同右

任命

府報　自第四百三十六號　至第四百六十號

○昭和三年七月二十日
臺灣總督府總務長官　河原田稼吉
赴任ノ途次京都、三重ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府秘書官　生駒高常
歸任ノ途次京都、三重ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月二十七日
三宅恒永
任臺灣總督府警視
臺灣總督府警視　三宅恒永
兼任臺灣總督府秘書官
臺北帝國大學附屬農林專門部教授　足立仁
任臺北帝國大學助教授兼臺北帝國大學附屬農林專門部教授
澁谷常紀
任臺北帝國大學助教授兼臺北帝國大學附屬專門部教授
臺灣總督府警視兼臺灣總督府事務官　猪俣一郞
任臺灣總督府事務官兼臺灣總督府警視（以上內閣）

○昭和三年七月二十一日
臺灣總督府事務官　和田一次
官報報告主任ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○昭和三年七月二十七日
　臺灣總督府警視　三宅　恒永
警務局理蕃課勤務ヲ命ス
　臺灣總督秘書官　三宅　恒永
總督官房秘書課勤務ヲ命ス
　臺北帝國大學助敎授　足立　仁
理農學部勤務ヲ命ス
應用菌學講座擔任ヲ命ス
　臺北帝國大學助敎授　澁谷　常紀
理農學部勤務ヲ命ス
　臺灣總督府事務官　猪俣　一郎
七級俸下賜
○昭和三年七月二十六日
　臺北帝國大學助敎授　市島吉太郎
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一年六箇月間獨、佛、米ノ三箇國ニ在留ス
ヘシ
○昭和三年七月二十二日
　臺灣公立實業學校敎諭　高橋　安親
新潟縣下ヨリ上京ヲ命ス
○昭和三年七月二十五日
　臺北帝國大學事務官　近藤乄蔀治
和歌山縣下ヨリ宮城、青森ノ二縣下ヘ出張
ヲ免ス
○昭和三年七月二十八日
　臺北帝國大學助敎授　市島吉太郎
朝鮮ヨリ上京ヲ命ス

　臺灣總督府師範學校敎諭　西山　清澄
東京府外二府九縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ兵
庫、岡山、和歌山ノ三縣下ヘ出張ヲ命ス
　臺灣公立高等女學校敎諭　久住　雅治
東京、京都、大阪、兵庫ノ各府縣下ヘ出張
ヲ命ス
○昭和三年七月三十一日
　臺灣總督府稅關事務官　井出季和太
任臺灣總督府翻譯官兼臺灣總督府事務官
　臺灣總督府地方警視　安達　左京
任臺灣總督府稅關事務官(以上內閣)
○昭和三年七月三十一日
　臺灣總督府翻譯官　井出季和太
警務局保安課勤務ヲ命ス
　臺灣總督府稅關事務官　安達　左京
七級俸下賜
○昭和三年八月二日
　臺灣督總府技師　山田　拍採
南米伯剌西爾及亞爾然丁兩國ヘノ出張ヲ免
ス
　臺灣總督府交通局技師　篠原　國憲
東京、大阪、千葉、神奈川、靜岡、岐阜、
富山、兵庫、山口、福岡、鹿兒島ノ二府九
縣下ヘ出張ヲ命ス
　臺灣總督府地方理事官　齋藤玄壽郎
大阪、兵庫、山口、島根ノ各府縣下ヘ出張
ヲ命ス
○昭和三年八月三日
　臺灣總督府法院判官　本田　熊喜
退職ヲ命ス
○昭和三年七月二十日

　臺北帝國大學附屬農林
　專門部敎授　足立　仁
歸朝ノ途次東京、廣島ノ各府縣下ヘ出張ヲ
命ス
○昭和三年七月二十四日
　臺北帝國大學附屬農林
　專門部敎授　桒木　得一
歸朝ノ途次東京府及北海道廳下ヘ出張ヲ命
ス
○昭和三年七月二十七日
　臺北帝國大學助敎授　足立　仁
赴任ノ途次東京、廣島ノ各府縣下ヘ出張ヲ
命ス
○昭和三年七月三十日
　臺灣公立實業學校敎諭　淺間　要愼
東京、大阪ノ各府下ヘ出張ヲ命ス
○昭和三年八月三日
　臺灣公立中學校敎諭　三輪　杉根
任臺灣公立中學校敎諭(內閣)
○昭和三年八月三日
　臺灣公立中學校敎諭　三輪　杉根
補臺南第一中學校敎諭
○昭和三年八月四日
　臺灣公立中學校敎諭　三輪　杉根
依願免本官(內閣)
○昭和三年八月六日
　臺北帝國大學附屬農林專門
　部敎授兼臺灣總督府中央研　桒木　得一
　究所技師臺灣總督府技師
任臺北帝國大學敎授兼臺灣總督府中央研究
所技師臺灣總督府技師(內閣)
○昭和三年八月六日

臺北帝國大學敎授　素木　得一
理農學部勤務ヲ命ス
昆蟲學、養蠶學講座擔任ヲ命ス
○昭和三年八月七日
臺灣總督府地方理事官　林　繁三
依願免本官(內閣)
○昭和三年七月二十七日
臺灣總督府事務官　猪俣　一郎
警務局保安課長ヲ命ス
○昭和三年八月七日
臺灣總督府事務官　淺野　安吉
東京、京都、長野、新潟ノ二府二縣及北海道樺太ノ兩廳下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府典獄　志豆機源太郎
東京、大阪、福岡ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　松浦作治郎
東京、京都、埼玉、青森、山形、福岡、熊本ノ二府五縣及北海道廳下へ出張ヲ命ス
臺北帝國大學事務官　近藤　壽治
宮城青森ノ兩縣下へ出張ヲ命ス
○昭和三年八月六日
臺灣總督府交通局參事　勝村　豐藏
東京、橫濱ノ兩市へ出張ヲ命ス
○昭和三年八月十日
臺灣總督府中央研究所技師　萩原　昌二
東京、大阪、山口、新潟ノ二府二縣及北海道樺太ノ兩廳下へ出張ヲ命ス
○昭和三年八月十一日
(各通)　臺灣總督秘書官　平島　敏夫
同　三宅　恒永
川村總督上京ニ付隨行ヲ命ス
(各通)　臺灣總督府財務局長　富田　松彥
臺灣總督府事務官　石川　重男
臺灣總督府土木事務官　菱村彥十郎
上京ヲ命ス
○昭和三年八月二日
臺北帝國大學助敎授　山本　由松
歸府ヲ命ス
○昭和三年八月六日
臺北帝國大學敎授　素木　得一
赴任ノ途次東京府及北海道廳下へ出張ヲ命ス
○昭和三年八月十三日
臺灣總督府技師　山田　拍採
歸朝ノ途次上京ヲ命ス
臺北帝國大學敎授　大島金太郎
東京、京都、福岡、茨城ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
內務局長豐田勝藏不在中代理ヲ命ス
○昭和三年八月十四日
臺灣總督府技師　川口　庄松
英、佛、獨、米ノ各國へ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　坂本　登
支那厦門へ出張ヲ命ス
任臺灣總督府事務官　伊藤　兼吉
任臺灣總督府醫院醫長(以上內閣)　赤司　和嘉
○昭和三年八月七日
臺灣公立實業學校敎諭　佐藤　秀男
臺中商業學校長事務取扱ヲ命ス
○昭和三年八月十一日
臺灣總督府事務官　伊藤　兼吉
總督官房法務課長ヲ命ズ
臺灣總督府醫院醫長　赤司　和嘉
臺南醫院勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　水越　幸一
總督官房法務課長兼務ヲ免ス
○昭和三年八月十三日
臺灣總督府事務官　和田　一次
總督官房秘書課長平島敏夫不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府內務局長　豐田　勝藏
東京、富山ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　一戶　二郎
上京ヲ命ス
○昭和三年八月十六日
公立高等學校敎授兼
公立高等學校敎諭　工藤　好美
任臺北帝國大學助敎授(內閣)
○昭和三年八月十六日
臺北帝國大學助敎授　工藤　好美
文政學部勤務ヲ命ス
西洋文學講座分擔ヲ命ス
○昭和三年八月十七日
臺灣總督府事務官
正五位勳六等　和田　一次
兼任臺灣總督秘書官
敍高等官三等
臺北帝國大學事務官
兼臺北帝大敎授正六位　近藤　壽治
兼任臺北帝國大學附屬農林專門部敎授
敍高等官四等
臺北帝國大學助敎授正七位　山本　由松
任臺北帝國大學附屬農林專門部敎授
敍高等官六等
臺北州警部從七位勳八等　古谷升之助

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任臺灣總督府地方警視
敍高等官七等
臺中女子公學校長　長井　實一
奏任官ヲ以テ待遇セラル
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府警務官及司獄官練習所教官　和田　一次
免兼官
臺灣總督府醫院醫官兼臺灣總督府臺北醫學專門學校教授　水谷　元德
依願免本官竝兼官（以上內閣）

○昭和三年八月十五日
臺灣總督府專賣局長　常吉　德壽
上京ヲ命ス
臺灣總督府事務官　長野　龜男
財務局長富田松彥不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府專賣局參事　中島　覺之
專賣局長常吉德壽不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　中田　榮次郎
財務局主計課長石川重男不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　中田　榮次郎
株式會社臺灣銀行監理官富田松彥不在中代理ヲ命ス

○昭和三年八月十七日
臺灣總督秘書官　和田　一次
總督官房勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方警視　古谷　卅之助
九級俸下賜
臺北州勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　水越　幸一
普通試驗委員長ヲ命ス
（各通）臺灣總督府事務官　和田　一次
臺灣總督秘書課　平島　敏夫
普通試驗委員ヲ命ス

○昭和三年八月十八日
（各通）臺灣總督府殖產局長　內田　隆
臺灣總督府警務局長　大久保留次郎
臺北州知事　高橋　親吉
臺灣總督府師範學校教諭　關野　榮
教科書調查會委員ヲ命ス
臺灣公立高等女學校教諭　大欣　鐵馬
教科書調查會委員ヲ免ス

○昭和三年八月十八日
臺灣總督府地方警視　古谷　卅之助
依願免本官（內閣）

○昭和三年八月二十日
警視廳警視從六位　山內　繼喜
任臺灣總督府事務官
敍高等官五等
警察廳警部　今田　卓爾
任臺灣總督府事務官
敍高等官七等
臺灣總督府事務官從五位　小林　光政
任警察講習所教授
敍高等官三等（以上內閣）
臺灣總督府事務官　山內　繼喜
七級俸下賜
警務局保安課長ヲ命ス
臺灣總督府事務官　今田　卓爾
十級俸下賜
警務局保安課勤務ヲ命ス

○昭和三年八月十八日
臺灣總督府技師　石井　信太郎
支那廈門へ出張ヲ命ス
臺灣總督秘書官　三宅　恒永
東京ヨリ栃木縣下へ出張ヲ命ス
東京ヨリ秋田縣下へ出張ヲ命ス

○昭和三年八月二十日
臺灣總督府交通局理事　白勢　黎吉
東京鐵道局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局技師　片山　活三
東京遞信局管內へ出張ヲ命ス

○昭和三年八月二十二日
臺灣總督秘書官　平島　敏夫
東京ヨリ京都市へ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局參事　須田　一二三
南滿洲、朝鮮及東京鐵道局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局副參事　尾辻　哲三
南滿洲、朝鮮及門司鐵道局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　三宅　勉
中央研究所農業部長大島金太郎不在中代理ヲ命ス

○昭和三年八月二十二日
（各通）臺灣總督府殖產局長　內田　隆
臺灣總督府警務局長　大久保留次郎
市區計畫委員會委員ヲ命ス
臺北州知事　高橋　親吉
市區計畫委員會臨時委員ヲ命ス
（各通）臺灣總督府殖產局長　內田　隆
臺灣總督府警務局長　大久保留次郎
水利委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府技師　磯田　謙雄
河川調查委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　伊藤　兼吉
臺灣總督府警察及刑務所職員語學甲種試驗委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　和田　一次
臺灣總督府警察及刑務所職員語學甲種試驗委員ヲ免ス
臺灣總督府事務官　猪俣　一郎
水利委員會委員ヲ免ス
河川調查委員會委員ヲ免ス
河川調查委員會幹事ヲ免ス
官設埤圳補償審查委員會委員ヲ免ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

國民政府の宣言した不平等條約改訂と廢棄……一
米支關税新條約……二
南京事件解決に關する英支交換文書……三
第五次執監全體會議……四
東三省の臨時保安會及關係諸條例……八
張學良の本心如何……一〇
山東々部一帶の支那軍現勢力……一一
武漢の對日絶交經過……一三
福建省近情……一三
廣東汕頭近情……二〇

比律賓

第八回比島議會へ與へたる總督の教書……二一
比島排日狀況……二二

佛領印度支那

一九二六年の印度支那鑛業(二)……三一

暹羅

前期籾收穫概況……四一

英領馬來

新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの經過並に將來(上)……四二
サラワク王國の資源及其の貿易(下)……四四

蘭領東印度

一九二七年度に於ける蘭領印度の經濟情勢……五〇
一九二九年度蘭領印度豫算案……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□國民政府の宣言した不平等條約改訂と廢棄

南京國民政府は七月六日の中央黨部常務委員會の決議にもとづき、同七日不平等條約改訂に關する重要宣言を發表した。其の内容は左の如し。

國民政府は現代の情勢に適當し、國際友誼及び幸福を增進するの見地から一切の不平等條約の廢除及び双方平等互惠の主義に依據する數條約の改訂に對し、已に久しく當務の急なりと爲し、此の種の意思を屢々宣言する所があつた。現在統一を告成し、國民政府は上述の意旨に對し、これが貫徹を求め在支外人の生命財產は法に依り保護を繼續するは勿論であるが、一切の不平等條約に對し特に下の宣言をなす。

第一　中華民國と各國間の條約にして、已に滿期となれるものは當然これを廢除し、別に新條約を締結するものとす。

第二　その尙ほ未だ滿期に達せざる者は國民政府は正當の手續により之を解除し重訂するものとす。

第三　其舊條約にして已に滿期となり、而して新條約を未だ訂結せざるものは、國民政府に於て別に適當なる臨時辦法を定め一切を處理す。特にこれを宣言す。

以上の宣言の外同時に、宣言第三項の場合、即ち舊條約が既に滿期となり尙ほ新條約を締結せざる國に對して臨時辦法を適用するので左の如く七箇條の規定を發表した。之を七箇條の臨時辦法といふ。

一、本辦法は舊條約已に廢棄され、新條約未だ締結せざる各外國及びその人民に適用さるゝものとす。

二、駐支各國外交官領事に對しては國際公法に於て附與されたる待遇によつてこれを待遇す。

三、在支外人の身體財產は支那の法律によつて保護を受くべきものとす。

四、在支外人は支那司法機の支配、及び支那法院の管轄を受くべきものとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

國民政府の宣言した不平等條約改訂と廢棄……一
米支關稅新條約……二
南京事件解決に關する英支交換文書……三
第五次執監全體會議……四
東三省の臨時保安會及關係諸條例……八
張學良の本心如何……一〇
山東々部一帶の支那軍現勢力……一一
武漢の對日絶交經過……一二
福建省近情……一三
廣東汕頭近情……二〇

比律賓

第八回比島議會へ與へたる總督の教書……二一
比島排日狀況……二二

佛領印度支那

一九二六年の印度支那鑛業(二)……二三

暹羅

前期籾收穫概況……四一

英領馬來

新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの經過並に將來(上)……四二
サラワク王國の資源及其の貿易(下)……四四

蘭領東印度

一九二七年度に於ける蘭領印度の經濟情勢……五〇
一九二九年度蘭領印度豫算案……五六

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□國民政府の宣言した不平等條約改訂と廢棄

南京國民政府は七月六日の中央黨部常務委員會の決議にもとづき、同七日不平等條約改訂に關する重要宣言を發表した。其の內容は左の如し。

國民政府は現代の情勢に適當し、國際友誼及び幸福を增進するの見地から一切の不平等條約の廢除及び双方平等互惠の主義に依據する數條約の改訂に對し、已に久しく當務の急なりと爲し、此の種の意思を屢々宣言する所があつた。現在統一を告成し、國民政府は上述の意旨に對し、これが貫徹を求め在支外人の生命財產は法に依り保護を繼續するは勿論であるが、一切の不平等條約に對し特に下の宣言をなす。

第一　中華民國と各國間の條約にして、已に滿期となれるものは當然これを廢除し、別に新條約を締結するものとす。

第二　その尙は未だ滿期に達せざる者は國民政府は正當の手續により之を解除し重訂するものとす。

第三　其舊條約にして已に滿期となり、而して新條約を未だ訂結せざるものは、國民政府に於て別に適當なる臨時辦法を定め一切を處理す。特にこれを宣言す。

以上の宣言の外同時に、宣言第三項の場合、卽ち舊條約が既に滿期となり尙ほ新條約を締結せざる國に對して臨時辦法を適用するので左の如く七箇條の規定を發表した。之を七箇條の臨時辦法といふ。

一、本辦法は舊條約已に廢棄され、新條約未だ締結せざる各外國及びその人民に適用さるゝものとす。

二、駐支各國外交官領事に對しては國際公法に於て附與されたる待遇によつてこれを待遇す。

三、在支外人の身體財產は支那の法律によつて保護を受くべきものとす。

四、在支外人は支那司法權の支配、及び支那法院の管轄を受くべきものとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、外國或は外人の輸入及び輸出貨物は國定税率によつて海關税を徴收す。國定税則施行前に於ては現行章程に照して辦理す。

六、凡そ支那人民の納むる租税は在外支人は一律に法規に照し納税すべきものとす。

七、凡そ未だ規定を經ざる事項は國際公法及び支那の法律に準據して處理すべし。

□米支關税新條約

米支兩國政府は駐支マツクマレー公使・宋子文財政部長を全權として七月二十五日北京に於て關税に關する新條約を締結した。其の内容は左の如し。

米國政府並に中華民國政府は兩國外交上の好誼を維持し、彼我兩國の貿易關係を鞏固にするの見地より下名全權を特派す。駐支米國公使マツクマレー・中華民國財政部長宋子文、兩國は右全權をして左の條約を締結せしむ。

第一條　米支兩國は既結各條約内に記載されたる支那輸出入税・通過税・戻税・噸税等に關する各條約を廢棄し、完全なる關税自主の原則を締約國間に適用するものとす。但し各締約國は上記の關係事項に對し、彼我領土内に於て享有するの待遇は、その他國が享有する所の待遇と毫も區別すべからざるものとす。兩締約國は何等かの口實の下に本國領土内に於て、相手國人民の運輸する所の輸出入貨物に對し、關税或は内地税或は何項の税金を本國人並に他國人民の納税額を超過し、又は區別することを得ず。一九二九年即ち民國十八年一月一日前に双方政府は以下の規定に照し以上の條款を批准し、同日を以て効力を發生するものとす。同時日までに批准されざる場合は四箇月を閲したる後に於て効力を發生するものとす。

第二條　本條の英文及び支那文は詳細なる對照をなし、これが確實なることを證し得たるも、將來疑義を生じたる場合は英文に據るものとす。締約兩國の本條約批准は各本國の憲法所定の手續に基いて批准をなし、出來得る限り速かに華盛頓に於て批准交換をなすものとす。因に以上の條約は英支文各二通を作成し兩國全權に於て調印す。

一九二八年七月二十五日

北京に於て

米國政府全權　マツクマレー

中華民國全權　宋子文

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□南京事件解決に關する英支交換文書

第一　王正廷よりラムプソン宛覺書

一、國民政府の名に於て當外交部長は南京事件に於て英國政府の代表者に加へられたる被害と、英國領事館の蒙れる財産上の損失及び英國居留民に加へられたる危害と財産上の損失に關して、英國政府に對し國民政府は深甚なる遺憾の意を表するものである。

一、右事件の調査の結果右は南京に於ける國民政府の設立されぬ以前に當り共産黨の使嗾に依るものなる事明かなりと雖、國民政府は依然として之に對する責任を負ふものである。國民政府は既定の方針に依り、支那在留英國人民の生命財産を絶えず有效に保護すべき事を繰り返して文武百官に明示した。英支の關係を害はしむるに至つた共産黨及び彼等の勢力を絶滅すると共に、外國在留民を保護する任務は之より容易になる事であらう。

一、國民政府は英國在留民の之等正當なる見地に對し南京事件の如き騷動の生ぜざる樣特別の注意をなす積りである。之に關して更に玆に明言すべきは、共産黨の使嗾に依り右南京事件に加擔した各軍隊は、總て淘汰せられ、更に又國民政府は右事件に加擔したる軍隊及び其の他の懲罰に關して相當なる手段を執つた事である。更に國際公法の規定に從ひ、國民政府は南京に於ける英國領事館・英國官憲及び英國居留民の蒙れる危害及損害に對して賠償する積である。其の目的のために國民政府は英支共同の調査委員を作り、危害及び損害の程度を調査し、併せて賠償額を規定せん事を提案するものである。

第二　ラ公使より王正廷宛覺書

本官は南京事件關係者の懲罰及び今後同樣の事件が生ぜざる樣注意すべき旨南京政府の命令が發せられたと聞き、右命令が早速且つ充分に實行さるゝ事を信ずるが故に、本官は英國政府代表として貴官のノートを受け取り、之を以て一千九百二十七年四月十一日重慶に於て前外交部長に發せられたる文書に記載せられたる要求の解決せられたるものと認めるものである。(バートン署名)

第三　王正廷よりラムプソン宛覺書

本日(九日)交換したる南京事件解決文書に關し、本官は左の諸點につき貴下の注意を喚起し度い。卽ち南京事件當時港に碇泊中なりし英艦エメラルド號に依り南京に於けるソコニーヒルに砲火を集中せられた。之に關し南京政府は英國政府が遺憾の意を表せられん事を望むものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四　ラ公使より王正廷宛覺書

エメラルド號事件に關する貴下よりの文書に接したるを遺憾とす。右の砲撃は英國在留民の多數が狂暴なる兵士の攻撃より逃れんとして避難せる外國家屋の附近のみに限られたる保護行爲であつた。右に依りこの一團の避難民の生命がその直面せる危難より逃れたるのみならず。更に等しく生命の危險に遭遇せるその他の英國在留民の避難をも可能となさしめたものである。英國政府はエメラルド號の執つた方法は英國在留民の保護のため絕對的必要なりし事を信ずる。尤も當日に於ける南京の情況が斯る方法を執るの已むを得ざるに至らしめた事は深く之を遺憾とす。（パートン署名）

第五　王正廷よりラ公使宛覺書

本日交換せる南京事件解決文書に關し、本官は之に依り英支外交關係に新時代を劃せん事を希望し、且つ平等及び主權の相互尊重に基いて現行條約の改正及び未決諸案件を整理せんため方法を講ぜん事を提案するものである。

第六　ラ公使より王正廷宛覺書

英國政府は條約改正に關する國民政府の要求の正當なるを認める。從て一千九百二十六年十二月十八日附の宣言及び一千九百二十七年一月二十八日附七種の提案に於て、英國政府はその政策を闡明し且つ之を實施すべく出來得る限りの手段を執つた。英國政府が支那に關して執つてゐた友交且つ同情的態度を更に明かならしめんため、英國政府は條約改正問題に關し正式委員を任命して、國民政府と適當なる時期に於て交渉を開始せんとしてゐる。英國政府は南京事件の故を以て支那に對する從前よりの態度を改めんとはせず。之を以て條約改正には何等の關係もなく一箇の挿話とせんとするものである。（パートン署名）（八月十三日—英國駐支公使館發表）

□第五次執監全體會議

巨頭連の赴寧と歡迎　第五次全體會議列席の爲め李宗仁・李濟琛・戴天仇等の巨頭は既に七月二十八日夜北平を發し漢口を經由南京に向つた。馮玉祥も南方三巨頭と同行の筈であつたが、少し遲れて南京に向つた。

會議の日程　七月三十日、第五次全體會議の準備事項協議の結果大體八月一日より三日間を豫備會議とし、同四日に開會式擧行、夫より一週間を本會議期間とした。委員の法定員數は十九名なるが、全數出揃ふことは六箇敷からん。馮玉祥は八月一日南京に到着した。

閻の南京行は病氣の爲め中止　山西の閻錫山は南下の途次突然病氣保養の爲め、七月三十日の夜太原に到着したので、南京の全體會議

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出席に斷り、代表溫壽泉を派遣することゝした。何等か不滿の點あつてかくなりしか。天津に在つた山西軍の大部隊も引き纏めて太原へ引き揚げると發表した。或は馮の陰謀を避けたのかも知れないと傳へられる。

本會議開會に至るまでの惱み 第五次會議の爲め中央執行委員會として、廣東派各委員の出席を慫慂する電報を發したが、現に上海で形勢觀望中の廣東派委員何香凝・陳樹人・王樂平・王法勤の四名は、陳公博・顧孟餘の出席權が認られなければ全體會議には出席せずと主張し居るに對し廣西派の李宗仁・李濟琛は、陳公博・顧孟餘は第四次全體會議の時其の職權を停止され、其の解除可否の決定は第三次全國代表大會に於て審議することゝなつて居る。而して其の全國代表大會が開催されない以上、其の出席權は認められない筈だ。若し陳・顧兩名が出席するならば、廣西派は出席せずと主張し、胡漢民を主腦として居る國家主權派が之を支持する傾きがある。又一方吳稚暉は廣東委員が監察委員の改選及び中央組織變更案を提出せんとするので、全體會議に出席しないと云ひ出した。是に於て蔣介石・譚延闓の兩名は各委員間の意思疏通の爲め大奔走をなして居る。

出席委員の法定數不足 八月二日までに出席可能の執行委員數は譚延闓・恩克巴圖・于右任・朱培德・宋子文・經亨頤・柏文蔚・戴天仇・李濟琛・李烈鈞・劉守中・蔣介石・周啓剛・丁超五・陳嘉佑・黃實・朱霽青・何應欽計十八名で法定員數には尙ほ一名の不足あるばかりであるから、蔣介石氏は如何にもして會議を成立せしめんとて奮迅中である。もし止むを得ざるときは目下病臥中の丁惟汾・白雲梯の中比較的經過良好の丁惟汾の出席を求めるであらうといふ。

廣西派の策動と蔣の苦境 蔣介石氏は八月五日上海に出で廣東派委員の第五次全體會議出席を慫慂しつゝある。是れ馮玉祥と廣西派が秘密に提携し南京政府倒壞の劃策をなして居る爲め、蔣氏が廣東派に結び此の苦境を脫せんとするものと解せらる。尙ほ廣西派は汪兆銘を擁立し共產派を使嗾して、南京政府倒壞・蔣介石討伐・閻錫山打倒等のスローガンを起さして居るといふ。

會議期日の改定と廣東派 蔣氏は八月六日迄に廣東派委員を說き出席を承諾させた。又廣東廣西兩派の妥協は蔣介石・譚延闓兩氏の斡旋によつて成立したから、全體會議の本會議は八月八日より開會の事に內定された。

準備會は七日に開かる 國民政府全體會議の準備會は七日午後八時から南京に開會され、江蘇執行委員一名、監察員一名其の他二十餘名の外に、上海から長江艦隊司令楊樹莊等の出席あり、本會議に關する五箇條の準備を決議し同十時に散會した。

全體會議開會の第一日 八月八日午前九時より開會式を舉行し、出席者は中央執行並に監察の兩委員合計三十四名と各部長、其の他十數名で、于右任を主席に推し、一同孫總理の遺風を讚歎したる後蔣介石氏は起立して、「今回不和統一成り諸君と共に第五次全體會議を開き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

得るに至つたのは欣幸の至りである。惟ふに民國の眞の建設時代はこれから始まるのであるから、政事・軍事・財政其の他萬般の國家的施設の爲め充分な討議を盡されて國民の委託に報ゐられん事を望む」との意を演說し終つて後一同紀念の撮影を爲し、同九時半式を畢り直に本會議に移り、「(一)孫總理の遺骸本葬は明年一月に行ふ事とし、其の準備を積極的に進める事。(二)全國代表大會は本中央組織部の黨委議を待ち後日決定する事。(三)八日午後及び九日は各組に於ける審査會を續行し、十日午前八時より本會議を開く事。(四)黨務整理辦法は審査會で討論の上、全體會議に提出して決定する事。(五)程潜の職權停止は繼續する事。(六)各組審査員を任命する事」の決議を爲した。

十日の紛擾は政治分會廢止案が根本　十日の會議に於て廣東派が政治分會廢止を唱ふるに對し廣西派は之に反抗したるも、廣東側の委員は總立ちとなつて猛烈なる反對論を出したので李濟琛は憤然席を蹴つて退場し、尋で十三日の會議も張靜江・李石曾の脫退により流會となつた。

李馮の湯山會晤　李濟琛は退場後湯山に避けて居たが、十三日晚には同所で談話會を開催し、馮玉祥も參加して居ると傳へらる。

本會議前途の支障　廣東廣西兩派の反目は開會以前既に其の端緒を發して居たが、會議に入るや、兩派間の爭鬪は愈々激烈となり、張靜江・李石曾は既に南京を離れ去り、李濟琛も出席を肯はない。蔣介石は廣東派に左袒し政治分會打消しの通過を謀つて居るが、李宗仁・李濟琛・馮玉祥及び李石曾等の各政治分會主席の反對に遇つた爲め、暫く該案の保留を爲さればならぬことゝなつた。但し廣東派及び國民黨部內では、政治分會は變相の督軍制に同じいと考へるので、直に之れが打消を要求して居る。蔣氏は兩派間に極力調停の法を講じ、紛擾中尙ほ開會を續行しつゝある。隨つて十四日の第四回目會議も政治分會案の討論を繼續し、午前中に該案を議決し、本年末を限つて政治分會を打消すことゝし、其の條例中の第四條を改めて、「政治分會の決議案は該特定地域內の最高地方政府に移交して施行せしめ、政治分會の名義を以て命令を頒布し、官吏を任命するを得ず」と定めた。同午後に至り明年一月一日第三次全國代表大會を擧行し軍制軍令の統一實行、軍備完了後徵兵制度を採用し、軍費は多くとも國家收入の五割を超過するを得ずとし、立地に裁兵を實行する等の諸案を議決し、最後に十五日午前十時に大會閉會の式を擧行することを議決した。

政治分會存廢問題の爭論　第五回の本會議に政治分會存廢問題を討論したが、各派の辯論甚だ烈しくなり、李烈鈞・朱霽青は取消を主張して統一精神を表現し多數の公意を採取すべしと云ひ、何應欽は取消の原則には贊成するが、軍事尙ほ終結せざる今日では、裁兵事實に關しても政治指導の機關が之を維持せねばならぬから、時間上尙ほ暫く存在せしむべしと說き、譚延闓は事實如何の注意考慮を請ひ、吳稚

城は軍事善後事實の辦理完了を俟つて後取消すべしと云ひ、朱培德は更に政治分會は確に取消すべきものである。何となれば建國大綱には明に中央と省との間には均權制度を採ることを示してあるからである。故に保留には毫も理由はないと斷じた。又郭春濤は云ふ、余が取消主張は事實に根據しての事であると同時に多數の意見を尊重せんことを請ふのであると。次に陳肇英は云ふ、現在未設立のものは再び設立することを得ずと。かくて最後に譚延闓氏は年末に至るを限りとして取消さんことを請うた。主席は遂に之を表決に付したところ滿場異議なく可決し、一時喧ましかつた政治分會存廢問題は遂に一段落を告げた。

十五日の閉會式と宣言　同日朝十時第五次中央執監全體會議閉會式の禮を擧行す。宣言して曰く、第四次全體會以來、本黨最重要の工作は、一方面黨務の根本的整理として同時に內政・外交・經濟・敎育の根本建設に着手した。而して一切努力の集中點は北伐の促進と全國の統一とであつた。凡そ此の旨趣は既に第四次全體會議の宣言に述べてある。幸に全國の同志同胞の奮鬪と犧牲とにより、最短期間に使命を完成した。現に軍事既に終つたから、訓政實施の一大責任は本黨の最も負荷する所と爲つた。中國々民黨執行委員會は均しく革命的武力の成就せる功績を認め、極めて須らく之を保障すべく、革命的建設を以て方に能く世界の觀聽を一にし、內全國の人心を定むべし。爰に第五次全體會議を召集し、審重に討議す。凡そ法制・內政・外交・經濟敎育黨務施設の方針の第四次全體會議宣言に既に決定せるものは、今後宜しく繼續して實行すべきは別に述ぶるを俟たない。玆に本會の決議せる最重要點に就いて同胞同志の爲めに述べよう。(一)北伐成功後の軍事整理は國家の建設統一的實際力量の表現たるのみならず、亦國家が能く自由と平等とを獲得すると否と、及び民衆が能く安寧と幸福とを享受すると否との唯一の關鍵である。本會議の召集せられ決定したる軍事整理は實に重要使命の一なれば、爰に常務會議及び軍事上責任を負へる同志に關する兩提議案に就いて鄭重に討論して根本原則を確定し、軍事上責任を負へる同志に交由し、此の主旨に本づいて切實に計畫し努力實施せる事。尤も願ふ所は同胞同志の相共に戮力して其成功を助けること。(二)革命事業の目的は民衆の痛苦を解除するに在る。而して良好なる行政系統と組織と、及び黨部政府と人民權責との明確なる規定を爲すを以て、三民主義實現の急要軌範とする。本會議は訓政開始の際に擧行せられたれば、此に對して特に重視し、實施の基本と機關權責との分際に關し、明確なる規定を作つて法治の規模を實現し財政の大綱を確定し、行政・立法・司法・考試・監察の五院を設立して、漸次に實施し、同時に迅速に約法を起草することを決定して豫め五權憲法の基礎を植てた。國家衰微して人民の塗炭に苦むや久し。此の次革命の軍事的成功は中國歷史上空前の緯績と爲す。此の革命救國の事業を繼承して之を完成するは唯我が同志が刻苦堅忍、忠誠にして隔なく、總理が天下爲公の精神に本づき、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中國の獨立平等自由の基礎を立てることである。謹んで是を宣言し其の努力を願ひます。」云々と。

政治會議委員四十六人の推定　十四日の會議で政治會議々決案は中央執行委員會より國民政府に渡して執行させる事となつたので、中央政治會委員を中央執行委員より推定する事となつて、汪精衛・譚延闓・蔣中正・胡漢民・甘乃光・陳公博・邵力子・伍朝樞・孫科・朱培德・張靜江・丁惟汾・王法勤・吳稚暉・陳友仁・何香凝・顧孟餘・宋子文・李濟琛・陳果夫・李烈鈞・戴傳賢・柏文蔚・李宗仁・宋慶齡・蕭佛成・陳樹仁・李石曾・鄧澤如・何應欽・白崇禧・陳可鈺・陳銘樞・賀耀祖・葉楚傖・馮玉祥・古應芬・閻錫山・易培基・楊樹莊・孔祥熙・王伯羣・薛篤弼・王正廷の四十六人が政治會議委員に推定された。(以上七月二十九日至八月十五日—上海・南京・北平等諸電)

全體會議決定の重要事項　同十四日午後開會の結果、(一)第三次全國代表大會は明年一月一日南京で開會する。(二)政治問題は何れも實行方法を立て、漸次に立法・行政・司法・考試・監察の五院を設け、行政院は內務・外交・軍事・財政・教育・交通・工商・農礦の八部とする。(三)裁兵案は漸次に北平巨頭會議の承認案を實行し、軍事費は歲計總額の半を超えることはならぬ。(四)軍備充實の爲め海軍を擴張する。(五)政治分會は本年末限り全部廢止することゝ決定した。(八月十四日—南京情報)

全體會議決議に依る五院の創立と院長　國民政府は今回の全體會議の決定に依る五院の創立を實行し、各院の院長を左の如く決定した。

行政院長兼國民政府首席　蔣介石
考試院長　譚延闓
立法院長　胡漢民
監察院長　李宗仁
司法院長　李烈鈞

尙は五院中第一に立法院を設立して各方面に必要な法律の制定を急ぐことゝなつた。(八月十六日—南京電)

□東三省の臨時保安會及關係諸條例

東北各省臨時保安公約　は既に議定され七月十八日に決定發表されたが、其の內容は十四條あつて左の如くである。

第一條　東北各省區の安寧を謀る爲め特に臨時保安公約を立て、共同遵守す。

第二條　東北各省區の主權は人民全體に屬す。

第三條　臨時に民權を寄託する爲めに、東三省々議會聯合會を最高立法機關と爲し、其の組織大綱は別に之を定む。

第四條　東北各省區政務の發展を謀る爲に、東北臨時保安會を設立し

各省區一切の重要政務を督理し、省議會聯合會に對して責を負ふ。

第五條　東北各省區の軍民政務は分治主義を採り、軍政は總司令竝に各司令の處理に歸し、民政は各省區民政長官の處理に歸す。

第六條　東北臨時保安會の組織大綱及施行細則は別に之を定む。

第七條　東北臨時保安會は省議會聯合會の決議を經るに非ざれば左記の各事項を施行することを得ず。

一、區外に各種の契約協定を締結すること。

二、軍事上の作戰行動。

三、人民の負擔を增加し、債券を募集すること。

四、東北通用の單行法律。

五、省議會の職權範圍以內に屬せざる各事項。

第八條　東北臨時保安會は東北各省區の最高文武長官を任免するの權あり。但し保安司令及民政長官の任免は、須らく省議會聯合會の同意を經べく、若し閉會期間に値ふときは、先づ任免を行ひ、開會の時を俟って咨交追認せしむることを得。

第九條　東北各省區の省政府は仍ほ省議會の假規定に照し、各其の本省々議會に對して責を負ふ。

第十條　東北各省區人民の權利を保障する爲めに臨時上訴院を設立することを得。其の組織法は別に之を定む。

第十一條　現行法令にして本公約と抵觸せざるものは均しく有效と認む。

第十二條　本公約は省議會聯合會の議決を經、公布したる時より直に效力を生ず。

第十三條　本公約に若し詳盡せざるの點あるときは、省議會聯合會より之を修正す。

第十四條　本公約は政局の統一したる時に於て直に之を廢止す。

東三省々議聯合會組織大綱（七月十六日決定）

第一條　本會は「國家の主權は人民に在り」との意義に依り、未だ國家統一せざる時に於て東北各省の安全を保持する爲め、最高立法機關を設く。名稱は「東三省々議會聯合會」と稱す。

第二條　本聯合會は之を奉天省城に置く。

第三條　本聯合會員は奉・吉・黑各省々議會より各代表十名宛を選擧して組織す。

第四條　會員の任期は六箇月とす。但し任期滿了後は再選することを得。

第五條　本聯合會の第一回會員の任期は民國十七年六月一日よりとす。

第六條　本聯合會の會員に任命後は、聯合會の許可を得るに非らざれば辭職交代するを得ず。

第七條　本聯合會は會員中より主席三名を選出し、交代にて主席の職を爲す。

第八條　本聯合會は秘書長一名秘書若干名を置く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第九條　本會は東北各省區最高軍民各權を發動する機關にして東北臨時保安會の執行する一切の政務に關し監督並に議決權を有す。

第十條　本聯合會は每期通常會一回を開く。臨時會は臨時召集を妨げず。

第十一條　本聯合會員は討議案及議決案の發表前に於ては漏洩するを得す。之に反したるものは退會處分に附し、其の選出省議會より別に補選す。

第十二條　本聯合會の議事細則及事務規定は別に之を定む。

第十三條　本聯合會の經費及會員旅行費、其他凡ての經費は本會之を定む。

第十四條　本大綱中不充分の箇處ある場合は隨時之を修正す。

第十五條　本大綱は決議公布の日より之を實行す。

東北臨時保安會組織大綱　（七月十八日發表）

第一條　臨時保安會公約第四條の規定に依りて、東北臨時保安會の總機關を設定し。名けて「東北臨時保安會」と爲す。

第二條　保安會は之を奉天省城に置く。

第三條　本會は會員十七名を置く。

第四條　會員は東北地方在任中の軍務長官及人望德行ある人物にして、臨時保安會より東三省々議會に提出し、其の同意を求めた上之を委託す。保安會成立前に於ては、保安總司令より東三省々議會聯合會に提出同意の上申請すべし。

第五條　本會は東三省々議會を監督機關とす。

第六條　本會は合議制を用ひ、凡そ東北地方の重要事件は、全體議員の會議により之を解決す。

第七條　本會々長は會員中より之を公選す。

第八條　現行法令にして此の大綱と抵觸せざるものは一律に有效とす。

第九條　本會の事務取扱章程は別に之を定む。

第十條　本大綱にして不充分の箇所ある場合は隨時之を修正す。

第十一條　本大綱は公布の日より之を施行す。

□張學良の本心如何

東京政府は張學良を相手として東三省問題を無事に解決せんと腐心する際、八月十日廣東共和報に現はれたる學良の閻錫山・何成濬への密電は下の如くである。

「北平諸公の余に寄せたる御厚意を深謝す。今回民國の和平統一の實を見たるは全く諸公の重望と寛宏なる度量とを推す。東三省の情形の未だに決定せぬは誠に不本意である。これ實に痛苦の極で

ある。而して世間では余の心を知らずして種々の蜚言一世を迷はさんとし、諸公をも迷はす如きは無念である。余は諸公の余に對する愛護の精神を思ふごとに一層痛切に感ずる。學良は未だ三十年に充たぬ青年である。從つて政治上の經歴と人格には進んで信用を失はざらんことを日夜恐れて居る。願くはわが諸公余の衷を汲み、余の四圍の事情を諒されて、依然として御援助の程を賴みたい。何日かは諸公の納得する所となり明々白々諸公に一切を自白するの機あるべしと信じて疑はぬ」云々。

□山東々部一帶の支那軍現勢力（八月十九日現在）

（甲）北軍系　總計約二萬六千人

長官	駐屯地	兵力	武器	摘要
鍾震國	芝罘・牟平・文登	四千人	二千八百	軍費は地方供給なるも軍紀紊亂の時は掠奪による
方永昌	黃縣・掖縣	一萬人	七千・砲十門機關銃數十挺	
方永昌	同右	二千人	一千五百	祝軍殘部嶗山附近に駐屯中方軍に招撫さる
劉珩山	濰縣・昌邑・壽光	一萬人	五千	方軍と聯絡を取り自稱南軍(土匪)黃鳳岐・牛洴澈と目下交戰中

（乙）南軍系　總計約二萬八百人

長官	駐屯地	兵力	武器	摘要
左雨農	萊陽	三千人	一千八百	軍費は縣城より供給、大刀會の反對を受け進退兩難
施仲誠	萊陽	六百人	不明	
鄭千里	招遠	三千人	二千	鄭は楊某の參謀、現在國民軍なるも、土匪を收編したもの
劉志陸	膠縣・玉臺・莒縣	三千五百人	一千五百	元直魯聯軍であつたが、李烈鈞と通じ南軍に寢返つた
顧震	同右	四千人	二千・迫擊砲二、モーゼル五百	同右反逆軍
彭祖銘	同右	二千人	一千	同右反逆軍
謝文炳	沂州・安邱	四千人	二千五百	同右反逆軍
趙桓臣	漁陽	七百人	不明	

（丙）未定系　總計約一千人

長官	駐屯地	兵力	武器	摘要
隋宗賓	棲霞	一千人	不明	或は南軍と自稱し或は北軍と自稱す

（丁）南北兩軍の比較　北軍の山東々部に於ける兵力は二萬六千・南軍は二萬八百人なれば、たとひ隋宗賓が南軍に投降したとするも、北軍は猶ほ四千二百人の多勢を有して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□武漢の對日絕交經過

漢口對日絕交委員會の日貨登記　其の期限たる六月十二日までに登記したものは僅か四・五軒に過ぎないので、六月十九日まで延期となつたが、其の一日前の十八日までは依然として登記絕無であつた。然るに六月十八日中央黨部特派の排日情況視察員萧同滋が着漢すると同時に、排日は從來の形勢を一變して、各辻々に假に對日經濟絕交・實行・不平等條約取消等の標語が貼付され、同夜開催の同委員會では、商人側は日貨登記期限の再延期（一週間）を主張したが、市黨部代表等の反對で否決され、愈々日貨檢查を開始することゝなつたので、商人等は餘儀なく翌十九日來續々日貨登記を行つて居る。同檢查は先づ手持品に實施し、登記濟のものは僅な罰金を課して登記を濟されるのである。しかし今後漸次惡化し來るものと思はれる。

同委員會の諸決議要項　六月十二日及び十五日の決議事項は左の如し。（一）日貨登記期限は六月十二日までの規定であるが、此日までに登記を了したもの僅少なる爲め、特に一週間延期して六月十九日までとすること。（二）日貨檢查隊の組織は各帮より六月十八日までに固定檢查幹事二名づゝ推擧し、並に本會より檢查員十名を雇入れ、之を五班に分けること。（三）右檢查隊の檢查方法は檢查幹事幹部と檢查員立會にて、先づ各店の手持日貨につき、登記濟と否とを檢查し、次で船着き場及び交通の要路に於て檢查を行ふこと。（四）對日輸出品の登記期限は六月十五日より同二十日までとし、米麥・礦物　棉花の四種は除外すること。

十八日の決議事項　（一）日貨登記期限は六月十九日まで延期のところ、更に一週間延期し、其の代り登記費を倍額徵收するのに商人側の案であつたが、市黨部代表殷學淵等の反對で否決され、同時に六月二十日後日貨檢查を實行することに決した。（二）本會日貨通行證の樣式は河南・陝西・湖南・四川の各總商會に通知し置き、登記日貨の輸送に便すること。

武昌六月十五日の決議事項　（一）日貨登記費は約定品は從價千分五、在庫品は同千分二とすること。（二）日貨登記期限は六月十六日より同二十六日までとし、傳單を頒布通知すること。（三）日貨抵制實行の爲め、標語五千枚を印刷配布すること。（四）六月十六日より調查部に於て日貨調查を開始すること。（以上七月五日ー武漢情報）

□福建省近情

福建省政府幹部　省政府委員主席は楊樹莊で、海軍總司令の職に在るが爲め、大概は南京或は上海に居るので、代理省政府委員主席として政治家方聲濤が控へて居る。隨つて省政府の軍事廳長も方である。又同じく委員で民政廳長の職に在る鄭寶菁は楊樹莊の腹心で、

委員兼財政廳長陳培琨も同派である。同じく委員で建設廳長なる丁超五は省政府委員中唯一の中央黨務執行委員兼中央特種刑廷々長で、黨務指導委員であるから、自然に勢力あり。委員兼教育廳長なる黄琬は此の派に屬するものなるも、方聲濤に對しても相當親近の狀あり。別に黄展雲といふ獨立黨の主腦部で、省政府委員兼農工廳長あり。排日等には多く活躍するものだと云はれて居る。此の外秘書長に何公敢あり、公安局長に郭森榮あり。郭は海軍參謀で楊樹莊の股肱と稱せられるが、矢張り方聲濤に近づきつゝあるの情況である。

福建軍隊の概要　省防司令　林忠（海軍陸戰隊團長・所屬部隊數は一旅團あり）獨立第四師々長　張貞（武備學堂出身・所屬部隊は皆實戰的經驗あり）獨立第十四師々長　盧興邦（閩北一帶に據る純土匪軍で、盧は丁超五と親交あり）省防軍旅長（團長）　郭鳳鳴（閩西一帶を根據とし、新編第一軍の殘餘部隊である）海軍陸戰隊第二旅長　林壽國　厦門要塞司令（海軍）　林國賡

新黨務指導員の略歷　丁超五　邵武の人・國民黨中央黨部執行委員・中央特種刑廷々長・福建省政府委員・福建省建設廳長・福州市長・前國會議員）　鄭調元（龍巖の人・前國會議員）　林學淵・漳州の人・獨立第四師々長張貞の副官）　何孝純（福州の人・厦門集美學校出身・前福建農民運動指導員・現任省政府秘書長何公敢の甥）　馮思定（廣東の人・黃浦軍官學校出身・前福建新編第一師々長高義の政治指導員）　林寄華（福州の人・女士・東京帝大の傍聽生・前福建省清黨委員）　方治（前江西省黨務指導員）　陳乃元（福建財政委員長）　鄧純仁（貴州の人・上海復旦大學出身、前福建興泉永政治監督員）　沈江（江西の人・前福建政治委員會秘書）

丁超五の排斥　中央より派遣の黨務指導員丁超五に對し林壽昌一派は極力之に反對し、方聲濤の勢力下に乘取らせんとの方法を講じつゝあるが、方等はむしろ丁超五をして方黨の推薦を爲さしめるに如かずとし、五月二十日晚七時省黨部に於て、方聲濤・許卓然・林壽昌等の主催する黨員大會を開催し、事前預ねて丁に委囑するに方聲濤・許卓然二人の指導員推薦方を以てしたに拘はらず、丁は其の歡迎會席上に於て、（一）黨員は中央の命令に服從すべき事。（二）黨に服從すべき事。（三）偏頗なる部落思想を打破すべき事等を演說し、一言半句も方・許推薦の事に及ばなかつたので、方・許・林等は茲に一決して丁超五打倒策に出で直ちに實行に着手し、或は暗殺說を流布し、或は「打倒丁超五」のポスターを全城に揭げ、或は惡言を羅列した宣傳文書を各店舖に配付し、或は機關新聞を利用して丁を罵詈・攻擊させ、或は電話を以て丁を威嚇し、或は暗殺されるから逃げよなどと、公然又は秘密に報告させた。かくて丁本人自身も又其家族も非常に身邊の危險を感し、六月九日早朝丁は南京に赴くべく倉前山の自宅から出發したが、是に先つこと約半時間の午前七時に巡官一巡警二計三人は丁宅に來り、（一）半時間後には群衆押寄せ來るべし。（二）大至急に逃げられよ。（三）貴重品をも持ち去られよと警告した。當時丁氏は義

姙劉氏娥英（建設廳職員）を伴ひ辻車に分乘し、武裝護兵二人を隨へ、自宅を出でたるが、途上百名に近い群衆の追ひかけるのに出逢ひ、劉氏娥英は先づ逃げて附近の民家に隱れ、丁自身は鹽務銀行支店長宅に逃げ込み、裏門を拔けて鎌田閩報館長宅に入りたるに、幸に同館長の暖かい保護を受けることが出來た。館長は先づ我が領事館に報告し、支那軍警にも此の事を報告したが、一方暴徒は漸次其の數を增して約三百人となり館長宅の前後左右を包圍した。（前の群集に甲道工會員たる準頭苦力約二百名を加へたるもの）が約半時間後八時に保安隊第二隊々長李復・偵緝隊々長陳友銘が武裝警察を率ゐ來りて暴徒を解散したるも、首謀者らしいものをも捕へなかつた。尋で所轄警察五署々長も慰問に來り、海軍陸戰隊部連平連長も兵一連を率ゐて保護に來り、十一時に公安局長郭詠榮も漸く顏を出した。又方聲濤を除いて外の省政府委員等全部は丁氏を來訪し、慰問なり善後策など講じたるも、皆要領を得ず。夕食後秘書長何公敢・教育廳長黃琬の二人が善後の方を講じ、種々政府委員と意見を交換したるも、好果を奏せなかつた。翌十日午前三時五十分に至り丁の腹心たる工務局長林恩博の使來り、日本人の保護の下に福州を出發せんことを請うたので、丁氏は愈福州在留籍民の援護により安心して福州を出發し、林恩博學士及び李熾己の二人も一行に加はつて丁氏を上海へ送り屆け、上海上陸後一品香旅館に投宿し、直ちに楊樹莊氏を訪うて丁氏は要求を提出し點頭を得たのである。（以上六月二十七日—福州情報）

方聲濤の福州引上げ　方聲濤は楊樹莊に見切られ、又中央黨部並に國民政府にも飽かれたるが如く見え、又中央通緝令中には郭詠榮・高玉書（商協代表）、方聲濤（?）翁佩（?）等の名あるが爲めか、六月二十七日方は南興汽船で家族家具一切を取り纏め、福州を引上げ上海へ赴いた。多分將來は歸福せざるものと觀測さる。

何郭の現狀　何公敢は方聲濤と同日同行して上海へ立つと言つて居たが改めて七月一日に出發すと言ひ振らしながら、其實依然在福して居るは何等か陰謀ある爲めならんかといふ。又郭詠榮は旬日前より登廳せず、七月二日夜七時頃南門兜で出合つたが、顏色蒼白頗る心配の模樣あり。

林壽昌一派の總退却　六月末を限りとし省政府より每月二萬元の補助を廢され、省黨部・市黨部・農工廳をも打切られたのが主因となり、又省政府では林壽昌の部下にして却つて新指導員に秋波を送つて居るものゝ密告で、獨立廳一味が六月二十三日に密議を凝らし、（一）建設廳の燒打。（二）外人殊に日本人に危害を加へ外交問題を惹起すること。（殊に閩報館など）。（三）暴力團は古田縣へ引揚げ、綠林生活を爲し、時機を見て捲土重來の計畫を爲すことゝいふ三種の決議をした事が明白となり、以後同一味が建設廳への出入は嚴重に身體檢査を行ひ、又省防司令も前項の問題を未然に防止せんが爲め、晝夜陸戰隊を派して警戒をして居る。殊に閩報館及び館長宅は嚴重に警戒さるゝ等で、林壽昌一派は總退却の色あり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

指導員の現狀　林學淵（張貞の副官）・何孝純（何公敢の甥）・曾調元の三人は在福せるも、陳乃元（福建財政整理委員）は故郷興化に歸省中、林寄華（方聲濤と同舟上海に向ひ出發したが、其の使命は公安局を手に入れると共に丁超五を引張り返る事である）は上海行。馮思定は上海行中。方治は七月一日出帆の汽船で來福すべく、丁超五の歸福は尙ほ未定である。

禁烟局の調査隊　全福洲を四十箇所に分ち公會員に請負はせ專賣制度採用の筈で七月二日夜までは交涉を了はり、三日午後議員會に諮議する譯である。

對岸連絡の金融機關建設の議　廈門臺灣公會長勳六等曾厚坤は對岸と連絡して金融機關を建設することの建議を爲さんとて來福中なるが、在福州臺灣公會の幹部連は多數決で該組織に着手せんとしつゝあり。（以上七月三日—同上）

盧部と張部との關係　獨立第四師々長張貞は現に中央政府へ呼ばれて居るが、一は省政府改組の保障として現在の根據地閩南から福州へ入るべく要求され、又一は何公敢一派に惡感を持たれて居る獨立第十四師（尤溪）盧興邦部の解決問題に觸れしむべき模樣とがある。盧興邦部は代表を派し運動費（三萬元？）を持たせ七月十六日中央政府に赴き向はしめ、地位動搖の挽回運動に努力して居る。張貞部隊は反日氣分旺盛なるに拘らず、盧興邦部隊は親日傾向あり。

排日氣分の現狀　大宗商品たる石炭砂糖等は殆んど安全狀態に復したれど小商賣のバナヽは依然直接行動を受けつゝあり。最近最も注目すべきは國貨促進會の反日行動である。去る七月十六日南臺蒼霞洲なる籍民の所有せる防水布工場の如き、國貨促進會の支持に係る學匪數名（獨立總員）の爲め破壞されたが、此の會の標語は市中各處に多く揭示されてある。即ち欲雪國恥、人々不買外貨。欲爲救國、人々須買國貨等の文句である。しかし實際行動は此の語のより以上蠻的化し來り、又排日類似行爲としては疋頭捐（反物稅）の不當課稅を我が邦商に課しつゝあるは注目すべし。しかも此の種の反日的行動は民政廳科長兼模範閩侯縣長歐陽英の採つた所であるといふ。（以上七月十九日—同上）

不當課稅問題　呢咧洋布疋頭捐の實行として、七月十七日江從祥（日本籍民）の反物十二箱、時價約六千圓を脫稅の廉により、呢咧洋布疋頭捐總收所々長陳謨が差押へたが、七月二十日に復た昇發洋行周題（日本籍民）の反物一箱六十反時價五百圓は同手段で、同じく陳謨が差押へた。此の事件に關し、我が總領事館附太田原特務巡查は臺灣人の協力と相待ち事件發生後直ちに有利なる解決を得た。今その經過を略記すれば左の如し。

最初問題の反物は稅關の諸手續を濟した後、元は本店へ運び去らんとて小舟に移し、南臺々江汎呢咧洋布疋頭捐總收所の近所で陸揚せんとするところへ、學匪（獨立總員）十數名が現はれ、短銃を擬しつゝ該反物を差押へ、六十反の內十五反までは同征收所へ運び終りし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

際太田原特務巡査は茶商人より之を聞込み、直ちに茶商公會員を通譯として同所に出頭し、同征收所々長陳謨に面會し、該事件に對する押問答を爲し、如何なる權限にて此の如き事は敢行されしや、又拳銃を以て强迫したるは何故なるか等と實證を擧げて之を嚴談したるに、陳謨は理無きを語りたるが、昇發洋行よりの差押品を返送した。同時に江從祥の差押品も同巡査の要求により故障なく引渡すことを約束した。後江從祥は諸荷物を悉く取返した。最も最初は獨立廳員に二百元を强要され居たのであるが、同巡査の助言により遂に之を支拂ふに及ばなかつたのは幸福であつた。（七月二十六日—同上）

臺伏廢止の實行は八月一日開始　支那幣制の不統一は不便なる事柄なるが、福州も又他に例のない臺伏の流用を見るのである。臺伏とは一種の福州專用の紙幣であつて、紙質は俗に白竹仔紙といひ、我が美濃紙にも及ばない縱の長さ約四寸横巾約二寸の紙幣で、表面には憑票支番（何）員の文字及民國（何）年（何）月（何）日（何）號の文字等あり、裏面右側に番（仔）員の文字あり。此の紙幣卽ち臺伏の使用に關し、今年二月省政府は嚴禁條例を出して其の廢止を決定した。最初は錢莊業者の請求によつて期限は延び〳〵になつて居たが、遂に七月限りに禁止の實行を見るに至つた。其の次第は（一）臺伏の公定價格を定め强制的勵行をなさしめ、臺伏一元は現銀九十五仙とする。（二）外省の大洋票（銀行兌換券）の本省に流用するを禁止す。（三）八月一日以後は絕對に新伏發行を禁止し、舊臺伏を回收して大洋票に換へしめる。（四）法定銀單位は凡て臺伏によるを嚴禁することゝし、八月一日から右實行開始し、現在二十四軒の臺伏發行錢莊は夫々自家發行のものを回收し、其の代りに大洋票（臺伏票とは單位相異あるのみ）を發行しつゝある。しかし將來此種の不換紙幣の徹底的處理は尙ほ百年河淸を俟つかの感あらん歟。（八月十六日—同上）

排日の深刻化　從來福州の排日は獨立廳系統の學匪や敗德漢等が愛國の美名を籍りて職業化し、種々なる强請・强迫又は多樣なる直接行動に依つて衣食並に金錢を得るの道を講じ來つたものなれども、今回の排日は反日會や對日研究會や、對日經濟絕交委員會等の多岐に亘つた組織を打つて一丸とし、福建促進國貨公會と反日會との兩團體に依つて表裏され、其の運動は愈々深刻化せんとして居る。此の兩會とも政府筋の肝入で成立したものと推定される。所謂反日會は濟南事件直後に組織され、上海で孤々の聲を擧げ、旬日ならざるに國民政府の管轄下なる各省は共に相呼應して同會を成立し、彼の濟南事件解決の爲め有利な後楯たらしめんとする機謀に外ならない。然るに我が國の抗議に依つて所謂反日運動は一時中絕の態を呈したるも、廢約宣言に依つて更に嚴重な我が邦の抗議と斷乎たる態度とを見るに及び、反日運動の自治的組織たる全國促進國貨公會の再興を促かし、夫が直ちに各省の呼應する所となり、今日では各省共政府筋の要路者が加入し、之を藉つて排日を發揮せんとするものなり。しかもこれが又外交の後楯たらんとするの術策たるに過ぎないのである。

排日の化身たる右兩會の最近活躍振りは反日會方面では民衆團體を增加して反日運動の繼續的活躍をなし、其の經費の捻出方法としては政府の補助を請求し居る。又一時停頓中の省・市・縣各級の黨部並に總商會・總工會・溪河江海員分會・報界公會・婦女協會・學聯會・農民協會・商民協會・郵務工會・馬江起卸工會・洋磚工會・宣傳養成所等の各團體を召集し、種々畫策中である模樣が歴々として見えて居る。其の實行委員として史家麟(政府筋)・翁侃(舊省黨部委員)・夏禹疇(舊市黨部委員)・鄭蓮魁(同上)・葉國瑞(市・商協會)・陳大章(總工會)・羅迭殷(獨立廳員)・黄炳武(同上)・王世基(同上)の九人あり。候補委員には何公敢(政府筋)・林雨時(同上)・江秀清(舊市黨部委員)與冀朗(獨立廳員)周榮齡(同上)の五人を擧げ、常務委員は翁侃・羅迭殷・黄炳武の三人とせるが、此の三人共獨立廳員の錚々たるものである。又表面には對日經濟絶交委員會が强請行爲の爲め既に市民の怨府となつて居る關係上、同じ一味徒黨である此の委員會の撲滅を圖りつゝあるが如く見えるが、其の根を洗へば同類者が其の十中の八九を占めて居るのである。しかも今の反日會は全國的反日會にして互に氣脈を相通じ、最近にても中央の反日會より代表二名の急派遣方を促かされあるが如き卽ち是である。又一面促進國貨公會では各黨總隊長方聲濤(代理主席)・總隊長鄭寶菁(民政廳長)・委員長陳培琨(財政廳長)・委員何公敢(省政府秘書長)・史家麟(於酒局長)・黄炳武(務土匪頭)・翁侃(黨部)參謀郭蘇棠(公安局長)あり。現在成立の各隊は左の如し。

隊名	隊長	副隊長	同上	參謀	同上	備考
三民	林廷鑾	林國慶	嚴國善	馬崇惺	王啓承	政府筋
五權	林雨時	郭鴻忠	陳樂天	陳國王	陳元琛	政府筋
努力	林步瀛	陳大章	林必成	陳仲華	林義全	總工會筋
愛國	林世華	張涵德	沈志中	林春丞	江秀清	獨立廳筋
博愛	林榮初	高志濂	鄭鍾琪	林鶴性	徐渭亭	
建設	周宗頤	洪紳	陳元海	林豐銓	詹觀凱	
創造	鄭守馨	葉國瑞	林輝臣	張國維	黄叔耿	總商會筋
奮進	鄭超凡	姚滋	楊崇實	陳鴻建	周永煌	
互助	葉雲瑞	劉元桂	馬杰義	王傳宮	徐粹生	
鬪强	葉可芳	未定	同上	同上	同上	女性

以上の陣容で會員を募集して促進國貨の實を擧げ、自治的に排外貨を行はんとの心理なるが、排外貨といふも看板のみで、內實は排日貨のみを徹底させる方寸なるに似たり。

促進國貨の實行は九月一日より　此の促進國貨公會は二十數年前滿清時代の遺物であつて、有名無實な幽靈機關なるが、昨年夏以來反日商貨を業とするものゝ轉用する所となり、旗鼓再整の上愈濟南事件の後楯となり、今日は全國的に氣脈を通じ、虎視耽々實行の牙を磨ぎ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つゝゐる。當福州は九月一日から大々的に運動を爲さんとする風説專にして、寧ろ有勝の現象と見らる。福州は他の地方に比しては排日の勢割合に平穩なるが、こは各級黨部の未だ成立せないためである。山雨欲來風滿樓我が邦人の緊褌一番を要する所以である。(同上)

廈門飛行學校建設案　今次の國民革命運動に對し在比律賓華僑は寄附金を募集し、廈門附近に飛行班を作りて之を援助するの議起り、先づ比律賓航空委員を設けて、之れが進行を謀りつゝあつたところ、最近に至り漸次具體化したものゝ樣である。元來本計畫は現在同會秘書長たる陳國梁の活動によるもので、彼は廈門・廣東・比律賓間を往來し有力者を說得して今日の情況にまで進めたので秘書長といふものゝ萬事彼の考案に成つたものゝ樣である。同考案は漸次具體化するに隨つて緊縮に傾いた。卽ち比島航空籌備委員會は六月四日陳秘書長を廣東に派遣して李濟琛と商議させ、在廣東佛國領事の紹介で、在上海佛國飛行機廠東方經理「スーイール」と契約し、民用飛行機二臺・練習用飛行機五臺・水上飛行機三臺・合計十臺、價格十五萬圓內外を購入し、三箇月以內に引渡しを行ふことゝし、籌備委員會常務委員吳記霞・李清泉の名義を以て正式に契約書を交換した。陳秘書長は此計畫を譚延闓及蔣介石に報告したところ、大に讚奬せられ、更に廈門に於て林國賡司令及獨立第四師長張貞に面會して其の協贊を求め、飛行場及飛行學校々舍豫定地（廈門大學附近なるが如し）を實査して準備を整へた後馬尼剌に渡り、同地に於て募集せる學生を乘せて歸廈し練習を開始すべしといふ。學生の定員は五十名で、他に教師並に技師等七名、職工十餘名を置き、之に關する經費を一萬元內外と豫定し、教授以外更に上海廈門間の航空交通に任じ、之に依つて生ずる所の私益を以て經濟の不足を補はんとするものである。陳秘書長は福建興化の出身で、巴里航空學校を卒業して同校の學位を有し、航空に關する學識經驗は相當に豐富である。歸國後廣東鐵甲車廠長となり、國民軍第二集團軍の聘に應じて同軍の軍務を佐け、同年廣東に歸るや、李濟琛の命令又は諒解の下に渡比し、航空救國の宣傳を開始したが、たま〳〵濟南事件に依り比島華僑興奮の好機に投じ、豫想以上に迅速な成功を見たものである。（七月三十一日—南支情報）

省政府委員の發表　八月二十二日中央政治會議で宋淵源委員の提案を審議され滿場一致で左の如く福建省政府委員を發表した。

楊樹莊　主席　福州人・海軍總司令　現主席。

徐　桴　委員　浙江寧波人・前粵軍政務處長（民國七年漳州政府時代）・蔣總司令部審計處長（民國十五年）・軍法處長（現在）・現兼財政廳長。

許顯時　委員　閩清人・獨立第三師參謀長・現兼建設廳長。

程時煃　委員　江蘇人・東京高師・コロンビヤ大學出身・大學院職員・現兼教育廳長。

陳乃元　委員　興化人・黨務指導員・福建財政整理委員會主席・現兼民政廳長。

林知淵　委員　福州人・前張貞參謀長・現海軍總司令部政治部主任・

陳培琨　委員　福州人・前清翰林院出身・現財政廳長・楊樹莊懷刀。

林寄南　委員　上游浦城人・前福建財務委員會委員・宋淵源派。

陳楚楠　委員　閩南人・南洋華僑・宋淵源派。

新委員の色分　楊樹莊・陳培琨・徐桴（蔣介石派にて楊系屬）は楊樹莊系福州派に屬し、陳乃元・許顯時・林知淵・林寄南・陳楚楠は張貞系閩南派に屬し、程時煃（蔡元培派）は色彩不明なり。要するに楊系三人・張系五人・不明一人の分野なれば尙ほ何等かの變化あらんも知れず。（八月二十六日―福州近信）

排日の深刻化と直接行動　反日會臨時執行委員會は總商會から二萬元の費用を請求せるも未だ要領を得ざるが如し。しかし省政府財政廳より毎月八百元の補助を得たと傳へらる。而して此數日來既に排日の直接行動に出で、治本治標の二方法に依り進行しつゝある。治本方法としては馬尾及び南臺の蘇江汎に於て各檢査所を設け（日貨を指す）の輸入を檢査するもので、其の檢査所の施行法及施行細則は近日中に發布すると同時に實施すべしといふ。又治標方法としては八月二十三日から隊員を出して各種商店の檢査を行ふ譯である。

絶交會の奸商警告　二十三日檢査開始の事前二十日に概要下の如き警告を發した。「查するに經濟絶交は對日唯一の善策にして、既に以前より期限を附して登記すべきものなりと通告したるに對し、各商號の深く大義を明にするもの固より乏しからず。然れども故意に遲延するものも亦多し。是れ小利を貪るが爲めなりと思へば痛恨の至りなり。玆に濟南の流血未だ乾かざるに條約の抗議書又至り、反日運動は再接再厲の必要あり。玆に更に一週間の期限を附して登記さするも、不幸にして再び遲延するものあらば、甘んじて賣國するものなりと認め、最も嚴厲なる處分をなすべし」。

檢査開始の實行　斯くて二十三日から中亭街一帶、二十四日は觀音井一帶の各種商店の檢査を行ひ、筆頭に槍玉に擧げられたのはバナヽ商である。卽ち大橋より閩江に擲棄された被害斤數は昇坤號約五十斤・祥生號約三十斤・大順號約三十斤・昇隆號約百五十斤で、皆八月二十三日に係る。尙ほ店先で碎き棄てられたものは瑞泰號の約百五十斤（八月二十四日）あり。我が總領事館は翌二十五日之が爲め公安局へ嚴重なる交涉をなした。又吳服商中觀音井の元昌號・恒升號・隆記號・益成號の四商店は不實の登記をしたとの理由で最も嚴重な懲戒をなすべしといふ。

禁辦・禁賣・禁用の三方法抵制　又一說には禁辦・禁賣・禁用の三方法に依り絶交實行をなさんとする說あり。禁辦は荷役禁止より着手し、禁賣は各商店に警告し、再び注文するを禁止すると共に、在庫品の處分方法は本反日會に一任すべきものであるとし、又禁用は使用禁止で、例せば日貨の着物を着用するを禁ずるが如きをいふ。上記の三禁を犯すものに對しては下記の三方法の懲戒をなする。（一）貨物の燒棄。（二）本人を市中に引摺り廻し衆に示す。（三）仇貨を着用し甘んじて國賊となる」の印絆纏式に着用服の上に捺印す。要するにかくして

短時間内に仇貨を粛靜するものとす。

十隊以外更に八隊追加　促進國貨公會方面では大に會員募集に熱中し、前回記述せる十隊以外に左の八隊を追加組織した。

隊名	隊長	副隊長以下參謀	備考
勝利	未明		
成立	同		
統一	同		
大同	翁侃（女）	未定	獨立廳筋
勇敢	姚符謙	同	
正義	陳壽凡	同	政府筋
雪恥	郭雲展	同	
興業	林文煊	同	

尙ほ警察方面では郭詠榮公安局長から全職員を紹介加入させたと傳へらる。かくして排日氣分は日一日と不穩の狀態を呈出して來た。（八月二十七日—福州近情）

□廣東・汕頭近情

廣東共產抑止・對日經濟絕交振はず　廣東には猶ほ共產黨殘黨の陰謀計畫の風說傳はり人心を不安ならしめ居るも、政府の取締嚴重なるを以て無事なり。又對日經濟絕交は工會側と總商會側との意見一致を缺き、政府は共產黨の陰謀に恐れ、輕擧妄動を取締り、氣乘少くて實行に至らず有耶無耶の間に終れり。

中行造幣廠再開貸借款未成立　中央銀行紙幣維持　造幣廠再開貸金五百萬弗借款談（擔保二分五厘附加稅）は廣東總商會代表者と、香港華商との會見となり、交涉接近しろ模樣なるも、借款條件に關し多少の懸隔あり。成立までには猶ほ多少の時日を要すべし。（以上六月中—廣東情報）

粵漢航空路計畫　廣東と漢口との交通完備は全國經濟に非常なる關係を有すると云ふので關係省は粵漢鐵道の速成を別項の如く方法を講して居たが今度は第四集團軍總司令李宗仁は同地間に航空路を設くることに決し目下同軍團の總部航空處は廣東當局と計畫を進めて居る內容下の如し。

●起點武昌　●終點廣東　●途中長沙・衡州・韶州に支站　●費用十五萬元、內飛行機十萬元、三萬元、七格納庫五站建築費、二萬元豫備金　●武昌廣東間千六百七十支里、一時間三百支里、飛行、途中停留一時間。故に七時間を要す。

●一箇月十六回飛行。●乘客搭乘二名。一名二百元。●外に手紙貨重貨を輸送す云々。（七月二十一日—共和報）

海口瓊州附近の物騒　海口瓊州附近は革命軍にて治安維持に努め居り候も、田舍には共産黨の殘黨潜在し居り、至極物騒の模樣に有之候。當地官憲に於ては、此等の理由にて奥地行旅券は容易に下附致さず候。

黄强氏の厚意　當地革命軍參謀長黄强氏は曾て齋海を視察せし事ある人物にて、種々便宜を計り與れ、同氏の厚意にて軍隊護衛の下に明三日より奥地視察の旅途に上る豫定に有之候。當地は毎日の炎天にて暑氣甚だしく雨を伴ふスコールもなく閉口致し居り候。（八月二日ー海口にて平間技師書信）

排日實行の促進　共産黨の陰謀取締と、商人側及對日絶交委員會間の意見相違とに因り、廣東の對日經濟絶交は有耶無耶に終るものと觀測せられ居たるが、最近日支條約及濟南事件交渉起るに及び、南京政府は交渉を有利ならしめんとする立場より對日經濟絶交を實行方電令ありたる由にて、數日前より廣東の排日形勢俄に緊張し來りたるが、商人側は絶交辦法の一項たる國貨振興基金の名目にて其手持日貨に對し、百分の三十の徵收を問題とし、取消運動を始め、手持日貨の屆出で及檢查員派出を爲さず、此の目的達成の爲めには罷工を敢行するも辭せざる決心を以て對抗せんとするに對し、對日經濟絶交會は此行動を愛國運動の破壞を爲すものとし、辦法を嚴重に執行し、違反者に對しては商品沒收の高壓手段に出でたる爲め、商人側は軟化し、檢查員派出に決したるが、基金百分の三十徵收に對しては取消運動を起し居り、成行猶ほ豫測し難き狀態に在り。又右對日絶交辦法には日本銀行との取引停止・預金引出等の條項もあるが、目前問題にする程の影響はなけれども、今後の情勢によりては樂觀を許されざるものに似たり。（八月四日　廣東情報）

汕頭排日狀況　從來は總商會系のみで排貨運動の機關を整へ、日支商人に變通の便法を講じて居たが、最近に至り、市黨務指導委員會・民衆訓練委員等で新に對日經濟絶交委員會を組織し、八月十三日より事務を開始し、從來の對日山東出兵暴行委員會を支會として活動させることゝし、總商會系も其の代表比例數を增加させることゝした。從つて今後名實相伴ふ排日運動を實施するばかりでなく、右委員中には排外ブローカー類似のものもあるので、日本及び日本關係の支那商人は困難增加するものと見られる。

委員會の重なる委員鍾夢麟（廣東總工會潮梅辦事處秘書）郭立基（海員工會）黄翠英（婦女協會）彭正莊（市黨務指導委員）劉相山（同上市立第一中學校教員）陳培瑛（市黨務指導委員）孫民程（不明）馬宗漢（總商會）羅鳴鸞（總商會）馬傑三（總商會）許平卿（學生聯合會）翁心白（廣東總工會汕頭支會）

委員會の開會と辦法　以後毎日輪番を以て各團體の委員等は參集して事務の打合せ、處理等に從事することゝなり、其の順番は(1)市黨部海員工會(2)總商會・學生聯合會(3)總工會潮梅辦事處・汕頭支會(4)海關華人・總商會(5)學生聯合會・市黨部(6)海員工會・總工會汕頭支會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海關華人・總工會潮梅辦事處と定められた。

實行した諸事　(1)日本人經營の旅館には支那人は宿泊すべからざること。これは八月二十日から實行する。(2)日貨審査員は工・商兩界から各三人と市黨部から一名合計七名とし、此の外專門家二名を聘用する。(3)日貨調査隊（前の調査糾察隊に當る）若干を編制し、毎隊を五人とし、工・商兩界から各二人、市黨部若しくは學生聯合會から一名を出すこと。(4)日本船に對する日貨揚卸を拒絶すべき旨を輪渡起卸工會へ要求すること。然るに此の一段だけは總工會及び海員工會との關係もあり、日本船に殆んど專屬せるが如き揚卸苦力であるから、罷工の場合は其の生活を保證すべき關係上今に未定である。

徐景唐の潮梅勢力扶植　第五軍長東路善後委員徐景唐は己が勢力扶植の爲め各知事を交迭させて居る。汕頭市政廳長黄開山・公安局長張我東・交渉員楊建平は陳銘樞派の色彩があるから交迭されるだらうと傳へらる。黄市政廳長は旅客捐・課税・屠宰捐等を以て非難を惹起しつゝあつたが、後任市政廳長には北京大學卒業後米國に留學した陳國渠が擬せられて居る。（以上八月十九日—汕頭通報）

比律賓

□第八回比島議會へ與へたる總督の教書

議。員。諸。君。

貴員等が茲に馬尼剌に來られた事に對し衷心より歡迎の意を披瀝するは余の特權にして且愉快とする所である。余の第一の義務は、我々の責任である政府一般事務遂行上に際し、我々が最も同情的相互的協調を維持せんとの希望及期待を發表し、及貴員達の多數をして、余自身の爲め及其他の行政部各員のため前述せる協調の最も眞實なる提供物たらしめんとするにあるのである。議會及總督が此の協調の爲め、各々相異なれる任命點より又遠く相去る領内にある異なれる政治組織により相互に接近しつゝある事は、必しも我々根本法が誤つて運用されたといふ譯でない。寧ろ當然の出來事である。夫れで反對解譯によると之の事實は我々政府立法行政の兩部が相互の協調により遂行せねばならない問題の眞情及繁雜性が如何なるものなるやを示して居るのみである。即ち問題とは、比人が過去に於て習慣づけられた政府或は文明とは異なる新らしき政治的産業的及社會的文明を玆東洋に於て、西洋米國の友誼的援助を得て比人自身のものとする問題である。

昨年の議會以來の一年間は比島人の大部分に對し大體に於て平穩なる且繁榮せる一年間であつた。概説すれば公秩は優秀であり且衛生

状態は何等注目すべき傳染病の侵入を蒙らず良好であつたと云へる。加之、洪水なく、颱風なく又之に比すべき天災なく前年に於て屡々被害を惹起せると比較すべくもない。又今年度行はれた總選擧は稱贊すべき程秩序整然と行はれたが、選擧監督事務を委任したる當局より余の下に提出せる報告によれば、投票に關し金錢上腐敗的行爲に益々盛ならんとする且危險なる趨勢ある由である。

本島の一般狀況は順調なる繁榮を見、又財政年度最終に於ける政府財政狀態も非常に良好であつた。前立法府議員の援助を受けたる前任行政當局の盡力により、今や通貨保證は充分に、償還期に達したる公債の支拂は充分なる減債資金により用意されて居る。一九二七年に於て歳入が歳出を超過する事三百萬比にして、政府の貸借對照表によれば歳入が約七百萬比豫定支出超過を示めして居る。然し次に述べる事は留意すべきである。

「一方昨年度政府の經常支出は五百萬比の増加を示し、此後共人口の増加及政府活動の發展によつて必然的に増加するであらうが、茲數年間に亘る歳入は全く靜止の狀態を保つて居り從つて、國庫に於ける剩餘金は減少したのであり、現在に於ても必然的に減少を示めして居るのである」。

各州及各市區政府は財産算定價格の増加及徵税成績の進歩を報告して居る。又一九二七年に於ける全島貿易狀況を見るに、一九二六年に比し三千萬比以上の増加を示して居る。重要收穫物栽植面積は特に米生産の増加が奬勵された結果未曾有の記錄を作つたのである。

經濟的發展

余は就任挨拶の際、本島のより大なる經濟的發展の重要さ及其目的の爲めの米國資本流入奬勵の必要を說いたのである。余は本問題が今日比島の根本的問題にして其他の問題は之を基礎として成立するものなる事を信ずるのであり、今日此の點に就て貴議會の注意を促さんと欲する。

多年前比人は東方より西方に眼を轉じ、西洋文化の影響を受け入れたのである。時勢の進展により、益々彼等の趣味は西洋思想に嚴然たる基礎を置くに至り、其物質的環境に於て、彼等が西洋文明特有の慰安及利益を追求し及之に依賴しつゝあるのみならず、政治思想及教育方面に於ても彼等は盛に斯の如き利益に對する心的傾向及希望を養成しつゝあつたのである。貴民等を州より州へ數年前夢想だにもせざりし安全及速力を以て運搬するに至れる道路及自動車の進步は、此の進步を如實に例證するに足るものであるが、政治及教育活動、選擧、學校及大學、圖書館及博物館及今日島內に散在せる其他の政府の中心、教育、娛樂及文化も此れ以上に前述進步を例證するに足る。

「比島人は現在熱心なる西洋文化への希望及渴望を以て滿されたる東洋に於ける一共同社會を形成し、其生活中に精神的及物質的利益を取入れんとして居るが、實際に於ける機械的及經濟的進步を達成する事が出來なりし故現在の彼等は遙かに希望を望見してゐるに過ぎぬ」。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然し同時に、比島は豐富なる天然資源を有して居るから、適當なる發展に依れば彼等の充されざる希望を滿足せしめ得るのである。然るに今迄此等の大富源は事實上未接觸の儘取殘されてあるのである。物質的慰安に對する要求は斯の如きなるに拘らず、一方專門家によつて、我々人民の大多數は適當なる食料供給不足なるため榮養不良に陷り、其結果大部分肺結核或は脚氣の如き榮養不足によつて引き起さるゝ病氣の被害を受けて居るのであり、又豫防し得る原因による其他の疾病傳染病及他の病氣によつて祟られて居るのであるが、之れとても若し假に政府が此の目的のために支出し得る金さへ有して居るなれば、此の金の賢明なる支出により統御し且絶滅し得べきものである事を指摘して居る。

我々は人民の社會的、政治的及智的活動に接觸する政府の事務に關しても亦同じ樣な事情を發見する。然し比島の現在富は斯の如き活動を維持するに必要なる徴税を支持するであろふ。本室に居らるゝ諸員は各選出州に於ける當面せる必要なる企業を御存知であろふ。例ふれば現在では豫算の制限のため實行されて居らぬが必要なる道路橋梁の建設、病院の改善、公共營造物及學校、教育過程の延長或は其他選擧區に對する高尚なる好意性質を帶ぶる活動等之である。

何が斯の如き希望を充足し得ざる奇妙なる現象を來さしめたのであるか？ 又現代文化の利點に著るしき興味を感じ又其に適當性を示めせし又其の追求に斯の如き智識、自己犠牲及熱意を示めせる人々が又同時に斯の如き驚歎に價する天然資源の後繼者である人々が、何故に流れて已まぬ水の泉の影を懷いた、渴したタンタラスの樣に、天國の入口に於て意氣を挫き引返さねばならなくなつたか？

最近余は幸にして、比島政府の爲め、貫祿及經驗のある權威者による本島の批判的調査及經濟狀態調査の機會を得た。余の懇願により米國に於ける一有力電氣會社の副總裁であるレイマン・ピー・ハムモンド（Lyman P. Hammond）氏が本島に滯在する事約三箇月にして、島内各部を歴訪し、北南兩亞米利加に於ける進歩的産業の最近の發達に就て非常に經驗に富める智識を以て問題を視察して來たのである。其の觀察の結果は報告にして余の手許迄提出されたのであるが現在印刷中であるから、程なく諸員に分配されるであろふ。今此の報告の要領を云へば氏は比島人の斯の如き奇妙なる狀況、即ち彼等が養成せる思想及趣味と彼等の嗜好を滿足せしむる彼等の現在能力間の不均衡は、新らしい機械の使用及機械的方法の利用方面に缺けたる所があつた直接の結果である事を發見して居る。彼は猶次で然し現今大企業商業として知られて居る一種の協調により及適當に組織せられ及現代の標準によつて智的に適用される多量の資本があれば前文の如き利用は容易に得られると指摘して居る。

彼の注意深く記錄された觀察を詳說すると次の如くである。

「比島に於ける經濟狀況と米國に於ける經濟狀況とを比較すれば手工勞働及小量生産單位對機械及大量生産單位である。即ち日當數百噸

の原料を使用し、歩留九十二%を示す新式製糖工場と、單位を噸で表はすより近で表示する方が早く、且製糖行程に於て砂糖四十%を失ふ遅鈍なる水牛による舊式糖廠の相違である。余の見る比島產業の緊急の必要事は大生產單位であり又大生產單位に於て活動せしめ得る機械及設備であり及之の設置に必要なる資本である。將來若し世界市場競爭場裡に立たんと欲する時は、須らく大規模に計畫をなさねばならぬのである。

「スリガオ及カラムバヤンガに在る鐵礦層は剝て堀つても物の役に立たない。蒸氣ショーベルを是非用ひねばならぬ。山岳州にある深い所に埋藏されてある金含有層は試堀者の鶴嘴で位置を附き留める事は出來ぬ。ダイヤモンド・ドリル或は鑛脈探所作業の延長が其の發見のために必要とせらるゝ。新式採堀及運搬設備を有する大規模の作業をして引合ふ樣な動力消費工業が形に於て大きく、數に於て增加する時、初めて石炭層は利益ある作業の目的物となるであらふ。國內製造業は島民の生活樣式の改善及購買力の增加と共に有望になるであらふ。外國市場に於ける比島製造業者は、勞働力が如何に廉價なりとしても機械が手工業に代る時初めて、頭角を現はすに至るであらふ。

「余の意見として、比島の發展は只今大商業單位に於ける及依る活躍を必要として居る。現在此處で必要とされて居る事は、莫大なる天然資源と資本及技術及專門的智識との提手である」。

農業は現在及之れからも長く比島民の重要產業であるであらふ。

ハムモンド氏の報告を見る時は、思慮ある觀察者が見て取るであらふ事實を、卽ち現代式の生產及市場組織の下に於ては農業に於ても、比律人の農夫は其の各種收穫物の處分のためには大單位の資本に依るに至るであらふ事を肯しめる。比律賓群島は其天然市場より去る事甚だ遠く、爲めに其農業生產物の大部分は地方的の製造及荷減なくして運送し得ないのである。甘蔗小栽培業者は若し其の所有地より程遠からざる所に相當な資本によつて相當な工場が設立せられるなれば利益を見て其收穫物を處理し得るであらふし、又古々椰子、パインアップル、護謨及其他の收穫の栽培業者も同樣の援助を必要として居るのである。

換言すれば、現在迄最低限度の生活に甘じながら附近俵主に經濟的奴隷生活を奉じ、或は彼等の生產品運搬を掌る獨占的船主に奴隸的立場にあつた比律賓農夫が、其現在の不滿なる狀態を保つ事を潔しとせざるなれば、比島は須く新式の機械、新式の資本制及び新らたなる方法の利益に均霑すべきであつて、之に依り、島民の間に必要なる機關を設置すべく、其結果農業標準は向上し、農業の果實は市場を求めるに至るであらふ。只今の所小生產者は唯單に仲介業者及運送業者による厭迫い容易なる犧牲なる觀がある。將來比律賓人が比律賓を代表して世界市場に雄飛出來ると云々といふのは單なる夢想ではない。斯の如き發展を成就せしむる爲めに、彼及彼の友黨は相倚つて共通の中心點製糖工場、製鐵工場、古々椰子工場、或は乾燥場に向つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て大團體な組織すべきであつて、之が爲め各個農夫の生産が刺戟され及援助され及其生產物市場が確保せらるゝ適當なる條件によつて、彼等が結合されるに至るのである。斯の如き合同は今や世界的潮流となり、合同追隨に失敗せる國民は競爭場裡の落伍者たらんとして居る。然しながら此の合同の基礎は多量資本の流入によつてのみ與へらるゝものである。

電力は現代文化の必要なる侍女である。之は通信、光、動力及―熱帶地に於ける最も根本的な―冷却に缺くべからざるものである。然るに比島に於ける電力利用の發展は今日に於て幼稚的状態である。之を例示すれば、米國に於ける電話數は七人當一臺となつて居るが、比島に於ては六百九十人當一臺となつて居るに過ぎす、又米國に於ては邊鄙な地域に到る迄電話が架設せられ、電線を通過する聲による商賣をなし得るが、比島内に於ては長距離電話なるものが凡ど實際に知られて居らぬ有樣である。又余は比島内の六都市のみが二十四時間燈電制度を採用して居るに過ぎないことを聞かされて居るが之に依れば他の都市或は地方が動力、冷却に即ち燈用以外に電力を利用し得ないといふ事を意味するのであると思ふ。之等は比島の眞の經濟的發展への致命的障碍であらねばならぬのである。經濟的發展は敏速にして容易なる通信、廉價にして且自由に御し得る動力及食料其他の冷却による貯藏に賴るものである。斯の如き發展に向ふ第一手段の一として、前述せるが如き廉價にして且有效なる電氣設備―之により米國は全世界に飛躍して居る―を建設するため米資の輸入を增長する事にも多大の努力を拂はねばならぬ。

或る思慮なき批判者は、斯の如き資本の援助を招來する事は米國への經濟的奴隷たるに等しきものなりとの聲を高ふして疑惑及敵意を誘發せんとして居る。誤謬又之に過ぐるものはないと思ふのである。根據なき恐怖を惹起せしむる事によつて、斯の如き批判者は經濟的延いては政治的獨立の唯一の通路を破壞し去らんとする。比島の米國に遡るゝ事は約百五十年に及び、比島の現在は漸く米國の百五十年前と比較し得る事に思ひを致すべきである。米國に於ける吾々は曾て大大陸の限りなき資源の所有者であつたと云ふよりも寧ろ此等資源を開發すべき方法に貧しき及不足を感じて居つた者であつた。それで我々は我々の欲するものを自由に歐洲から借入れたのであつて、歐洲といつても各國に亘り其の中或國の政治組織には我々が全く同情をさへ持ち得ず又非常なる不信をさへ懷いて居つたのである。茲に於てか今米國は之等の國の奴隷國となつたであらふか何人といへども斯く云ふ事に躊躇するであらふ。米國は其天然資源を開發し、其の負債を償却し、以前の債務國たりしものが今や進んで債權國とさへなつて居るのである。

然し之等の批判家は我々が將來の比島子孫の世襲財產を抵當化する事を恐れて居る。然し斯の如き命題に對する我々の態度は曾て余が米國陸軍獨たりし時特に水力を含む我々自然資源の保存運動の先驅

者の一人であつた事により明らかであらふ。斯の如き資源を費消し、濫用する事を目的とする手段に余は故らに賛成し又は好感を持つた事がなかつた。が然し保存は天然資源の永久的釘附を意味するものでなくして人民の幸福のための賢明なる使用を意味するのである。現在比島の農業地が比島民間に分配せらるゝ割合を以てすれば、此の大なる財產、人民安定の大なる防備物が完全に利用せらるゝに至る迄は四百年を要するのである。然し之は保存と云はるべきものでなく、寧ろ消費である。無價値なる土地が人民の幸福を增す理由なく、賢明に分配され且賢明に使用されて居る土地こそ初めて、人民を繁榮及愛國の習慣附けしめ又慰安及自己獨立の狀態に導くものであると云ひ得るのである。それで現在我々は二倍の問題があるのであつて、第一は人民への土地分配の遲滯を解き及其の土地上に家產をなし家を愛する人民を置き且其境界を明らかならしめ、紛爭を防ぐこと、第二に資本の賢明なる使用によつて必要なる既墾中心點及其他の制度を配置し、以て、其の收穫物の生產及市場分配に援助を與ふる事により其財產及獨立を保護する事である。

余が既に指摘せるが如き批判があり又自然と資本の流入を臆病ならしめ又資本的活動を退嬰せしむるが如き米比相互間の誤解及敵意を釀成せんとするが如き批判があるが、余は猶未だ斯の如き事情あるため資本が缺如して居り又發展が妨げられて居つた者たといふふ重なる理由を發見する事が出來るとは思はぬ。反對に米資が自由に且豐富に流入されて居る中央及南亞米利加に於ける若干の國々と比較して見るに、全體に於て比資作人の性質は政治的に保守的である許りでなく又米人に對して友誼的であり且好意的である。然して實に最近の選擧戰に於て彼等は此問題に對して立派な態度の誤らざる證據を見せて與れたのである。余は我々發展の主たる障碍が法律の賢明ならざる制限にあるものだと思ふが、其の大部分は約三十年前當時米國に於て流行せる理論の下に比島に輸入されたのであるが、久しからざるに其發祥地に於て打破されて濟つたのである。此等の法律を現代に適應せしめよ。又現在の米國發展を招來せるが如き現在法と一致せしめよ。然る時余は之の困難は活路を得るだらふと信ずるのである。玖瑪、巴奈馬及布哇及南米の數諸國を含む其他の熱帶諸國は既に其の會社法を改正し其の發展を助長するために外資の輸入を計り爲めに其の結果は實に滿足すべきものがあつたと云ふ。

余は米資が其の流入せらるゝ地方に於て不公平なる開發を試みる事の不賢明なる事及危險なる事を既に學び得たと信ずる。從つて余は比島への流入準備は成りたるものであつて、其比島組合員及比人勞働者の取扱に關する公平な條件としてのみ比島へ來るを許さるべきであらふと信ずる。資本の要求するもの及其が期待し得る權利は、投資の安全及國法の下の公平なる取扱の確實性である。安全性が增し及確實性の增大するにつれ、資本は安價に輸入し得るのである。高率なる利息は冒險の大なる所に於てのみ要求せらるゝ。資本は好條件

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及判斷による利益に眩惑されず、法律による平等及安全を要求するのである。

從つて余の茲に勸告せんとする所は貴立法府が、會社創立を支配する法律及其の活動を定むる規定を此の事情に添ふ樣改正あらん事であつて、勿論公共福祉の統一及土地法の賢明且保守的な改正を含むと共に資本が政府と接觸するに至る迄の總べての法律を含むものである。然して前述改正とは比島への投資を計畫しつゝある者を保護する爲め他の先進諸國同樣に法律を改正し、投資の對象物たる企業が比島の官吏により公平に、正當に且平等に取扱はれる樣及投資者が其の放資金の代償として受くる擔保權を安全に保證する樣改正するのである。

余の最も幸福とする所は既に余の著任に先達つて本問題が本市合同辯護士協會、卽ち米國人及比律賓人辯護士協會の注意を惹起して居つた事である。本委員會員名を見ると本事業に就いての能力及完全を保證して居る樣な方々計りである。余は其方々に前述ハムモンド氏の報告及余の所有する本問題に關する其他の消息等を提供し、本問題に就て其注意を一層拂はるゝ樣及彼等が本目的に向つて適當なりと思はるゝ法律の改正について報告の如きものを以て立法府に援助を賜はる樣御願ひした次第である。夫れで之の報告が提出せらるる迄余は斯の如き特種なる方法に就て一層深く語るは不必要なりと思ふのである。

長距離電通及內國運輸

我々の經濟的發展に密接なる關係を有して居る二問題に對して貴員等の注意を促す。然して余は此の兩方面に於て、進歩及改革の大必要を感じて居るのである。其の一は長距離電通問題であつて、電信電話或は無電何れの方面たるを問はない。又第二は內國運輸問題である。敏速にして且容易なる通信及敏速にして且容易なる交通は商業發展の基礎たるべき二本の柱であるが、不幸にして之の二本の柱の中一本さへも見當らぬのである。海外より來比せるもの又は現代式の通信及運輸方法によつて比島に商業を試みんとする者は、恰も過去に引返へされた樣な氣持がするであらふ。眞實の經濟的進歩は此等の二生命的主題が充分なる處理を受けるに至る迄は不可能である。今日我々の電信及海運は人爲的獨占の手中にあるのであつて、前者は政府により享有せられる獨占であり、後者は制限的立法によつて適當なる條件を有する個人或は會社により育成された獨占である。余は茲に今更斯の如き立法により、比人或は米人により比島海上商業の發展を促進せしめんとした政策を批評する意志は毛頭ない。が然し前述せる樣な總べての人工的獨占は、其他の及廣い範圍に亘る公益に及ぼす結果を見て、絕えず愼重に注視せねばならぬ。之の二つの制度の場合に於て、余は重大なる罪惡が存在し、今日比島の貿易及商業は妨げられ、又其結果比島旅行者の生命及安全は或る程度近危險の狀態にあり、現在之等の獨占により幾分でも引出されて居る利益を全然犧牲し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て了ふものであると信ずる。此等二問題共に余の前任者等によつて注意を喚起され來つたのである。其の二問題の何れもに就て、我々は作成せらるゝ此の目的のため創設された特別委員會によつて注意深き調査及報告の價値を認めるのである。

長距離通信—余は貴員等の考慮を患すために特別委員會により作成せられたる報告を提出する。此の特別委員會といふのは郵政局の設置に掛る本島の主要商業中心地、馬尼刺、セブ、イロイロ、ダヴアォ及サンボアンガ間の電信設置調査を目的として余の任命せるものである。電信事務上に起る延滯及不規則は、當事者が其れによる機會を有して居るあらゆる人に親密でなければ信じられぬ事であらふ。

私は個人を批判するのではない、制度を批判せんとするのである。又余は現代の政府電信制度の下に於て、政府が私人會社によつて此の事業を經營し得ない島內遠隔の地點迄、電報通信をなし得て居るかといふ事實に就いても明でない。併しながら、世界に於て如何に企圖せられ又如何に大規模にしても斯の如き電氣利用に就いての政府の活動は能率上遙に民營の其れに及ばぬといふ確固たる經濟的事實を余は信ずるのである。猶又現在世界の何處に於ても米國に於ける如く個人會社により供給されてゐる樣な壓倒的能率のある電信及電話設備の結合はないのである。我々は之が我々の努力すべき理想であつて、我々が、之を監理するに足る能率あり責任ある會社を發見するや否や我々は個人の手に我々の電通の設備を委ぬべきであると信ずる。斯の如く重要なる設備卽ち馬尼刺セブ及イロイロ間の如き重要設備を政府に掌らしめ以て、之等重要都市間の貿易及商業を窒息せしむるに至るが如き行爲を敢てし、單に同局のために政府の貸借對照表の體裁を飾つても之は世間に云ふ「一文吝みの錢失ひ」と云ふに等しからずやと思ふのである。

內國運輸—本島の人々は旣に進歩せる陸上運輸機關の必要を痛感せられたであらふ。過去二、三年間に於て之等道路による運輸の急速なる發達は本島發展の一重要特長であるが、而も猶天然卽ち海によつて交通を保たるる數百島嶼に在住民ある所を以てすれば、今日迄且速力ある水上交通發達の遲かりしは實に怪訝に堪えない所である。此の點は前總督代理が前議會に與へられし教書中にも熱心に說かれてゐたのであつて、且彼により任命されたる諮問委員會により主題に關する注意深き調査が行はれたのである。然し不幸にも其報告は議會開會中に間に合はせなかつたのであつた。余は玆に同委員會の報告及勸告を提出して貴員等の注意を惹起したいと思ふ。

本委員會は內國海運に使用されて居る現在噸數が不充分なる事を發見して居り、船舶は舊く、使用に堪えず非衛生的にして有效に處理されて居らず、法律による獨占的條件を有するため、自由競爭は阻止せられ、規則的なる發達を阻害し、數ふるに遑なき惡習及不公平なる差別存在し、及び安全愉快及び旅客の便を計るために充分なる設備なき事を發見したのであつた。要約すれば彼等は海上運輸に關して存在

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すべき條件は充分有效及安全なるに拘らず、現在陸上に於ても存在する其等と比較して實に驚くべきものなる事を發見したのであつた。

第七回議會に於ては重要なる修正立法を審議通過したのであるが、同委員會が「現在の不滿足なる條件の永久的進步を目的として、採用せらるべき第一の點も最も重要なる手段」として提出せるものを含む勸告中に於て其の多くを實行せずに終へたのである。卽ち此の委員會の勸告とは現在內國通運に從事せる外國會社或は商會が今彼等によつて使用せられて居る大船を新船と交替せしむるについて之を認めない現行法の廢棄である。

生命及財產の運搬業に從事する事を個人或は會社に許可する法律制度を辯護する事も困難であれば、又同時に安全及能率的に之をなす者達を禁止する事も困難である。余は玆に貴議會に對し特別の注意を必要とする法律の此の規定を要求するのである。全般に亘つての問題は重要且生命的なもので本委員會の報告と包括的に關係を有して居るのであつて余は玆に次に述ぶる勸告のみならず夫に關する其他の勸告を愼重考慮さるゝ事と信ずるのである。

內國運輸に就て前述報告中に指摘せられて居る缺點の一は、馬尼剌市に於ける制限せられたる積卸しの利便である。現在之等の積荷はパシッグ河で行はれて居るのであるが、同處の埠頭設備は不充分にして且貨車船舶間に於ける貨物の積卸が海岸近で出來ぬため、彼等の必要なる沿岸にチャートに於ける交通に大不便を與へるのである。

前議會にはパシッグ河北方に新埠頭を發展せしむる樣な提案があつたが、此の完成の曉に於ては此の埠頭は其他の港灣設置中にあつても總べての內國船舶に充分にして且現代式な設備を供給する筈である。玆には斯の如き設備に使用せらるべき資本云々の如き問題は暫く置くも、余は本計畫が比島商業發展を來さしむる生命的且密接なるものであつて、立法府の深甚なる注意を受くるに足るものなりと信ずるのである。

本敎書中に於て、余は貴員等の特別の注意を得るに足ると信ずる或る主要なる題目を述べたに過ぎぬ。勿論多くの其他の問題がある、其の大多數は余の前任者によつて貴員等に提出されたのである。此れに就いても同じく重要であり、又審議の價値があると信ずる。然しながら、余は今日其等を一々例擧しないであろふが、近き將來に於て敎書により特別に貴員等の注意を促すであろふ。

余は再び如何なる時に於ても、余及び行政部各員は、我々の權限內にある事なれば、議案の作成を援助するにしても又立法上必要なる材料を供給するにしても又は提案された議案に就て最良の判斷を與へるにしても貴方に援助を吝しまない者である。余は相議する機會の到來を歡迎するものであつて、余の權限內に於けるあらゆる事を、必要なる協調、其れなくして賢明なる及熟慮せられたる立法が生れ出でざる、必要なる協調を得る爲めに盡す積りである。

總督　エンリー・エル・スティムスン

□比島排日狀況

コタバトに於ける日貨排斥聯合會狀況

六月二十九日午前九時某所に於て反日會と中華商會との聯合會議が開かれ日貨排斥方法が協議された。集まるもの多數で先づ商會長李良の開會の辭に次ぎ主事記錄各一人の推擧を計り吳善稽の發議により李良を主事とし陳理舜の發議にて吳善稽を記錄に推選し滿場一致で可決した後對日經濟絕交に付いて討議を始め

一、對日經濟の絕交は最も必要で日貨を手持にせる各店舖は其十分の一を支出して反日の經費に充つる事（尤芳炎提案）

二、日貨檢査委員會を組織して各委員三名を出し又反日會に誓願狀を出し各店の署名捺印を求むる事（吳善稽提案）

三、先づ對日經濟絕交を表決して排斥方法を議ずべしと（陳理舜提案）

四、手持の舊日貨は賣つて差支なきも再新日貨を買らざる事（胡長泉提案）

五、日貨檢査委員は反日會によりて選任すること（ハン星恒提案）

此際主事は（三）の提案を議場に計り直に一致通過す。

主事は各提案に付て逐次表決したる結果

一、全島の華商は個人たると商社たるとを問はず一律に日貨排斥を行ひ反日會に記名捺印たる誓願狀を提出する事

二、手持の舊日貨は賣出すも新日貨は買入れざること。

三、現在手持の舊日貨は日貨檢査委員會の證印を得て發賣すべく其手數料若干を徵して反日會の經費とすること。

四、日貨檢査委員會を組織し其委員は反日會より選ぶこと。

等を議決し十二時に至り散會せり。—マニラ支那新聞より譯載—

ホロの排日狀況

蘇洛の中華民は日本の野蠻行爲を憤み、六月二十日全島の商社擧つて排日貨實行憲章に調印し之を一般に公告し今後の日貨は沒收することゝなしたりしが、六月廿七日アルバイ號入港の際は多量の日貨を輸入せしが、六月二十日の公告が未だ一般に知れ亘らざりし爲め月始の註文品が此月末に殺到せる者にて七月一日以後のものにつき實行することゝして反日委員會の承認を求め本日再び通達を發して奸商の注意を促したりしが七月一日ネイルマクレオド號入港の際三寶顏發送日貨五箱あり反日委員會にて査定し三寶顏に返送することゝせり。

反日委員會は奸商？の約を守らざるものあるに依り更に檢査委員十一名を選定し七月二日積極的に實行を勵め若し故意に違反する者

あらば第一回は其日貨を沒收し第二回目は其違反者氏名を國民政府に通達することゝせり。―マニラ支那新聞より譯載―

在外中國商人の鄕里送金額の調査

香港大學の南洋文化教育事業部の通信に曰く中國の在外商人が毎年多少の送金をなすは事實なるも曾て統計したることもなく數字を知るは難事なるも一億元と稱する人もあり。本問題に關し最近正金銀行週報に掲載せる記事を見るに

南洋各地の中國商人の中國へ送金せしもの

一九二四年	
海峽植民地	一九、四〇〇、〇〇〇元
比律賓群島	一五、五〇〇、〇〇〇
蘭領東印度	一一、〇五〇、〇〇〇
合計	四五、九五〇、〇〇〇
一九二五年	
海峽植民地	一九、〇二六、〇〇〇
比律賓群島	一三、二二八、〇〇〇
蘭領東印度	一〇、八四六、〇〇〇
合計	四三、一〇〇、〇〇〇

上表の百分の三六は外國銀行により百分の一六は中國民設立の銀行により百分の三二は郵便局により百分の一六は自己が攜帶して歸國するものにして此表は未だ精確ならずと思ふも大體に正しきものなるべく英領地居住中國人百十七萬人、蘭領地居住中國人八十一萬人比律賓群島居住中國人二十五萬人にして其平均一人當送金高は、英領居住者は一人平均十六元强、蘭領居住者十三元强、比律賓居住者五十三元强に當り總平均を二十七元に當る暹羅には中國人百八十萬人、安南には三十六萬人、ビルマには大約三十萬の中國人居住して合計二百四十六萬の在留者あり一人平均二十元とするも尙四千九百二十萬元となり總計九千二百三十萬元となり一億圓に接近することゝなる。

卽ち南洋六地より毎年約一億萬元の鄕里送金をなし其他の各國の送金を加算せば前記六地よりの送金額は一億五千萬元を下らざるべし。

佛領印度支那

□一九二六年の印度支那鑛業（二）

四、生産高の分類

イ、交趾支那の吸收高

次表は西貢港に輸入或は移入されたる石炭の量を仕入國別に表したものである。(單位噸)

國別	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
東京(註一)	三六、三〇九	五六、四七二	八九、〇八一	一二四、八九五	(註二)一〇一、四六五	(註三)四六、九八四
安南	五七五	三一五	六〇	—	—	—
蘭領印度	—	一七〇	八、八二三	一二、〇一五	一七、七〇三	一六、三五二
日本	四二五	四、〇八二	二、二九二	四、七一二	九三三	一、三〇〇
香港	—	六一	三九	二〇	一、五〇〇	二〇〇
支那	—	—	—	八一七	—	—
新嘉坡	—	—	—	—	五五五	—
英國	—	一六〇	六四	六、八〇〇	—	—
佛蘭西	—	—	二七	六三	—	—
其他の諸國	—	—	—	二	—	—
合計	三七、三〇九	六一、二六〇	一〇〇、三八六	一四九、三二四	一二二、一五六	六四、八三六

註一、一九二五年以前の税關統計には石炭と煉炭との區別がなく、その數字中には煉炭の量も含まれてゐる。

註二、この中石炭七六、一〇五噸、煉炭二五、三六〇噸である。

註三、この中石炭三〇、三九一噸、煉炭一六、五九三噸である。

右の外尙交趾支那は、一九二六年に於て六一五噸のコークスを輸入してゐる。即ち佛國より五一五噸、東京より一〇〇噸の輸入である。これを前年に比較する時は、一九二五年七八〇噸、一九二四年六七六噸となる。

前表に依れば一九二六年東京よりの輸入額は著しき減少を示し且又外國よりの輸入も決して增加してゐない。この原因に就ては未だに不明であるが、この突發的な減少に對しては目下調査が行はれてゐるが恐らく一九二五年から一九二六年にかけての地方消費額は減少してゐないで、東京よりの輸入が減少を示してゐるのであるから、前表の數字に誤り無しとすれば、夫だけ地方に多量のストックがありそれが一九二六年に影響したものと思はれる。

又一方前表には船舶に供給する石炭の大部分は含まれてゐない。それ等は輸入後西貢の保税倉庫に入れられてゐるのが普通である。例へば一九二六年に於ては外國より輸入後この保税倉庫に入つた石炭は七一、二八六噸に達してゐる。

次に示す處のものは一九二七年當初西貢に於ける石炭の買ひ値である。

鴻基煉炭　二三、〇〇ピアストル

鴻基中小塊炭　一六、〇〇　〃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領印度瀝青炭（パムカン炭 Pamonkan） 一六、五〇〇ピストル

日本瀝青炭 一七、〇〇〇 〃

南部印度支那鐵道の最近の三箇年に於ける燃料の使用數量は次の通りである。

	一九二四年	一九二五年	一九二六年
鴻基煉炭	一、六五九噸	一、七三五噸	三、八五七噸
パムカン炭（蘭領ボルネオ產）	二、一七九	一、八二六	二、二八三
薪炭	八六、九五一	九五、八九五	七二、六五五

因に前記鐵道の中正規に石炭を焚く線は西貢ミト線で、例外的に西貢ニヤトラン、及トユールチヤムークロンフア線がある。

ロ、東京の吸收高

前號三二頁の表は印度支那に於ける石炭の地方消費高は一九二五年に於て四八九、〇〇〇噸、一九二六年に於て四九三、〇〇〇噸を示してゐる。

依て若し交趾支那の東京炭地方年消費額として最近三箇年間平均額八七、〇〇〇噸といふ數字が許されるならば、東京の地方消費額は一九二五年及一九二六年には約四〇〇、〇〇〇噸と評價し得られる。又一九二二年には同じ方法で東京地方消費高三一〇、〇〇〇噸、交趾支那消費六一、〇〇〇噸となる。

次表は一九二二年及一九二六年の地方消費額を分類表示したものである。

	一九二二年	一九二六年
海運航行用	三〇、六〇〇噸	五六、〇〇〇噸
河川航行用	三六、三〇〇	三六、九〇〇
鐵道用	四七、七〇〇	三五、八〇〇
其他の各種工業	一九五、四〇〇	二七一、三〇〇
合計	三一〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇

ハ、輸出高

次表は石炭及煉炭の輸出高を表示したものであるが、一九二六年には石炭の輸出の著しく增加せることを知る。

仕向國別	石炭 一九二四年	石炭 一九二五年	石炭 一九二六年	煉炭 一九二四年	煉炭 一九二五年	煉炭 一九二六年
香港	二五、八四六噸	一三八、四四六噸	一三六、七〇四噸	四、三二八噸	六、六六〇噸	八、四〇〇噸
支那	一九〇、五五九	三三三、五八一	四一八、四三三	一三、四六七	二〇、六七五	一七、〇五九
日本	二〇二、八五三	一七六、四一七	二七八、七七九	—	—	—
比律賓	四、一〇三	—	—	—	—	—
暹羅	一〇、二八九	五、三九〇	六、六〇一	—	三六〇	五〇〇
新嘉坡	四〇〇	一、三五一	二、六八六	—	六〇〇	—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領印度	三、四五五	—	七、四三五	—	—	—
廣州灣	—	—	三	六三	五〇	一一七
佛蘭西	二〇、八八四	二二、七九四	一六、八六四	七、一九一	四、〇一〇	四、三四〇
白耳義	八、五五八	一〇〇	六〇	—	—	—
佛領植民地	—	—	二七〇	—	五五〇	二三〇
合計	六九〇、三四六	六六八、〇七九	八九七、八三一	二三、九三九	三二、〇六五	三〇、六五六

香港向輸出の一二、〇〇〇噸といふ減少（前年の一九二五年には實に七七、〇〇〇噸といふ減少である）は一に南方支那の政爭擾亂に基くものである。

反之支那向輸出は一九二六年に於て二九％の増加を示してゐる。この動きは政亂や各地の軍事的行動に依り地方採掘上に齎されたる苦境が部分的に原因されてゐる樣に見える。

東京產炭の一九二五年に於ける著しい輸出減少は比律賓向輸出の中止せることゝ、日本向輸出の減少せることに基くものである。比律賓への輸出は一九二六年度に於ても遂に何等の輸出を見なかつたのに反し、日本への輸出は前年に比し五八％の増加を示してゐる。

輸出總高より見るときは輸出増加である。一九二三年より一九二五年間に於ける石炭の輸出高は六八〇、〇〇〇噸内外を示してゐるがこれを一九二六年の八五七、〇〇〇噸に比すれば、約二六％の増加となる。反對に煉炭の輸出は前年に比し三％の減少である。

次表は一九二七年の第一四半期の各地向輸出高を擧げ、これを前年の第一四半期と比較し、讀者の參考に資したものである。

仕向國別	石炭 一九二六年第一四半期	石炭 一九二七年第一四半期	煉炭 一九二六年第一四半期	煉炭 一九二七年第一四半期
香港	二九、一九八噸	三五、七二七噸	一、八二〇噸	一、六九五噸
支那	八七、一七四	八六、七〇〇	五、八六八	七、四三五
日本	四八、九六三	八三、二二九	—	—
暹羅	一、五二四	—	—	—
新嘉坡	三	二〇〇	—	—
英領印度	五〇	—	—	—
廣州灣	三	—	一一五	—
佛蘭西	四、一七四	一、六七六	六五〇	二、五九八
佛領植民地	—	—	二〇〇	—
計	一七一、一〇九	二〇七、五三二	八、六九三	一一、七二八

第二節　印度支那に於ける主要炭礦の發達狀況

一、一九二六年に於ける各炭坑成績表

イ、無煙炭（三％―一〇％の揮發分を含む）

東京の部

アロン灣礦區（ケバオよりクルベ港迄を指す）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

炭坑名	所有者名採掘者名	生産高 一九二五年 數量(噸)	生産高 一九二六年 數量(噸)	生産高 一九二六年 概算價額 ピヤストル	生産高 一九二六年 概算價額 法	輸出高 一九二五年 數量(噸)	輸出高 一九二六年 數量(噸)	輸出高 一九二六年 概算價格 ピヤストル	輸出高 一九二六年 概算價格 法	使用人數 歐人	使用人數 勞働者 坑外	使用人數 勞働者 坑內
Kébao	Société du Domaine de Kébao	五三、五一七	三一、七八一	一八八、一五〇	三、二〇二、〇〇〇	三六、八七〇	二二、二七七	一二一、六〇〇	一、八九九、〇〇〇	一五	七九九	四六二
Rigobert	Société Cihle des Mines	九〇〇	事業中止	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Hongay	Société française des Charbonnages du Tonkin	九一〇、〇〇〇	八五五、〇〇〇	六、六〇八、〇〇〇	一一二、四六八、〇〇〇	三七三、〇四六	五三〇、四二九	三、五七八、九〇〇	六〇、九一三、〇〇〇	一六一	五、三五〇	一一、六四四
Antoine	M. Bach-thai-Bou	六〇〇	事業中止	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ドン、チュウ礦區(クルベー港よりドンチュウ迄)												
Francis	Société des charbonnages d'Along et Doug-Dang	七、九八七	一五、二九八	九二八、八五〇	一、五八〇、〇〇〇	—	—	—	—	三	四四	一五七
Hien		一〇、一六三	八、八四一								三	七一
Antoine	Hérisiers Bonnet	一、五〇〇	探礦中	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Marcelle		一一、五八四	六、八四九									一六〇
Marcellin	Société J. Pannier et Cie			一九〇、五〇〇	三、二四二、〇〇〇	二五、五三九	一八、七九五	一二九、四五〇	二、二〇三、〇〇〇	二	一九六	
Chacha		一九、三二九	三三、三八六									六八〇
Jean	Mme Lê-Thi-Tam | M. Bach-Thai-Buoi	二、〇〇〇	一、四四〇	七、二〇〇	一二二、〇〇〇	—	—	—	—	一	四三	八一
Fabien	M. Bach-Thai-Buoi	九、三七二	事業施設の爲め中止			—	—	—	—	一	三四	三六
Espérance	M. George Rey	二、五〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Renée	Sté Cle des Anthacites de Yên-Lap	一三、五八二	三、五九七	一六、二〇〇	二七六、〇〇〇	—	—	—	—	一	三三	四〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Printemps	M. Nguyên-Huu-Thu dit Sen.		六、九七八	七、三六〇	三四、一五〇	五八一、〇〇〇	—	—	—	—	一	三五	一〇九
Clotilde Louise	Société de Charbonnages Dong-Triêu		二六、九九二	一〇七、三九四	九四三、六五〇	一六、〇六一、〇〇〇	八三、五二四	二六、七四三	七〇八、三〇〇	二三、〇五五、〇〇〇	三	一、四二二	七五四
Espoir			二七、八七七	三四、八五三							三	—	三二四
Bon Espoir			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Schoedelin	Société des Anthracites du Tonkin.		二八、四二二	三八、五七七	九〇八、五〇〇	一五、四六二、〇〇〇	七、一〇七	二一、九五〇	九三、四五〇	一、五九〇、〇〇〇	一〇	四九一	九七四
Edouard			七九、一三三	一〇〇、〇九一									
Clotilde													
Clairette	M. Darrieux		二、六六一	八、二六五	三一、八〇〇	五五八、〇〇〇	—	—	—	—	一	二八	一三八
安南の部ノン・ソン礦區													
Sara	Société des Charbonnages de Vinh-Phuoc		三、二八三	三、〇〇〇	一三、八〇〇	二三四、〇〇〇	—	—	—	—	一	二〇	五〇
Nong-Son	Banque de l'Indochine	Usine de chaux hydraulique de Lang-Tho	三、二〇〇	九〇〇	二、七〇〇	四六、〇〇〇	—	—	—	—	—	二〇	—
無煙炭合計			一、三〇九、五七一	一、三四六、六三二	九〇三、八五〇〇	一五三、八三一、〇〇〇	五三六、〇八六	七一〇、一九三	四六二、七〇〇	七八、七六〇、〇〇〇	三三	八、五一六	一五、六八〇
ロ、瀝青炭(一四%—二五%の揮發を含む)													
東京シヨホ礦區 Chobo (Hoa-Binh)													
Gabrielle	M. Soler	Sté fr. de Colonisation en Annam-Tonkin	一、一〇一	三〇〇	一、二〇〇	一四、三〇〇	—	—	—	—	—	—	—
東京シネ及フン・カン礦區 Chiné (Ha-Nam), Phu-Nho-Quang (Ninh-Binh)													

Doi-Hoa	Sté des Charbonnages du Ninh-Binh	二、三〇五	一、〇〇〇	一四三、〇〇〇	二、四三四、〇〇〇	—	—	—	—	四	一六四	四三
Paul		一五、九三五	一〇、九一三							—	—	四四一
東京ファン・メ礦區 Phan-Mé (Thai-Nguyén)												
Louisette	Sté Indochinoise de Charbonnages et de Mine Métalliques	三九七	—	二四九、四〇〇	四、二四〇、〇〇〇	—	—	—	—	一〇	三一六	一八三
Coloung	Sté minière du Tonkin	二八、七三三	二六、一〇九									
瀝青炭及半瀝青炭合計		四七、六六〇	三八、〇二九	三九二、四〇〇	六、六七四、〇〇〇	—	—	—	—	一四	四八〇	六六六
ハ、褐炭												
東京カオ・バン礦區 Cao-Bang												
Henri	Société des Etains et Wolfram du Tonkin	一、〇一四	一、一一五	七、八〇〇	一三三、〇〇〇	—	—	—	—	一	一三	二四
同トエン・カン礦區 Tuyén-Quang												
Alice	Sté des Charbonnages de Tuyên-Quang	八四六	三、三三五	二九、一五〇	四九六、〇〇〇	—	—	—	—	一	五八	四三
同ドン・ホ礦區 Dong-Ho (Port-Courbet)												
Sarah	Mme Louise Faussenagne	二、〇四七	一、二五八	一一、六五〇	一九八、〇〇〇	—	—	—	—	一	一八	三六
同ドン・ヂヤオ礦區 Dong-Giao (Ninh-Binb)												
Dong-Giao	Héritiers Phai M. Delangun	一、八三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
褐炭合計		五、七三九	五、五九八	四八、六〇〇	八二七、〇〇〇	—	—	—	—	三	八八	一〇三
總合計		一、三六二、九七〇	一、三九〇、三五九	九、四七九、五〇〇	一六一、三三三、〇〇〇	五二六、〇八六	七一〇、一九三	四、六三一、七〇〇	七八、七六〇、〇〇〇	二三九	九、〇八四	一六、四四八

註、本表數量欄の數字は、一九二六年中各炭礦會社によつて爲された採掘成績により作られたもので、概算價格はその數量と、各炭礦會社によつてなされた各種燃料礦物に對する標準價格とにより作成されたものである。この價格はピアストルである。更に法への換算は一九二六年に於けるピアストルの平均相場卽一七法〇二に據り行はれた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三節　印度支那に於ける主要炭礦の發達狀況

一、無　煙　炭　礦

イ、東京アロン灣及ドンチュウ低地々方

東京炭礦株式會社

本炭礦の新事業　本社は現在大規模の新事業を遂行しつゝある。

カンフア（Campha）港に於ては二船舶の繫留所として長さ三〇〇米突の岸壁設備は既に決定され其の準備作業である豫定岸壁の後方に當る土砂盛上作業は急速に進捗してゐる。今迄船舶は常に入江内に碇泊してゐたが、一九二七年末迄には岸壁に繫がれる樣になるであらう。

カンフア港の篩分工場及洗鑛場は既に出來上り、カンフア坑及モンヅオン（Mong-Dzuong）坑採掘高の一部を處理してゐる。

又ストック管理に關する本社の三政策の中、二策は既に一九二六年末に設備されてゐる。又港に於ける積荷作業に關する四必要政策の中二策も一九二七年の第一四半期中には設定せられた。

四千キロワットの新中央動力所は鴻基及ハトユウに連絡するに至つた。カンフア港への運輸線路の敷設は一九二七年二月に出來上つた。

各採掘地狀況　各露出坑に於ける採掘作業は雨季に於て著しく緩かであつた。殊にカンフアの大露出坑の中央部に於ては異常なる地崩れのために緩慢の度がひどかつた。

ハ・ラム（Ha-Lam）區露出坑の採掘は一九二五年以來急速に發展して來た。一九二六年に於ける本區の生產高は約一〇〇、〇〇〇噸に達してゐる程である。生產物はハトユウを經て一五基米突の道路を鴻基へ送られてゐたが、ハラム－鴻基への直線路（四基米突）が一九二七年に出來上ることは疑の無い事實である。

尙一九二六年に於ける注意事項はモンヅオンの地下坑の採掘である。本坑は平均のとれた且豐富な新礦床が露出してゐる。反對にニャ・ハイ（Nga-Hai）區地下坑の採掘は從前と異ならず何等の進步を見ない。

一九二六年末に於ける本社各礦區の產高は大體次の通りである。

（一日當り五百噸を單位として表す）

露出礦の採掘高	
カン・フア（四露出坑）	三
ハト・ユウ（三　同　）	一
ハ・ラ　ム（一　同　）	一
地下礦の採掘高	
モン・ヅオン	一
ニャ・ハイ	〇・三

新採掘區及採礦の準備施設　セルフ山區方面に發見せられた新礦脈に付て、會社は第一八〇號乃至二四〇號の間に四箇の段階に分ち露出礦を採掘する準備にかゝつてゐる。採掘物は五噸のスキップを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

使用して水平線迄下す豫定である。一九二七年中には新礦區の採掘が充分行はれる筈である。

セルフ山の北東レイモンド・フエヲンの採礦地より六基米突許りの地方に重要な新礦脈が發見せられた。現在その採掘に關して研究中である。

最後にハトユウの露出礦より北へ直線にて三基米突の處にあるバン・ヤン（Bang-Yang）の山業に行はれた探礦の結果幾多の礦床が發見されたことを附加して置きたい。

ドン・チユウ炭礦會社

本社の管理者は一九二六年三月以降印度支那鑛業及冶金業會社（La Compagnie Minière et Métallurgique de l'Indochine）の總轄管理を爲すことに決定した。本社の一九二六年の生産高は一四二、〇〇〇噸で、前年に比すれば極く僅かな減小である（二%）が、一九二七年にはその第一四半期の産高四三、七一三噸より見て多分前年の産額を凌駕するであらう。

クロテイルド・ルイズ礦山

従來本社の篩分工場の能力は一時間に三〇噸のもの一つであつたが、今度一時間當り六〇噸の處理能力ある新工場を設立することになつたから、一日當り十時間として本社の處理能力は計九〇〇〇噸に達する。本社は又一方礦山から港へ連絡する鐵道による輸送増加を研究してゐる。現在一日當りの輸送能力八噸乃至九〇〇噸である。又一時間當り百噸を處理する洗滌場用具が佛國へ注文された。豫定に依れば一九二八年の第一四半期中には實際作業に入る筈である。洗滌に必要な動力を供給し、工場及ウオン・ビ（Uong-Bi）の燈火を供給する六百馬力の中央動力所は設備され、一九二七年末には實際化するであらう。又ホル・ルドンに於ける貨物の積卸は施設に依つて優に一日當り千二百噸を積卸し得る。

以上本社は各種の部外的施設の發展に惠まれ、近き將來その豐富なる礦脈の所有と共に著しく産額の増加さるべき事は疑ひのない事實である。

今日迄は固より本社の採掘は、クロテイルド・ルイズ礦山のみに限られてゐたが、今後その運送防法が備つた時は先づ第一にフランソイズ（Françoise）採掘許可地に於ける採掘が開始されるであらう。而してそれに續く西部の許可地に及ぶべきことは明かである。是等の地域はその有望なる礦脈の所在地として著名である。

エスポアール礦山　本礦山の生産物は主として粉炭であるが、本山は一九二六年に於ては稍前年より産額の増加を示してゐる。即ち二七、八〇〇噸から三四、八〇〇噸に昇つてゐる。石炭の運送は幅〇・六〇米突の道路に依りソン・ダ・バ（Son Da-Bach）の棧橋迄送られてゐる。同地の諸施設は一九二六年種々の點に於て改善された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暹羅

□前期籾收穫概況

暹羅全國に於ける籾收穫の年報が發行されたが、總收穫面積及び總産量の兩者に於ける健實なる增加の記錄に停歩を印してゐる。輸出七州に於ては、被害は全く異常な大面積に及んだ。其他の七州に於ては植付面積は其前年に及ばず、ナコン・スリータマラート及びナコン・ラーヂャシマー兩州は特に影響してゐる。

全國に於ける被害面積は、植付面積の一二・七％(前年の三・八％に比し)に達し、七輸出州に於ては一九％に垂んとした。因に後者七州の從來の同歩合を列記比較すれば、前年は四・一％、一九二五―二六年は一六％、一九二四―二五年は七・八％、一九二三―二四年は一五％、一九二二―二三年は四・四％である。

然し植付面積は引續き增加を辿り、全國總計七、三一九、三七六英反に達し、其增加は一九二六年に比し八二、六六四英反、一九二五年に比し四七八、〇二四英反であつた。七輸出州に於ては總植付面積は四、三三七、一八〇英反で、一九二二年(三、六三一、四六八英反)以來、齊一なる增進を示してゐる。

一九二七年に於ける全國の總收穫面積は六、三八四、一七二英反で、前年に比して五七七、七五六英反、一九二五―二六年に比し四五七、一八〇英反の減少である。七輸出州の收穫面積は三、五一三、二八〇英反にて、其前期に比して五五七、七二〇英反の減少であり、一九二四―二五年及び一九二一―二二年よりも亦低減してゐる。

全國の産量は籾四、五一五、九六七噸にて、一九二六―二七年より六六八、五九三噸の減落であるが、一九二五―二六年よりは三五六、一四三噸の增加である。畝當りの産量は一九二七年には四・七七にて、一九二六年は五・〇〇擔、一九二五年は四・六八擔、一九二四年は五・一五擔、一九二三年は四・九六擔、一九二二年は四・八二擔であつた。

七輸出州の總産量は二、六二二、三九〇噸にて、其前年より四二〇・三一〇噸、一九二四―二五年よりは二二二、〇〇〇噸の減落であつたが、一九二五―二六年よりは四一二、四九〇噸の增加である。然しこの凶年に於ても、尙良作を得た一九二二―二三年と比較すれば、植付面積に於て一九・四％、産量に於て一〇・四％の增進を見てゐる。該七州の畝當り産量は、一九二六―二七年の五・〇二擔、一九二五―二六年の四・三三擔、一九二四―二五年の五・一五擔、一九二三―二四年の四・五擔、一九二二―二三年の四・六擔に對し、前期は五・〇一擔であつた。

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を州別に見れば、プラチンブリー及びナコン・サワンは最低であつて一五・六擔、ピサヌロークは六・三擔であつた。ピサヌローク州のピサヌローク縣は一哘當り七・五擔に達した。一哘當り四・四擔、アユテイアは之に亞いで四・七擔、次はラーチブリーにて五・〇七擔、クルン・テープは五・三擔ナコン・チャイスリーは

（七月二十八日　盤谷タイムズ）

英領馬來

□新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの經過並に將來（上）

新嘉坡の總人口は約五十萬と稱せられ、内支那人は約八割に近き絕對多數を占むるのみならず、亦各方面に亙る彼等の勢力の偉大なる事に想到する時は、實質に於て正に支那人の都市なりと稱し得べし。斯く絕大なる優位を占むる支那人は、新嘉坡市場に輸入消費せらるゝ本邦商品の最大なる顧客たるは勿論、新嘉坡より商品の供給せられつゝある地域卽、馬來半島、シャム、英領北ボルネオ、西部蘭領ボルネオ、スマトラ東海岸其他に對する本邦品の最も有力なる仲介取扱者の地位を占むるところにして、然かも當地より本邦に輸出せらるる物資の多くは又彼等支那人の手を經る事によりて便宜多しとせられ、此の他在留邦人中には右貿易關係以外、彼等支那人を主たる對照として幾多の生業を營むもの又少なからざるところなり。

事情斯の如くなれば、新嘉坡に於ける邦人並本邦關係は殆んど支那人を對照としてのみ存在の意義ありとすべく、延いては過般我國の濟南出兵を動機として火蓋を切られたる、新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの惡影響は、過去二箇月に於て甚だ深刻なるものありたるのみならず、未だ近く終熄するものとも豫想し得ざる今日に於て、將來に考へ及ぶ時は誠に憂慮に堪へざるものあるは又已むを得ざる處なるべし。

尤も當地經濟界の心臟として知らるゝ護謨の市價が、昨年來不況を續け來れる折柄、本年二月護謨輸出制限撤廢の論議せらるゝに到りて更に著しく下落の步調を辿り、卽ち本年一月初め現物七十仙を唱へたるもの、二月十日倫敦に於ける右護謨輸出制限撤廢に關する情報の當地に傳はるや、俄然五十五仙に慘落し、同月中五十仙を割りて四十六仙半となり、暗雲低迷の狀態を出現せるのみならず、更に四月四日英首相の本年十月末限り護謨輸出制限撤廢確定の聲明を發するに到りて、暴落に次ぐに暴落を重ねて、一時は二十八仙に迄慘落するに到れり。

如斯馬來市場のバロメーターたる護謨の慘憺なる不振の結果とし

て、一般購買力は彌が上にも減退を來し、商狀頗に振はず將來益々不景氣の深刻を豫想せられたるに際して更に前記ボイコット勃發せる事とて、支那商人間にありてはボイコットを口實として注文品の取消し、荷爲替の引受拒絶、或は支拂の延期等に利用せるもの少なからず、又事實當時經濟界の現狀に於ては、常時に見るが如き程度の商品の消化力は到底期待し得ざる所にして、大いに減退する事は當然なりと斷じ得べく、日本品と言はず外國品と言はず一般商品の賣行は著しく減退すべきを以つて、過去數回に繰り返へされたる日貨ボイコット當時に見受けたるが如き、彼等支那人間に於て同志の目を避け秘密裡に本邦品の取扱をなすが如き必然の需要若くは欲求に處すべき餘儀なき非常手段に訴ふるが如き事例は、今回に於て甚だ稀なりとせらるゝ所なり。

卽今回のボイコットの影響は甚だ大なるものありと雖も、斯く深刻味を助長するに與りて力あるものは、護謨の安値より來る馬來經濟界の不振に外ならず。此の意味よりして護謨の市價好轉に向はゞ例へボイコット運動の永續するが如き事ありとするも大に緩和するに到るべきは一般の期待する所なり。

乍去現狀に於ては、護謨の市價の回復を豫想するに足るべき何等の好材料を見出し得ざるを以つて、當地の景況は近く回復するものとの見込立たず、從つてこの現象はボイコットの繼續に對し助長の原因となることありとするも、終熄に導くべき何等の理由たり得ざるべし。

目下ボイコットの情勢は將に斯の如くにして、今後益々惡化を來すべき傾向は此を認めざる迄も又近く終熄するものとは豫想つかず、當分現狀の儘推移するものと一般に豫期せられつゝある所にして、或は本年一杯はボイコット氣分より離脱し得ざるべく豫測するものあり。

尙前記し來れるが如き復雜なる市場關係より、本邦品の當領に於ける輸入は著しく減退を來しつゝありて、ボイコット運動の勃發せる本年五月に於ては當領政府發行の統計月報に徴するに、本邦よりの輸入額二、二五四、七三八弗にして、前月卽四月の輸入額二、九九四、八〇八弗に比較する時は七四〇、〇七〇弗の減少を示せり。然かも五月の輸入額中には、當地輸入商よりの注文取消の間に合はざりしものをも含まれ居るのみならず、當地に荷揚げせられ乍ら倉庫内にストックせられ、處置に窮しつゝあるものも多量含まれ居る譯にて、邦貨の輸入貿易上深刻なる影響を數字に見るは六月以後と稱し得べし。

而して五月、六月を通じて當地市場に於ける日本品の賣行あるべくして取引の實現を見るに到らざりし金額は、小賣小卸商の賣行狀態、在留邦人輸入商の輸入狀態、並に販賣狀態、更に在留外人主として支那商の邦貨に對する取扱狀態等の實際に就て調査研究せる結果に依れば先づ四百萬弗と推定し得べし。卽ち五、六月の二箇月に於て當市場に於ける邦貨の賣行減少額は前記の巨額に達し、且つ七月以後現狀の繼續する限り從來毎月本邦品の輸入額は大體三百萬弗見當なりしに比較して漸く一百萬弗見當に過ぎざるべく、卽ち例月に比較して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一箇月二百萬弗内外の輸入減少を來すものと豫期せられつゝあるものゝ如し。

右の如くにして本邦商品の當領に輸入せらるゝものゝ殆んど全部は、大小の差こそあれ打擊を蒙らざるはなく就中左記商品の受くる影響は特に大なりとすべし。

鹽干魚　綿絲布　莫大小　セメント　燐寸　陶磁器　硝子器
琺瑯鐵器　小麥粉　藥品竝に賣藥　ペイント等

即ち在留支那人を顧客とし、又は支那商を通じて從來販賣せられ來れる品種に屬するものは、特に打擊の大なる事明瞭なる所にして、只各種農園に對する供給品は、支那人經營の農園に對するものは別として比較的影響は大ならざるが如し。

斯くして本邦品の輸入は著しく減退を來して、關係内外邦人商社の蒙る損害は計るべからざるものあり。特に當地在留の中小商人にありては、一流商社の持久に耐へ得べきに比較して痛苦の程度も以外に著しく、中小輸入業者中には取扱商品を從來賣込み來れる支那商に引渡し不能となりたる爲め、竝に不景氣なるが爲に之を他に振り向けて處分を爲し得ざること、竝に一般的賣行の著しく減退を來せる上に更に從來の貸付回收極めて困難なる事情等の理由にて、結局荷爲替の決濟に支障を來し、僅かの金融にも困難せるもの少なからず、又今後此の狀態にして繼續する場合には、益々多く此の種の邦商續出するに到るべし。

更らに邦人雜貨小賣商は新嘉坡市中に於て約二千軒を數へ得べく、主として在留歐米人を顧客とする比較的高級本邦美術雜貨を商ふものゝ二三を除き、他の大部分は日常支那人を主要なる顧客となし來れる關係上、ボイコット以來支那人は全々出入せずと稱し得べきを以て從つて賣上高は從來の三分の一乃至四分の一に激減し、店によりては賣り喰ひすら永續し能はざる狀態なれば全く前途悲觀せられつゝあり。此が裏面には支那人を家主とする關係上、不當なる家賃値上問題或は家賃滯納を理由とする苛酷なる追出し通告に惱めるものあり、或は店員の給料不拂其他表面に知られざる悲慘なる幾多の問題を惹起して、意外なる方面に迄も累を及ぼしつゝある一事は又見逃すべからざる影響の一なるべし。（續く）

□サラワク王國の資源と其の貿易（下）

鑛　物

本領に於ける鑛物資源が外國より流入する資本によりて開發せられざるべからずと云ふ事は、從來屢々論究されたる問題にして、最近迄政府が資本の不足によりて甚だしく障碍を受けたることは頗る著目すべき事柄である。斯くてサラワクに於ける鑛物（但し石炭以外の）採掘に關する獨占權は一八五七年ボルネオ會社に許可せられた。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同社はサラワク河の上流一部分に限り可なりの成績を擧げ得たるのみである。實際、本社が其採掘權を好く利用せるか否やに就いては專問者以外の批評の限りではない。けれども、全領に對し完全なる試掘作業が現在以上に進められゝば進めらるゝ程鑛業界に新なる光明を見出し得べくと想像せらるゝ。

山岳の頂上迄密生したるジャングルを以て俺はれた地方に接近不可能なることは明かである。而も此事たる本領内の試掘を河川の沿岸附近にのみ限れる主要因を爲して居る。けれども、旅行者の手記を仔細に讀む時に、或は錫鑛が採掘せられたりとか、今日までカヤンに依て採掘せられし鐵鑛の品質良好なること、採金したる根跡状のものが屢々河川に發見せらるゝ等更に數多の鑛物資源がサラワク河上流地方に未發見の儲存在することは眞に以て不思議なる事實である。

一八七〇—一九一六年間、アンチモニーは價額一、九〇五、〇三一弗程輸出された。之等はジャムサン、ブアン、ピディ及バクの諸地方より産出し一八七〇—一八九九年間に輸出されたる一、一五九、九六六弗はサラワク河上流なるテゴラより産出したるものである。

金は一八九八—一九二一年サラワク河沿岸なるバウ竝にピディ鑛山より二四、八二三、三二八弗輸出せられた。此鑛山は後に閉鎖されて、機械類も亦取毀たれて終つた。

石炭はサドン河に在るシムジャン及ブルネイに近きブルークトンに於て政府によつて經營され、今日迄大量には生産せられたが、領内の鑛物資源を開發すると云はんより、單に國内の需要を滿すに過ぎなかつたのである。

サラワクに在る河川の沿岸には大抵炭田が發見せらるゝ。取り分け、バタン・ルパーのセランテイク及ビントウルーの海岸附近に最も顯著である。之等の石炭は品質良く、尠くとも日本産のものに匹敵し否日本炭より稍優良なるものゝ如くである。銅鑛は一八七三年五月サラワクガゼット中にカラカ地方に發見せられたる旨記載されて居る。

石油

一九〇九年全領に亘る石油採掘權はアングロ、サキソン石油會社の手に獲得せられた。其後數年間探査竝に試掘作業を經て一九一四年第一回の輸出を爲し、數量四五、〇三九噸、價額三七七、五三七弗程輸出された。石油の輸出量は迅速に增加なした。一九二一年即ち一一七〇、二七二噸、七、五四九、一四〇弗、一九二二年には四〇〇、〇〇〇噸以上生産せられた。

石油事業の發達は、給油地點よりして大不列顛保護の任に當る好地位に在り、東洋に於て英國海軍の需要に備ふる爲め實に重要なる意義を有するものである。

此處に於てか、一九二〇年サラワク油田會社と稱する獨立の會社が設置せられ、非常なる努力を以てミリ竝にバラム河に於ける現油田を開墾した。又石油湧出の根跡ある他の河川附近に於ても盛んに試掘が行はれた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

森林

サラワク全領に於て採取し得らるゝ木材の量は頗る多い。次の章節は森林保護官（Mr. J. P. Head）の好意によりて提供せられたものである。

サラワクの森林は二樣に分類せらるゝ。

(A) 海濱森林
(B) 內陸森林

後者は又二千呎以上の低地森林、二千呎以上の高地森林に分たれる。更にダイヤ及其他の種族の移動耕作によりて生ずる補助森林數千平方哩內外がある。

海濱森林

マングローヴ森林は可なり廣汎なる區域に及んで居る。之れの大部分はレジヤン河の三角洲により、サラワク河三角洲及ブルネイ灣內のサラワク領內に小區域づゝ存在する。マングローヴ沼澤地に發生する種類は多く Plizophoraceae に屬する。而して是等の種類は薪材と木炭の良材となる。

カツチは樹皮から摘採される。薪材竝に木炭の現生產高は年約五萬噸で、將來は每年五十萬噸の定量を增產することが出來る見込みである。薪炭は、マングローヴ木炭にとりて最も大なる市場であるが、現今輸出は少しも行はれてゐない。

海濱森林中約五萬英反は十分測量も出來、森林保留地を形成して居る。

內陸森林

高地森林は單に現在のみならず、將來共原生の儘なるが故に、此處には低地森林のみに就きて記述せん。

此森林地帶には最優良材を提供する三種類がある。中に就き、最前者は森林中の約六十パセントを占めてゐる。此種に屬する木材は樹脂分多く、時に芳香を有して居る。而かも木質最柔且最輕のものより最硬最重に至る、又色彩に於ても帶白、黃、灰、淡黃色より暗赤竝に暗褐色に至る雜多の種類がある。

次に Lauraceae 中には特にブリアン（Ensideroxylon Zwogeri）に就き記述をする。ブリアンは最も强靱なる樹木の一として著名、色彩褐色を呈し、最重最硬、耐久性强く、木理眞直ぐにして容易く割くことが出來る。內國消費量は年約一萬五千噸で、輸出は殆んど行はれてゐない。

低地森林は遍く新式の伐出方法に依りて伐採せられてゐる。而して之れはルンドウ河とダトウ岬間の西方部、リンガ河、マングローヴ森林、後方なるレジヤンの三角洲、ビントウルーに近きケドウロンに發見せらるゝ。上述の箇所は總て水運の利便あれども、大型船舶の就航は何れも不可能である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

森林保有面積の正確なる數字は入手し得ないが、優に五千平方哩を超え、一英反當り二千平方呎を產出し得る見込である。

次表はサラワクに產出せらるゝ著名木材の名稱を掲げたものである。

Dipterocarpaceae.

土名	學名
Chengal	Balanocarpus esp.
Giam	Hopea 〃
Kapur	Dryobalanops 〃
Keruing	Dipterocarpus 〃
Meraka	〃 〃
Meranti	Shorea 〃
Merawan	〃 〃
Engkabang Pinang	Isoptera 〃
Penyiau	Shorea granli flora
Manbesi	Hopea esp.
Resak	Isoptera 〃
Seraya	Shorea 〃
Tekam	〃 〃
Urat Mata	Parashorea
LEGUMABOSAE.	
Merabau	Intsia esp.
Keranji	Dislium 〃
Sepetir	Sindera 〃
Tapang	Koompasia Parvi flora.
Mangeris	〃 Malaccensis
KAURACEAE.	
Belian	Eusideroxylon Zwageri.
Kopla	Cinnamomum esp.
Medang	Many species chiefly Cinnamomum
MELIACEAE.	
Nyirok	Xylocarpus esp.
COMBRETACEAE.	
Taruntum	Lumnitzera
MORACEAE	
Tampinis	Sloetia Sideroxylon
GUTTIFERAE	
Penaga	Mensua ferra
Bintangor	Calophyllum
ANACARDIACEAE.	
Rengas	Melanorrhoea esp.
ROSACEAE	
Selunur	Parinarium esp.
CASUARINACEAE	
Ru	Casuarina equisetifolia
CLACACEAE.	
Petikal	Coharostachys Amentacea.
Embawang	Scorodocarpus borneensis.
LOGANIACEAE	
Perepat	Fagraea esp.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸入貿易

サラワクの輸出貿易は詳細考究を爲す必要がある。併し輸入の方面は餘り重要でない。

當領輸入貿易の增加は急速なる人口の增殖によるもので無く、歐人會社の着手に係る工業の發達に必要ある機械類の輸入に由るものである。サラワクは製造工業國に非ざる關係上原料品の輸入は少しも行はれてゐない。

一九二〇年鐵器、機械類、化學藥品及自動車の輸入額は三、五〇〇、〇〇〇弗に上り、スティーム及モーター・ランチ四五〇、〇〇〇弗、正貨一、六二五、〇〇〇弗、製造工場用諸雜品三〇〇、〇〇〇弗內外、都合約六、〇〇〇、〇〇〇弗で總輸入額の五十パセントを計上して居る。

財政及其他の狀況

上述したる處により、サラワクの創世時代より現在の繁盛時代に至る迄は殆んど何等の障碍をも蒙らずに發展し來つたのである。玆に於てかサラワクの財政を考究することも重要と思惟するが故に以下簡單に財政狀況其他を記述することゝする。

一八七〇年—一九二〇年歲入歲出表

年次	歲入	歲出
一八七〇年	一二二、八四三(弗)	一二六、一六一(弗)
一八八〇年	二二九、七一八	二〇三、五八三
一八九〇年	四一三、一一三	三六二、七七九
一九〇〇年	九一五、九六六	九〇一、一七二
一九一〇年	一、四一七、三六〇	一、二八三、〇六三
一九二〇年	二、六四六、二六五	二、三五二、三〇〇
一九二一年	二、八四〇、一七一	二、三三一、六〇五

上揭數字を徵するもサラワク開發に要したる費用は必ずしも巨額ではない。

斯くの如く、サラワクの開發に要せし費用は內・外國公債に賴らずに行はれたる事は着目に値する。然れど、本政策が果して最も適當したる方法なりしか否やに就きては考慮すべき問題である。けれども現在サラワクは國債なく、所得稅をも賦課して居らぬ事は事實である。

一九二〇年サラワクの資產は二、五〇〇、〇〇〇弗、同じく負債は一五〇、〇〇〇弗以下である。上記資產の他に政府は英國に、投資金を保有して居る。

サラワク國王は本領を開拓するに歐人資本によりて爲すを不適當とし、今日尙依然として之れを主張して居る。斯かる陳述は絕對に眞實ではなく、又過去に於て本領の開發を在留民の不利益に化することを慮りて提唱せられたるに相違なき事と信ずる。

既述せる所は、前任者同樣土民の權利を擁護せん爲めに、サラワク國王の採れる政策にして、之れに對しては何等異論無き所である

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

然し乍ら、僅かに人口六十萬、面積五萬平方哩の小國なることを想起すると同時に、廣漠たる天地に密度稀少なる地方に於ては、王領の進歩發達は土民の權利を侵害すること無く容易に企てらるゝ事が認められる。

現在の制度否寧ろ適切なる農業組織の定まらざる現狀に於て、サラワク住民の大部分を占むるカヤン、ダイヤの兩種族は七年目に一回米作地を使用する。從て、其の結果約三百五十萬人に對する米作地を保有することゝなる。

三萬七千平方哩の面積を有する爪哇は人口約四千萬人以上を支へ、尚ほ其上茶、規那、砂糖、煙草、護謨及び叢林產物の生產に對する餘地を與へて居る。依是觀之、サラワク領内に於ける開發が土民權を障害せずして尤に之れを行ひ得ることは確實と思はれる。

サラワクは英國の資本に依て開發せられざるべしと主張してゐるが、サラワク政府が其發達を助成する爲め如何程此の方面に努力したるかを概説しやう。

從來、石油其他の鑛物に對しては採掘權を讓與し、農業竝に之れに附帶せる叢林產物の加工利用に示して各種の獎勵方法を講じた。而して之等は或るものに於ては好結果を得、他のものに於ては失敗をした。

サラワクは確かに交通機關に缺けて居る。而して唯一の交通機關として多數河川に依る他はない。幹線道路は國内を通じて必要であり、又主幹道路に連なる河川と多くの河川の間に在りて、積出港に引入る河川との間に跨る未開のジャングルを切開く爲め支線道路が大に必要である。

領内の諸河に沿ふ土地の大部分は、粟其他の作地として土人によりて使用されてゐる、之れが爲め土人用保留地を浸蝕せずに充分廣き土地を獲得することは頗る困難である。上述記載の道路完成の暁には全然新天地が開發せられ、サラワク・プロパーの西方地域を除き恐らくは土民保留地を蠶食せずに開發せらるゝであらう。

中止中の鐵道敷設工事を繼續せしむることは一の問題である。現在の營業線は内地間の運送に重寶ではあるが、全領に亘りて工事を續行するに先だちて吾人は道路網の完成に俟たねばならぬと思惟するものである。

以上は農業發展の新天地と謂へる立場よりサラワク王國の企業可能性に付き略述せんと努力したるものであるが、加ふるに予は當領の各種鑛物及石油資源の採掘狀況に就きても研究し、尚ほ簡單に政策を引用した。吾人は英國人が本領開發に着眼せられんことを切望する。而も大規模に產業を經營する爲め國内に於て潤澤に勞働者を募集し得る能はずと云ふ事、併し乍ら、比較的近距離に屬する支那及爪哇に於て相當の費用を以て無制限に勞働者が得られることを十々承知して置いて戴きたい。

最後に、吾人は現國王チャールズ・ヴァイナー・ブルーク殿下に關し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其關知せる所を簡單に記述する事とする。

現國王は世界大戰未だ終熄せず前途尙暗澹たる年（一九一七年）父王の後を受けて王位を繼承したるものである。才智夙に優れ、一九一九―二〇年米作不況に際して飢餓によりて襲れる苦艱を脱して國内を無事安泰たるを得せしめた。現在亦從來遭遇せざる商業の不振期を脱出せん爲め極力努力なして居る。

個人的に彼を知れる所の人は、先づ王が安固なる基礎の上に立ち、商業上の位置を世界的に引上けんとする政策に基づきてサラワクを統御し、一方土人權の尊重に依りて當領の資源開發を奬勵し產業を助長せしむるであらうとは萬人の齊しく認むる所である。（完）

蘭領東印度

□一九二七年度に於ける蘭領印度の經濟情勢

本文は爪哇銀行總裁トリップ氏が同行の年度報告書中に述べて居る主として蘭領印度の經濟界に關するものゝ抜粹である

一、市價基準の低落

一九二七年は、蘭領印度にとつては順調な年であつた。然し順調であつたと云ふものゝ主要輸出物產の市價が繼續的に下落する一方であつたのは一體如何云ふ譯であるかの反問が起る。殊に本年の始めに至り下落は益々甚しく、そもく、本下落は突發的のものではなく、蓋し原因は久しき以前より既に釀成されて居たのである。而して蘭領印度は、其の繁榮の財政及經濟的基礎を浸されなかつたとは云ひ、新しい低い市價基準に自ら順應するの止むなきに至つたのである。

斯る狀態に陷るであらうと云ふことは、既に前以つて其の徵候が見えて居り、且つ再三豫言されたことである。

私人事業家は逸早く此の徵候を見てとり、其が警戒並に非常準備を怠らなかつた故に、左程の難狀に陷らなかつた樣である。然し國庫財政は直に困難に遭遇し、本財政難は既に抜數年間の豫算面に現はれて居たことで、何等不思議とするに足らないのである。

二、砂糖と護謨

次にトリップ氏は砂糖及護謨の輸出數字を示して居る。

	一九二四年	一九二五年	一九二六年
砂糖	四九一、一〇〇、〇〇〇盾	三六九、五〇〇、〇〇〇盾	二六九、六〇〇、〇〇〇盾
護謨	二〇三、五〇〇、〇〇〇	五八六、五〇〇、〇〇〇	四八四、九〇〇、〇〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二四年以後に於ける砂糖の減退額は、一九二五年の如く異常の額には達しなかつたとは云へ一九二六年に於ても亦其の前年と同樣に輸出物産中の第一位を占めるを得た護謨の增加額により優に六〇、〇〇〇、〇〇〇盾凌駕されて居るのである。

一九二六年に於ては、一九二五年の一五・五％、一九二四年の一九・一％及一九二三年の二八・一％に對し總輸出額の一六・四％が和蘭へ仕向けられて居る故に、百分率を以つて見る時は、和蘭への輸出は增加を示して居り、之れはコプラ、護謨及錫、茶の輸出增加に依るものである。之等輸出物産の輸出金額は若干の減少を示して居り、即ち一九二五年の二七五、九〇〇、〇〇〇盾より一九二六年には二六一、五〇〇、〇〇〇盾に減つて居る。

增加の最も顯著なのは英國の三・二％である。百分率は、一九二六年に於ては一〇％及一九二五年に於ては六・六％を示して居る。又該年度に於ける輸出額は各々一五九、二〇〇、〇〇〇盾及一二二、〇〇〇、〇〇〇盾である。英國が蘭領印度物産購入者の第五位より第四位に躍進したのは主として護謨の大量輸入に依るもので、茶の增加も亦之に貢献して居るのである。

三、輸出の徑緯

左表は、一九二五、一九二六及一九二七年の各年に於ける重要物産八種の輸出狀態を示すものである。

※註一九二七年度の數字は漸定的のものである。

	百萬盾			總輸出額の百分率		
	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二五年	一九二六年	一九二七年
砂糖	三六九・五	二六九・六	三六五・三	二〇・七	一六・九	二三・八
護謨	五八六・五	四八四・九	四二三・一	三三・八	三〇・五	二五・七
石油	一七三・〇	二〇三・二	一五二・一	九・七	一三・八	九・五
煙草	一一〇・五	七二・九	一二六・八	六・二	四・六	七・九
コプラ	一〇二・四	九七・〇	六八・九	五・七	六・一	四・三
茶	七四・四	八二・五	九〇・二	四・二	五・三	五・六
錫・錫鐵	七七・九	八九・七	九四・一	四・四	五・六	五・九
珈琲	六八・二	七〇・三	七四・三	三・八	四・四	四・六

前記三箇年間に於ける本諸物産の合計輸出額は左の如くである（盾）

一九二五年　一、五六二、四〇〇、〇〇〇
一九二六年　一、三七〇、一〇〇、〇〇〇
一九二七年　一、三八三、七〇〇、〇〇〇

一九二五年後の減退は殆んど總て護謨價の下落に起因して居るもので、其の間前記數字よりして一九二七年度の市價の下落は、同年に於ける生産の增加に依り相殺されたと云ふことが判る。一九二七年度の總輸出額が、多少なりとは云へ一九二六年度のそれと比較して減退を示して居るのは、前記八種以外の物産に起因して居るのである。後に說明するが如く、蘭領印度に於ける財政狀態に變調を來したのは主として本年の初めに起つた市價の暴落に據るものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二七年度の經濟的水準を維持する上に大に與つて力あつたものは、砂糖及護謨の生産增加であつた。側ら砂糖に於ては、生產者は一九二七年に於ては一九二六年よりも概して好價で賣却することが出來た。一九二六年に於ては一、九六〇、一七一噸の産額があつたのであるが、一九二七年に於ては二、三五九、九九三噸を生產し、依つて一〇八、〇〇〇、〇〇〇盾以上の增收を見たのである。護謨に就いて見るに、本物產の一九二七年度の輸出額は一九二六年の四八四、九〇〇、〇〇〇盾に對し四一二、一〇〇、〇〇〇であるが故に、一九二七年に於ける市價下落の影響は、殆んど生產增加に依つて相殺されてしまつたことが判る。

四、輸　入

輸入は、一九二六年に於ては其の前年より增加して居り、一九二七年度の貴金屬を除く私人の輸入總額は、一九二四年の六七八、三〇〇、〇〇〇盾一九二五年の八一八、四〇〇、〇〇〇盾及一九二六年の八五五、七〇〇、〇〇〇盾よりも猶一層の增加を示して居る。本增加は、土人の購買力が益々旺盛になつたことを證明して居るもので、殊に、米及其他の土人農產物の作柄良く且つ其の市價が良好であつた爪哇に於てそうであつた。外領に於ては、護謨價の下落に依り土人の購買力は多少減退した。

輸入稅の示す國庫收入の數字は、前述の狀態を良く表示して居る。が然し並に考慮を置かねばならないことは、煙草卷紙の引上輸入稅が一九二七年一月一日から完全に實施されたことに依つて起る影響であつて、之の引上に依り政府は年四、〇〇〇、〇〇〇盾の輸入稅の增收を期待して居るのである。

輸入稅の總徵收額は左の如くである(單位盾)。

一九二七年	七九、六五〇、〇〇〇
一九二六年	七六、七七〇、〇〇〇
增　收	二、八八〇、〇〇〇

內爪哇マヅラの分は左の如くである。

一九二七年	五二、五〇一、〇〇〇
一九二六年	四八、三六〇、〇〇〇
增　收	四、一四一、〇〇〇

外領に於ては左の如くである。

一九二六年	二八、四一〇、〇〇〇
一九二七年	二七、一四九、〇〇〇
減　收	一、二六一、〇〇〇

猶太平洋が、相互間の需要な益々多く供給する中心地となりつゝあることは確かであつて、從つて對歐洲貿易關係は漸次稀薄となりつゝある模樣である。

一九二七年度の輸入貿易は、一九二六年よりも非常に順調であつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。然し、之は一方に於ては面白からざる要素即ち過大の註文及び綿價の暴落が其の影響を餘り感ぜしめなかつたこと及他方に於ては爪哇の土人購買力が著しく改善されて居る事實に徴して何等不思議とするに足らないのである。輸入業が護謨價の下落護謨輸出の減退に大に影響されることは怪しむに足らない。

輸入業者としては、一九二七年は、主要輸出物產の間斷無き價格下落の結果、困難な年であつた。

國家財政は、一九二七年に於ては有利に進展するを得た。

要するに、一九二七年は一九二六年と殆んど同一の狀態にあつたと云ふことが出來る。即ち本兩年は、異常な好景氣の年であつた一九二五年には遙かに劣つては居るが、一九二四年と比較する時は進展を示して居る。

之れを明瞭に示す爲に、一九二四年乃至一九二七年の金、銀を除く總輸出入額及輸出超過額を示せば左の如くである(單位盾)。

	輸入	輸出	出超
一九二四年	六九八、一七〇、〇〇〇	一、五四三、七三〇、〇〇〇	八四五、五六〇、〇〇〇
一九二五年	八三九、五二〇、〇〇〇	一、八〇三、三九〇、〇〇〇	九六三、八七〇、〇〇〇
一九二六年	八九六、五五〇、〇〇〇	一、六一一、一八〇、〇〇〇	七一四、六三〇、〇〇〇
一九二七年	九〇〇、七二〇、〇〇〇	一、六〇四、六六〇、〇〇〇	七〇三、九四〇、〇〇〇

本表中輸入が著しく增加して居るのが目を惹く。概算に據れば、蘭印の三重要物產である護謨砂糖及錫の一九二七年度に於ける總生產數量に對する總收入は、若し同年が現在の如き市價水準にあつたとしたならば約二八〇、〇〇〇、〇〇〇盾の減少を示すであらうと思はれる。而して二一四、〇〇〇、〇〇〇盾減少したに過ぎなかつたが、之は護謨價の下落に起因するものである。計算に當つては、現在の護謨價を半瓩當り五〇仙とした故に、計算尻は多少多くなつて居る。

五、市價下落の意義

前記の計算は、市價下落の大なる意義を明らかにする以外に何等の目的を有つて居るものではない。護謨の大量先物賣却及砂糖大增產の豫想とに據り、一九二八年に於ける市價の下落は、例へ護謨產額の可なりの減少が市價下落の結果であり且つ一九二八年糖の大部分が未だ賣却されて居ないとは云へ、輸出減退を前記二八〇、〇〇〇、〇〇〇盾以下に留めるであらうと云ふことが豫想出來る。

兎に角、如何にしても市價の下落が一時的現象でないこと丈は確實であり、從つて、來るべき數年間に於ては、國庫、農園並に土人の收入が著しく減少するものと見ねばならない。

殊に、之に最も深い關係を有する護謨の將來に關しては、極めて不確實である。來る九月一日を以つて行はれる生產制限撤廢の結果に就いては、憶測を爲すことが不可能であり且つ之が豫想を爲すを許さない幾多の要素が其間に介在して居る。從つて生產者は今後其に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

向つて進むべき確固たる方針を一時缺いて居る譯である。若し其の目的に向つて進むべき道が開けたとしても、往年の如く市價の人爲的引上を爲さしめる樣なものであつてはならないことを欲する。

斯る人爲的方法は、一時的には益を齎らすかも知れないが、其の本來の目的を失し且つそれが維持を不可能ならしめる反動を惹起するものである。往年殊に一九二五年に於けるが如き市價に於ての生產制限の續行は、其の復讐を必然一時に受けねばならないことは自明の理である。

以上のことよりして、護謨に關しては、此の不景氣は一時的のものであつて、間も無く再び好轉するであらうとの想像を爲すを絕對に許さないものであると云ふ結論に達する。人爲的要素は何等奏功せず、前年より著しく低い現在の市價基準は、如何にしても避けることが出來なかつたのである。砂糖及錫に於ても亦同樣に、市價は將來上騰する可能性に乏しい樣である。砂糖に就いて見るに、先づ第一に生產過剩は否定することが出來ない。又護謨程ではないが人爲的要素が相當影響を及ぼして居り、本要素は、世界の一部分—殊に英國に於て—は生產を國庫補助に依り增加すると云ふ又其の他の部分—殊に玖馬に於て—に於ては、人爲的に生產を制限する規則が實施されると云ふ珍妙な現象を惹起せしめるに至つたのである。護謨及砂糖に就いて起つた斯の樣な例を眼前に控えては、吾人は政府が自由生產の拘束を目的とするが如き規定を設けることを差控へ、當事人をして最近數年間に於けるよりも一層自由に自由競爭を爲さしめる樣深く留意することを望むものである。

六、健全なる狀態への復歸

世人は、近年斯ることを爲すことが多大の危險と損失とを伴ふものであると云ふことに無頓着で、無暗矢鱈に一概に市價の協定とか生產制限とか云ふことに存外の重きを置く傾向に走つて居る樣である。之等の危險及損失は何時までも生產費を高からしめ、從つて其の結果が消費及販賣を阻害することは必然である。

錫に關しても亦、市價の下落が一時的のものであると云ひ得る根據が更にないのである。

即ち蘭領印度は、過去の異常な高市價を示した年よりも著しく低い市價基準に自ら甘ぜねばならない破目に陷つて居るのである。此の順應行爲は困難を伴ふものであることは自ら明らかである。假りに總輸出額が約七分の一減少したとするも、其の困難は何等不思議とするに足らない。而して、之に關する悲觀的豫想を爲す理由も更にない。何故なれば經濟的竝に財政的基礎は鞏固であるのであるからである。

七、憂慮すべき理由は更にない

蘭領印度の私人事業は總ての要件を具備して居り、且つ蘭領印度の事業界は國際競爭場裡に拔くべからざる地位を占めて居る故に、何等不安を懸念する理由がない。而して此の確固たる基礎に、集約的經

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

營方法と科學と、實際との善良なる共力とに依つて築上げられたのである。砂糖の現況が其の好例を示して居る。即ち甘蔗糖P.O.J第二八七八號の植付增加の結果產糖數量の激增が期待されて居る。一九二七年の產糖數量は二、三六〇、〇〇〇噸であつたが、今日までに入手せる報告に依るに一九二八年の產糖額は合計二、七〇〇、〇〇〇噸と見積られ、一四%の增加を示し、猶二、八〇〇、〇〇〇噸にまで增加し一九二六年より一八%方の增加を示さない限りでもないと思はれる。

斯る生產增加の大部分は企業集約化の賜であつて、護謨に關しても、砂糖に於けるが如く短期間内に顯著なる效果を擧げることが出來ないとしても、同様の方法が講じられて居る。一般に蘭領印度の事業は生產費の點に於ては最良の狀態にあると言ふことが出來る。其他の諸點に就いても、蘭印の事業は非常に好い條件を具備して居る故に、私人事業界は順應行爲に充分に備ふるを得、大なる困難に遭遇する樣なことはなからうと思はれる。護謨價は別として、現在の市價水準は如何なる方面から見ても尙有利に經營し且つ相當の利益を擧げ得る餘地があり、其間護謨價が僅かなりとも昇騰する時は、本物產も亦相當の結果を見せるに至るであらうと思はれる。

八、期　待

土人に就いて見るに、殊に外領に於ける土人は護謨價下落の反動を受けて居る樣である。一九二七年に於ける土人護謨栽培の收益は、現在の市價基準を以つてしたならば約半分となる。生產は差程減少はしないであらうと思はれるが、反面に於て減少も亦あり得ることゝ思ふ。種々の原因に依り外領に於ける土人の購買力は著しく減少するであらうから、輸入業は賣行の不振を覺悟せねばならない。

土人の輸出農產物中最も重要なるものゝ收穫が著しく減少すると云ふことは、勿論悲しむべき事實である。が幸にも土人の生產費なるものは一般に單に勞銀支出のみに限られて居る故に本栽培の存續に危險を及ぼす樣なことはないと思はれる。

以上に縷述したところのものは、農園及土人の經濟生活が將來如何に進展するかに就いての豫想を描寫したものである。

九、印度は能力以上の生活をして居る

上記の低い市價基準に順應することが國家財政に如何なる影響を及ぼすかに就いて一言述べて見たいと思ふ。本影響の一部分は去る五月十五日に提出された一九二九年度の豫算案中に現はれて居る。

該豫算中に計上されて居る支出を見るに、政府は純經營支出の增加を緊縮開始以來其の最低點に達した一九二四年よりも更に緊縮することに成功して居ることが見受けられる。

支出の增加が大に制限されたことは喜ぶべきことである。蓋し、本緊縮は、前述の物產市價の下落とは關係無しに、最近數年間に於ける支出增加が、常態に於ては之に對する收入增加が到底步調を同じくすることが出來ない程に膨脹して居るのであるから、制限は如何にもして之を爲さねばならなかつたのである。然るに今や前記の如き市價

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の下落を見るに至り、そこで之が一九二九年の國庫財政に如何なる結果を來すかと云ふことが歲入見積の中に考慮されて居るのであらうかと云ふ質問が起きて來る。

國庫歲入が如何樣な成行を示すかに就いては、勿論確言することは出來ないが、現今までの諸報告を綜合して見るに、一九二九年の總收入見積は或程度まで投機的性質を帶びて居ることは否定出來ない。事態が、現在竝に將來期待されて居る以上に有利に轉換しない限り、一九二九年の歲入は豫算上に計上されて居る見積額よりも尠ないと思はれる。今政府が今回純經常支出の増加に大制限を加へたとは云へ、豫算の内面は未だ健實味を缺いて居る。

豫算の健全なる編成に就いての要求竝に政府が約束した税の引下實施の可能性とは關係なしに、今日の前途を客觀的に視る時は、一九二九年の蘭領印度の家政は、歲入の限度を越えた生活をするものと判斷せざるを得ないのである。

(Het Nieuws van den Dag, July 11, 12, '28)

□一九二九年度蘭領印度豫算案

今回提出されたる蘭領印度の一九二九年度豫算案は左の如くである。

總額	
和蘭に於ける支出	一八三、四三八、九五九盾
蘭領印度に於ける支出	六四三、五七四、七九二
支出合計	八二七、〇一三、七五一
和蘭に於ける收入	一四、六九四、六〇〇
蘭領印度に於ける收入	七五九、八一九、六三三
收入合計	七七四、五一四、二三三
差引不足額	五二、四九九、五一八

又之が常例に依る區別は左の如くである。

	總額	通常會計	特別會計
收入	七七四、五一四、二三三盾	七六八、九五九、〇六六盾	五、五五五、一六七盾
支出	八二七、〇一三、七五一	七六六、四六三、四四〇	六〇、五五〇、三一一
不足額	五二、四九九、五一八	—	五四、九九五、一四四
剩餘額	—	二、四九五、六二六	—

一九二八年度の豫算案と本年度のそれとを比較する時は左の如くである(單位千盾)。

		一九二九年增	一九二九年減
支出	通常會計	一六、一五四	—
	特別會計	一、三七七	—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

計	—	一七、五三一
收入		
通常會計	二〇、九六一	—
特別會計	六二八	—
計	二一、五八九	—
差引		
通常會計	四、八〇七	—
特別會計	—	七四九
合計	四、〇五八	—

通常會計(千盾單位)

收入	一九二九年	一九二八年
租税	三二五、九〇八	三一二、五九〇
專賣	八〇、一六二	八〇、七三一
物産	一〇五、四九〇	一〇八、九二〇
官業	一三五、三八一	一二八、八六六
其他	一六、二五二	一六、四九一
支出に對する直接收入	一〇五、七六六	一〇〇、四〇〇
合計	七六八、九五九	七四七、九九八

支出(千盾單位)		
專賣	二八、九一六	二九、三二三
物産	五〇、一〇五	四八、七四四
官業	八八、五五五	八五、五七五
國家の支出	五九八、八八七	五八六、六六七
合計	七六六、四六三	七五〇、三〇九
剩餘	二、四九六	—
不足	—	二、三一一

收入より支出を差引いた後の數字は左の如くである(單位千盾)。

所得	一九二九年	一九二八年
租税	三二五、九〇八	三一二、五九〇
專賣純收入	五一、二四六	五一、四〇九
物産純收入	五五、三八五	六〇、一七六
官業純收入	四六、八二五	四三、二九〇
其他	一六、二五二	一六、四九二
合計	四九五、六一六	四八三、九五七
純通常國庫支出	四九三、一二〇	四八六、二六八
剩餘	二、四九六	—
不足	—	二、三一一

一九二八年度及び一九二九年度との差を見れば此の如くである(千盾)。

	一九二九年增	一九二九年減
租税	一三、三一七	—
專賣純收入	—	一六三
物産純收入	—	四、七九一
官業純收入	三、五三五	—
其他	—	二三九
計	一六、八五二	五、一九三
總收入	一一、六五九	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

純通常國庫支出	—	六、八五一

故に通常會計の差引は四、八〇七、〇〇〇盾の増加を示して居る。
各綱別に於ける豫算の差を示せば左の如くである(單位千盾)。

税綱別	一九二九年増	一九二九年減
輸入税	六、八〇〇	—
輸出税	—	九六〇
消費税	七、九九〇	—
統計税	二〇〇	—
其他の關税收入	二二	—
對人税	二五〇	—
所得税	三、〇〇〇	—
會社税	—	六、〇〇〇
地税	五〇〇	—
人頭税	二〇	—
土地收入	一、二〇六	—
競賣税	一九	—
印紙税	—	一五〇
屠殺税	四六五	—
特種税	五	—
富籤税	二〇〇	—
合計	二〇、六七七	七、三六〇
	一三、三一七	—

專賣・物產及官業

專賣、物產及官業豫算の一九二八年のそれとの差は左表に示す如くである(單位千盾)。

	收入豫算	支出豫算	増	減
專賣				
阿片	(一)三三一	(一)六七八	三四七	—
質屋	(一)三八〇	(+)三〇七	—	六八七
鹽	(+)四一	(一)三六	七七	—
			四二四	六八七
專賣合計				二六三
物產				
規那	(一)七五	(一)二六	—	四九
官營隨讓	(一)二、八四五	(+)二三四	—	三、〇六九
林業	(+)二、三〇〇	(+)一、〇二九	一、二七一	—
錫	(一)一、五五〇	(+)九八九	—	二、五五九
石炭	(一)一、二六〇	(一)八五五	—	三〇五
			一、二七一	五、九六二
物產合計				四、六九一
官業				
港灣	(+)四四六	(+)二二五	二二一	—
浚渫部	(+)一二一	(+)九四	二七	—
水力及電氣	(+)九三	(一)二三	一一六	—
印刷局	(+)二〇一	—	二〇一	—
郵便電信電話	(+)一、六六八	(+)六六六	九〇二	—
鐵道、軌道、自動車	(+)三、九八六	(+)二、〇〇八	一、九七八	—
官業合計			三、五五五	—
其他の收入				
爪哇銀行利益分配			—	五〇〇
土地の賣下			—	二、〇〇〇

私有鐵道企業に於ける利益分配	一一〇	—
其他	三五一	—
計	四六一	七〇〇
		二三九

純通常國庫支出

一九二九年度の通常純國庫支出―之れは特別及出資、物產及官業支出並に支出に對する直接所得を差引いたものを含まない――は一九二八年度のそれより六、八五二、〇〇〇盾多く見積られて居る。

今其の純經常國庫支出の內譯を示せば左の如くである(單位千盾)。

	一九二九年	一九二八年	一九二九年增	一九二九年減
一般行政(政府、上院、一般民事行政各部)	九、六五九	九、五二三	一三六	—
內部行政	二六、三四三	二五、九九二	三五一	—
土候	八、六二三	七、八七三	七五〇	—
其他の行政支出	四、〇〇九	三、九二四	八五	—
地方自治行政	一五、二九八	一四、六九四	六〇四	—
司法	五、六八九	五、六四一	四八	—
監獄	六、〇一〇	六、〇一六	—	六
警察	二四、一四九	二三、〇八五	一、〇六四	—
司法・警察の其他の支出	二、七一三	二、八二一	—	一〇八
利子及償還	八四、六九四	八四、三九六	二九八	—
收稅	一七、四九三	一七、三九六	九七	—
待命及賜暇手當(文官)	五、四六三	五、七九三	—	三三〇
恩給(文官)	二七、九二六	二三、七六七	四、一五九	—
鑛山	一	一	—	—
信用	(一)一四七	(一)一五〇	三	—
蘭印―和蘭、和蘭―蘭印旅費(文官)	一八、五二一	一七、六七三	八四八	—
敎育	四四、一四六	四三、四一七	七二九	—
奉仕勞働	一、七一七	一、七〇二	一五	—
國民衞生	一六、四四六	一八、六八二	—	二、二三六
農・牧・漁・工業及貿易	五、八七一	五、七四六	一二五	—
土木	二三、八四〇	二二、〇五五	一、七八五	—
鑛業(鑛業コンセッションを除く)	二、一〇二	二、一九八	—	九六
陸軍	六九、七七四	七〇、一八二	—	四〇八
武官恩給	三二、九七三	三一、八六一	一、一一二	—
海軍	三〇、五一七	三二、四〇一	—	一、八八四
海運及海軍造營物	三五、五八一	三五、五四九	三二	—
其他	七、九九八	七、三五九	六三九	—
總計	四九四、一二〇	四八六、二六八	一二、九三〇	五、〇七八
附	六、八五二		六、八五二	

(Soerabajasche handelsblad, may 19, 1929)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆歐 羅 巴◆

Foreign Trade of Germany since 1924.-Part I (Com. R. No. 27, July 2, P. 3)

German Trade since 1924.-Part II (Com. R. No. 28, July 9, P. 68)

De opening van de indische tentoonstelling te Arnhem (S. Hb. July 11, 12)

De Tabaksmarkt in Nederland (S. Hb. July 12)

Le Commerce Extérieur de la France Pendant le premier semestre de 1928 (le T. July 22, P. 3)

Tabaksmarkt in Nederland (S. Hb. July 24)

Duitsche koloniale aspiratien (S. Hb. July 27)

Nieuwe legerstelsels (S. Hb. July 30)

De Tabaksmarkt in Nederland (S. Hb. Aug. 8)

De handel in vette plantaddige olien in Nederland gedurnde 1927 (L. N. e. H. No. 32, Aug. 10)

De rubbernijverheid in Italie (L. N. e. H. No. 32, Aug. 10)

◆阿 弗 利 加◆

Le Coprah du Dahony (D. C. June 29, P. 1)

L'Industrie Cotonniére en A. E. F. (D. C. July 2, P. 1)

Economic Development in Egypt (Com. R. No. 28, July 9, P. 82)

◆兩 米 大 陸◆

United States Imports of Citronella and other Essential Oils (Com. R. No. 27, July 2, P. 37)

Interest in P. I. news is growing in U. S. (M. B. July 24)

Brazil: Tabular Guide to Economic Conditions (Com. R. No. 29, July 16, Cover)

Nicaragua en een Nicaragua kanaal (S. Hb. July 16)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Maatregel tegen de Boycot.(S. Hb. July. 19)

De Nieuwe belaging der indische welvaart. (H. N. v. d. D. July 19)

Koloniaal beleid. (D. July 19, 20)

Tweeerelei politiek. (S. Hb. July 19, 20)

Een waardevolle ontdekking grootere rubber productie. (H. N. v. d. D. July 20)

Erfpachts-kwestie. (S. Hb. July 22)

De nationale concentratie. (L. N. v. d. D. July 24)

Indie verloren, rampspoed geboren (H. N. v. d. D. July 25)

Particuliere metaal-nijverheid voor Ned-Indie. (H. N. v. d. D. July 26)

De erfpachts-kwestie. (H. N. v. d. D. July 26)

Suiker-Zaken. (H. N. v. d. D. July 26)

De irrigatie waloeks. (S. Hb. July 28)

Bescherming van Cultuur-resultaten. (H. N. v. d. D. July 31)

Kapitaal naar Japan. (H. N. v. d. D. July 31)

Om Hollandsche Kapitaal. een rede van den heer Otani. (S. Hb. July 31)

Frankrijk en Ned-Indië. (H. N. v. d. D. Aug. 3)

IJzer en nikkel in Indië. (S. Hb. Aug. 4)

Kinine. (S. Hb. Aug. 6,)

Papoea-aspecten. (S. Hb. Aug. 6)

De Radio-omroep in Indië. (S. Hb. Aug. 6)

Malaria en haar bestrijding (S. Hb. Aug. 7)

Nieuwe rechten op Rubber (H. N. v. d. D. Aug. 7)

De Suikerriet-expeditie in Nieuw-Guinea (S. Hb. Aug. 7)

Volkstelling (H. N. v. d. D. Aug. 7, 28)

De dienst voor waterkracht en electriciteit S. Hb. Aug. 8)

East Indies Petroleum: Interesting Facts of Dutch Industry (S. F. P. Aug. 8)

Riet-varieteiten (S. Hb. Aug. 9)

Koetei-kolen-affaire (S. Hb. Aug. 10)

De uitvoer van copra uit Ned-Indie naar het buitenland gedurende de maanden Januari t/m Juni 1928. (L. N. e. H. No. 32, Aug. 10)

De uitvoer van rubber uit Ned-Indie naar het buitenland gedurende de maand Juni en des maanden Januari t/m Juni 1928 (L. N. e. H. No. 32, Aug. 10)

英 領 印 度

Ceylon and Restriction (S. F. P. Aug. 17)

India Undergoing Readjustments (Com. R. No. 29, July 16, P. 137)

濠 洲

Finantial Retrenchment in Australia (Com. R. No. 28, July 9, P. 71)

Australian Textile Imports Increase in Value (Com. R. No. 28. July 9, P. 98)

Paper-Making in Australia (H. D. P. Aug. 10)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Blue Funnel History (S. F. P. Aug 1)

Kelantan's Financial Position (S. F. P. Aug. 4)

Singapore: A Miracle of the East. An American View (S. F. P. Aug. 4)

Seel Selection: Interesting Lecture at I. S. P. Conference (S. F. P. Aug. 8)

Singapore Floating Dock. Passing the Suez Canal. (C. E. T. Vol. LXX, No. 3390, Aug. 9, P. 573)

Malayan Rubber: Mr. Ormsbay-Gore's Lecture. (S. F. P. Aug. 9, 10)

Singapore-Java by Air (S. F. P. Aug. 11)

Malaria and Industry (S. F. P. Aug. 18)

蘭領東印度

Back of a Cup of Tea (I. O. Vol. IX, No. 5, May P. 263)

Rubber in the Netherlands East Indies (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 329)

Indrukken van Zuid-en midden celebes XI XII, XIII, XIV, XV. (S. Hb-July 7, 9, 10, 11, 12)

Soerabajaiasche markt overzicht. (S. Hb. July 7)

De wijziging van de indische staatsregeling. (S. Hb. July 7)

Achteruitgang van Nederlands aandeel in Indies import. (S. Hb. July 9)

De suikerpositie. (S. Hb. July 9, 10)

Belegging in Indië. (H. N. v. d. D. July 11)

Publiek en Volksraad. (S. Hb. July 11)

Ned-Indie in 1927. (H. N. v. d. D. July 11, 12)

Jaarverslag suiker-proefstation. (S. Hb. July 12)

Netherlands East Indies Trade. Annual Meeting of the Brittish Chamber of Commerce (C. F. T. Vol. LXX, No. 3386. July 12, P. 507)

Ned-Oost-Indie en Italië. (H. N. v. d. D. July 12)

De reorganisatie der volkscredietwezen. (H. N. v. d. D. July 12)

Een belangwekkend interview. E. Helfirich over Indië. S. Hb. July 13)

De golf van Tomini. (S. Hb. July 13)

Koloniale tragiek. (S. Hb. July 14, 16)

De irrigatie op Java. (N. N. v. d. D. July 16)

De irrigatie op Java. (S. Hb. July 16)

Oost en West. (H. N. v. d. O. July 16)

The Native Rubber Outlook in Netherland India for 1928 (Com. R. No. 29, July 16, P. 170)

De Javasche bank. (S. Hb. July 16, 17)

De H. V. A. in 1927. (S. Hb. July 17)

De klapper cultuur in Banjoewangi. (S. Hb. July 17)

Fiscus en de handel. (S. Hb. July 18)

Koffie belangen. (S. Hb. Hb. July 18)

Poenale Sanctie. (H. N. v. d. D. July 18)

Soerabia's handel in 1927. (S. Hb. July 18)

De Ned-handelsmaatschappij jaarverslag over 1927. (S. Hb. July 18, 19)

La politique financière de l' Indochine (D. C. July 12, P. 1)

La situation agricole de l' Annam en 1927 (le C. H. July 14, P. 1)

Canseries sur l' histoire d' Annam (E. E. I. No. 580 July 15, 29, P. 2, 4)

La politique agricole de l' Indochina (le C. H. July 18, P. 1)

Les résultats des élections Cochinchinoises à la Chambre d' Agriculture (le C. S. July 19, P. 1)

Van Theeplantage in Franch Indo-China. (H. N. v. d. D. July 19)

Traités de Commerce Franco-Chinois sur l' Indochine (A. T. July 21, P. 1)

La route Transpéninsulaire (E. E. I. No. 579, Julu 22, P. 8)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 579, July 22, P. 15)

Note sur relations Maritimes entre l' Indochine et la Chine du Sud. (le C. H. July 24, P. 1)

La politique agricole de l' Indochine (le C. H. July 26, P. 1)

Ciment Porland de l' Indochine (F. I. July 26, P. 3)

Le Couronnement de S. M. Monivong (F. I. July 27, P. 1)

Le programme des Grands travaux de la Colonie (le C. H. Aug. 3, P. 1)

L'éducation de l' Annamite par l' Annamite (le C. H. Aug. 3, P. 1)

暹羅

An Ethnological Thicket (I. O. Vol. IX, No. 5, May. P. 255)

Artificial Fertilizers for Rice (B. T. July 19, 20, Aug. 4)

Last Season 's Crop (B. T. July 28)

The Local Rates Act (B. T. Aug. 7)

Powers of Gendarmerie Officers (B. T. Aug. 7)

英領馬來

A New Steamer on the Singapore Australia Run (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 331)

Conditions in the Malayan Tin Market (Com R. No. 28, July 9, P .110)

Rubber Research: British Scientist's Claim (S. F. P. July 17)

Foreign Imports of Rubber into Singapore and Penang during 1st half year, 1928 (S. F. P. July 18)

Mr. Ashplant's Rubber Yield Research. (S. F. P. July 19)

The Rubber Outlook: Mr. Eric Miller's Hopeful View, (S. F. P. July 23)

Rubber Restriction Statistics: 6 th Restriction Year (S. F. P. July 24)

Building in Singapore (S. F. P. July 25)

Census of Stocks of Prepared Rubber on June 30th, 1928 (S. F. P. July 25)

Brokers' Warrarty: Judge on Trade By-Laws. (S. F. P. July 25, 26)

British North Borneo Company (S. F. P July 31)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Cultivating Manila Hemp (M. B. July 26)

Belo adviser Bill to Pass, say Osmena (M. B. July 27)

Stimson asks ₱ 75,205,852 for 1928 Outlay, (M. B. July 27)

Want Copra grading Board (M. B. July 27)

Attacks P. I. Oil Products (M. B. July 27)

Stimson liked by P. I.-Quezon (M. B. July 28)

Copra Men Oppose Petition to Discontinue Sub-Port Shipments (M. B. July 30)

Belo Adviser Bill Passed by Senate (M. B. July 31)

Compromise Land-Holding Bill Planned (M. B. Aug. 1)

Copra Dealer Urge G. G. to keep Sub. Ports Open M. B. Aug. 1)

Ask Hearing on Adviser Bill (M. B. Aug. 1)

Nationalists to Ask Quezon to modify P. I. Chinese Laws (M. B. Aug. 2)

Gilmore Tells the President of P. I. Affairs (M. B. Aug. 2)

P. I. Sugar Takes Rise (M. B. Aug. 3)

Government Agencies Fail to Solve Economic Problems (M. B. Aug. 6)

Copra Board Sought in Bill (M. B. Aug. 6)

Belo Adviser Bill Passes Lower House. (M. B. Aug. 7)

No Parallel Between Independence Fund and Belo Bill, say Wright (M. B. Aug. 7)

Belo Adviser Bill passed by Senate (M. B. Aug. 8)

Stimson will Wire Belo Bill to Washington (M. B. Aug. 8)

Stimson Glad to Accept Aid for Advisers (M. B. Aug. 9)

Election was expensive (M. B. Aug. 13)

Tells of Rice Industry in P. I. for the Last Twenty-Years (M. B. Aug. 13)

Department of State Planned (M. B. Aug. 15)

G. G's Cabinet Named and Confirmed (M. B. Aug. 15)

佛領印度支那

Grimpses of Cambodia, a Country of Hidden Charm (I. O. Vol. IX, No. 5, May. P. 285)

Situation Économique et Financière de l' Indochine (A. F. No. 261, June P. 223)

La stabilisation de la Piastre indochinoise (D. C. July 4 P. 1)

Les exportations de riz pendant le 1er semestre ont atteint un Chiffre Record. (le C. S. July 5, P. 1)

Chronique des Mine (E. E. I. No. 577, July 8. P. 15)

La situation financière de l' Indochine (D. C. July 9, P. 1)

La reforme Monétaire Indochinoise (D. C. July 10, 11, 12, 13, 14 & 15 P. 1)

Un intéressant voyage d' exploration dans la Province de Bienhoa (le C. S. July 10, 13. 18, 19, P. 1)

Le Caoutchouc et et son Avenir (le C. S. July 10, P. 3)

La stabilisation de la piastre indochinoise (D. C. July 12, 16 & 17, 20, P. 1)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Co-Education in Peiping. By Chu Ching-Chang (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

China and a Gold Standard. Dollar to replace Tael. (C. E. T. Vol. LXX, No. 3390, Aug. 9, P. 573)

Trade taxes in China. Treaty revision and Tariff. (C. F. T. Vol. LXX, No. 3390. Aug. 9, P. 574)

Chinese Coal Mining. The Industry throttled. (E. E. Vol. XIX, No. 8, Aug. 9, P. 211)

Iron and Steel. The Industry in China. (F. E. Vol. XIX, No. 8, Aug. 9, P. 203)

The Kuomintang and the Treaty Situation. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLV, No. 11, Aug. 11)

The Question of the Appointment of an "I. G." (C. W. R. Vol. XLV, No. 11, Aug. 11)

The Circumstances and Meaning of the Sino-American Tariff Autonomy Treaty (C. W. R. Vol. XLV, No. 11, Aug. 11)

The Demand for Re-registration of Trade marks (N. C. D. N. Aug. 11, 13, 14)

Text of Nationalist Trade Mark Law (Law No. 2). Translation by N. F. Allman (C. W. R. Vol. XLV, No. 11, 12, Aug. 11, 18)

The Proposed Ministry of Health. By Leo K. T. Yen (C. W. R. XLV, No. 12, Aug. 18)

Shipping Troubles on the Upper Yangtse. By C. B. Rape (C. W. R. Vol. XLV, No. 12, Aug. 18)

The Fifth Plenary Session of the Kuomintang, By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLV, No. 12, Aug. 18)

Great Britain and China Exchange Notes Settling Nanking Incident (C. W. R. Vol. XLV, No. 12, Aug. 18)

Shanghai Merchants Endorse Dr. Kung's Program (C. W. R. Vol. XLV, No. 12, Aug. 18)

Whampoa Port Development (H. D. P. Aug. 23)

比　律　賓

In the Land of the Negritos (I. O. Vol. IX, No. 5, May P. 273)

Venice in the Pici Fields (F. E. R. Vol. XXIV. No. 7, July P. 321)

Petroleum in the Philippines (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 333)

The Philippine Market for American Textiles (Com. R. No. 27, July 2, P. 41)

No Interest in Freedom Resolution (M. B. July 19)

Sugar Men in September Convention (M. B. July 23)

Petition to Prohibit Direct Copra Exportation Opposed. (M. B. July 23)

House fail to Aid Sugar (M. B. July 24)

G. G. to Urge Change in Land Law. Report (M. B. July 24)

To set Aside ₱250,000 for G. G.'s Advisers (M. B. July 25)

Plan to keep Trade Agent at Washington (M. B. July 25)

Reporo New Rich Goed Vein has been Discovered in Suyoc (M. B. July 25)

Sugar League Raps P. I. Sugar (M. B. July 25)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Program of the Ministry of Agriculture and Mining (C. E. B. Vol. XIII, No. 4, July 28)

Summary of Strikes in Shanghai during the month of June, 1928 (C. E. B. Vol. XIII, No. 4, July 28)

Japan Takes Lead in Opposition to Treaty Revision (C. W. R. Vol. XKV No. 9, July 28)

The Japanese Blockade of the Tientsin-Pukow Railway (C. W. R. Vol. XLV, No. 9, July 28)

Who's Who in China. Tsui Shih-chieh (崔士傑), Gen. Chen Ming-shu (陳銘樞字眞如), Messrs. Huang Wan (圭孟字琬黃), Miao Ping (繆斌) (C. W. R. Vol. XLV, No. 9, 10, 11, 12, July 28, Aug. 4, 11, 18)

Why Americans are Interested in the Shantung Case! By Brig. Gen. Henry J. Reilly, O. R. C. Special Correspondent Hearst Newspapers (C. W. R. Vol. XLV, No. 9, July 28)

Young China Tackles the Floods. By Anna Louise Strong in the "Survey Graphic" (C. W. R. Vol. XLV, No. 9, July 28)

China As a Field for Investment. By Chien Tseng-Mai in the Chinese Students' Monthly (C. W. R. Vol. XLV, No. 9, July 28)

Shanghai's Trade: Custom Report for 1927 (H. D. P. July 30)

Customs Report on China's Trade for 1927 (H. D. P. July 31)

A Chart of Silver and Exchange Parities (C. E. J. Vol. III, No. 2, Aug.)

Raw Cotton Trade in Shanghai (C. E. J. Vol. III, No. 2, Aug.)

Oil Prospects in North-eastern China (C. E. J. Vol. III, No. 2, Aug.)

Types of Farming, Cost of Production, and Annual Labour Distribution in Weihsien Conntry, Shantung, China (C. E. J. Vol. III, No. 2, Aug.)

Healthy Hongkong: Work of Leading Hospitals in 1927 (H. D. P. Aug. 3)

Import of Arms, to China (H. D. P. Aug. 4)

Land Survey and Re-assessment for Chekiang (C. E. B. Vol. XIII, No. 5, Aug. 4)

Beans on the Foochon Market (C. E. B. Vol. XIII, No. 5, Aug. 4)

Total Customs Collection for China in 1927 (C. E. B. Vol. XIII, No. 5, Aug. 4)

The Germans In China. By Willbur Burton (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

The Sino-Japanese Treaty. By Charles James Fox. In the North China Star (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

The Quadrangular Fight in Manchuria. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

Communist Activities in Kwangtung. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

Inducing China to Change Her Food Her Food Habits. By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

The Kellogg Note and the Sino-American Tariff Treaty (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

Are Railways Necessary for China? By Harry Paxton Howard (C. W. R. Vol. XLV, No. 10, Aug. 4)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆世　界◆

General

World Motorization outstrips Population Increase (Com. R. No. 27, July. 2, P. 28)

Motor Cycles in World Increased 16 per cent Last Year (Com. R. No. 28, July 9, P. 88)

Motor-Vehicle World Census, January 1, 1928 (Com. R. No. 26, June 25, P. 774)

Internationale suikerconferentie (S. Hb. July 30)

◆亞細亞◆

General

Afganistan Makes Bid for Foreign Trade (Com. R. No. 28, July 9, P. 67)

Mr. Ormsby-Gore's Tour. Impression of Malaya, Java, and Ceylon. Java's Scientific Lead (C. E. T. Vol. LXX, No. 3387, July 19, P. 518)

日本

Japan Production and Exports of Cotton Yarn and Cloth (Com. R. No. 26, June 25, P. 798)

De positie van Japan (S. Hb. July 11)

支那及香港

The Trade Methods in the Sea and Fishery Products Business (C. E. J. Vol. 111, No. 1, July)

The Export of of Soya Beans from Manchuria and its Financing (C. E. J. Vol. III, No. 1, July)

Shanghai Silk Filatures (C. E. J. Vol. III, No. 1, July)

Match Factories in China (C. E. J. Vol. III. No. 1, July)

Industries of Newchwang (C. E. J. Vol. III, No. 1, July)

The Russians Leave China (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July, P. 289)

Japanese Commercial and Industrial Interests in China (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 295)

Chinese Colonization in Manchuria. Part II (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 296)

Rebuilding China's Finances (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July, P. 306)

A New Development in Mechanical Transport in Northern Manchuria (F. E. R. Vol. XXIV, No. 7, July P. 314)

Nanking and the Treaties (C. E. T. Vol. LXX, No. 3386. July 12, P. 497)

China's Armed Hordes (C. E. T. Vol. LXX, No. 3386. July 12, P. 497)

Shanghai Trade Situation. Mr. H. J. Brett's Review (C. E. T. Vol. LXX, No. 3386. July 12, P. 505)

Hong Kong and Canton Trade (H. D. P. July 21)

South China Trade in 1927 (H. D. P. July 23)

Shanghai Trade During, 1927 (N. C. D. N. July 26, 26, 27)

Treaties with China. Denunciation and Revision (C. E. T. Vol. LXX, No. 3388, July 26, P. 543)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆新聞雜誌略號一覽表◆

A. C.	Les Annales Coloniales (May 17-July 19, '28)
A. F.	L'Asie Française (June, '28)
B. T.	Bangkok Times (July 18-Aug. 10, '28)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (Vol. XIII, No. 4, July 28-No. 7, Aug. 18, '28)
C. E. J.	Chinese Economic Journal (Vol. III, No. 1, 2, July, Aug., '28)
C. E. T.	China Express and Telegraph (No. 3386, July 12-No. 3390, Aug. 2, '28)
Com. R.	Commerce Reports (No. 26, June 25-No. 29, July 16, '82)
C. W. R.	China Weekly Review (Vol. XLV, No. 9, July 28-No. 12, Aug. 18, '28)
D. C.	La Dépêch Coloniale (May 24,-July 25, '28)
E. E.	Eastern Engineering (Vol. XIX, No. 8, Aug. 9, '28)
E. E. I.	L'eveil economique de L' Indochine (July 1-29, '28)
F.	Le Figaro (July 1-31, '28)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIV, No. 7, July, '28)
F. I.	France-Indochine (July 1-31, '28)
H. D. P.	Hongkong Daily Press (July 14-Aug. 23, '28)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws Van den Dag (July 8-Aug. 7, '28)
I.	L' Indochine (July 5, '28)
I. O.	Inter Ocean (Vol. IX, No. 5, May, '28)
Le C. H.	Le Courrier d' Haiphong (July 1-31, '28)
Le C. S.	Le Courrier Saigonnais (July, 1-31, '28)
L. N. e. H.	Lanbouw, Nijverheid en Handel (No. 28, July 20-No. 32, Aug. 10, '28)
Le T.	Le Temps (July 1-31, '28)
M. B.	Manila Daily Bulletin (July 16-Aug. 15, '28)
N. C. D. N.	North China Daily News (July 25-Aug. 25, '28)
S. F. P.	Singapore Free Press (July 15-Aug. 18, '28)
S. Hv.	Soerabajasch Handelsblad (July 6-Aug. 10, '28)

※ ＊ ※

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN